

シラバス

2023 年度版

健康科学部

看護学科

了徳寺大学

2023 年 5 月 23 日

講義コード	0000802
講義名	心理学〔看〕
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名
橋本 和幸

総合学習目標

心理学は精神や行動を研究する学問であり、着眼点や研究方法によっていくつかの領域に分けられます。

この授業では、心理学の主な領域を紹介します。そこから知識を得ながら、それらが自分自身の内的世界や日常生活にどのように関係しているかを学んで理解することを目標とします。

このために、様々な領域をバランスよく提示していく予定です。

【看護学科ディプロマポリシー:DP1-①,DP3-②に相当】

個別学習目標

- ・心理学が日常社会の様々な領域に関わる学問であることを知る。
- ・心の発達を説明する様々な考え方を見ていくことで、自己理解を深める。
- ・心のメカニズムや人格のような人の内面と、他者や社会との関係のような外面という両面に着目して、「その人らしさ」が形成される仕組みを理解する。
- ・人間関係を心理学的視点から知ること、自身の対人関係を客観的に見ることにつなげる。
- ・心の健康について知ること、それらを現在の自分自身に生かすとともに、将来職業人としての活動にも役立てられるようにする。
- ・自分の専攻と心理学との関係を考えてみる。例えば、治療や指導への応用などを考えながら学んで欲しい。

準備学修

各回を受講する前に教科書の該当ページに目を通しておくと、理解しやすくなると思います。

授業計画

第1回	担当教員	橋本 和幸 イントロダクション
	内容	授業の進め方、心理学の基礎分野と応用分野、心理学の歴史を説明する。
第2回	担当教員	橋本 和幸 性格I
	内容	性格の分類方法である類型論と特性論を説明する。
第3回	担当教員	橋本 和幸 性格II
	内容	性格が発達により変化することを説明する理論を紹介する。
第4回	担当教員	橋本 和幸 学習
	内容	経験によって行動が変容する仕組みを説明する学習理論を紹介する。
第5回	担当教員	橋本 和幸 記憶

	内容	記憶と忘却の仕組みを説明する。
第6回	担当教員	橋本 和幸 知覚
	内容	自分の外や内から情報を認知する仕組みと、その認知が歪む要因を説明する。
第7回	担当教員	橋本 和幸 動機づけI
	内容	やる気が起こる仕組みを説明する。
第8回	担当教員	橋本 和幸 動機づけII
	内容	やる気が起こる仕組みを説明する。
第9回	担当教員	橋本 和幸 心と身体の発達
	内容	心の発達およびそれと身体の発達との関連を説明する。
第10回	担当教員	橋本 和幸 発達段階と発達課題
	内容	人間の一生をいくつかのステージに分けて、それぞれの時期に達成すべき課題を説明する。
第11回	担当教員	橋本 和幸 対人関係の発達
	内容	人間の一生をいくつかのステージに分けて、それぞれの時期の他者との関係の作り方を説明する。
第12回	担当教員	橋本 和幸 社会心理学I
	内容	個人と他者との相互作用とその影響を説明する。
第13回	担当教員	橋本 和幸 社会心理学II
	内容	集団心理の仕組みを説明する。
第14回	担当教員	橋本 和幸 臨床心理学
	内容	心理学の知識やスキルを対人援助に活かす実践方法を説明する。
第15回	担当教員	橋本 和幸 対人援助職者と被援助職者の心理
	内容	援助を行う側および受ける側の心理と、援助によってそれぞれに生じる心理的課題を説明する。

評価方法

定期試験90%とレポート10%で評価を行う。

教科書

テキスト 心理学ことはじめ－教養と対人支援のための12章－【第2版】 橋本和幸 ムイスリ出版
1,900円+税

参考書

授業ごとに紹介します。

オフィスアワー

前期は木曜日・5限に教員研究室で受け付けます。

実務経験の有無

有

その他

- ・テキストを指定するので、必ず用意してください。
- ・適宜実験や演習を取り入れて、知識提供と体験を織り交ぜながら心理学を理解出来るようにしていきたいと考えています。

講義コード	0002101
講義名	現代生物学〔看〕
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	1・2
必修/選択	選択

担当教員

氏名
中島 琢磨
増田 敦子

総合学習目標

ヒトの健全な生活の維持・回復、あるいは機能の向上に医療者として携わるとき、ヒトという生物がどのような仕組みで生き、動くのかの理解は不可欠である。あふれる情報のうち、医療行動に反映すべき情報は、客観的で科学的な視点を持って判断し、責任を持って選ばなくてはならない。

生物は、細胞を基本単位としてできており、その中で行われる代謝に伴って生じるエネルギーで生命活動を営み、生殖によって増殖し、遺伝情報を次世代に引き継いでいる。生物学はすべての生物に共通する生命現象の理解を目指す学問であり、本科目では、専門基礎科目（基礎・臨床医学科目）の理解を深めるために必要な基本的要素である細胞と遺伝、栄養素の代謝、血液の循環と調節、刺激の受容と反応などについて学ぶ。そして、ヒトを生物学的見地から理解し、人体の構造と機能、生理学総論および疾病と治療を理解する上での基礎知識を身に付けることを目標とする。

看護学科DP1-①②に該当する。

個別学習目標

- 1) 細胞の構造と機能について理解する。
- 2) 栄養素の代謝について理解する。
- 3) 血液の循環と調節について理解する。
- 4) 刺激の受容と反応について理解する。
- 5) ホルモンの種類とはたらきを理解する。

準備学修

授業までに、該当する教科書の章末にある練習問題を解いておく。

授業計画

第1回	担当教員	中島 琢磨 増田 敦子 ガイダンス、1章1. 細胞小器官の機能と遺伝情報の発現（教科書12～31頁）
	内容	授業に関する説明（授業スケジュール、成績評価、課題など）、原子から個体までの生物のレベル、細胞はなにでできている？、細胞内での役割分担
第2回	担当教員	中島 琢磨 1章1. 細胞小器官の機能と遺伝情報の発現（教科書12～31頁）
	内容	DNAとRNAの違い、タンパク質ができるまで

第3回	担当教員	中島 琢磨 1章2. 遺伝情報の分配と発生・分化 (教科書32~45頁)
	内容	1つの受精卵からからだができる、細胞はどうやって増えている?、精子・卵子ができるまで、1つの細胞がからだになるまで
第4回	担当教員	中島 琢磨 3章1. 血液と免疫 (教科書72~90頁)
	内容	血液ってどんなもの?、個性豊かな血球たち、からだを守るしくみ
第5回	担当教員	中島 琢磨 3章1. 血液と免疫 (教科書72~90頁)
	内容	侵入を阻止するバリアと化学攻撃、連絡を取り合って病原体を貪食、特殊兵器に特殊部隊! 抗体と細胞傷害性T細胞
第6回	担当教員	増田 敦子 3章2. 血液の循環と呼吸 (教科書91~113頁)
	内容	体液が全身をめぐるしくみ、ポンプとして働く心臓、体液の通り道・血管
第7回	担当教員	増田 敦子 3章2. 血液の循環と呼吸 (教科書91~113頁)
	内容	組織液の回収やからだを守るリンパ系、呼吸のしくみ
第8回	担当教員	中島 琢磨 2章1. 消化・吸収 (教科書46~55頁)
	内容	食べ物を細かくして体内へ、お米、あぶら、お肉の消化・吸収
第9回	担当教員	中島 琢磨 2章2. 栄養素の利用 (教科書56~71頁)
	内容	栄養素からエネルギーへ、糖代謝の3つのステップ、その他の糖代謝、脂質も合流してATPに、タンパク質も合流してATPに
第10回	担当教員	増田 敦子 3章3. 体液調節と尿生成 (教科書114~129頁)
	内容	体液とは?、尿ができる過程は? 泌尿器系
第11回	担当教員	増田 敦子 4章1. 神経の構造と機能 (教科書130~151頁)
	内容	刺激を受け取り反応するしくみ、神経系はどのようにできている?、神経のはた

	内容	らき①静止電位と活動電位、②興奮の伝導のしくみ、③シナプスでの情報伝達のしくみ
第12回	担当教員	増田 敦子 4章2. 筋収縮のしくみ、3. 刺激の受容のしくみ (教科書152~165頁)
	内容	筋は3種類に分けられる、束がさらに束ねられている骨格筋の構造、筋収縮のしくみ、感覚の正体、眼・耳・鼻・舌で感じる特殊感覚、からだ全体で感じとる一般感覚
第13回	担当教員	増田 敦子 4章4. ホルモンによる生理機能の調節 (教科書183~208頁)
	内容	ホルモンとは、内分泌系の司令塔・視床下部と下垂体、成長や代謝にかかわる甲状腺ホルモン、ストレスや興奮などにかかわる副腎ホルモン
第14回	担当教員	増田 敦子 4章4. ホルモンによる生理機能の調節 (教科書183~208頁)
	内容	血糖値のコントロールなどにかかわる膵臓ホルモン、生殖機能にかかわる性ホルモン、消化にかかわる消化管ホルモン、その他のホルモン
第15回	担当教員	中島 琢磨 増田 敦子 まとめ
	内容	まとめ、授業アンケート、期末試験に関する説明

評価方法

- ・小テスト20%、期末試験80%、合計100%で評価する。
- ・小テストは、クラスルームに設定したGoogleフォームに回答・送付すること。提出期間を設定してあるので、期間内に提出しないと評価対象外となるので、注意すること。
- ・小テスト実施期間などは授業中に説明し、クラスルームにも掲示するので、授業を休んで提出し忘れた、ということがないように、注意すること。

教科書

白戸亮吉他、生理学・生化学につながるていねいな生物学、羊土社、2,200円+税

参考書

人体の構造と機能 (第4版)、エレインNマリープ著、林正健二訳、医学書院、5,200円+税 (生理学総論I・IIの教科書)

オフィスアワー

中島：火曜日と木曜日の昼休み、月曜日午後 (13:00 - 16:00) t-nakajima@ryotokuji-u.ac.jp
増田：月～水は4限目、木・金は1限目 a-masuda@ryotokuji-u.ac.jp

実務経験の有無

有

その他

- ・生理学総論の授業の進行状況に応じて、授業内容の順番を変えることがある。その場合は、授業とクラスルームで案内する。
- ・生物学の理解には化学 (中学理科1分野) ・生物 (中学理科2分野) の知識が不可欠である。教科書が残っている場合には、復習しておくこと。
- ・高校で化学・生物を履修された学生は教科書などで復習しておくこと。高校で化学・生物を履修していない学生は、本科目の履修を勧める。

講義コード	0002703
講義名	スポーツ理論と実習I〔看〕
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	実習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名
越田 専太郎
石井 孝法
末吉 祐介
長谷川 龍成

総合学習目標

スポーツに関する学修を通して、生涯にわたって計画的、継続的に運動を親しむ資質や能力を高め、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を育てる。また、スポーツの基礎となる体力を高めるためのトレーニングやコンディショニングの基礎理論並びに方法論についての理解を深める。本講義は看護学科DP1-①に該当する

個別学習目標

- 1) スポーツの本質的な意味や、遊び、体育、オリンピックとの関係について、特に歴史的背景や社会情勢との関連を理解できる
- 2) 健康・からだ作りのためのエクササイズの実技を通して、トレーニングの基礎理論を理解し、その方法を習得できる
- 3) 運動・スポーツの意義およびエクササイズの楽しさを知り、生涯にわたって日常生活の一部として運動を取り入れることができる

授業計画

第1回	担当教員	越田 専太郎 石井 孝法 末吉 祐介 長谷川 龍成 コースガイダンス
	内容	授業の目的、評価、レポートの内容について確認する（越田30分） 実技授業の進め方を説明する（長谷川20分） 遠隔授業の進め方の説明を実施する（石井20分） 遠隔授業に使用するアプリケーション操作の注意点を確認する（末吉20分）
第2回	担当教員	石井 孝法 歴史からみたスポーツ
	内容	メディア授業を通してスポーツの起こりや発展、概念的変化について学修し、スポーツの意味に関してディスカッションする。A
第3回	担当教員	石井 孝法 データからみるスポーツと健康

	内容	メディア授業を通してスポーツと健康について学修する。また、データ分析結果から、スポーツと健康についてディスカッションすることを通して、それらの理解を深める A
第4回	担当教員	末吉 祐介 スポーツと性
	内容	メディア授業を通して、南アフリカの元陸上女子選手のキャスター・セメンヤ選手の例をとり、スポーツと性の問題についてディスカッションを行う。それらを通して、スポーツと性に対する理解および思考を深める A
第5回	担当教員	末吉 祐介 スポーツと加齢
	内容	メディア授業を通して、ロコモティブシンドロームについて理解し、高齢者社会における課題に対して、スポーツが果たす貢献についてディスカッションを行う。それらを通して、スポーツと加齢に対する理解および思考を深める A
第6回	担当教員	越田 専太郎 こどものスポーツにおける健康問題
	内容	メディア授業を通して、子供のスポーツにおいて生じる各種のケガや健康問題について理解する。また、ディスカッションを通して、こどものスポーツに関する諸問題についての理解を深める A
第7回	担当教員	越田 専太郎 女性のためのトレーニング
	内容	メディア授業を通して、トレーニングの原則など基本を学修する。また、資料から男性と女性のトレーニング効果を違いを理解し、プログラミングに活用する A
第8回	担当教員	石井 孝法 ラケットスポーツ①：ルール理解と基本動作
	内容	ラケットスポーツ（バドミントン等）のルールや基本的動作を理解する。またミニゲームを実施して、技能を習得する。
第9回	担当教員	石井 孝法 ラケットスポーツ②：ゲーム
	内容	ラケットスポーツ（バドミントン等）のゲームを通して、基本技能およびパートナーとのコミュニケーションスキルを習得する。
第10回	担当教員	末吉 祐介 ボールを用いたスポーツ①ルール理解と基本動作
	内容	実技（ドッジボールなど）のゲームを実施して、ルールを理解し基本動作を身につける。
	担当	末吉 祐介

第11回	教員	ボールを用いたスポーツ②：ゲーム
	内容	ボールスポーツ（ドッジボール等）のゲームを実施して、技能を習得する。また球技種目におけるチーム内のコミュニケーションの重要性を理解する。
第12回	担当教員	長谷川 龍成 その他のレクリエーションスポーツ①：ルールの理解
	内容	レクリエーションスポーツのゲームを通して、ルールの理解を深める。
第13回	担当教員	長谷川 龍成 その他のレクリエーションスポーツ②：ゲーム
	内容	レクリエーションスポーツのゲームを通して、チーム内コミュニケーションの重要性を学修する。
第14回	担当教員	越田 専太郎 簡単にできるホームエクササイズ①：ストレッチング
	内容	実技を通して、家でもできるストレッチングエクササイズの技能を習得する。
第15回	担当教員	越田 専太郎 簡単にできるホームエクササイズ②：筋力トレーニング
	内容	実技を通して、器具なしでできるトレーニングプログラム作成の考え方を学修する。

評価方法

実技授業での取り組み（40%）および提出物の内容（メディア学習課題）（60%）より総合的に評価する。

教科書

テキストの指定はない

講義内またはGoogle workplace（Classroomおよびsite）で示される映像資料またはPDF資料を用いる

参考書

観るまえに読む大修館スポーツルール2022 大修館書店 1,980円

オフィスアワー

越田 水3限 506研究室

全教員 Google Classroomを通じたDMで随時質問を受け付ける

実務経験の有無

有

その他

メディア講義はGoogle ClassroomおよびGoogle Siteを通して実施する

講義順の変更にご注意すること。なお変更が生じた場合、クラス内またはGoogle Classroomを通して通知する。

実技授業参加時の注意点

- ①スポーツの実践を通して統合的に体力づくりをはかる。
- ②実技授業には、スポーツ活動にふさわしい服装およびシューズで出席すること
- ③場所を体育館から実習室/講義室に変更する場合があるので、掲示板を確認すること
- ④健康状態が良くないときは申し出ること
(見学をする場合は、授業内容を見学し修了までに見学レポートを提出すること)
- ⑤水分補給の為に飲料水を必ず持参し、こまめに水分補給すること
- ⑥遅刻をすると、準備運動を十分に行えない為、遅刻をしないこと
- ⑦やむをえず遅刻をした場合は、必ず教員の指示をあおぐこと
- ⑧体調に問題のない人は参加が必須となる。実技に不参加の場合、原則出席を認められない

クラスルーム

<https://classroom.google.com/c/NTg3NTY5NzU4Njc0?cjc=d2qhx5v>

講義コード	0002803
講義名	スポーツ理論と実習II〔看〕
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	実習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1・2
必修/選択	選択

担当教員

氏名
越田 専太郎
石井 孝法
末吉 祐介
岡村 知明

総合学習目標

本講義では、スポーツに関連する社会的問題について理解を深めることで、スポーツの価値を考える態度を育てること、また、球技などのスポーツの実践を通して、生涯にわたって計画的、継続的に運動を親しむ資質や能力を高め、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を育てることを目標とする。さらに、スポーツの基礎となる体力を高めるためのトレーニングやコンディショニングの基礎理論並びに方法論についての理解を深める。

本講義は看護学科DP1-①に該当する。

個別学習目標

- 1) スポーツに関連する社会的問題、特にオリンピック、武道、学校・地域スポーツに関連する内容について理解し、議論できる
- 2) 各種スポーツの基礎的技術を獲得、ルールを理解することで、ゲームを実施できる
- 3) チームスポーツを通して、パートナーまたはチームメイトと円滑なコミュニケーションがとれる
- 4) 健康・からだ作りのためのエクササイズの講義、実技を通して、トレーニングの基礎理論を理解し、その方法を習得する。
- 5) 運動を行うことの楽しさを知り、生涯にわたって日常生活の一部として運動を取り入れることができるようになる。

授業計画

第1回	担当教員	越田 専太郎 岡村 知明 石井 孝法 末吉 祐介 コースガイダンス
	内容	授業の目的、評価、テストの内容、授業資料、諸注意について確認する(越田 30分) 実技の進め方の説明を実施する(末吉 20分)、グルーピング、各スポーツ実習の進め方の説明を実施する(石井 20分)全体でのウォーミングアップ、クーリングダウンの確認(岡村 20分)
第2回	担当教員	越田 専太郎 健康・体づくりのための運動① 動作のチェック

	員	
	内容	器具を必要としない健康・からだ作りのための運動を計画し、実施する。また将来のケガや不調につながる不良な動作についても理解を深める
第3回	担当 教員	越田 専太郎 健康・体づくりのための運動② 体幹トレーニング
	内容	器具を必要としない健康・体づくりのための運動を実施する。特にいわゆる体幹トレーニングについて実技を通して理解する
第4回	担当 教員	末吉 祐介 からだの整える運動① セルフストレッチング
	内容	柔軟性を高める運動について学修する。特に一人で実施するストレッチングについて実技を通して理解する
第5回	担当 教員	末吉 祐介 からだの整える運動② パートナーストレッチング
	内容	柔軟性を高める運動について学修する。特にパートナーと実施するストレッチングについて実技を通して理解する
第6回	担当 教員	岡村 知明 球技系スポーツ① 基本の動作
	内容	球技系レクリエーションスポーツの実技を通して、スポーツの楽しさを体感し、基本の動作を習得する。
第7回	担当 教員	岡村 知明 球技系スポーツ② ミニゲームの導入
	内容	球技系レクリエーションスポーツの実技を通して、スポーツの楽しさを体感する。学習者は、ミニゲーム形式で体を動かすことでルールを理解し、基本および応用動作を習得する。
第8回	担当 教員	石井 孝法 ラケット系スポーツ① 基本の動作とミニゲームの導入
	内容	ラケット系レクリエーションスポーツの実技を通して、スポーツの楽しさを体感し、基本の動作を習得する。
第9回	担当 教員	石井 孝法 ラケット系スポーツ② 試合の導入
	内容	ラケット系レクリエーションスポーツの実技を通して、スポーツの楽しさを体感する。学習者は、ミニゲーム形式で体を動かすことでルールを理解し、基本および応用動作を習得する
第10回	担当 教員	石井 孝法 オリンピックとオリンピズム
	内	メディア授業を通して、スポーツのオリンピックとオリンピズムについて学修

	容	し、オリンピックの話題を通して、スポーツの価値に関してディスカッションする。A
第11回	担当 教員	石井 孝法 スポーツと武道
	内容	メディア授業を通して、中学校武道必修化からスポーツと武道について学修し、その違いについてディスカッションする。A
第12回	担当 教員	岡村 知明 スポーツと心理
	内容	メディア授業を通して、スポーツを実施する際の動機づけについて学び、自分自身の生活への応用するための具体的な手法についてディスカッションする。A
第13回	担当 教員	岡村 知明 地域スポーツ
	内容	メディア授業を通して、スポーツや運動が地域に根付くための具体的な施策についてディスカッションする。A
第14回	担当 教員	越田 専太郎 スポーツとメンタルヘルス
	内容	メディア授業を通して、スポーツとメンタルヘルスについて学修する。特にエリートスポーツ選手におけるメンタルヘルスの問題についてディスカッションなどを通じて理解を深める A
第15回	担当 教員	越田 専太郎 スポーツとダイバーシティ&インクルージョン
	内容	メディア授業を通して、スポーツにおけるダイバーシティ&インクルージョンについて学修する。特に提示された社会問題の例題を通して、ディスカッションなどを通じて理解を含める A

評価方法

実技授業での取り組み（40%）および提出物の内容（メディア学習課題）（60%）より総合的に評価する。

教科書

テキストの指定はなし

講義内配布資料またはGoogle ClassroomやGoogle Siteで示される映像資料またはPDF資料を用いる

参考書

観るまえに読む大修館スポーツルール2022 大修館書店 1980円

オフィスアワー

越田 水3限 506研究室

Google Classroomを通じたDMでの質問は随時受け付ける

実務経験の有無

有

その他

メディア講義はGoogle ClassroomおよびGoogle Siteを通して実施する
講義順の変更にご注意すること。なお変更が生じた場合、クラス内またはGoogle Classroomを通して通知する。

受講の際の注意点

- ① スポーツの実践を通して統合的に体力づくりをはかる。
- ② 授業には、スポーツ活動にふさわしい服装およびシューズで出席すること。
- ③ 場所を体育館から実習室/講義室に変更する場合がありますので、掲示板を確認すること。
- ④ 健康状態が良くないときは申し出ること。
(見学をする場合は、授業内容を見学し修了までに見学レポートを提出すること)
- ⑤ 水分補給の為に飲料水を必ず持参し、こまめに水分補給すること。
- ⑥ 遅刻をすると、準備運動を十分に行えない為、遅刻をしないこと。
- ⑦ やむをえず遅刻をした場合は、必ず教員の指示をおおぐこと。
- ⑧ 体調に問題のない人は参加が必須となる。実技に不参加の場合、原則出席は認められない。

クラスルーム

<https://classroom.google.com/c/NTg3NTczNDIzMTkz?cjc=pllebfo>

講義コード	0003702
講義名	日本倫理思想〔看〕
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	1・2
必修/選択	選択

担当教員

氏名
唐澤 至朗

総合学習目標

倫理は人間の社会生活上の普遍的判断基準とされる。しかし、その普遍性はそれぞれの帰属社会の様相によって大きく異なる。講義では、わが国における倫理観がどのように形成されてきたかを学び、特に医療現場における患者・利用者の心情理解につながるよう、日本倫理思想の現代的意義について考える。

健康科学部DP1-①②に相当

個別学習目標

- ①医療・介護の現場における患者・利用者の心情を、倫理から考えることができる。
- ②日本の伝統的な倫理観の特徴を、歴史事象から説明できる。
- ③「生者必滅」という理と、「無念」という概念を、患者の立場から説明できる。

準備学修

新聞や電子情報により、社会の動向に注意し、特に医療に関する情報があれば収集分析し、記録すること。(30分)

講義終了後に毎回その内容を振り返り、配付資料の所定欄に記入しておくこと。(30分)

授業計画

第1回	担当教員	唐澤 至朗 ガイダンス
	内容	倫理を可視化する。 - 落日を拝む人、忌む人 -
第2回	担当教員	唐澤 至朗 再生観の歴史性①
	内容	原始社会の葬送から再生観を探る。 - 縄文・弥生・古墳時代の葬送儀礼 -
第3回	担当教員	唐澤 至朗 再生観の歴史性②
	内容	『古事記』や『日本書紀』から、宗教構造の複層化を探る。 - 多神教と一神教 -
第4回	担当教員	唐澤 至朗 再生観の歴史性③
	内容	『観無量寿経』と分骨葬から、往生への願望を知る。 - 社会荒廃と浄土思想 -
	担当教員	唐澤 至朗 再生観の歴史性④

第5回	内容	『往生伝』や『法然上人絵伝』から、往生環境の共通認識を知る。 - 「お迎え」のしるし -
第6回	担当教員	唐澤 至朗 再生観の歴史性⑤
	内容	「来迎」と「山中他界観」が示すもの。 - あの世の所在 -
第7回	担当教員	唐澤 至朗 再生観の歴史性⑥
	内容	『平家物語』と「遺言状」から、夫婦の絆を読み解く。 - 鎌倉武士と納経供養 -
第8回	担当教員	唐澤 至朗 再生観の歴史性⑦
	内容	「入定」にみる救世倫理を考える。 - 入定塚の調査事例から -
第9回	担当教員	唐澤 至朗 再生観の歴史性⑧
	内容	近代戦争がもたらした国家祭祀の矛盾点を考える。 - 神仏分離の無理 -
第10回	担当教員	唐澤 至朗 自由と危機管理①
	内容	現代社会が直面する教育課題を予察する。 - アニメの世界における暴力容認 -
第11回	担当教員	唐澤 至朗 自由と危機管理②
	内容	社会環境の変化と情報選択を考える。 - 美術館「芸術か猥褻か」論争 -
第12回	担当教員	唐澤 至朗 自由と危機管理③
	内容	山岳事故に潜む倫理忘失を憂える。 - 結界侵入への警鐘 -
第13回	担当教員	唐澤 至朗 臨床の現場から①
	内容	「心が痛い」という感受性は尊い。 - 四季観と輪廻観 -
第14回	担当教員	唐澤 至朗 臨床の現場から②
	内容	解剖時における倫理を見つめる。 - 研究・病理・司法解剖と供養祭 -
第15回	担当教員	唐澤 至朗 まとめ・求められる医療人像
	内容	民衆にとっての医療倫理とは何か。 - 理と理不尽の社会性 -

評価方法

定期試験により評価する。日本国憲法が掲げる自由・民主・平等・互惠主義にもとづく、公平で公正な立場保持の重要性と社会への貢献意志が示されることを、評価基準とする。

教科書

テキスト 指定なし。ノート補助資料を配付する。

参考書

テキスト 指定なし。必要に応じて紹介する。

オフィスアワー

講義終了後、教室にて個別の質問や相談に応じる。

その他

日常生活における人々の何気ない行動に注意を払い、そこに垣間見える歴史や文化的な背景を

考えよう。過年度の感染対策状況を踏まえ、座席指定を行う。

担当教員実務経験の有無, 有

講義コード	0004002
講義名	思索と哲学演習 [看]
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	1年～4年
必修/選択	選択

担当教員

氏名
池谷 壽夫

総合学習目標

- ①この授業では、人間と社会をめぐる基本的な諸問題（人間、生と死、正常と異常、優生と劣生、自由と平等、ケアと正義など）を社会的弱者（障害者、女性、子どもなど）の視点から根本から再検討し、人間と社会についての「自明性」を疑うことをとおして、自己の人間観を内省することをとくにめざします。
- ②健康科学部DP1-②、看護学科DP1-①、DP3-①、DP4-①に該当する。

個別学習目標

- ①社会や身近で起こっている問題について「なぜ？」と考えることができる。またそのことを通して、
- ②これまで「自明」（「当たり前」）だと思っていたことが必ずしも「自明」ではないことを、日常生活の中で学び知ることができる。

準備学修

授業後に学習したことを整理し、ノートにまとめておくこと（30分）。

授業計画

第1回	担当教員	池谷 壽夫 ガイダンス
	内容	授業の構成と授業の方法、グループづくり
第2回	担当教員	池谷 壽夫 人間とはだれのことか？
	内容	人権の歴史、排除される人びと AL:B,C
第3回	担当教員	池谷 壽夫 生命の始まり（その1）—中絶をめぐる
	内容	中絶のジレンマ（あなたならどうする？）、中絶の現状と背景 AL:E,B,C
第4回	担当教員	池谷 壽夫 生命のはじまり（その2）—生命の始まりは
	内容	中絶をめぐる賛成論と反対論
第5回	担当教員	池谷 壽夫 死とはなにか？（その1）—安楽死、尊厳死を考える
	内容	安楽死と尊厳死の総意と共通性、死ぬ権利はあるのか？ AL:B,C
第6回	担当教員	池谷 壽夫 死とはなにか？（その2）—脳死をめぐる
	内容	臓器移植との関係から生まれた脳死、脳死をめぐる諸問題、脳死は人の死か

第7回	担当教員	池谷 壽夫 この世には男と女しかいないのか？（その1）—多様な性
	内容	多様な性とは、LGBTIQとは、AL: B,C
第8回	担当教員	池谷 壽夫 この世には男と女しかいないのか？（その2）—ジェンダーとは何か？
	内容	ジェンダーの定義、男女二分法、ジェンダーをめぐる諸問題
第9回	担当教員	池谷 壽夫 中間まとめ（映画鑑賞）
	内容	
第10回	担当教員	池谷 壽夫 人間に優劣はあるのか？（1）—能力とはなにか
	内容	能力とは何か、人間を能力で比較できるのか AL: B,C
第11回	担当教員	池谷 壽夫 人間に優劣はあるのか？（2）—優生思想を考える
	内容	優生思想とは何か、ナチスがしたこと、現代日本にあるソフトな優生思想
第12回	担当教員	池谷 壽夫 「ふつう」とはなにか？（その1）
	内容	「べてるの家」の取り組みから「ふつう」を考える AL
第13回	担当教員	池谷 壽夫 「ふつう」とはなにか？（その2）
	内容	障害とは何か—障害の医療モデル、社会モデル
第14回	担当教員	自由と平等を考える（その1）
	内容	あなたは本当に「自由」か？限界の中での自由 AL:B,C
第15回	担当教員	池谷 壽夫 自由と平等を考える（その2）
	内容	平等がなぜ大事なのか、同一的平等と差別的平等

評価方法

毎回の授業における課題：10点（10%）、グループ活動での自己評価：10点（10%）、定期試験：80点（80%）、合計100点（100%）で評価する。

教科書

とくになし

参考書

- ・向谷地生良・浦河べてるの家『安心して絶望できる人生』生活人新書、NHK出版、740円(税別)
 - ・香川知晶『命は誰のものか』増補改訂版、ディスカバー携書、1200円（税別）
 - ・千葉紀和・上東麻子『ルポ「命の選別」 誰が弱者を切り捨てるのか？』文藝春秋、1700円（税別）
 - ・小松美彦他編『いのちの選択』岩波ブックレット、620円（税別）
 - ・安藤泰至『安楽死・尊厳死を語る前に知っておきたいこと』岩波ブックレット、520円（税別）
 - ・小松美彦他『〈反延命〉主義の時代』現代書館、2200円（税別）
- その他、必要に応じて提示します。

オフィスアワー

オフィスアワー詳細：金曜日・3限・池谷研究室

その他

この演習では、テーマにもとづいて、グループ学習をします。司会をつとめたり、自分の意見を表明し討論し、その結果をまとめ発表したりします。つたない意見であれ自分の考えを皆の

前でまとめ、発表しましょう。

講義コード	0004502
講義名	統計学 [看]
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名
志賀 保夫

総合学習目標

統計学とは、多くの事実を観察し、多くのデータを収集・整理し、何らかの結論を導き、限られたサンプルデータからその母集団の特徴を推察し、その推察の信頼の精度までを評価する学問です。根拠に基づく医療：EBM（Evidence Based Medicine）は看護の世界において重要です。このEBMを支えているのが統計学です。

この講義では、基本的な統計量、データのバラつきが持つ意味、統計的推定、統計的検定の考え方を理解し、また自ら統計解析を行えるようになることを目指します。

（該当するディプロマポリシー：健康科学部DP3-①）

個別学習目標

- 1) 数量データとカテゴリーデータの違いについて理解できる
- 2) 平均値・中央値・標準偏差などの基本的な統計量の意味が理解できる
- 3) 統計的推定の考え方を理解し、母平均・母比率の推定を行うことができる
- 4) 統計的検定の考え方を理解し、平均・割合の検定を行うことができる
- 5) 相関分析の考え方を理解し、相関係数を算出することができる
- 6) 相関に関する検定の考え方を理解し、検定を行うことができる

授業計画

第1回	担当教員	志賀 保夫 統計学の基礎（平均値、中央値、割合）
	内容	・統計学の対象、役割、データの尺度（カテゴリーデータや数量データ）について学ぶ ・平均、中央値、割合の見方や活用方法を学ぶ エクセル統計解析ソフトをアドインして、使えるようになる
第2回	担当教員	志賀 保夫 統計量の基礎（標準偏差、偏差値）
	内容	・集団のバラつきを調べる標準偏差や変動係数について算出方法や活用方法を学ぶ ・偏差値の算出方法、活用方法を学ぶ
第3回	担当教員	志賀 保夫 度数分布・箱ひげ図
	内容	・度数分布の階級数、階級幅の決め方、度数分布表の見方や活用方法を学ぶ ・箱ひげ図の作り方、箱ひげ図を用いて外れ値の見つけ方を学ぶ
第4回	担当教員	志賀 保夫 正規分布
	内容	・正規分布の概要、見方や活用方法を学ぶ ・正規分布かどうかを見極めるためによく使われる判定方法を学ぶ

第5回	担当教員	志賀 保夫 相関分析①(相関係数、相関図とピアソン積率相関係数)
	内容	・相関分析の種類、各種相関の見方や活用方法を学ぶ ・数量データと数量データの相関→相関図、回帰直線、ピアソン積率相関係数を学ぶ
第6回	担当教員	志賀 保夫 相関分析②(相関係数、相関比・クラメール連関係数)
	内容	・数量データとカテゴリーデータ→カテゴリー別平均、相関比を学ぶ ・カテゴリーデータ相互→クロス集計、クラメール連関係数を学ぶ
第7回	担当教員	志賀 保夫 母集団と標準誤差
	内容	・記述統計と推測統計を学ぶ ・母集団のことを知るバロメーターである標準誤差を学ぶ
第8回	担当教員	志賀 保夫 統計的推定①
	内容	・信頼度(95%CI)を学ぶ ・母集団が正規分布に従う場合の母平均の推定を学ぶ
第9回	担当教員	志賀 保夫 統計的推定②
	内容	・母集団が正規分布かどうかは不明の場合の母平均の推定を学ぶ ・母比率の推定を学ぶ
第10回	担当教員	志賀 保夫 統計的検定
	内容	・統計的検定の概要を学ぶ ・帰無仮説・対立仮説を学ぶ
第11回	担当教員	志賀 保夫 平均値に関する検定
	内容	・対応のある・対応のないとは何かを学ぶ ・母平均の差の検定を学ぶ
第12回	担当教員	志賀 保夫 割合に関する検定
	内容	・対応のある場合の母比率の検定を学ぶ ・対応のない場合の母比率の検定を学ぶ
第13回	担当教員	志賀 保夫 3群以上の母平均の差の検定
	内容	・多重比較法の概要について学ぶ ・分散分析法、ボンフェローニについて学ぶ
第14回	担当教員	志賀 保夫 相関と回帰
	内容	・関数関係・相関関係・因果関係について学ぶ ・相関関係における強さと大きさを学ぶ
第15回	担当教員	志賀 保夫 相関に関する検定
	内容	・単相関係数の無相関の検定を学ぶ ・クロス集計表のカイ2乗検定を学ぶ

評価方法

講義中に実施する中間テスト(第5回目講義時間中に実施)を30%、定期試験を70%として成績評価を行います。

教科書

【必須】

使える 5 1 の統計手法 第1版第3刷 著者：志賀保夫 姫野尚子 監修：菅民郎 2022年4月 オーム社 ¥2,750

参考書

【必須ではありません】

Excelで学ぶ統計解析入門 第1版 著者：菅民郎 2020 オーム社 ¥3,190

実務経験の有無

有

その他

・授業の中ではできる限り講師からの一方的な講義ではなく、質問を投げかけたりしながら、2wayコミュニケーションで楽しく学びます。

・授業を聞いただけで、内容を理解できるとは限りません。また受講直後が理解したつもりでも日が経つとともに理解できていなかったことに気づくことも多いと思います。わからないこと、質問など遠慮なく講師にお問い合わせください。

・授業の中では講義だけではなく、実際に無償で提供される「株式会社アイスタットExcel統計解析ver.8.9」を用いて統計解析演習を行います。

本ソフトの動作環境条件は以下となります。

以下のPC環境で解析ができる仕様ですので、こちらも参照くださいますようお願いいたします。

特に入学にあたりPCを購入される際にはご注意ください。

フリーソフト（アイスタット）の動作環境

【Windows ユーザー】

・Windows11、Windows10、日本語版マイクロソフトExcel(365,2021,2019,2016,2013,)。
ただし、Office365,Office2021,Office2019,Office2016については、「デスクトップ版」に限ります。

・Office365,Office2021,Office2019,Office2016の「ストアアプリ版」をお使いの場合は、「デスクトップ版」のOffice2021,Office2019,Office2016への変更が必要となります。

・Office Server 製品（Exchange Server、Project Server、SharePoint）には対応しておりません。

【Macユーザー】

アイスタットのフリーソフトは使用できませんので、【Windows版PC】をご準備ください。

【サポート対象外（非動作環境）】

以下の製品環境下には対応しておりません。

Office製品以外の表計算ソフト（キングジム、ジャストシステム、その他）

ストアアプリ版Office

Office Server製品

SharePoint、Skype for Business Server など

エンタープライズチャンネル

ボリュームライセンス版

Office for Mac

講義コード	0004605
講義名	情報処理演習I (ICTを含む) [看A]
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名
西川 哲夫

総合学習目標

今日では、コンピュータを操作し基本的な情報処理を行えることは、社会人の必須条件であると言っても言い過ぎではありません。医療・介護・健康分野においても、ネットワーク化や先進的なICT活用の推進に伴い、医療従事者はICTを活用するための基礎的な能力を有していることが求められています。

パソコンは大学での学習を効率的に行う上でも必要不可欠です。講義で学習した内容やインターネットなどを通じて収集した情報、様々なデータを表計算ソフトを使って解析した結果などをレポートや論文にまとめたり、その内容をプレゼンテーションスライドのかたちに簡潔にまとめて発表したりする機会が頻繁にあるからです。この授業では、そういった作業に必要な技術（ワープロソフトの利用方法、電子メール・ウェブの活用法、表計算ソフトの利用法、プレゼンテーションスライドの作成法、ファイル管理、ホームページ作成の基礎）を身につけることが目的です。

(該当するディプロマポリシー：健康科学部DP3-①)

個別学習目標

- 1) オペレーティングシステムの基本操作ができる。
- 2) ワードプロソフト (Microsoft Word 2016) を使用して文書を作成し編集できる。
- 3) 電子メールの送受信、インターネットによる情報検索ができる。
- 4) 表計算ソフト (Microsoft Excel 2016) を用いて、簡単な表計算とデータのグラフ化ができる。
- 5) プレゼンテーションスライド作成ソフト (Microsoft PowerPoint 2016) が使用できる。
- 6) 基本的なHTML言語を理解して、ホームページの成り立ちが理解できる。
- 7) 様々なソフトで作成したファイルを管理できる。

授業計画

第1回	担当教員	西川 哲夫 ガイダンス、オペレーティングシステムの基本操作
第2回	担当教員	西川 哲夫 ワープロソフトの基本 (1) 文字入力
第3回	担当教員	西川 哲夫

		電子メールの送受信
第4回	担当教員	西川 哲夫 ワープロソフトの基本（2）文書の作成、タイピング練習
第5回	担当教員	西川 哲夫 ワープロソフトの基本（3）文書の編集
第6回	担当教員	西川 哲夫 ワープロソフトの基本（4）表の作成・編集
第7回	担当教員	西川 哲夫 ワープロソフトの基本（5）図の挿入・編集
第8回	担当教員	西川 哲夫 ワープロソフトの基本（6）図形描画
第9回	担当教員	西川 哲夫 表計算ソフトの基本（1）簡単な表計算、データのグラフ化
第10回	担当教員	西川 哲夫 表計算ソフトの基本（2）簡単な統計処理
第11回	担当教員	西川 哲夫 インターネットの活用法
第12回	担当教員	西川 哲夫 プレゼンテーションスライド作成の基本
第13回	担当教員	西川 哲夫 自由にテーマを設定してのプレゼンテーションスライド作成
第14回	担当教員	西川 哲夫 ファイル管理
第15回	担当教員	西川 哲夫 HTML言語の基礎と簡単なホームページ作成

評価方法

授業中に与えた課題と、必要に応じて課される宿題の完成度をもとに成績を評価する。課題（授業内課題と宿題の両方）の未提出が1/3を超えた場合は不合格となる。

教科書

テキスト

『Office2013／2016によるコンピュータ活用入門』 坂本正徳、近藤良彦 ムイスリ出版 ¥1,500

その他

- 内容は初心者にもやさしいレベルに設定します。
- 必要に応じて課される宿題を消化すると、その日の復習になります。
- パソコンは楽しくやれるはずだし、その方がよく身につきます。なるべく楽しみながら取り組めるテーマを用意したいと思っています。

担当教員実務経験の有無, 有

講義コード	0004606
講義名	情報処理演習I (ICTを含む) [看B]
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名
西川 哲夫

総合学習目標

今日では、コンピュータを操作し基本的な情報処理を行えることは、社会人の必須条件であると言っても言い過ぎではありません。医療・介護・健康分野においても、ネットワーク化や先進的なICT活用の推進に伴い、医療従事者はICTを活用するための基礎的な能力を有していることが求められています。

パソコンは大学での学習を効率的に行う上でも必要不可欠です。講義で学習した内容やインターネットなどを通じて収集した情報、様々なデータを表計算ソフトを使って解析した結果などをレポートや論文にまとめたり、その内容をプレゼンテーションスライドのかたちに簡潔にまとめて発表したりする機会が頻繁にあるからです。この授業では、そういった作業に必要な技術（ワープロソフトの利用方法、電子メール・ウェブの活用法、表計算ソフトの利用法、プレゼンテーションスライドの作成法、ファイル管理、ホームページ作成の基礎）を身につけることが目的です。

(該当するディプロマポリシー：健康科学部DP3-①)

個別学習目標

- 1) オペレーティングシステムの基本操作ができる。
- 2) ワードプロソフト (Microsoft Word 2016) を使用して文書を作成し編集できる。
- 3) 電子メールの送受信、インターネットによる情報検索ができる。
- 4) 表計算ソフト (Microsoft Excel 2016) を用いて、簡単な表計算とデータのグラフ化ができる。
- 5) プレゼンテーションスライド作成ソフト (Microsoft PowerPoint 2016) が使用できる。
- 6) 基本的なHTML言語を理解して、ホームページの成り立ちが理解できる。
- 7) 様々なソフトで作成したファイルを管理できる。

授業計画

第1回	担当教員	西川 哲夫 ガイダンス、オペレーティングシステムの基本操作
第2回	担当教員	西川 哲夫 ワープロソフトの基本 (1) 文字入力
第3回	担当教員	西川 哲夫

		電子メールの送受信
第4回	担当教員	西川 哲夫 ワープロソフトの基本（2）文書の作成、タイピング練習
第5回	担当教員	西川 哲夫 ワープロソフトの基本（3）文書の編集
第6回	担当教員	西川 哲夫 ワープロソフトの基本（4）表の作成・編集
第7回	担当教員	西川 哲夫 ワープロソフトの基本（5）図の挿入・編集
第8回	担当教員	西川 哲夫 ワープロソフトの基本（6）図形描画
第9回	担当教員	西川 哲夫 表計算ソフトの基本（1）簡単な表計算、データのグラフ化
第10回	担当教員	西川 哲夫 表計算ソフトの基本（2）簡単な統計処理
第11回	担当教員	西川 哲夫 インターネットの活用法
第12回	担当教員	西川 哲夫 プレゼンテーションスライド作成の基本
第13回	担当教員	西川 哲夫 自由にテーマを設定してのプレゼンテーションスライド作成
第14回	担当教員	西川 哲夫 ファイル管理
第15回	担当教員	西川 哲夫 HTML言語の基礎と簡単なホームページ作成

評価方法

授業中に与えた課題と、必要に応じて課される宿題の完成度をもとに成績を評価する。課題（授業内課題と宿題の両方）の未提出が1/3を超えた場合は不合格となる。

教科書

テキスト

『Office2013／2016によるコンピュータ活用入門』 坂本正徳、近藤良彦 ムイスリ出版 ¥1,500

その他

- 内容は初心者にもやさしいレベルに設定します。
- 必要に応じて課される宿題を消化すると、その日の復習になります。
- パソコンは楽しくやれるはずだし、その方がよく身につきます。なるべく楽しみながら取り組めるテーマを用意したいと思っています。

担当教員実務経験の有無, 有

講義コード	0004807
講義名	総合英語I[水1]
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名

Kristine A.Recabar

総合学習目標

This course is an introductory to Medical English in which vocabulary, reading and listening activities will be incorporated. Visual materials to further explain the situation would also be utilized with appropriate explanation. Application of the lessons learned is the main approach while linking them to actual situation experience. After this class, students are expected to be more accustomed to medical terms and can use them in a proper situation.

この授業は単語、リーディング、リスニングを通して初級医療英語を学ぶことを目的とする。また、授業内容がどのようなシーンで活用できるのか理解するため、視覚教材を使用する。履修の後には、実際の医療シーンにおいて、英語表現を使用できるようにする。

ディプロマポリシー健康科学部DP1-②,DP2-①

個別学習目標

1. To familiarize jargons related to the medical field.
2. To learn how to incorporate words in actual usage through situations.
3. To be able to have a full grasp of the language and application when the situation demands.

- 1.医療分野に関連する専門用語を理解する。
- 2.状況を通して実際の使用法に単語を組み込む方法を学ぶ。
- 3.状況に応じて、言語とアプリケーションを完全に把握できるようにする。

授業計画

第1回	担当教員	Introduction Unit 1 May I Help You?
	内容	Lesson Introduction Vocabulary and Listening AL: A
第2回	担当教員	Unit 1 May I Help You?
	内容	Reading and Further Study AL: A
第3回	担当教員	Unit 2 Where Do You Live?
	内容	Vocabulary and Listening AL: A
第4回	担当教員	Unit 2 Where Do You Live?
	内容	Reading and Further Study AL: A

第5回	担当教員	Unit 3 Do You Have an Insurance Card?
	内容	Vocabulary and Listening AL: A
第6回	担当教員	Unit 3 Do You Have an Insurance Card?
	内容	Reading and Further Study AL: A
第7回	担当教員	Quiz Unit 1-3 Unit 4 What Department Do You Want to Visit?
	内容	Vocabulary Discussion AL: A
第8回	担当教員	Quiz Review Unit 4 What Department Do You Want to Visit?
	内容	Reading Further Study AL: B
第9回	担当教員	Unit 5 What Are Your Symptoms?
	内容	Vocabulary and Listening AL: B
第10回	担当教員	Kristine A.Recabar Unit 5 What Are Your Symptoms?
	内容	Reading and Further Study AL: B
第11回	担当教員	Unit 6 Take One Tablet Three Times a Day
	内容	Vocabulary and Listening AL: B
第12回	担当教員	Unit 6 Take One Tablet Three Times a Day
	内容	Reading and Further Study AL: B
第13回	担当教員	Short Quiz Unit 4-6 Unit 7 You're Suffering from Hay Fever
	内容	AL: C
第14回	担当教員	Review of Quiz Unit 7 You're Suffering from Hay Fever
	内容	AL:C
第15回	担当教員	Comprehensive Review Unit 1-7
	内容	AL: BC

評価方法

Final Exam(40%) Short Quiz (30%) Vocabulary Test (10%) Placement Test (20%) a total of 100%.

期末試験 (40%)、小テスト(30%) 語彙テスト(10%) プレイスメントテスト (20%) の合計 (100%) で評価する。

教科書

テキスト :

Check-Up

Basic English for Nursing

Author: Akihiko Higuchi/ John Tremarco

定価: ¥ 1,900 (税込 ¥ 2,090)

Kinseido Publishing Co., Ltd

参考書

Additional material and sources will be provided. The Text is NOT the only source of this class. Other in-class activities will be held for application of lessons discussed.

教科書に加えて授業内で配布する追加資料があります。

オフィスアワー

I'm in the university on Wednesday and Thursday only.

実務経験の有無

No.

その他

Others:

Attendance is important; however, participation is highly encouraged.

Please bring your dictionary to class. Smartphones are not allowed in class.

I'm in the university on Wednesday and Thursday only.

Should you have any questions, please email me at kristine-a-recabar@ryotokuji-u.ac.jp.

授業に出席するだけでなく、積極的な参加を推奨しています。辞書を持参してください。携帯電話の辞書は使用不可とする。質問などは kristine-a-recabar@ryotokuji-u.ac.jp にいつでもメールしてください

講義コード	0004808
講義名	総合英語I[水1]
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名	深津 聡世
----	-------

総合学習目標

本講義では、看護師として現場で必要とされる基本的な英語力を身につけることを目的にします。日本語を理解できない患者とのコミュニケーションはもちろん、カルテの内容を理解するためにも、医療英語に関する知識はある程度必要です。看護師としての仕事を円滑に進めるために、医療英語の基礎を学びましょう。講義では教科書に従い、問題演習形式で重要な専門用語（＝医療英語の英単語）を学びます。また、患者とのコミュニケーションを想定した会話を、ペアワーク（もしくはグループワーク）を通じて学びます。2 Unitごとに行われる小テストの他に、毎授業単語テストを行います。

健康科学部DP 1-①、DP 1-②、DP 3-②に該当する。

個別学習目標

1. 医療英語の基礎的な単語の意味を理解することができる。
2. 簡単な英語で会話をすることができる。
3. 基本的な英文を理解することができる。

準備学修

1. 教科書の該当する項目(Vocabulary, Conversation, Language Practice, Pronunciation, Let's talk)を一読し、単語の意味と発音を事前に調べてください。また、単語テストを行うため、単語の暗記を行ってください。(30分)
2. 小テストがある場合は、範囲である教科書の該当箇所の問題を、再度解いてください。(60分)

授業計画

第1回	担当教員	深津 聡世 授業の説明
	内容	授業の進め方、評価の方法等を説明します。その後、自己紹介を行います。
第2回	担当教員	深津 聡世 Unit 1の問題演習
	内	Vocabulary と Conversationを解き、答え合わせをします。Conversationの部分で

	容	は、ペアワーク（もしくはグループワーク）を通し、会話練習をします。 B
第3回	担当 教員	深津 聡世 Unit 1の問題演習 つづき
	内容	Language Practice, Pronunciation, Let's talkに取り組みます。Language Practiceは基本的な文法について勉強する項目です。問題を解き、答え合わせをします。Pronunciationは英語の発音のコツを、音のつながりやイントネーションに注意し学ぶ項目です。Let's talkでは、ペア（もしくはグループ）で看護師と患者の会話を英作文します。出来上がった会話を発表してもらいます。 B
第4回	担当 教員	深津 聡世 Unit 2の問題演習
	内容	Vocabulary と Conversationを解き、答え合わせをします。Conversationの部分では、ペアワーク（もしくはグループワーク）を通し、会話練習をします。 B
第5回	担当 教員	深津 聡世 Unit 2の問題演習 つづき
	内容	Language Practice, Pronunciation, Let's talkに取り組みます。Language Practiceは基本的な文法について勉強する項目です。問題を解き、答え合わせをします。Procunciationは英語の発音のコツを、音のつながりやイントネーションに注意し学ぶ項目です。Let's talkでは、ペア（もしくはグループ）で看護師と患者の会話を英作文します。出来上がった会話を発表してもらいます。 B
第6回	担当 教員	深津 聡世 1. Unit 1とUnit 2の小テスト 2. Unit 3の問題演習
	内容	まず、Unit 1と2で学んだ内容を小テストを通し確認します（教科書の問題からそのまま出題します）。成績評価に関わるので準備をするようにしてください。次に、Unit 3に進みます。Vocabulary と Conversationを解き、答え合わせをします。Conversationの部分では、ペアワーク（もしくはグループワーク）を通し、会話練習をします。 B
第7回	担当 教員	深津 聡世 Unit 3の問題演習 つづき
	内容	Language Practice, Pronunciation, Let's talkに取り組みます。Language Practiceは基本的な文法について勉強する項目です。問題を解き、答え合わせをします。Pronunciationは英語の発音のコツを、音のつながりやイントネーションに注意し学ぶ項目です。Let's talkでは、ペア（もしくはグループ）で看護師と患者の会話を英作文します。出来上がった会話を発表してもらいます。 B
第8回	担当 教員	深津 聡世 Unit 4の問題演習
	内容	Vocabulary と Conversationを解き、答え合わせをします。Conversationの部分では、ペアワーク（もしくはグループワーク）を通し、会話練習をします。 B
	担当 教員	深津 聡世 Unit 4の問題演習 つづき

第 回	内容	Language Practice, Pronunciation, Let's talkに取り組みます。Language Practiceは基本的な文法について勉強する項目です。問題を解き、答え合わせをします。Pronunciationは英語の発音のコツを、音のつながりやイントネーションに注意し学ぶ項目です。Let's talkでは、ペア（もしくはグループ）で看護師と患者の会話を英作文します。出来上がった会話を発表してもらいます。 B
第10回	担当教員	深津 聡世 1. Unit 3とUnit 4の小テスト 2. Unit 5の問題演習
	内容	まず、Unit 3と4で学んだ内容を小テストを通し確認します（教科書の問題からそのまま出題します）。次に、Unit 5に進みます。Vocabulary と Conversationを解き、答え合わせをします。Conversationの部分では、ペアワーク（もしくはグループワーク）を通し、会話練習をします。 B
第11回	担当教員	深津 聡世 Unit 5の問題演習 つづき
	内容	Language Practice, Pronunciation, Let's talkに取り組みます。Language Practiceは基本的な文法について勉強する項目です。問題を解き、答え合わせをします。Pronunciationは英語の発音のコツを、音のつながりやイントネーションに注意し学ぶ項目です。Let's talkでは、ペア（もしくはグループ）で看護師と患者の会話を英作文します。出来上がった会話を発表してもらいます。 B
第12回	担当教員	深津 聡世 Unit 6の問題演習
	内容	Vocabulary と Conversationを解き、答え合わせをします。Conversationの部分では、ペアワーク（もしくはグループワーク）を通し、会話練習をします。 B
第13回	担当教員	深津 聡世 Unit 6の問題演習 つづき
	内容	Language Practice, Pronunciation, Let's talkに取り組みます。Language Practiceは基本的な文法について勉強する項目です。問題を解き、答え合わせをします。Pronunciationは英語の発音のコツを、音のつながりやイントネーションに注意し学ぶ項目です。Let's talkでは、ペア（もしくはグループ）で看護師と患者の会話を英作文します。出来上がった会話を発表してもらいます。 B
第14回	担当教員	深津 聡世 1. Unit 3とUnit 4の小テスト 2. 全体の復習
	内容	まず、Unit 5と6で学んだ内容を小テストを通し確認します（教科書の問題からそのまま出題します）。次に、学期全体の復習を行います。 B
第15回	担当教員	深津 聡世 1. 学期のまとめ 2. 解説
	内容	まず、学期全体の総復習を行うために、Unit 1～6に関するテストを行います。次に、そのテストで出題した問題に基づき解説を行います。

評価方法

1. プレイメント・テスト：20点（20%）
2. 単語テスト：10点（10%）

- 3. 小テスト：20点（20%）
- 3. 期末試験：30点（30%）
- 4. 授業参画（授業への貢献度）：20点（20%）

以上、計100点満点で評価します。

教科書

- ・濱田真由美監修、竹林修一編著、『実践看護英語—専門用語の習得と英会話能力の養成』
- ・プリント（授業中に配布）

参考書

授業中に適宜指示します。

オフィスアワー

質問等は授業開始前、もしくは授業後に受け付けます。その他、メールでも随時受け付けます（メールアドレスはあとで公開します）。

実務経験の有無

無

その他

以上に記した授業計画は暫定的なものです。必要に応じて変更することがあります。スマートフォンを使う場合は、辞書機能のみに限定してください。

講義コード	0004809
講義名	総合英語I[水1]
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名
磯野 真之介

総合学習目標

医療現場では、日本語話者以外の患者さんとコミュニケーションをとることが求められる可能性があります。そうした場面に備え、医療に関わる語彙・表現を習得するとともに、英語の基本的な語彙・表現や文法を改めて学習します。4技能（リーディング・ライティング・リスニング・スピーキング）を総合的に訓練します。

看護学科DP1-①、3-②、4-②に該当します。

個別学習目標

- ▽教科書に出てくる医療に関する表現を使うことができる。
- ▽医療関係以外の英語の基礎的な表現を使うことができる。
- ▽自分が使える表現を活用して、英語で他者とコミュニケーションができる。

準備学修

講義前に教科書に目を通し、知らない単語については辞書で調べておくこと（30分）。講義後に再度教科書に目を通し、語彙や文法事項について復習すること（60分）。わからない部分があれば講義前後に直接きくかメールで聞いてください。

授業計画

第1回	担当教員	磯野 真之介 ガイダンス
	内容	ガイダンス、英語で他己紹介 AL: B
第2回	担当教員	磯野 真之介 Unit 1 Getting to know the patients 1
	内容	Vocabulary, Conversation AL: B
第3回	担当教員	磯野 真之介 Unit 1 Getting to know the patients 1
	内容	Language practice, Pronunciation, Let's talk AL: B
第4回	担当教員	磯野 真之介 Unit 2 Getting to know the patients 2
	内容	Vocabulary, Conversation AL: B
	担当教員	磯野 真之介 Unit 2 Getting to know the patients 2

第5回	内容	Language practice, Pronunciation, Let's talk AL: B
第6回	担当教員	磯野 真之介 Unit 3 Getting to know the patients 3
	内容	小テスト (Unit 1, 2) Vocabulary, Conversation AL: B
第7回	担当教員	磯野 真之介 Unit 3 Getting to know the patients 3
	内容	Language practice, Pronunciation, Let's talk AL: B
第8回	担当教員	磯野 真之介 Unit 4 Getting to know the patients 4
	内容	Vocabulary, Conversation AL: B
第9回	担当教員	磯野 真之介 Unit 4 Getting to know the patients 4
	内容	Language practice, Pronunciation, Let's talk AL: B
第10回	担当教員	磯野 真之介 Unit 5 Examination 1
	内容	小テスト (Unit 3, 4) Vocabulary, Conversation AL: B
第11回	担当教員	磯野 真之介 Unit 5 Examination 1
	内容	Language practice, Pronunciation, Let's talk AL: B
第12回	担当教員	磯野 真之介 Unit 6 Examination 2
	内容	Vocabulary, Conversation AL: B
第13回	担当教員	磯野 真之介 Unit 6 Examination 2
	内容	Language practice, Pronunciation, Let's talk AL: B
第14回	担当教員	磯野 真之介 復習
	内容	小テスト (Unit 5, 6) これまでの内容の復習 (進捗による)
第15回	担当教員	磯野 真之介 学期のまとめ
	内容	学期のまとめテスト、解説

評価方法

- ▽プレイスメントテスト20%
- ▽授業中の発言・グループワーク 20%
- ▽小テスト 30%
- ▽学期のまとめテスト 30%

教科書

『実践看護英語 専門用語の習得と英会話能力の養成』濱田眞由美監修・竹林修一編著 英宝社
定価2090円

オフィスアワー

質問はメールで受け付けます (s-isono@ryotokuji-u.ac.jp) 。

実務経験の有無

有

講義コード	0004810
講義名	総合英語I[水2]
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名
Kristine A.Recabar

総合学習目標

This course is an introductory to Medical English in which vocabulary, reading and listening activities will be incorporated. Visual materials to further explain the situation would also be utilized with appropriate explanation. Application of the lessons learned is the main approach while linking them to actual situation experience. After this class, students are expected to be more accustomed to medical terms and can use them in a proper situation.

この授業は単語、リーディング、リスニングを通して初級医療英語を学ぶことを目的とする。また、授業内容がどのようなシーンで活用できるのか理解するため、視覚教材を使用する。履修の後には、実際の医療シーンにおいて、英語表現を使用できるようにする。

ディプロマポリシー健康科学部DP1-②,DP2-①

個別学習目標

1. To familiarize jargons related to the medical field.
2. To learn how to incorporate words in actual usage through situations.
3. To be able to have a full grasp of the language and application when the situation demands.

- 1.医療分野に関連する専門用語を理解する。
- 2.状況を通して実際の使用法に単語を組み込む方法を学ぶ。
- 3.状況に応じて、言語とアプリケーションを完全に把握できるようにする。

授業計画

第1回	担当教員	Lesson Introduction Unit 1:May I Help you?
	内容	Vocabulary and Listening AL: A
第2回	担当教員	Unit 1 May I Help You?
	内容	Reading and Further Study AL: A
第3回	担当教員	Unit 2: Where Do You Live?
	内容	Vocabulary and Listening AL: A
第4回	担当教員	Unit 2: Where Do You Live?
	内容	Reading and Further Study AL: A
	担当教員	Unit 3: Do You Have an Insurance Card?

第5回	内容	Vocabulary and Listening AL: A
第6回	担当教員	Unit 3: Do You Have an Insurance Card?
	内容	Reading and Further Study AL: A
第7回	担当教員	Short Quiz Unit 1-3 Unit 4: What Department Do You Want to Visit?
	内容	Vocabulary Discussion AL: A
第8回	担当教員	Quiz Review Unit 4: What Department Do You Want to Visit?
	内容	Reading and Further Study AL:B
第9回	担当教員	Unit 5: What Are Your Symptoms?
	内容	Vocabulary and Listening AL:B
第10回	担当教員	Unit 5: What Are Your Symptoms?
	内容	Reading and Further Study AL:B
第11回	担当教員	Unit 6: Take One Tablet Three Times a Day
	内容	Vocabulary and Listening AL: B
第12回	担当教員	Unit 6: Take One Tablet Three Times a Day
	内容	Reading and Further Study AL:B
第13回	担当教員	Short Quiz Unit 4-6 Unit 7: You're Suffering from Hay Fever
	内容	Vocabulary and Listening AL: BAL:C
第14回	担当教員	Quiz Review Unit 7: You're Suffering from Hay Fever
	内容	Reading and Further Study AL: C
第15回	担当教員	Comprehensive Review Unit 1-7
	内容	AL: BC

評価方法

Final Exam(40%) Short Quiz (30%) Vocabulary Test (10%) Placement Test (20%) a total of 100%.

期末試験 (40%)、小テスト(30%) 語彙テスト(10%) プレイスメントテスト (20%) の合計 (100%) で評価する。

教科書

テキスト :

Check-Up

Basic English for Nursing

Author: Akihiko Higuchi/ John Tremarco

定価: ¥ 1,900 (税込 ¥ 2,090)

Kinseido Publishing Co., Ltd

参考書

Additional material and sources will be provided. The Text is NOT the only source of this class. Other in-

class activities will be held for application of lessons discussed.
教科書に加えて授業内で配布する追加資料があります。

オフィスアワー

I'm in the university on Wednesday and Thursday only.

実務経験の有無

No.

その他

Others:

Attendance is important; however, participation is highly encouraged.

Please bring your dictionary to class. Smartphones are not allowed in class.

I'm in the university on Wednesday and Thursday only.

Should you have any questions, please email me at kristine-a-recabar@ryotokuji-u.ac.jp.

授業に出席するだけでなく、積極的な参加を推奨しています。辞書を持参してください。携帯電話の辞書は使用不可とする。質問などは kristine-a-recabar@ryotokuji-u.ac.jp にいつでもメールしてください。

講義コード	0004811
講義名	総合英語I[水2]
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名	
深津 聡世	

総合学習目標

本講義では、看護師として現場で必要とされる基本的な英語力を身につけることを目的にします。日本語を理解できない患者とのコミュニケーションはもちろん、カルテの内容を理解するためにも、医療英語に関する知識はある程度必要です。看護師としての仕事を円滑に進めるために、医療英語の基礎を学びましょう。講義では教科書に従い、問題演習形式で重要な専門用語（＝医療英語の英単語）を学びます。また、患者とのコミュニケーションを想定した会話を、ペアワーク（もしくはグループワーク）を通じて学びます。2 Unitごとに行われる小テストの他に、毎授業単語テストを行います。

健康科学部DP 1-①、DP 1-②、DP 3-②に該当する。

個別学習目標

1. 医療英語の基礎的な単語の意味を理解することができる。
2. 簡単な英語で会話をすることができる。
3. 基本的な英文を理解することができる。

準備学修

1. 教科書の該当する項目(Vocabulary, Conversation, Language Practice, Pronunciation, Let's talk)を一読し、単語の意味と発音を事前に調べてください。また、単語テストを行うため、単語の暗記を行ってください。(30分)
2. 小テストがある場合は、範囲である教科書の該当箇所の問題を、再度解いてください。(60分)

授業計画

第1回	担当教員	深津 聡世 授業の説明
	内容	授業の進め方、評価の方法等を説明します。その後、自己紹介を行います。
第2回	担当教員	深津 聡世 Unit 1の問題演習
	内	Vocabulary と Conversationを解き、答え合わせをします。Conversationの部分で

	容	は、ペアワーク（もしくはグループワーク）を通し、会話練習をします。 B
第3回	担当 教員	深津 聡世 Unit 1の問題演習 つづき
	内容	Language Practice, Pronunciation, Let's talkに取り組みます。Language Practiceは基本的な文法について勉強する項目です。問題を解き、答え合わせをします。Pronunciationは英語の発音のコツを、音のつながりやイントネーションに注意し学ぶ項目です。Let's talkでは、ペア（もしくはグループ）で看護師と患者の会話を英作文します。出来上がった会話を発表してもらいます。 B
第4回	担当 教員	深津 聡世 Unit 2の問題演習
	内容	Vocabulary と Conversationを解き、答え合わせをします。Conversationの部分では、ペアワーク（もしくはグループワーク）を通し、会話練習をします。 B
第5回	担当 教員	深津 聡世 Unit 2の問題演習 つづき
	内容	Language Practice, Pronunciation, Let's talkに取り組みます。Language Practiceは基本的な文法について勉強する項目です。問題を解き、答え合わせをします。Procunciationは英語の発音のコツを、音のつながりやイントネーションに注意し学ぶ項目です。Let's talkでは、ペア（もしくはグループ）で看護師と患者の会話を英作文します。出来上がった会話を発表してもらいます。 B
第6回	担当 教員	深津 聡世 1. Unit 1とUnit 2の小テスト 2. Unit 3の問題演習
	内容	まず、Unit 1と2で学んだ内容を小テストを通し確認します（教科書の問題からそのまま出題します）。成績評価に関わるので準備をするようにしてください。次に、Unit 3に進みます。Vocabulary と Conversationを解き、答え合わせをします。Conversationの部分では、ペアワーク（もしくはグループワーク）を通し、会話練習をします。 B
第7回	担当 教員	深津 聡世 Unit 3の問題演習 つづき
	内容	Language Practice, Pronunciation, Let's talkに取り組みます。Language Practiceは基本的な文法について勉強する項目です。問題を解き、答え合わせをします。Pronunciationは英語の発音のコツを、音のつながりやイントネーションに注意し学ぶ項目です。Let's talkでは、ペア（もしくはグループ）で看護師と患者の会話を英作文します。出来上がった会話を発表してもらいます。 B
第8回	担当 教員	深津 聡世 Unit 4の問題演習
	内容	Vocabulary と Conversationを解き、答え合わせをします。Conversationの部分では、ペアワーク（もしくはグループワーク）を通し、会話練習をします。 B
	担当 教員	深津 聡世 Unit 4の問題演習 つづき

第 回	内容	Language Practice, Pronunciation, Let's talkに取り組みます。Language Practiceは基本的な文法について勉強する項目です。問題を解き、答え合わせをします。Pronunciationは英語の発音のコツを、音のつながりやイントネーションに注意し学ぶ項目です。Let's talkでは、ペア（もしくはグループ）で看護師と患者の会話を英作文します。出来上がった会話を発表してもらいます。 B
第10回	担当教員	深津 聡世 1. Unit 3とUnit 4の小テスト 2. Unit 5の問題演習
	内容	まず、Unit 3と4で学んだ内容を小テストを通し確認します（教科書の問題からそのまま出題します）。次に、Unit 5に進みます。Vocabulary と Conversationを解き、答え合わせをします。Conversationの部分では、ペアワーク（もしくはグループワーク）を通し、会話練習をします。 B
第11回	担当教員	深津 聡世 Unit 5の問題演習 つづき
	内容	Language Practice, Pronunciation, Let's talkに取り組みます。Language Practiceは基本的な文法について勉強する項目です。問題を解き、答え合わせをします。Pronunciationは英語の発音のコツを、音のつながりやイントネーションに注意し学ぶ項目です。Let's talkでは、ペア（もしくはグループ）で看護師と患者の会話を英作文します。出来上がった会話を発表してもらいます。 B
第12回	担当教員	深津 聡世 Unit 6の問題演習
	内容	Vocabulary と Conversationを解き、答え合わせをします。Conversationの部分では、ペアワーク（もしくはグループワーク）を通し、会話練習をします。 B
第13回	担当教員	深津 聡世 Unit 6の問題演習 つづき
	内容	Language Practice, Pronunciation, Let's talkに取り組みます。Language Practiceは基本的な文法について勉強する項目です。問題を解き、答え合わせをします。Pronunciationは英語の発音のコツを、音のつながりやイントネーションに注意し学ぶ項目です。Let's talkでは、ペア（もしくはグループ）で看護師と患者の会話を英作文します。出来上がった会話を発表してもらいます。 B
第14回	担当教員	深津 聡世 1. Unit 3とUnit 4の小テスト 2. 全体の復習
	内容	まず、Unit 5と6で学んだ内容を小テストを通し確認します（教科書の問題からそのまま出題します）。次に、学期全体の復習を行います。 B
第15回	担当教員	深津 聡世 1. 学期のまとめ 2. 解説
	内容	まず、学期全体の総復習を行うために、Unit 1～6に関するテストを行います。次に、そのテストで出題した問題に基づき解説を行います。

評価方法

1. プレイメント・テスト：20点（20%）
2. 単語テスト：10点（10%）

- 3. 小テスト：20点（20%）
- 3. 期末試験：30点（30%）
- 4. 授業参画（授業への貢献度）：20点（20%）

以上、計100点満点で評価します。

教科書

- ・濱田真由美監修、竹林修一編著、『実践看護英語—専門用語の習得と英会話能力の養成』
- ・プリント（授業中に配布）

参考書

授業中に適宜指示します。

オフィスアワー

質問等は授業開始前、もしくは授業後に受け付けます。その他、メールでも随時受け付けます（メールアドレスはあとで公開します）。

実務経験の有無

無

その他

以上に記した授業計画は暫定的なものです。必要に応じて変更することがあります。スマートフォンを使う場合は、辞書機能のみに限定してください。

講義コード	0004812
講義名	総合英語I[水2]
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名
磯野 真之介

総合学習目標

医療現場では、日本語話者以外の患者さんとコミュニケーションをとることが求められる可能性があります。そうした場面に備え、医療に関わる語彙・表現を習得するとともに、英語の基本的な語彙・表現や文法を改めて学習します。4技能（リーディング・ライティング・リスニング・スピーキング）を総合的に訓練します。

看護学科DP1-①、3-②、4-②に該当します。

個別学習目標

- ▽教科書に出てくる医療に関する表現を使うことができる。
- ▽医療関係以外の英語の基礎的な表現を使うことができる。
- ▽自分が使える表現を活用して、英語で他者とコミュニケーションができる。

準備学修

講義前に教科書に目を通し、知らない単語については辞書で調べておくこと（30分）。講義後に再度教科書に目を通し、語彙や文法事項について復習すること（60分）。わからない部分があれば講義前後に直接きくかメールで聞いてください。

授業計画

第1回	担当教員	磯野 真之介 ガイダンス
	内容	ガイダンス、英語で他己紹介 AL: B
第2回	担当教員	磯野 真之介 Unit 1 Getting to know the patients 1
	内容	Vocabulary, Conversation AL: B
第3回	担当教員	磯野 真之介 Unit 1 Getting to know the patients 1
	内容	Language practice, Pronunciation, Let's talk AL: B
第4回	担当教員	磯野 真之介 Unit 2 Getting to know the patients 2
	内容	Vocabulary, Conversation AL: B
	担当教員	磯野 真之介 Unit 2 Getting to know the patients 2

第5回	内容	Language practice, Pronunciation, Let's talk AL: B
第6回	担当教員	磯野 真之介 Unit 3 Getting to know the patients 3
	内容	小テスト (Unit 1, 2) Vocabulary, Conversation AL: B
第7回	担当教員	磯野 真之介 Unit 3 Getting to know the patients 3
	内容	Language practice, Pronunciation, Let's talk AL: B
第8回	担当教員	磯野 真之介 Unit 4 Getting to know the patients 4
	内容	Vocabulary, Conversation AL: B
第9回	担当教員	磯野 真之介 Unit 4 Getting to know the patients 4
	内容	Language practice, Pronunciation, Let's talk AL: B
第10回	担当教員	磯野 真之介 Unit 5 Examination 1
	内容	小テスト (Unit 3, 4) Vocabulary, Conversation AL: B
第11回	担当教員	磯野 真之介 Unit 5 Examination 1
	内容	Language practice, Pronunciation, Let's talk AL: B
第12回	担当教員	磯野 真之介 Unit 6 Examination 2
	内容	Vocabulary, Conversation AL: B
第13回	担当教員	磯野 真之介 Unit 6 Examination 2
	内容	Language practice, Pronunciation, Let's talk AL: B
第14回	担当教員	磯野 真之介 復習
	内容	小テスト (Unit 5, 6) これまでの内容の復習 (進捗による)
第15回	担当教員	磯野 真之介 学期のまとめ
	内容	学期のまとめテスト、解説

評価方法

- ▽プレイスメントテスト20%
- ▽授業中の発言・グループワーク 20%
- ▽小テスト 30%
- ▽学期のまとめテスト 30%

教科書

『実践看護英語 専門用語の習得と英会話能力の養成』濱田眞由美監修・竹林修一編著 英宝社
定価2090円

オフィスアワー

質問はメールで受け付けます (s-isono@ryotokuji-u.ac.jp) 。

実務経験の有無

有

講義コード	0004902
講義名	総合英語II[水1]
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名
磯野 真之介

総合学習目標

医療現場では、日本語話者以外の患者さんとコミュニケーションをとることが求められる可能性があります。そうした場面に備え、医療に関わる語彙・表現を習得するとともに、英語の基本的な語彙・表現や文法を改めて学習します。4技能（リーディング・ライティング・リスニング・スピーキング）を総合的に訓練します。

看護学科DP1-①、3-②、4-②に該当します。

個別学習目標

- ▽教科書に出てくる医療に関する表現を使うことができる。
- ▽医療関係以外の英語の基礎的な表現を使うことができる。
- ▽自分が使える表現を活用して、英語で他者とコミュニケーションができる。

準備学修

講義前に教科書に目を通し、知らない単語については辞書で調べておくこと（30分）。講義後に再度教科書に目を通し、語彙や文法事項について復習すること（60分）。わからない部分があれば講義前後に直接きくかメールで聞いてください。

授業計画

第1回	担当教員	磯野 真之介 Unit 7 Instructing medication
	内容	Vocabulary, Conversation AL: B
第2回	担当教員	磯野 真之介 Unit 7 Instructing medication
	内容	Language practice, Pronunciation, Let's talk AL: B
第3回	担当教員	磯野 真之介 Unit 8 Treating the patients 1
	内容	Vocabulary, Conversation AL: B
第4回	担当教員	磯野 真之介 Unit 8 Treating the patients 1
	内容	Language practice, Pronunciation, Let's talk AL: B
	担当教員	磯野 真之介 Unit 9 Treating the patients 2

第5回	内容	小テスト (Unit 7, 8) Vocabulary, Conversation AL: B
第6回	担当教員	磯野 真之介 Unit 9 Treating the patients 2
	内容	Language practice, Pronunciation, Let's talk AL: B
第7回	担当教員	磯野 真之介 Unit 10 Treating the patients 3
	内容	Vocabulary, Conversation AL: B
第8回	担当教員	磯野 真之介 Unit 10 Treating the patients 3
	内容	Language practice, Pronunciation, Let's talk AL: B
第9回	担当教員	磯野 真之介 Unit 11 Operation
	内容	小テスト (Unit 9, 10) Vocabulary, Conversation AL: B
第10回	担当教員	磯野 真之介 Unit 11 Operation
	内容	Language practice, Pronunciation, Let's talk AL: B
第11回	担当教員	磯野 真之介 Unit 12 Pregnancy
	内容	Vocabulary, Conversation AL: B
第12回	担当教員	磯野 真之介 Unit 12 Pregnancy
	内容	Language practice, Pronunciation, Let's talk AL: B
第13回	担当教員	磯野 真之介 Unit 13 In the hospital
	内容	小テスト (Unit 11, 12) Vocabulary, Conversation AL: B
第14回	担当教員	磯野 真之介 Unit 13 In the hospital
	内容	Language practice, Pronunciation, Let's talk AL: B
第15回	担当教員	磯野 真之介 学期のまとめ
	内容	学期のまとめテスト、解説

評価方法

- ▽プレイスメントテスト20%
- ▽授業中の発言・グループワーク 20%
- ▽小テスト 30%
- ▽学期のまとめテスト 30%

教科書
『実践看護英語 専門用語の習得と英会話能力の養成』濱田眞由美監修・竹林修一編著 英宝社 定価2090円
オフィスアワー
質問はメールで受け付けます (s-isono@ryotokuji-u.ac.jp) 。
実務経験の有無
有

講義コード	0004903
講義名	総合英語II[水1]
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名
Kristine A.Recabar

総合学習目標

This course is a continuation of Medical English that we discussed in Semester 1 in which vocabulary, reading and listening activities will be incorporated. Visual materials to further explain the situation would also be utilized with appropriate explanation. Application of the lessons learned is the main approach while linking them to actual situation experience. After this class, students are expected to be more accustomed to medical terms and can use them in a proper situation.

この授業は単語、リーディング、リスニングを通して初級医療英語を学ぶことを目的とする。また、授業内容がどのようなシーンで活用できるのか理解するため、視覚教材を使用する。履修の後には、実際の医療シーンにおいて、英語表現を使用できるようにする。

ディプロマポリシー健康科学部DP1-②,DP2-①

個別学習目標

1. To familiarize jargons related to the medical field.
2. To learn how to incorporate words in actual usage through situations.
3. To be able to have a full grasp of the language and application when the situation demands.

- 1.医療分野に関連する専門用語を理解する。
- 2.状況を通して実際の使用法に単語を組み込む方法を学ぶ。
- 3.状況に応じて、言語とアプリケーションを完全に把握できるようにする。

授業計画

第1回	担当教員	Kristine A.Recabar Introduction Unit 8 What Kind of Pain Is It?
	内容	Vocabulary and Listening AL: A
第2回	担当教員	Unit 8 What Kind of Pain Is It?
	内容	Reading and Further Study AL: A
第3回	担当教員	Unit 9 Let's Check Your Daily Activities
	内容	Vocabulary and Listening AL: A
第4回	担当教員	Unit 9 Let's Check Your Daily Activities
		Reading and Further Study

	内容	AL: A
第5回	担当教員	Unit 10 Let's Check Your Pulse and Blood Pressure
	内容	Vocabulary and Listening AL: A
第6回	担当教員	Unit 10 Let's Check Your Pulse and Blood Pressure
	内容	Reading and Further Study AL: A
第7回	担当教員	Short Quiz Unit 8-10 Unit 11 It's Going to Be a Long Day!
	内容	Vocabulary Discussion AL: B
第8回	担当教員	Quiz Review Unit 11 It's Going to Be a Long Day!
	内容	Listening, Reading and Further Study AL: B
第9回	担当教員	Unit 12 You Have High Blood Sugar Levels
	内容	Vocabulary and Listening AL: B
第10回	担当教員	Unit 12 You Have High Blood Sugar Levels
	内容	Reading and Further Study AL: A
第11回	担当教員	Kristine A.Recabar Unit 13 You Need to Control Your Diet
	内容	Vocabulary and Listening AL: A
第12回	担当教員	Unit 13 You Need to Control Your Diet
	内容	Reading and Further Study AL: B
第13回	担当教員	Short Quiz Unit 11-13 Unit 14 You Need to Be Hospitalized
	内容	AL: C
第14回	担当教員	Quiz Review Unit 14 You Need to Be Hospitalized
	内容	AL: C
第15回	担当教員	Comprehensive Review Unit 8-14
	内容	AL: C

評価方法

Final Exam(40%) Short Quiz (30%) Vocabulary Test (10%) Placement Test (20%) a total of 100%.

期末試験 (40%)、小テスト(30%) 語彙テスト(10%) プレイスメントテスト (20%) の合計 (100%) で評価する。

教科書

テキスト：

Check-Up

Basic English for Nursing

Author: Akihiko Higuchi/ John Tremarco

定価: ¥ 1,900 (税込 ¥ 2,090)

Kinseido Publishing Co., Ltd

参考書

Additional material and sources will be provided. The Text is NOT the only source of this class. Other in-class activities will be held for application of lessons discussed.
教科書に加えて授業内で配布する追加資料があります。

オフィスアワー

I'm in the university on Wednesday and Thursday only.

実務経験の有無

No.

その他

Attendance is important; however, participation is highly encouraged.
Please bring your dictionary to class. Smartphones are not allowed in class.
I'm in the university on Wednesday and Thursday only.
Should you have any questions, please email me at kristine-a-recabar@ryotokuji-u.ac.jp.

授業に出席するだけでなく、積極的な参加を推奨しています。辞書を持参してください。携帯電話の辞書は使用不可とする。質問などは kristine-a-recabar@ryotokuji-u.ac.jp にいつでもメールしてください。

講義コード	0004904
講義名	総合英語II[水1]
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名
深津 聡世

総合学習目標

本講義では、看護師として現場で必要とされる基本的な英語力を身につけることを目的にします。日本語を理解できない患者とのコミュニケーションはもちろん、カルテの内容を理解するためにも、医療英語に関する知識はある程度必要です。看護師としての仕事を円滑に進めるために、医療英語の基礎を学びましょう。講義では教科書に従い、問題演習形式で重要な専門用語（＝医療英語の英単語）を学びます。また、患者とのコミュニケーションを想定した会話を、ペアワーク（もしくはグループワーク）を通じて学びます。2 Unitごとに行われる小テストの他に、毎授業単語テストを行います。

健康科学部DP 1-①、DP 1-②、DP 3-②に該当する。

個別学習目標

1. 医療英語の基礎的な単語の意味を理解することができる。
2. 簡単な英語で会話をすることができる。
3. 基本的な英文を理解することができる。

準備学修

1. 教科書の該当する項目(Vocabulary, Conversation, Language Practice, Pronunciation, Let's talk)を一読し、単語の意味と発音を事前に調べてください。また、単語テストを行うため、単語の暗記を行ってください。(30分)
2. 小テストがある場合は、範囲である教科書の該当箇所の問題を、再度解いてください。(60分)

授業計画

第1回	担当教員	深津 聡世 授業の説明
	内容	授業の進め方、評価の方法等を説明します。その後、自己紹介を行います。
第2回	担当教員	深津 聡世 Unit 7の問題演習
	内	Vocabulary と Conversationを解き、答え合わせをします。Conversationの部分で

	容	は、ペアワーク（もしくはグループワーク）を通し、会話練習をします。 B
第3回	担当 教員	深津 聡世 Unit 7の問題演習 つづき
	内容	Language Practice, Pronunciation, Let's talkに取り組みます。Language Practiceは基本的な文法について勉強する項目です。問題を解き、答え合わせをします。Pronunciationは英語の発音のコツを、音のつながりやイントネーションに注意し学ぶ項目です。Let's talkでは、ペア（もしくはグループ）で看護師と患者の会話を英作文します。出来上がった会話を発表してもらいます。 B
第4回	担当 教員	深津 聡世 Unit 8の問題演習
	内容	Vocabulary と Conversationを解き、答え合わせをします。Conversationの部分では、ペアワーク（もしくはグループワーク）を通し、会話練習をします。 B
第5回	担当 教員	深津 聡世 Unit 8の問題演習 つづき
	内容	Language Practice, Pronunciation, Let's talkに取り組みます。Language Practiceは基本的な文法について勉強する項目です。問題を解き、答え合わせをします。Procunciationは英語の発音のコツを、音のつながりやイントネーションに注意し学ぶ項目です。Let's talkでは、ペア（もしくはグループ）で看護師と患者の会話を英作文します。出来上がった会話を発表してもらいます。 B
第6回	担当 教員	深津 聡世 1. Unit 7とUnit 8の小テスト 2. Unit 9の問題演習
	内容	まず、Unit 7と8で学んだ内容を小テストを通し確認します（教科書の問題からそのまま出題します）。成績評価に関わるので準備をするようにしてください。次に、Unit 9に進みます。Vocabulary と Conversationを解き、答え合わせをします。Conversationの部分では、ペアワーク（もしくはグループワーク）を通し、会話練習をします。 B
第7回	担当 教員	深津 聡世 Unit 9の問題演習 つづき
	内容	Language Practice, Pronunciation, Let's talkに取り組みます。Language Practiceは基本的な文法について勉強する項目です。問題を解き、答え合わせをします。Pronunciationは英語の発音のコツを、音のつながりやイントネーションに注意し学ぶ項目です。Let's talkでは、ペア（もしくはグループ）で看護師と患者の会話を英作文します。出来上がった会話を発表してもらいます。 B
第8回	担当 教員	深津 聡世 Unit 10の問題演習
	内容	Vocabulary と Conversationを解き、答え合わせをします。Conversationの部分では、ペアワーク（もしくはグループワーク）を通し、会話練習をします。 B
	担当 教員	深津 聡世 Unit 10の問題演習 つづき

第 回	内容	Language Practice, Pronunciation, Let's talkに取り組みます。Language Practiceは基本的な文法について勉強する項目です。問題を解き、答え合わせをします。Pronunciationは英語の発音のコツを、音のつながりやイントネーションに注意し学ぶ項目です。Let's talkでは、ペア（もしくはグループ）で看護師と患者の会話を英作文します。出来上がった会話を発表してもらいます。 B
第10回	担当教員	深津 聡世 1. Unit 9とUnit 10の小テスト 2. Unit 11の問題演習
	内容	まず、Unit 9と10で学んだ内容を小テストを通し確認します（教科書の問題からそのまま出題します）。成績評価に関わるので準備をするようにしてください。次に、Unit 11に進みます。Vocabulary と Conversationを解き、答え合わせをします。Conversationの部分では、ペアワーク（もしくはグループワーク）を通し、会話練習をします。 B
第11回	担当教員	深津 聡世 Unit 11の問題演習 つづき
	内容	Language Practice, Pronunciation, Let's talkに取り組みます。Language Practiceは基本的な文法について勉強する項目です。問題を解き、答え合わせをします。Pronunciationは英語の発音のコツを、音のつながりやイントネーションに注意し学ぶ項目です。Let's talkでは、ペア（もしくはグループ）で看護師と患者の会話を英作文します。出来上がった会話を発表してもらいます。 B
第12回	担当教員	深津 聡世 Unit 12の問題演習
	内容	Vocabulary と Conversationを解き、答え合わせをします。Conversationの部分では、ペアワーク（もしくはグループワーク）を通し、会話練習をします。 B
第13回	担当教員	深津 聡世 Unit 12の問題演習 つづき
	内容	Language Practice, Pronunciation, Let's talkに取り組みます。Language Practiceは基本的な文法について勉強する項目です。問題を解き、答え合わせをします。Pronunciationは英語の発音のコツを、音のつながりやイントネーションに注意し学ぶ項目です。Let's talkでは、ペア（もしくはグループ）で看護師と患者の会話を英作文します。出来上がった会話を発表してもらいます。 B
第14回	担当教員	深津 聡世 1. Unit 11とUnit 12の小テスト 2. 全体の復習
	内容	まず、Unit 11と12で学んだ内容を小テストを通し確認します（教科書の問題からそのまま出題します）。次に、学期全体の復習を行います。
第15回	担当教員	深津 聡世 1. 学期のまとめ 2. 解説
	内容	まず、学期全体の総復習を行うために、Unit 1～6に関するテストを行います。次に、そのテストで出題した問題に基づき解説を行います。

評価方法

1. プレイスメント・テスト：20点（20%）

2. 単語テスト：10点（10%）
3. 小テスト：20点（20%）
3. 期末試験：30点（30%）
4. 授業参画（授業への貢献度）：20点（20%）

以上、計100点満点で評価します。

教科書

- ・濱田真由美監修、竹林修一編著、『実践看護英語—専門用語の習得と英会話能力の養成』
- ・プリント（授業中に配布）

参考書

授業中に適宜指示します。

オフィスアワー

質問等は授業開始前、もしくは授業後に受け付けます。その他、メールでも随時受け付けます（メールアドレスはあとで公開します）。

実務経験の有無

無

その他

以上に記した授業計画は暫定的なものです。必要に応じて変更することがあります。スマートフォンを使う場合は、辞書機能のみに限定してください。

講義コード	0004905
講義名	総合英語II[水2]
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名
磯野 真之介

総合学習目標

医療現場では、日本語話者以外の患者さんとコミュニケーションをとることが求められる可能性があります。そうした場面に備え、医療に関わる語彙・表現を習得するとともに、英語の基本的な語彙・表現や文法を改めて学習します。4技能（リーディング・ライティング・リスニング・スピーキング）を総合的に訓練します。

看護学科DP1-①、3-②、4-②に該当します。

個別学習目標

- ▽教科書に出てくる医療に関する表現を使うことができる。
- ▽医療関係以外の英語の基礎的な表現を使うことができる。
- ▽自分が使える表現を活用して、英語で他者とコミュニケーションができる。

準備学修

講義前に教科書に目を通し、知らない単語については辞書で調べておくこと（30分）。講義後に再度教科書に目を通し、語彙や文法事項について復習すること（60分）。わからない部分があれば講義前後に直接きくかメールで聞いてください。

授業計画

第1回	担当教員	磯野 真之介 Unit 7 Instructing medication
	内容	Vocabulary, Conversation AL: B
第2回	担当教員	磯野 真之介 Unit 7 Instructing medication
	内容	Language practice, Pronunciation, Let's talk AL: B
第3回	担当教員	磯野 真之介 Unit 8 Treating the patients 1
	内容	Vocabulary, Conversation AL: B
第4回	担当教員	磯野 真之介 Unit 8 Treating the patients 1
	内容	Language practice, Pronunciation, Let's talk AL: B
	担当教員	磯野 真之介 Unit 9 Treating the patients 2

第5回	内容	小テスト (Unit 7, 8) Vocabulary, Conversation AL: B
第6回	担当教員	磯野 真之介 Unit 9 Treating the patients 2
	内容	Language practice, Pronunciation, Let's talk AL: B
第7回	担当教員	磯野 真之介 Unit 10 Treating the patients 3
	内容	Vocabulary, Conversation AL: B
第8回	担当教員	磯野 真之介 Unit 10 Treating the patients 3
	内容	Language practice, Pronunciation, Let's talk AL: B
第9回	担当教員	磯野 真之介 Unit 11 Operation
	内容	小テスト (Unit 9, 10) Vocabulary, Conversation AL: B
第10回	担当教員	磯野 真之介 Unit 11 Operation
	内容	Language practice, Pronunciation, Let's talk AL: B
第11回	担当教員	磯野 真之介 Unit 12 Pregnancy
	内容	Vocabulary, Conversation AL: B
第12回	担当教員	磯野 真之介 Unit 12 Pregnancy
	内容	Language practice, Pronunciation, Let's talk AL: B
第13回	担当教員	磯野 真之介 Unit 13 In the hospital
	内容	小テスト (Unit 11, 12) Vocabulary, Conversation AL: B
第14回	担当教員	磯野 真之介 Unit 13 In the hospital
	内容	Language practice, Pronunciation, Let's talk AL: B
第15回	担当教員	磯野 真之介 学期のまとめ
	内容	学期のまとめテスト、解説

評価方法

- ▽プレイスメントテスト20%
- ▽授業中の発言・グループワーク 20%
- ▽小テスト 30%
- ▽学期のまとめテスト 30%

教科書
『実践看護英語 専門用語の習得と英会話能力の養成』濱田眞由美監修・竹林修一編著 英宝社 定価2090円
オフィスアワー
質問はメールで受け付けます (s-isono@ryotokuji-u.ac.jp) 。
実務経験の有無
有

講義コード	0004906
講義名	総合英語II[水2]
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名
Kristine A.Recabar

総合学習目標

This course is a continuation of Medical English that we discussed in Semester 1 in which vocabulary, reading and listening activities will be incorporated. Visual materials to further explain the situation would also be utilized with appropriate explanation. Application of the lessons learned is the main approach while linking them to actual situation experience. After this class, students are expected to be more accustomed to medical terms and can use them in a proper situation.

この授業は単語、リーディング、リスニングを通して初級医療英語を学ぶことを目的とする。また、授業内容がどのようなシーンで活用できるのか理解するため、視覚教材を使用する。履修の後には、実際の医療シーンにおいて、英語表現を使用できるようにする。

ディプロマポリシー健康科学部DP1-②,DP2-①

個別学習目標

1. To familiarize jargons related to the medical field.
2. To learn how to incorporate words in actual usage through situations.
3. To be able to have a full grasp of the language and application when the situation demands.

- 1.医療分野に関連する専門用語を理解する。
- 2.状況を通して実際の使用法に単語を組み込む方法を学ぶ。
- 3.状況に応じて、言語とアプリケーションを完全に把握できるようにする。

授業計画

第1回	担当教員	Kristine A.Recabar Introduction Unit 8 What Kind of Pain Is It?
	内容	Vocabulary and Listening AL: A
第2回	担当教員	Unit 8 What Kind of Pain Is It?
	内容	Reading and Further Study AL: A
第3回	担当教員	Unit 9 Let's Check Your Daily Activities
	内容	Vocabulary and Listening AL: A
第4回	担当教員	Unit 9 Let's Check Your Daily Activities
	内容	Reading and Further Study AL: A

第5回	担当教員	Unit 10 Let's Check Your Pulse and Blood Pressure
	内容	Vocabulary and Listening AL: A
第6回	担当教員	Unit 10 Let's Check Your Pulse and Blood Pressure
	内容	Reading and Further Study AL: A
第7回	担当教員	Short Quiz Unit 8-10 Unit 11 It's Going to Be a Long Day!
	内容	Vocabulary Discussion AL: B
第8回	担当教員	Quiz Review Unit 11 It's Going to Be a Long Day!
	内容	Reading and Further Study AL: B
第9回	担当教員	Unit 12 You Have High Blood Sugar Levels
	内容	Vocabulary and Listening AL: B
第10回	担当教員	Unit 12 You Have High Blood Sugar Levels
	内容	Reading and Further Study AL: A
第11回	担当教員	Unit 13 You Need to Control Your Diet
	内容	Vocabulary and Listening AL: A
第12回	担当教員	Unit 13 You Need to Control Your Diet
	内容	Reading and Further Study AL: B
第13回	担当教員	Short Quiz Unit 11-13 Unit 14 You Need to Be Hospitalized
	内容	AL: C
第14回	担当教員	Quiz Review Unit 14 You Need to Be Hospitalized
	内容	AL: C
第15回	担当教員	Comprehensive Review Unit 8-14
	内容	AL: C

評価方法

Final Exam(40%) Short Quiz (30%) Vocabulary Test (10%) Placement Test (20%) a total of 100%.

期末試験 (40%)、小テスト(30%) 語彙テスト(10%) プレイスメントテスト (20%) の合計 (100%) で評価する。

教科書

テキスト :

Check-Up

Basic English for Nursing

Author: Akihiko Higuchi/ John Tremarco

定価: ¥ 1,900 (税込 ¥ 2,090)

Kinseido Publishing Co., Ltd

参考書

Additional material and sources will be provided. The Text is NOT the only source of this class. Other in-class activities will be held for application of lessons discussed.

教科書に加えて授業内で配布する追加資料があります。

オフィスアワー

I'm at the university on Wednesday and Thursday only.

実務経験の有無

No.

その他

Attendance is important; however, participation is highly encouraged.

Please bring your dictionary to class. Smartphones are not allowed in class.

I'm in the university on Wednesday and Thursday only.

Should you have any questions, please email me at kristine-a-recabar@ryotokuji-u.ac.jp.

授業に出席するだけでなく、積極的な参加を推奨しています。辞書を持参してください。携帯電話の辞書は使用不可とする。質問などは kristine-a-recabar@ryotokuji-u.ac.jp にいつでもメールしてください。

講義コード	0004907
講義名	総合英語II[水2]
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名
深津 聡世

総合学習目標

本講義では、看護師として現場で必要とされる基本的な英語力を身につけることを目的にします。日本語を理解できない患者とのコミュニケーションはもちろん、カルテの内容を理解するためにも、医療英語に関する知識はある程度必要です。看護師としての仕事を円滑に進めるために、医療英語の基礎を学びましょう。講義では教科書に従い、問題演習形式で重要な専門用語（＝医療英語の英単語）を学びます。また、患者とのコミュニケーションを想定した会話を、ペアワーク（もしくはグループワーク）を通じて学びます。2 Unitごとに行われる小テストの他に、毎授業単語テストを行います。

健康科学部DP 1-①、DP 1-②、DP 3-②に該当する。

個別学習目標

1. 医療英語の基礎的な単語の意味を理解することができる。
2. 簡単な英語で会話をすることができる。
3. 基本的な英文を理解することができる。

準備学修

1. 教科書の該当する項目(Vocabulary, Conversation, Language Practice, Pronunciation, Let's talk)を一読し、単語の意味と発音を事前に調べてください。また、単語テストを行うため、単語の暗記を行ってください。(30分)
2. 小テストがある場合は、範囲である教科書の該当箇所の問題を、再度解いてください。(60分)

授業計画

第1回	担当教員	深津 聡世 授業の説明
	内容	授業の進め方、評価の方法等を説明します。その後、自己紹介を行います。
第2回	担当教員	深津 聡世 Unit 7の問題演習
	内	Vocabulary と Conversationを解き、答え合わせをします。Conversationの部分で

	容	は、ペアワーク（もしくはグループワーク）を通し、会話練習をします。 B
第3回	担当 教員	深津 聡世 Unit 7の問題演習 つづき
	内容	Language Practice, Pronunciation, Let's talkに取り組みます。Language Practiceは基本的な文法について勉強する項目です。問題を解き、答え合わせをします。Pronunciationは英語の発音のコツを、音のつながりやイントネーションに注意し学ぶ項目です。Let's talkでは、ペア（もしくはグループ）で看護師と患者の会話を英作文します。出来上がった会話を発表してもらいます。 B
第4回	担当 教員	深津 聡世 Unit 8の問題演習
	内容	Vocabulary と Conversationを解き、答え合わせをします。Conversationの部分では、ペアワーク（もしくはグループワーク）を通し、会話練習をします。 B
第5回	担当 教員	深津 聡世 Unit 8の問題演習 つづき
	内容	Language Practice, Pronunciation, Let's talkに取り組みます。Language Practiceは基本的な文法について勉強する項目です。問題を解き、答え合わせをします。Procunciationは英語の発音のコツを、音のつながりやイントネーションに注意し学ぶ項目です。Let's talkでは、ペア（もしくはグループ）で看護師と患者の会話を英作文します。出来上がった会話を発表してもらいます。 B
第6回	担当 教員	深津 聡世 1. Unit 7とUnit 8の小テスト 2. Unit 9の問題演習
	内容	まず、Unit 7と8で学んだ内容を小テストを通し確認します（教科書の問題からそのまま出題します）。成績評価に関わるので準備をするようにしてください。次に、Unit 9に進みます。Vocabulary と Conversationを解き、答え合わせをします。Conversationの部分では、ペアワーク（もしくはグループワーク）を通し、会話練習をします。 B
第7回	担当 教員	深津 聡世 Unit 9の問題演習 つづき
	内容	Language Practice, Pronunciation, Let's talkに取り組みます。Language Practiceは基本的な文法について勉強する項目です。問題を解き、答え合わせをします。Pronunciationは英語の発音のコツを、音のつながりやイントネーションに注意し学ぶ項目です。Let's talkでは、ペア（もしくはグループ）で看護師と患者の会話を英作文します。出来上がった会話を発表してもらいます。 B
第8回	担当 教員	深津 聡世 Unit 10の問題演習
	内容	Vocabulary と Conversationを解き、答え合わせをします。Conversationの部分では、ペアワーク（もしくはグループワーク）を通し、会話練習をします。 B
	担当 教員	深津 聡世 Unit 10の問題演習 つづき

第 回	内容	Language Practice, Pronunciation, Let's talkに取り組みます。Language Practiceは基本的な文法について勉強する項目です。問題を解き、答え合わせをします。Pronunciationは英語の発音のコツを、音のつながりやイントネーションに注意し学ぶ項目です。Let's talkでは、ペア（もしくはグループ）で看護師と患者の会話を英作文します。出来上がった会話を発表してもらいます。 B
第10回	担当教員	深津 聡世 1. Unit 9とUnit 10の小テスト 2. Unit 11の問題演習
	内容	まず、Unit 9と10で学んだ内容を小テストを通し確認します（教科書の問題からそのまま出題します）。成績評価に関わるので準備をするようにしてください。次に、Unit 11に進みます。Vocabulary と Conversationを解き、答え合わせをします。Conversationの部分では、ペアワーク（もしくはグループワーク）を通し、会話練習をします。 B
第11回	担当教員	深津 聡世 Unit 11の問題演習 つづき
	内容	Language Practice, Pronunciation, Let's talkに取り組みます。Language Practiceは基本的な文法について勉強する項目です。問題を解き、答え合わせをします。Pronunciationは英語の発音のコツを、音のつながりやイントネーションに注意し学ぶ項目です。Let's talkでは、ペア（もしくはグループ）で看護師と患者の会話を英作文します。出来上がった会話を発表してもらいます。 B
第12回	担当教員	深津 聡世 Unit 12の問題演習
	内容	Vocabulary と Conversationを解き、答え合わせをします。Conversationの部分では、ペアワーク（もしくはグループワーク）を通し、会話練習をします。 B
第13回	担当教員	深津 聡世 Unit 12の問題演習 つづき
	内容	Language Practice, Pronunciation, Let's talkに取り組みます。Language Practiceは基本的な文法について勉強する項目です。問題を解き、答え合わせをします。Pronunciationは英語の発音のコツを、音のつながりやイントネーションに注意し学ぶ項目です。Let's talkでは、ペア（もしくはグループ）で看護師と患者の会話を英作文します。出来上がった会話を発表してもらいます。 B
第14回	担当教員	深津 聡世 1. Unit 11とUnit 12の小テスト 2. 全体の復習
	内容	まず、Unit 11と12で学んだ内容を小テストを通し確認します（教科書の問題からそのまま出題します）。次に、学期全体の復習を行います。
第15回	担当教員	深津 聡世 1. 学期のまとめ 2. 解説
	内容	まず、学期全体の総復習を行うために、Unit 1～6に関するテストを行います。次に、そのテストで出題した問題に基づき解説を行います。

評価方法

1. プレイスメント・テスト：20点（20%）

2. 単語テスト：10点（10%）
3. 小テスト：20点（20%）
3. 期末試験：30点（30%）
4. 授業参画（授業への貢献度）：20点（20%）

以上、計100点満点で評価します。

教科書

- ・濱田真由美監修、竹林修一編著、『実践看護英語—専門用語の習得と英会話能力の養成』
- ・プリント（授業中に配布）

参考書

授業中に適宜指示します。

オフィスアワー

質問等は授業開始前、もしくは授業後に受け付けます。その他、メールでも随時受け付けます（メールアドレスはあとで公開します）。

実務経験の有無

無

その他

以上に記した授業計画は暫定的なものです。必要に応じて変更することがあります。スマートフォンを使う場合は、辞書機能のみに限定してください。

講義コード	0005202
講義名	芸術表現I (造形の感性と創造)〔看A〕
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名
金森 昭憲
上田 圭一

総合学習目標

この講座は基本的な造形表現や、アートを通じたコミュニケーションについて学んでいく。学生各々が心地よさや満たされた感情に気づき、生きる活力を取り戻していくことを目指していく。実際に手を動かしたり、グループワークを通じて、参加者全員が身近なものとして創作を体感し、芸術への理解を深めることを目標とする。

DP4-①

個別学習目標

1. デッサンを学び、基本的な形体の把握ができる。
2. 水彩絵具の特性を理解し、基本的な描画ができる。
3. 自らの価値観で美を発見し、それを視覚化できる。
4. 完成した作品を皆で発表し、個性の違いを知ることができる。
5. 様々な課題を通して、感性と創造力を養うことができる。

準備学修

事前に説明された課題については次の授業までに準備してくること。

授業計画

第1回	担当教員	金森 昭憲 上田 圭一 ガイダンス
	内容	授業概要の説明
第2回	担当教員	金森 昭憲 名画から学ぶ水彩画1
	内容	「模写」トレース・着彩
第3回	担当教員	金森 昭憲 名画から学ぶ水彩画2
	内容	「模写」着彩・仕上げ（細部の表現）
第4回	担当教員	金森 昭憲 初歩の沿筆デッサン
	内容	「静物デッサン」構図・描画・仕上げ
第5回	担当教員	金森 昭憲 フラッグアート1
	内容	「旗の制作」デザインの選定・下書き・着彩

第6回	担当教員	金森 昭憲 フラッグアート2
	内容	「旗の制作」着彩・仕上げ
第7回	担当教員	金森 昭憲 アクリル絵具で描く静物画1
	内容	「静物着彩」構図・下書き・着彩
第8回	担当教員	金森 昭憲 アクリル絵具で描く静物画2
	内容	「静物着彩」着彩・仕上げ
第9回	担当教員	上田 圭一 鉛筆デッサン 自画像1
	内容	「自画像デッサン」構図・下書き・鉛筆
第10回	担当教員	上田 圭一 鉛筆デッサン 自画像2
	内容	「自画像デッサン」鉛筆・描画・仕上げ
第11回	担当教員	上田 圭一 花のある静物水彩画1
	内容	「静物着彩」構図・下書き・着彩
第12回	担当教員	上田 圭一 花のある静物水彩画 2
	内容	「静物着彩」着彩・仕上げ
第13回	担当教員	上田 圭一 アクリル絵具で描く自由画1
	内容	「自由画着彩」構図・下書き・着彩
第14回	担当教員	上田 圭一 アクリル絵具で描く自由画2
	内容	「自由画着彩」着彩・仕上げ
第15回	担当教員	上田 圭一 芸術鑑賞学習
	内容	美術館及び画廊などの展覧会を自身で選別し鑑賞学習

評価方法

提出課題100% [金森]

提出課題100% [上田]

教科書

指定なし。配布資料を用いる。

参考書

指定なし。配布資料を用いる。

オフィスアワー

質問等は授業の前後で受け付ける。

実務経験の有無

「有」

その他

適宜プリント資料を配布する。

講義コード	0005204
講義名	芸術表現I (造形の感性と創造)〔看B〕
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名
金森 昭憲
上田 圭一

総合学習目標

この講座は基本的な造形表現や、アートを通じたコミュニケーションについて学んでいく。学生各々が心地よさや満たされた感情に気づき、生きる活力を取り戻していくことを目指していく。実際に手を動かしたり、グループワークを通じて、参加者全員が身近なものとして創作を体感し、芸術への理解を深めることを目標とする。

DP4-①

個別学習目標

1. デッサンを学び、基本的な形体の把握ができる。
2. 水彩絵具の特性を理解し、基本的な描画ができる。
3. 自らの価値観で美を発見し、それを視覚化できる。
4. 完成した作品を皆で発表し、個性の違いを知ることができる。
5. 様々な課題を通して、感性と創造力を養うことができる。

準備学修

事前に説明された課題については次の授業までに準備してくること。

授業計画

第1回	担当教員	金森 昭憲 上田 圭一 ガイダンス
	内容	授業概要の説明
第2回	担当教員	金森 昭憲 名画から学ぶ水彩画1
	内容	「模写」トレース・着彩
第3回	担当教員	金森 昭憲 名画から学ぶ水彩画2
	内容	「模写」着彩・仕上げ（細部の表現）
第4回	担当教員	金森 昭憲 初歩の沿筆デッサン
	内容	「静物デッサン」構図・描画・仕上げ
第5回	担当教員	金森 昭憲 フラッグアート1
	内容	「旗の制作」デザインの選定・下書き・着彩

第6回	担当教員	金森 昭憲 フラッグアート2
	内容	「旗の制作」着彩・仕上げ
第7回	担当教員	金森 昭憲 アクリル絵具で描く静物画1
	内容	「静物着彩」構図・下書き・着彩
第8回	担当教員	金森 昭憲 アクリル絵具で描く静物画2
	内容	「静物着彩」着彩・仕上げ
第9回	担当教員	上田 圭一 鉛筆デッサン 自画像1
	内容	「自画像デッサン」構図・下書き・鉛筆
第10回	担当教員	上田 圭一 鉛筆デッサン 自画像2
	内容	「自画像デッサン」鉛筆・描画・仕上げ
第11回	担当教員	上田 圭一 花のある静物水彩画1
	内容	「静物着彩」構図・下書き・着彩
第12回	担当教員	上田 圭一 花のある静物水彩画 2
	内容	「静物着彩」着彩・仕上げ
第13回	担当教員	上田 圭一 アクリル絵具で描く自由画1
	内容	「自由画着彩」構図・下書き・着彩
第14回	担当教員	上田 圭一 アクリル絵具で描く自由画2
	内容	「自由画着彩」着彩・仕上げ
第15回	担当教員	上田 圭一 芸術鑑賞学習
	内容	美術館及び画廊などの展覧会を自身で選別し鑑賞学習

評価方法

提出課題100% [金森]

提出課題100% [上田]

教科書

指定なし。配布資料を用いる。

参考書

指定なし。配布資料を用いる。

オフィスアワー

質問等は授業の前後で受け付ける。

実務経験の有無

「有」

その他

適宜プリント資料を配布する。

講義コード	0005302
講義名	芸術表現II（書の感性と創造）〔看A〕
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名
伏屋 友賀
塚本 鷹

総合学習目標

書は心のありよう、心象を墨によって表現するものである。心理的作用として書は表現される。そこで古典の臨書を中心に、書道の基本を学ぶ。古典の臨書を通して各書体の特徴を的確にとらえ基本点画・執筆法など書の技法を習得する。書の基本を繰り返し練習しながら、あわせて伝統美・文化についての関心を深める。また、自由な書表現や技法を習得し、書を通して、医療人として豊かな心を育むことを目標とする。

看護学科DP1-①に該当する。

個別学習目標

- ①書体の特徴を理解することができる。
- ②楷書の基本点画をしっかりと書くことができる。
- ③行書の筆使いができる。
- ④体裁よく硬筆で書くことができる。
- ⑤実用的な文字を正しく書くことができる。
- ⑥伝統的な書を学び豊かな心を育むことができる。

授業計画

第1回	担当教員	伏屋 友賀 塚本 鷹 ガイダンス
	内容	用具用材について
第2回	担当教員	伏屋 友賀 硬筆の学習～平仮名、片仮名
	内容	ボールペンでの書き方を学習する。
第3回	担当教員	伏屋 友賀 実用書の学習～ハガキの宛名書き
	内容	ボールペンを使用し、ハガキの書き方を学習する。その後宛名書きを行う。
第4回	担当教員	伏屋 友賀 実用書の学習～手紙
	内容	ボールペンを使用し、手紙の書き方について学習する。その後手紙を書く。

第5回	担当 教員	伏屋 友賀 実用書の学習～小筆の使い方
	内容	小筆での書き方について学習する。
第6回	担当 教員	伏屋 友賀 実用書の学習～封筒の宛名書き
	内容	小筆を使用し、封筒の書き方を学習する。その後宛名書きを行う。
第7回	担当 教員	伏屋 友賀 実用書の学習～熨斗袋の書き方
	内容	小筆を使用し、熨斗袋の書き方について学習する。その後熨斗袋を書く。
第8回	担当 教員	伏屋 友賀 実用書の学習～年賀状を書く
	内容	小筆を使用し、年賀状の書き方を学習する。年賀状制作後に、グループに分け鑑賞し意見交換を行う。B
第9回	担当 教員	塚本 鷹 楷書を学ぶ①九成宮醴泉銘
	内容	筆を使用し、九成宮醴泉銘について学習する。
第10回	担当 教員	塚本 鷹 楷書を学ぶ②九成宮醴泉銘
	内容	筆を使用し、九成宮醴泉銘について学習する。
第11回	担当 教員	塚本 鷹 行書を学ぶ①蘭亭序
	内容	筆を使用し、蘭亭序について学習する。
第12回	担当 教員	塚本 鷹 行書を学ぶ②蘭亭序
	内容	筆を使用し、蘭亭序について学習する。
第13回	担当 教員	塚本 鷹 創作①
	内容	作品制作を行う。
第14回	担当 教員	塚本 鷹 創作②
	内容	作品制作を行う。
第15回	担当 教員	塚本 鷹 創作③
	内容	作品制作を行う。

評価方法

毎時の清書作品100点（50%）、課題作品100点（50%）を総合して評価する。

教科書

指定なし。プリントを配布します。

参考書

ビジネス書道 河合松嶺著 株式会社マール社
書法セミナー 宮崎葵光編 株式会社二玄社

オフィスアワー

質問等は授業の前後で受け付けます。

実務経験の有無

有

その他

1回目の授業の際に筆の購入について説明します。

本年度指定書道用具 [天翔3号 : 1200円 千草 : 770円 墨汁 : 230円]

※学内販売日は別途お知らせいたします。

クラスルーム

<https://classroom.google.com/c/NTkyMjEzOTgyNTQ2>

講義コード	0005304
講義名	芸術表現II（書の感性と創造）〔看B〕
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名
伏屋 友賀
塚本 鷹

総合学習目標

書は心のありよう、心象を墨によって表現するものである。心理的作用として書は表現される。そこで古典の臨書を中心に、書道の基本を学ぶ。古典の臨書を通して各書体の特徴を的確にとらえ基本点画・執筆法など書の技法を習得する。書の基本を繰り返し練習しながら、あわせて伝統美・文化についての関心を深める。また、自由な書表現や技法を習得し、書を通して、医療人として豊かな心を育むことを目標とする。

看護学科DP1-①に該当する。

個別学習目標

- ①書体の特徴を理解することができる。
- ②楷書の基本点画をしっかり書くことができる。
- ③行書の筆使いができる。
- ④体裁よく硬筆で書くことができる。
- ⑤実用的な文字を正しく書くことができる。
- ⑥伝統的な書を学び豊かな心を育むことができる。

授業計画

第1回	担当教員	伏屋 友賀 塚本 鷹 ガイダンス
	内容	用具用材について
第2回	担当教員	伏屋 友賀 硬筆の学習～平仮名、片仮名
	内容	ボールペンでの書き方を学習する。
第3回	担当教員	伏屋 友賀 実用書の学習～ハガキの宛名書き
	内容	ボールペンを使用し、ハガキの書き方を学習する。その後宛名書きを行う。
第4回	担当教員	伏屋 友賀 実用書の学習～手紙
	内容	ボールペンを使用し、手紙の書き方について学習する。その後手紙を書く。

第5回	担当 教員	伏屋 友賀 実用書の学習～小筆の使い方
	内容	小筆での書き方について学習する。
第6回	担当 教員	伏屋 友賀 実用書の学習～封筒の宛名書き
	内容	小筆を使用し、封筒の書き方を学習する。その後宛名書きを行う。
第7回	担当 教員	伏屋 友賀 実用書の学習～熨斗袋の書き方
	内容	小筆を使用し、熨斗袋の書き方について学習する。その後熨斗袋を書く。
第8回	担当 教員	伏屋 友賀 実用書の学習～年賀状を書く
	内容	小筆を使用し、年賀状の書き方を学習する。年賀状制作後に、グループに分け鑑賞し意見交換を行う。B
第9回	担当 教員	塚本 鷹 楷書を学ぶ①九成宮醴泉銘
	内容	筆を使用し、九成宮醴泉銘について学習する。
第10回	担当 教員	塚本 鷹 楷書を学ぶ②九成宮醴泉銘
	内容	筆を使用し、九成宮醴泉銘について学習する。
第11回	担当 教員	塚本 鷹 行書を学ぶ①蘭亭序
	内容	筆を使用し、蘭亭序について学習する。
第12回	担当 教員	塚本 鷹 行書を学ぶ②蘭亭序
	内容	筆を使用し、蘭亭序について学習する。
第13回	担当 教員	塚本 鷹 創作①
	内容	作品制作を行う。
第14回	担当 教員	塚本 鷹 創作②
	内容	作品制作を行う。
第15回	担当 教員	塚本 鷹 創作③
	内容	作品制作を行う。

評価方法

毎時の清書作品100点（50%）、課題作品100点（50%）を総合して評価する。

教科書

指定なし。プリントを配布します。

参考書

ビジネス書道 河合松嶺著 株式会社マール社
書法セミナー 宮崎葵光編 株式会社二玄社

オフィスアワー

質問は授業の前後で受け付けます。

実務経験の有無

有

その他

1回目の授業の際に筆の購入について説明します。

本年度指定書道用具 [天翔3号：1200円 千草：770円 墨汁：230円]

※学内販売日は別途お知らせいたします。

クラスルーム

<https://classroom.google.com/c/NTEzNTY1NjE0MjU0>

講義コード	0006103
講義名	人間関係実践演習I[看]
(副題)	(初年次教育)
講義開講時期	通年
講義区分	演習
基準単位数	1
時間	0.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名
中島 琢磨
田辺 洋子
天野 勢子

総合学習目標

高校生と大学生の違いを認識し、前向きな意識形成を図り、意欲的に大学生活に臨む姿勢を作る
 学修は暗記でないことを理解し、自ら考え、周囲に働きかけて修正したりまとめたりする行動力を身につける

これらは看護学科DP-1 ①、②、DP-4 ①、③に相当する

初年次教育は、『高等学校や他大学からの円滑な移行を図り、学習及び人格的な成長に向け、大学での学問的・社会的な諸経験を成功させるべく、主に新入生を対象に総合的に作られた教育プログラム』あるいは『初年次学生が大学生になることを支援するプログラム』として説明される、新たな学校段階への移行を支援する取組である。(中央教育審議会『学士課程教育の構築に向けて(答申)』平成20年(2008年)35頁より引用。)

個別学習目標

1. 目的意識を持って大学生活に臨む基本意識を形成する
2. 以下の基本的な対人関係スキルを身につける
 - ① 人の話を傾聴し、理解するスキル(傾聴力・理解力)
 - ② 自分の考えを整理し、適切な言葉でわかりやすく話すスキル(話力・発表力)
 - ③ わからない事を適切な資料を選び、調べ、まとめるスキル(調査力)
 - ④ 起こったこと、学んだこと、感じた事などを客観的にわかりやすい文書で伝えるスキル(報告力)
3. 学修に対する1.主体性 2.働きかけ力 3.実行力 を身につける

準備学修

なし

授業計画

第1回	担当教員	中島 琢磨 天野 勢子 田辺 洋子 オリエンテーション
		前半：初年次教育についてやスケジュールの案内・感染症と本学の感染対策についての説明

	内容	後半：履修登録方法についての確認と初年次教育プログラム開催におけるオリエンテーション グループA:学籍番号53123001-53123050 (担当：天野勢子) グループB:学籍番号53123056-53123100 (担当：田辺洋子)
第2回	担当教員	天野 勢子 田辺 洋子 学習スキル アカデミックリテラシー①
	内容	「導入教育」プログラム①： 高校生と大学生の違いを認識させ「早期に前向きな意識形成を図り、意欲的に大学生活に臨む姿勢を作る」ためのプログラム グループA:学籍番号53123001-53123050 (担当：天野勢子) グループB:学籍番号53123056-53123100 (担当：田辺洋子)
第3回	担当教員	天野 勢子 田辺 洋子 学習スキル アカデミックリテラシー②
	内容	「導入教育」プログラム②： 高校生と大学生の違いを認識させ「早期に前向きな意識形成を図り、意欲的に大学生活に臨む姿勢を作る」ためのプログラム グループA:学籍番号53123001-53123050 (担当：天野勢子) グループB:学籍番号53123056-53123100 (担当：田辺洋子)
第4回	担当教員	天野 勢子 田辺 洋子 学習スキル アカデミックリテラシー ③
	内容	「ストレス・マネジメント力形成」プログラム： 大学～社会人生活を通して活かすことのできる「ストレス・マネジメントの力」を育み、学生一人ひとりに、「ストレスを自己マネジメントできる力」を身につけさせる グループA:学籍番号53123001-53123050 (担当：天野勢子) グループB:学籍番号53123056-53123100 (担当：田辺洋子)
第5回	担当教員	天野 勢子 田辺 洋子 学習スキル 情報モラルとインターネット操作活用能力
	内容	PC機器利用、遠隔授業、SNS上の注意他 グループA:学籍番号53123001-53123050 (担当：天野勢子) グループB:学籍番号53123056-53123100 (担当：田辺洋子)
第6回	担当教員	天野 勢子 田辺 洋子 学習スキル 社会人基礎力① レポートの書き方講座(1)
	内容	わかりやすいレポートを書くための、「レポート力」を身につけるための講座である。「わかりやすいレポート」と「わかりにくいレポート」には、決定的な違いがある。伝わるレポートを書くにはどうすればよいか、ワークを通して学ぶ グループA:学籍番号53123001-53123050 (担当：天野勢子) グループB:学籍番号53123056-53123100 (担当：田辺洋子)
	担当教員	天野 勢子 田辺 洋子 医療と芸術の融合；芸術鑑賞 学外プログラム① 歌舞伎鑑賞事前説明会 (この後6月4日に、学外で歌舞伎鑑賞教室に参加する)

第7回	内容	芸術鑑賞では、本学の開学理念である日本固有の美や和の精神の継承と、医療と芸術の融合による新たな社会創造に向け、我が国固有の舞台芸術である歌舞伎について学ぶことを目的とする 歌舞伎を鑑賞する際の留意点を説明する（実際の鑑賞は学外で6月4日に実施） グループA:学籍番号53123001-53123050（担当：天野勢子） グループB:学籍番号53123056-53123100（担当：田辺洋子）
第8回	担当教員	天野 勢子 田辺 洋子 医療と芸術の融合;芸術鑑賞 学外プログラム② 歌舞伎鑑賞教室参加；2023年 6月4日(日)国立芸術劇場大 ホール
	内容	必修講義の一環として歌舞伎鑑賞教室に参加する グループA:学籍番号53123001-53123050（担当：天野勢子） グループB:学籍番号53123056-53123100（担当：田辺洋子）
第9回	担当教員	天野 勢子 田辺 洋子 医療と芸術の融合/社会人基礎力② 学外プログラム③/レポートの書き方講座(2) 歌舞伎鑑賞後レポート作成/レポートの書き方(1)で行ったワークの振り返り
	内容	歌舞伎鑑賞に関するディスカッションとレポートの作成、ワークの振り返りを行い、自己採点する（各学科） グループA:学籍番号53123001-53123050（担当：天野勢子） グループB:学籍番号53123056-53123100（担当：田辺洋子）
第10回	担当教員	天野 勢子 田辺 洋子 学習スキル 社会人基礎力③ マナー接遇講座
	内容	大学生としての基本的なマナー講座（挨拶、電話、メール、交通のマナーなど） グループA:学籍番号53123001-53123050（担当：天野勢子） グループB:学籍番号53123056-53123100（担当：田辺洋子）
第11回	担当教員	天野 勢子 田辺 洋子 学習スキル 専門教育の準備①
	内容	各専門分野を学んでいくうえで必要となる基礎知識を学習する グループA:学籍番号53123001-53123050（担当：天野勢子） グループB:学籍番号53123056-53123100（担当：田辺洋子）
第12回	担当教員	天野 勢子 田辺 洋子 学習スキル アカデミックリテラシー④
	内容	「アクティブラーニング&スタディスキル形成」プログラム①： 大学4年間を継続学修していけるための「基礎的学修技術」を指導し、大学生力を醸成するプログラム。「学び取るために必要な、理解力、論理力、質問力、構成力、記述力」といった、根幹から技術を指導 グループA:学籍番号53123001-53123050（担当：天野勢子） グループB:学籍番号53123056-53123100（担当：田辺洋子）
13	担当教員	天野 勢子 田辺 洋子 学習スキル アカデミックリテラシー⑤
		「アクティブラーニング&スタディスキル形成」プログラム②：

第 回	内容	大学4年間で継続学修していけるための「基礎的学修技術」を指導し、大学生力を醸成するプログラム。「学び取るために必要な、理解力、論理力、質問力、構成力、記述力」といった、根幹から技術を指導 グループ A:学籍番号53123001-53123050 (担当:天野勢子) グループ B:学籍番号53123056-53123100 (担当:田辺洋子)
第14回	担当教員	天野 勢子 田辺 洋子 学習スキル 情報・文献検索、論文の書き方
	内容	図書館利用ツアー:学科別に分かれ、図書館、パソコンルーム、自習室の使い方、書籍の閲覧方法、論文の検索方法など、図書館を有効に使う方法を学ぶ グループ A:学籍番号53123001-53123050 (担当:天野勢子) グループ B:学籍番号53123056-53123100 (担当:田辺洋子)
第15回	担当教員	天野 勢子 田辺 洋子 学習スキル 専門教育の準備②
	内容	各専門分野を学んでいくうえで必要となる基礎知識を学習する グループ A:学籍番号53123001-53123050 (担当:天野勢子) グループ B:学籍番号53123056-53123100 (担当:田辺洋子)

評価方法

授業内容について毎回評価カードを提出する (40%)
課題がある場合は以下の様に配分する
学科共通の課題 (30%)
学科ごとの課題 (30%)

教科書

指定なし

参考書

New『看護学生プレトレーニング:看護を学ぶ前にもう一度整理しておきたい基礎知識
編集:メヂカルフレンド社編集部、編集協力:貝瀬友子、2017年、定価990円(税込み)
ISBN:978-4-8392-1622-1

オフィスアワー

授業内容についての質問は、授業中、授業後およびオフィスアワー(担当教員室)に受け付ける。またメールでの質問も受け付ける
中島; t-nakajima@ryotokuji-u.ac.jp
天野; s-amano@ryotokuji-u.ac.jp
田辺; y-tanabe@ryotokuji-u.ac.jp

実務経験の有無

有

その他

授業形態は演習であり、講義を聴くだけでなく毎回授業時間内に各自が作業を行い、そのプロダクトを提出する。授業後は授業の内容を振り返り、自分の考えを再度整理しておくこと

講義コード	0006206
講義名	人間関係実践演習II[看]
(副題)	(医療教養)
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名
檀 和夫
橋本 和幸
佐伯 晴子
都築 則彦

総合学習目標

医療のプロフェッショナルになる上で個々の医学知識やさまざまな技能の修得の前にまず理解し、また身につけておかなければならない「医療の重さ」、「生命の重さ」、「他者のために働くことの意味」、「人と人との対話」の重要性について学ぶ。これらは看護学科DP-3②、DP-4①に相当する。

個別学習目標

- 1)医療の本質と医療を学ぶ者に求められていることを説明できる。
- 2)生命の驚異と神秘の仕組みを学び、生命への畏敬の念と尊厳の気持ちを理解できる。
- 3)生命を扱う医療人として生命倫理、医療倫理を理解できる。
- 4)他者のために働くことの意味を理解できる。
- 5)医療の対象となる患者の気持ち、家族の気持ちが理解できる。
- 6)対話をする上で自己の理解が不可欠であることを理解できる。
- 7)医療に不可欠な対話の大切さが理解できる。

準備学修

授業形態は演習であり、講義を聴くだけでなく毎回授業時間内に各自が作業を行い、そのプロダクトを提出する。授業後は授業の内容を振り返り、自分の考えを再度整理しておくこと(60分)。

授業計画

第1回	担当教員	檀 和夫 医療の本質と医療学生の資質
	内容	医療とは何か・医療系学生に求められるもの
第2回	担当教員	檀 和夫 生命の驚異と神秘
	内容	生命の驚異の仕組み。生命への畏敬の念。健康の大切さ。

第3回	担当教員	檀 和夫 生命倫理と医療倫理・研究倫理
	内容	知っておくべき生命倫理と医療倫理および研究倫理
第4回	担当教員	檀 和夫 都築 則彦 ボランティアについてI
	内容	キャリアへの繋がり
第5回	担当教員	檀 和夫 都築 則彦 ボランティアについてII
	内容	様々なテーマの活動
第6回	担当教員	檀 和夫 佐伯 晴子 患者の気持ち・家族の気持ち I
	内容	患者および家族への思いやり I
第7回	担当教員	檀 和夫 佐伯 晴子 患者の気持ち・家族の気持ち II
	内容	患者および家族への思いやり II
第8回	担当教員	橋本 和幸 対話の基礎・自己理解 I
	内容	性格の理解
第9回	担当教員	橋本 和幸 対話の基礎・自己理解 II
	内容	自分史の理解
第10回	担当教員	橋本 和幸 対話の基礎・自己理解 III
	内容	自己概念の理解
第11回	担当教員	橋本 和幸 面接技法 I
	内容	面接を行う前の準備
第12回	担当教員	橋本 和幸 面接技法 II
	内容	ペース合わせ
第13回	担当教員	橋本 和幸 面接技法 III
	内容	非言語的メッセージの取り扱い
第14回	担当教員	橋本 和幸 面接技法 IV
	内容	明確化
第15回	担当教員	橋本 和幸 面接技法 V
	内容	リフレーミング

評価方法

授業内課題(50%)と全15回の授業終了後に課すレポート(50%)により評価する。

教科書

テキスト

相談・指導のための面接技法 橋本 和幸 ムイスリ出版 880円+税

参考書

参考文献

人間学入門—医療のプロをめざすあなたに 日本医学教育学会 南山堂 2, 400円

看護学生のための医療倫理 盛永審一郎、長島 隆 丸善出版 2, 600円

オフィスアワー

オフィスアワー（檀）：月曜日および金曜日昼休み（12:10-13:00）、担当教員研究室。授業内容についての質問は授業中、授業後およびオフィスアワーに受け付ける。またメールでの質問も受け付ける（メールアドレス：dan@ryotokuji-u.ac.jp）。

オフィスアワー（橋本）：木曜日5限（16:20-17:50）、担当教員研究室。授業内容についての質問は授業後、オフィスアワーおよびその他随時に受け付ける。またメールでの質問も受け付ける（メールアドレス：k-hashimoto@yrotokuji-u.ac.jp）。

実務経験の有無

担当教員実務経験の有無，有

その他

<キャリア教育科目>

講義コード	0006303
講義名	人間関係実践演習Ⅲ[看]
(副題)	(医療コミュニケーション論Ⅱ)
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	3
必修/選択	必修

担当教員

氏名
入江 多津子
河端 恵美子
越智 美智子
大井 美樹
森田 桂子
田辺 洋子
天野 勢子
松浦 真理子
竹村 禎子
正藤 倫音
根本 友子
諏訪免 典子

総合学習目標

学生は、看護専門職業人になるために必要な基礎的医学知識やさまざまな技能を習得しつつあるが、さらに「医療」の重さ、「生命」の重さ、さまざまな看護場面に特有な「人と人との対話」や「チーム医療」の大切さならびに「医療安全」を予防するコミュニケーションの重要性を学ぶ。

DPとの関連：DP1-②, DP3-②, DP4-①

個別学習目標

1. 医療チームの中で、看護職が他職種と関係を構築していく過程が理解できる。
2. さまざまな看護場面に特有な患者・家族とのコミュニケーションの特徴が理解できる。
3. コミュニケーションプロセスの中から、患者のニーズをより深く理解する方法が理解できる。
4. 患者・家族の意思決定を支援する看護活動の方法が理解できる。
5. 「医療安全」を遵守するためのコミュニケーションエラーを回避する方法が理解できる。

準備学修

毎回評価がなされるので、欠席をしないよう、体調管理を怠らないようにお願いします。

授業計画

第1回	担当 教員	入江 多津子 授業のガイダンス ことばとコミュニケーションの発達【入江多津子】
	内容	本授業の目標、進め方、カンファレンスについてガイダンスを行う。 ことばとコミュニケーション 言葉の獲得と喪失 言葉を知っているとはどういうことかについて理解することができる。
第2回	担当 教員	森田 桂子 周産期の女性とその家族とのコミュニケーション【森田桂子】
	内容	1. 妊娠や出産は、夫婦の関係や周囲の人間関係にも変化をもたらす。妊産婦を取り巻く状況が変化している中で、出産・育児に向かう周産期の女性とその家族とのコミュニケーションについて理解することができる。 2. 分娩期・産褥にある健康な女性とのコミュニケーションのあり方を考えることができる。
第3回	担当 教員	河端 恵美子 子どもとのコミュニケーション【河端恵美子】
	内容	小児とのコミュニケーションにおいては、発達段階に合わせて、言語だけでなく、スキンシップや身振り手振り、表情など様々な方法を用い疾患の経過を理解することができる。
第4回	担当 教員	田辺 洋子 子どもと家族のコミュニケーション【田辺洋子】
	内容	子どもの発達において、家族の中でのコミュニケーションの重要性について理解をすることができる。
第5回	担当 教員	入江 多津子 成人期におけるコミュニケーションの特徴【竹村 貞子】
	内容	病気と仕事の両立、病を持った人と家族と上司・同僚との関係について理解することができる。 病を持った人と家族、上司・同僚、とのコミュニケーションの重要性について理解することができる。
第6回	担当 教員	根本 友子 高齢者の意思を理解する【根本 友子】
	内容	身体の予備力が低下した高齢者が病院に入院した際に、事故防止から行われる身体拘束の具体例をテーマに、高齢者の人権尊重と身体拘束の弊害についてグループで話し合い、よりよい看護を考えることができる。AL-B
第7回	担当 教員	根本 友子 高齢者の意思決定を支える【根本 友子】
	内 容	高齢者は、認知機能や身体機能が次第に低下し、やがては死を迎える。その過程において、高齢者自身の意思決定をどのように支援していくのかについて、高齢者施設入所者の事例を通して、グループで話し合い理解することができる。

	容	AL-B
第8回	担当 教員	松浦 真理子 地域・在宅ケアの視点から、在宅療養者のQOLを理解する【松浦 真理子】
	内容	地域・在宅ケアの視点から在宅療養者を支えるチーム医療の重要性を理解することができる。
第9回	担当 教員	正藤 倫音 看護コミュニケーションにおける倫理の重要性を理解する。【正藤 倫音】
	内容	事象の受け止め方と発信について理解を深め、その重要性を理解することができる。
第10回	担当 教員	入江 多津子 保健医療チームを支える人間関係【天野 勢子】
	内容	チームにおけるコミュニケーションエラーと予防について理解することができる。
第11回	担当 教員	入江 多津子 チームにおける報告・連絡・相談【天野 勢子】
	内容	医療者間のコミュニケーションのあり方を考えることができる。
第12回	担当 教員	大井 美樹 人と上手につきあうために（アサーション）【大井 美樹】
	内容	アサーションの定義をもとに、それを支える4つの柱を学び、最近の気になった出来事からアサーティブな視点で振り返ることができる。
第13回	担当 教員	入江 多津子 見取りについて【諏訪免 典子】
	内容	見取りにおける患者へのケアと家族対応や支援について理解できる。
第14回	担当 教員	入江 多津子 河端 恵美子 越智 美智子 根本 友子 カンファレンスの活性化のために① 【入江多津子・9名担当者】
	内容	1. カンファレンスの意義、カンファレンスの種類、カンファレンスにおけるメンバーの役割、効果的なカンファレンスの進め方を理解することができる。各担当の元効果的なカンファレンスを実際に行うことができる。 2. グループ編成を行い、役割（司会・書記）を決める。カンファレンスを実践する。ファシリテーターの介入を受けることもある。
	担当 教員	入江 多津子 河端 恵美子 大井 美樹 森田 桂子 田辺 洋子

第15回	員	効果的なカンファレンスについて 【入江多津子・9名担当者】
	内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 効果的なカンファレンスを実践することができる。 2. グループごとに提示されたテーマについて、各担当の元、実際にカンファレンスを行い、そのカンファレンスの結果を発表することができる。 3. カンファレンスの評価を行う。AL-C

評価方法

原則として毎回小テストまたはレポートを実施し、これによる最終的な総合評価を行う。グループ演習（カンファレンス）への参加度も評価の対象となる。

教科書

テキスト

授業に必要な資料は、適宜配布する。

参考書

テキスト

授業に必要な資料は、適宜配布する。

参考文献

オフィスアワー

別途提示する。

その他

授業・実習でカンファレンスは必ず行われるので、積極的にカンファレンスに参加し、カンファレンスの意義を理解しましょう。

本授業に関連する実務経験：有

講義コード	2001201
講義名	道徳教育の理論と実践〔看〕
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	2
必修/選択	必修

担当教員

氏名
池谷 壽夫

総合学習目標

・道徳の意義や原理、道徳性の発達等を踏まえ、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育及びその要となる「特別の教科 道徳」の目標と内容、指導計画等を理解するとともに、教材研究や学習指導案の作成、模擬授業等を通して、実践的な指導力を身に付ける。

・学校教育では教科授業だけでなく、学級活動、生徒会活動、学校行事など教科外の集団的な活動を通して、よりよい学校生活や人間関係を築き、自分自身の生き方や社会参画について主体的に考えられるようになることも重要な教育内容である。最終的には、特別活動の教育課程における意義、目標、内容、方法に関する基礎的な理解を深め、授業を計画し、実践できる能力を養うことを目標とする。

健康科学部DP1-②、看護DP4-①に該当する。

個別学習目標

- ・道徳とは何かを理解し、道徳教育の本質や理念について正しく理解することができる。
- ・道徳性の発達段階を理解し、それに応じた道徳教育を考案することができる。
- ・「特別な教科 道徳」の授業の進め方について理解し、学習指導案を作成する能力を身につけることができる。
- ・「特別活動」の指導のあり方と指導方法について理解することができる。

準備学修

事前にテキストの該当部分を読んでおくこと（30分）。各グループでに課されたテーマ発表のための準備（60分）、グループでの指導案の発表の準備（60分）

授業計画

第1回	担当教員	池谷 壽夫 道徳教育の歴史（その1）戦前の「修身」科とその特徴
	内容	大日本帝国憲法、「教育勅語」と「修身」AL: A, B, C
第2回	担当教員	池谷 壽夫 道徳教育の歴史（その2）—日本国憲法下での道徳教育の変遷
	内容	日本国憲法と教育基本法、戦後の道徳教育の変遷 A, B, C
第3回	担当教員	池谷 壽夫 道徳と道徳の諸課題
	内容	道徳と倫理、道徳の諸課題
	担当教員	池谷 壽夫

第4回	員	子どもの心理の発達と道徳性の発達段階
	内容	コールバーグの道徳性発達段階論、ギリガンらのケアの倫理 AL: B,C
第5回	担当教員	池谷 壽夫 現代社会における道徳教育の諸問題
	内容	暴力・いじめ、情報モラル、生と死、愛国心を考える AL:A, B
第6回	担当教員	池谷 壽夫 学校全体における道徳教育の構造と道徳教育の目標
	内容	学校全体で取り組む道徳教育、「特別の教科 道徳」における目標と内容
第7回	担当教員	池谷 壽夫 「特別の教科 道徳」における学習の留意点
	内容	「特別の教科 道徳」の教科書分析、学習指導案づくり、学習指導案の構成と指導方法
第8回	担当教員	池谷 壽夫 特別活動とは何か（1）
	内容	特別活動の教育課程上の位置、教育的意義、目標及び内容
第9回	担当教員	池谷 壽夫 特別活動とは（2）
	内容	学級活動・ホームルーム活動の意義と展開事例 AL: A
第10回	担当教員	池谷 壽夫 特別活動とは（3）
	内容	児童会・生徒会活動の意義と展開事例
第11回	担当教員	池谷 壽夫 特別活動とは（4）
	内容	学校行事の意義と目標及び指導計画
第12回	担当教員	池谷 壽夫 「特別の教科 道徳」・「特別活動」における学習指導案づくり（1）
	内容	各班で指導案づくりについて討論し、指導案の骨子を考える
第13回	担当教員	池谷 壽夫 「特別の教科 道徳」・「特別活動」における学習指導案づくり（2）
	内容	指導案づくりと発表への準備作業
第14回	担当教員	池谷 壽夫 道徳指導案の発表と討議（1）
	内容	1班と2班の発表と討議
第15回	担当教員	池谷 壽夫 道徳指導案の発表と討議（2）
	内容	3班と4班の発表と討議

評価方法

課題レポートとその発表：20点（10%）、学習指導案と参加度の自己評価表：80点（80%）、合計100点（100%）で評価します。

教科書

道徳教育のキソ・キホン 相澤伸幸・神代健彦編著 ナカニシヤ出版 2000円（税別）

参考書

小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編（最新版）
 中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編（最新版）
 小学校学習指導要領解説 特別活動編（最新版）
 中学校学習指導要領解説 特別活動編（最新版）

オフィスアワー

金曜日3限；池谷研究室

その他

- ①とくに道徳では、日常的な道徳を批判的に考察するとともに、これまでの自分の生き方や考え方を真摯に批判的に検討することが求められます。以上のことを念頭に置いて授業に臨んでください。
- ②グループ分けをしグループ作業と発表を行います。

講義コード	2001302
講義名	生徒指導の理論及び方法[看]
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	3
必修/選択	自由

担当教員

氏名
三浦 芳恵

総合学習目標

様々な現代的な課題を抱える学校教育において、これからの生徒指導は、問題行動への対応という消極的な生徒指導だけでなく、成長と発達から捉える生徒理解を基本とする生徒指導が強く求められている。本講義では時事的な話題を例に、教師として生徒指導を行う上で必要な理論や実践のための方法を理解し、実践能力の基礎を養う。健康科学部DP2-①、DP3-①、看護DP1に該当する。

個別学習目標

- 1 生徒指導の意義と原理について理解を深める。
- 2 教育課程と生徒指導、学校における生徒指導体制について理解を深める。
- 3 児童生徒の発達特性を踏まえた問題行動への対応のあり方について理解を深める。
- 4 課題解決に向けた実践力を身につける。

準備学修

事前にテキストの該当部分を熟読し内容を理解するとともに、疑問点を整理しておく（30分）
 授業後に資料や記録を整理し、内容理解を深める（60分）
 授業実践及び口頭発表などを行うので、事前に課題、表現方法を設定し、資料を収集、まとめ、表現活動の練習に積極的に取り組むこと（15時間）

授業計画

第1回	担当教員	三浦 芳恵 オリエンテーションと学修全体の概観
	内容	学校体験を振り返り生徒指導の重要性について理解する。 本授業の全体概要と進め方、目標・評価について理解する。AL:E
第2回	担当教員	三浦 芳恵 生徒の健全な成長を促すための生徒指導の役割
	内容	生徒指導提要の概要と、生徒指導の意義と原理について理解する。AL:A, B:
第3回	担当教員	三浦 芳恵 生徒理解のための視点
	内容	発達段階・対人関係・生育歴から児童生徒の理解を深め、共感的な理解に基づく児童生徒との関係作りについて具体的事例をもとに検討する。AL:A
第4回	担当教員	三浦 芳恵 生徒指導に関する実践研究（1）いじめ
	内容	現代の学校におけるいじめ問題を理解し、いじめ問題に学校・学年・担任としてどう取り組むか討議する。AL:A, B, C, D

第5回	担当 教員	三浦 芳恵 教育課程と生徒指導
	内容	教科や教科外での生徒指導のあり方を具体的事例から検討し理解する。AL:A
第6回	担当 教員	三浦 芳恵 学校の指導体制
	内容	学校にける生徒指導体制の重要性とチーム学校の一員としての自覚について理解する。AL:C, D
第7回	担当 教員	三浦 芳恵 模擬生徒指導実践
	内容	ペップトークによる学級活動や学校行事における全体指導を実践し、自己評価、相互評価を行う。AL:A, B, D
第8回	担当 教員	三浦 芳恵 生徒指導と教育相談
	内容	学校における教育相談の意義と体制の確立、専門機関との連携の重要性について理解する。AL:A, B, D
第9回	担当 教員	三浦 芳恵 児童生徒全体への指導
	内容	基本的な生活習慣と校内規律の現状の理解と、学校・学年・担任として組織的にどう取り組むかを理解する。AL:B, D
第10回	担当 教員	三浦 芳恵 生徒指導に関する実践研究（2）不登校
	内容	不登校についての現状と課題・対策について理解するとともに学校・学年・担任として組織的にどう取り組むかを討議する。AL:A, B, C, D
第11回	担当 教員	三浦 芳恵 個別の課題を抱える児童生徒への指導（1）発達障がい
	内容	発達障がいについて理解し、学校・学年・担任として組織的にどう取り組むかを理解する。AL:A, B, D
第12回	担当 教員	三浦 芳恵 個別の課題を抱える児童生徒への指導（2）SNS、性、生命、非行
	内容	SNS、性、生命に関する現状理解と非行などの問題行動に学校・学年・担任としてどう取り組むかを討議する。AL:A, B
第13回	担当 教員	三浦 芳恵 生徒指導に関する法制度
	内容	体罰、懲戒、出席停止等の法的根拠と学校・教育者としてのコンプライアンスについて理解を深める。AL:A
第14回	担当 教員	三浦 芳恵 学校と家庭・地域・関係機関との連携
	内容	社会の形成者としての資質の形成に向けて保護者・地域との信頼関係づくりの重要性を理解する。AL:A
第15回	担当 教員	三浦 芳恵 補足と総括
	内容	生徒指導の動向と課題と、子どもの成長・発達に重い責任を負う教師の仕事について理解する。AL:A, B 試験

評価方法

最終レポート及びテスト 45 点(45%)、実践課題への取り組み35点（35%）、提出物等 20 点(20%)により評価を行い、60 点以上を合格とする。

・ 合格点に満たなかった場合は再試験を行う。

教科書
資料は毎回配付する
参考書
参考文献 『生徒指導提要』の改訂版は文部科学省のHPで公開されています。 https://www.mext.go.jp/content/20221206-mxt_jidou02-000024699-001.pdf 『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総則編』 307円（税込）
実務経験の有無
無
その他
本授業では実践を通して理解を深めることに重点を置いているので、授業内における積極的な意見表出、実践課題への参加を望む。

講義コード	2004401
講義名	養護実習指導
(副題)	
講義開講時期	前期前半
講義区分	実習
基準単位数	1
時間	15.00
対象学年	4
必修/選択	自由

担当教員

氏名
佐久間 浩美
池谷 壽夫

総合学習目標

養護実習に行く前の段階では、養護実習の意義、目的、内容を理解し、各自の目標を明確にすることと、養護実習後には教育現場で学んだことを整理し、自らの課題を明らかにすることで養護実習を主体的に行うことを目標とする。看護学科DP3-①②

個別学習目標

- ・ 養護実習の意義と目的について理解し実習中の心得を身につける
- ・ 養護実習は、観察・参加・実施の三形態で行われることを理解し、養護実習への意欲を高める
- ・ 保健指導、保健学習の指導案を作成し、実践できるようになる
- ・ 適切な応急手当ができる

準備学修

準備として、1年次に使用した「学校における養護活動の展開」のテキストを熟読しておく(30分)、講義後には、講義で学んだ応急手当の復習、保健教育の指導案、指導資料、教材を作成する(60分)

授業計画

第1回	担当教員	佐久間 浩美 池谷 壽夫 養護実習の準備 【佐久間浩美】 【池谷寿夫】
	内容	養護実習の意義と目的、実習生としての心構えを理解する。【佐久間浩美】【池谷寿夫】佐久間が15分概説した後、2グループに分け、A佐久間、B池谷がそれぞれのグループを総括して学生の質問を受け付け説明する。 AL:B
第2回	担当教員	佐久間 浩美 学校で行う応急処置 外科 【佐久間浩美】
	内容	けが人への対応、緊急時対応について理解する。AL:D 【佐久間浩美】
	担	

第3回	当 教 員	佐久間 浩美 学校で行う応急処置 内科【佐久間浩美】
	内 容	病人への対応、緊急時対応について理解する。AL:D【佐久間浩美】
第4回	担 当 教 員	佐久間 浩美 学校における養護教諭の役割【佐久間浩美】
	内 容	事例から学校における養護教諭の役割についての理解を深める。AL:B【佐久間浩美】
第5回	担 当 教 員	佐久間 浩美 保健教育 模擬授業①小学校Aグループ【佐久間浩美】
	内 容	履修者をA、B、Cの3つのグループに分けて発表する。Aグループは小学校における保健教育。AL:C【佐久間浩美】
第6回	担 当 教 員	佐久間 浩美 保健教育 模擬授業①中学校Bグループ【佐久間浩美】
	内 容	履修者をA、B、Cの3つのグループに分けて発表する。Bグループは中学校における保健教育。AL:C【佐久間浩美】
第7回	担 当 教 員	佐久間 浩美 保健教育 模擬授業③高等学校Cグループ【佐久間浩美】
	内 容	履修者をA、B、Cの3つのグループに分けて発表する。Cグループは高等学校における保健教育。AL:C【佐久間浩美】
第8回	担 当 教 員	佐久間 浩美 養護実習後のまとめ 試験【佐久間浩美】
	内 容	養護実習の振り返りを通して、養護教諭としての資質や能力を理解する。。佐久間がそれぞれのグループを総括して学生の質問を受け付け説明し、その後試験（レポート形式）を行う。AL:C【佐久間浩美】

評価方法

学習指導案（30%）保健教育（30%）試験（レポート形式）（40%）

教科書

テキスト

参考文献

『養護教諭のための救急処置 増補版』著者：松野智子 出版社：少年写真新聞社 定価:2160円

小学校、中学校、高等学校、学習指導要領、学習指導要領解説

参考書

テキスト

参考文献

『養護教諭のための救急処置 増補版』 著者：松野智子 出版社：少年写真新聞社 定価:2160円

小学校、中学校、高等学校、学習指導要領、学習指導要領解説

オフィスアワー

木曜日、2～4時限、504研究室

実務経験の有無

有

その他

充実した養護実習を行えるように、今まで学んだ養護に関する内容をまとめておくこと。

担当教員実務経験の有無， 有

講義コード	2004501
講義名	養護実習I
(副題)	
講義開講時期	通年
講義区分	実習
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	4
必修/選択	自由

担当教員

氏名
佐久間 浩美
橋本 和幸
池谷 壽夫

総合学習目標

実習校での教育活動を通して、教育者としての自覚を高め養護観を養うとともに、養護教諭として必要な基礎的な知識や技術を習得することを目標とする。看護DP1-②、DP2-①、DP3-②、③に該当する。

個別学習目標

- ・保健室の機能及び養護教諭の果たすべき役割について理解する。
- ・児童生徒に生じやすい心身の健康問題の特質を把握する。
- ・心身の健康問題に対して、個別的、組織的に対応することへの重要性を理解する。

準備学修

実習前には、1年次の教科書「学校における養護活動の展開」を熟読しておくこと(30分)、当日の実習が終わった際には、養護実習で行ったこと、学んだことを記録し、実習中に疑問に感じた点や分からなかった点については必ず専門書や教科書を用いて調べること(60分)

授業計画

第1回	担当教員	佐久間 浩美 池谷 壽夫 橋本 和幸 養護実習の基礎
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の学校生活の様子を把握し、養護教諭の仕事を理解するとともに学校で働く教職員の仕事を理解する。 ・学校保健活動の進め方を理解し、積極的に活動に参加する。 ・養護教諭の基本的な執務を理解し実際に行ってみる。 実習先を3グループに分け、それぞれのグループを佐久間、池谷、橋本が事中共指導で学校訪問を行い、学生からの質問を受け付け説明する。 第1回 養護実習 佐久間が事中共指導で各学校訪問
第2回	担当教員	佐久間 浩美 池谷 壽夫 橋本 和幸 養護実習の基礎
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の学校生活の様子を把握し、養護教諭の仕事を理解するとともに学校で働く教職員の仕事を理解する。

	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学校保健活動の進め方を理解し、積極的に活動に参加する。 ・養護教諭の基本的な執務を理解し実際に行ってみる。 実習先を3グループに分け、それぞれのグループを佐久間、池谷、橋本が事 中指導で学校訪問を行い、学生からの質問を受け付け説明する。 第2回 養護実習 佐久間が事中指導で各学校訪問
第3回	担当 教員	佐久間 浩美 池谷 壽夫 橋本 和幸 養護実習の基礎
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の学校生活の様子を把握し、養護教諭の仕事を理解するとともに学 校で働く教職員の仕事を理解する。 ・学校保健活動の進め方を理解し、積極的に活動に参加する。 ・養護教諭の基本的な執務を理解し実際に行ってみる。 実習先を3グループに分け、それぞれのグループを佐久間、池谷、橋本が事 中指導で学校訪問を行い、学生からの質問を受け付け説明する。 第3回 養護実習 佐久間が事中指導で各学校訪問
第4回	担当 教員	佐久間 浩美 池谷 壽夫 橋本 和幸 養護実習の基礎
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の学校生活の様子を把握し、養護教諭の仕事を理解するとともに学 校で働く教職員の仕事を理解する。 ・学校保健活動の進め方を理解し、積極的に活動に参加する。 ・養護教諭の基本的な執務を理解し実際に行ってみる。 実習先を3グループに分け、それぞれのグループを佐久間、池谷、橋本が事 中指導で学校訪問を行い、学生からの質問を受け付け説明する。 第4回 養護実習 佐久間が事中指導で各学校訪問
第5回	担当 教員	佐久間 浩美 池谷 壽夫 橋本 和幸 養護実習の基礎
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の学校生活の様子を把握し、養護教諭の仕事を理解するとともに学 校で働く教職員の仕事を理解する。 ・学校保健活動の進め方を理解し、積極的に活動に参加する。 ・養護教諭の基本的な執務を理解し実際に行ってみる。 実習先を3グループに分け、それぞれのグループを佐久間、池谷、橋本が事 中指導で学校訪問を行い、学生からの質問を受け付け説明する。 第5回 養護実習 佐久間が事中指導で各学校訪問
第6回	担当 教員	佐久間 浩美 池谷 壽夫 橋本 和幸 養護実習の基礎
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の学校生活の様子を把握し、養護教諭の仕事を理解するとともに学 校で働く教職員の仕事を理解する。 ・学校保健活動の進め方を理解し、積極的に活動に参加する。 ・養護教諭の基本的な執務を理解し実際に行ってみる。 実習先を3グループに分け、それぞれのグループを佐久間、池谷、橋本が事 中指導で学校訪問を行い、学生からの質問を受け付け説明する。 第6回 養護実習 佐久間が事中指導で各学校訪問
第7回	担当 教員	佐久間 浩美 池谷 壽夫 橋本 和幸 養護実習の基礎
		<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の学校生活の様子を把握し、養護教諭の仕事を理解するとともに学 校で働く教職員の仕事を理解する。

	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学校保健活動の進め方を理解し、積極的に活動に参加する。 ・養護教諭の基本的な執務を理解し実際に行ってみる。 実習先を3グループに分け、それぞれのグループを佐久間、池谷、橋本が事 中指導で学校訪問を行い、学生からの質問を受け付け説明する。 第7回 養護実習 佐久間が事中指導で各学校訪問
第8回	担当 教員	佐久間 浩美 池谷 壽夫 橋本 和幸 養護実習の基礎
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の学校生活の様子を把握し、養護教諭の仕事を理解するとともに学 校で働く教職員の仕事を理解する。 ・学校保健活動の進め方を理解し、積極的に活動に参加する。 ・養護教諭の基本的な執務を理解し実際に行ってみる。 実習先を3グループに分け、それぞれのグループを佐久間、池谷、橋本が事 中指導で学校訪問を行い、学生からの質問を受け付け説明する。 第8回 養護実習 佐久間が事中指導で各学校訪問
第9回	担当 教員	佐久間 浩美 池谷 壽夫 橋本 和幸 養護実習の基礎
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の学校生活の様子を把握し、養護教諭の仕事を理解するとともに学 校で働く教職員の仕事を理解する。 ・学校保健活動の進め方を理解し、積極的に活動に参加する。 ・養護教諭の基本的な執務を理解し実際に行ってみる。 実習先を3グループに分け、それぞれのグループを佐久間、池谷、橋本が事 中指導で学校訪問を行い、学生からの質問を受け付け説明する。 第9回 養護実習 佐久間が事中指導で各学校訪問
第10回	担当 教員	佐久間 浩美 池谷 壽夫 橋本 和幸 養護実習の基礎
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の学校生活の様子を把握し、養護教諭の仕事を理解するとともに学 校で働く教職員の仕事を理解する。 ・学校保健活動の進め方を理解し、積極的に活動に参加する。 ・養護教諭の基本的な執務を理解し実際に行ってみる。 実習先を3グループに分け、それぞれのグループを佐久間、池谷、橋本が事 中指導で学校訪問を行い、学生からの質問を受け付け説明する。 第10回 養護実習 佐久間が事中指導で各学校訪問
第11回	担当 教員	佐久間 浩美 池谷 壽夫 橋本 和幸 養護実習の基礎
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の学校生活の様子を把握し、養護教諭の仕事を理解するとともに学 校で働く教職員の仕事を理解する。 ・学校保健活動の進め方を理解し、積極的に活動に参加する。 ・養護教諭の基本的な執務を理解し実際に行ってみる。 実習先を3グループに分け、それぞれのグループを佐久間、池谷、橋本が事 中指導で学校訪問を行い、学生からの質問を受け付け説明する。 第11回 養護実習 佐久間が事中指導で各学校訪問
第12回	担当 教員	佐久間 浩美 池谷 壽夫 橋本 和幸 養護実習の基礎
		<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の学校生活の様子を把握し、養護教諭の仕事を理解するとともに学 校で働く教職員の仕事を理解する。

	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学校保健活動の進め方を理解し、積極的に活動に参加する。 ・養護教諭の基本的な執務を理解し実際に行ってみる。 実習先を3グループに分け、それぞれのグループを佐久間、池谷、橋本が事 中指導で学校訪問を行い、学生からの質問を受け付け説明する。 第12回 養護実習 佐久間が事 中指導で各学校訪問
第13回	担当 教員	佐久間 浩美 池谷 壽夫 橋本 和幸 養護実習の基礎
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の学校生活の様子を把握し、養護教諭の仕事を理解するとともに学 校で働く教職員の仕事を理解する。 ・学校保健活動の進め方を理解し、積極的に活動に参加する。 ・養護教諭の基本的な執務を理解し実際に行ってみる。 実習先を3グループに分け、それぞれのグループを佐久間、池谷、橋本が事 中指導で学校訪問を行い、学生からの質問を受け付け説明する。 第13回 養護実習 佐久間が事 中指導で各学校訪問
第14回	担当 教員	佐久間 浩美 池谷 壽夫 橋本 和幸 養護実習の基礎
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の学校生活の様子を把握し、養護教諭の仕事を理解するとともに学 校で働く教職員の仕事を理解する。 ・学校保健活動の進め方を理解し、積極的に活動に参加する。 ・養護教諭の基本的な執務を理解し実際に行ってみる。 実習先を3グループに分け、それぞれのグループを佐久間、池谷、橋本が事 中指導で学校訪問を行い、学生からの質問を受け付け説明する。 第14回 養護実習 佐久間が事 中指導で各学校訪問
第15回	担当 教員	佐久間 浩美 池谷 壽夫 橋本 和幸 養護実習の基礎
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の学校生活の様子を把握し、養護教諭の仕事を理解するとともに学 校で働く教職員の仕事を理解する。 ・学校保健活動の進め方を理解し、積極的に活動に参加する。 ・養護教諭の基本的な執務を理解し実際に行ってみる。 実習先を3グループに分け、それぞれのグループを佐久間、池谷、橋本が事 中指導で学校訪問を行い、学生からの質問を受け付け説明する。 第15回 養護実習 佐久間が事 中指導で各学校訪問

評価方法

実習校教員の評価をもとに行う。

参考書

テキスト

参考文献『養護教諭のための教育実習マニュアル』著者：西川路由紀子 出版社：少年写真新聞社 定価：2000円

小学校、中学校、高等学校、学習指導要領、学習指導要領解説

担当教員実務経験の有無，有

オフィスアワー

各担当教員のオフィスアワーに合わせて何うようにする。

実務経験の有無
有
その他
今まで学んだ養護教諭についての職務内容と学校保健について復習するなど、事前準備を十分に行う必要がある。
担当教員実務経験の有無， 有

講義コード	2004601
講義名	養護実習II
(副題)	
講義開講時期	通年
講義区分	実習
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	4
必修/選択	自由

担当教員

氏名
佐久間 浩美
橋本 和幸
池谷 壽夫

総合学習目標

養護実習Iを踏まえて、実習校における学びを発展させ、養護教諭としての実践的な能力を養うことを目標とする。看護DP 1-②、DP 2-①、DP 3-②、③、DP 4-③に該当する。

個別学習目標

- ・実習校における児童・生徒のニーズ理解に努める。
- ・実習校における養護教諭の実践を学び、健康課題を解決する取り組みについて理解を深める。
- ・個別の健康相談・健康相談活動、集団に対する保健教育を実施することで、養護教諭としての専門的な能力を身につける。
- ・実習校で得られた課題を、今後の大学における学びに生かす。

準備学修

実習準備として、学習指導要領、応急手当などを確認する（30分）、その日の実習の終了後には、不明な点や分からなかった点を専門書（学習指導要領、指導書、医学書）等で調べる（60分）

授業計画

第1回	担当教員	佐久間 浩美 池谷 壽夫 橋本 和幸 養護実習の発展
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒に対して個々の健康課題に適応した関わり方を学び、実際に行うことで、養護活動に必要な知識や技術を習得する。 ・児童生徒に対する応急処置や応急看護を実際に行い、その後の経過から自らの指導や処置を評価する。 ・集団に対する保健教育を計画し、実践、評価を行うことで、児童生徒の健康課題を解決できる力を養う。 ・健康相談・健康相談活動における保護者や教職員、他の専門機関との連携の実際について学び健康相談活動についての理解を深める。 ・全実習を通して、養護教諭になるための自らの課題を明確化し、今後何を学んでいけばよいのか考える。

		<p>実習先を3グループに分け、それぞれのグループを佐久間、池谷、橋本が事 中指導で学校訪問を行い、学生からの質問を受け付け説明する。 第1回 養護実習 佐久間が事 中指導で各学校訪問</p>
第2回	担当 教員	<p>佐久間 浩美 池谷 壽夫 橋本 和幸 養護実習の発展</p>
	内容	<p>・児童生徒に対して個々の健康課題に 適応した関わり方を学び、実際に 行うことで、養護活動に必要な知 識や技術を習得する。 ・児童生徒に対する応急処置や応 急看護を実際に行い、その後の 経過から自らの指導や処置を評 価する。 ・集団に対する保健教育を計画し、 実践、評価を行うことで、児童 生徒の健康課題を解決できる力 を養う。 ・健康相談・健康相談活動にお ける保護者や教職員、他の専門 機関との連携の実際について 学び健康相談活動についての理 解を深める。 ・全実習を通して、養護教諭に なるための自らの課題を明確化 し、今後何を学んでいけばよい のか考える。</p> <p>実習先を3グループに分け、それ ぞれのグループを佐久間、池谷、 橋本が事 中指導で学校訪問を行い、学生 から の質問を受け付け説明する。 第2回 養護実習 佐久間が事 中指導で各学校訪問</p>
第3回	担当 教員	<p>佐久間 浩美 池谷 壽夫 橋本 和幸 養護実習の発展</p>
	内容	<p>・児童生徒に対して個々の健康課題に 適応した関わり方を学び、実際に 行うことで、養護活動に必要な知 識や技術を習得する。 ・児童生徒に対する応急処置や応 急看護を実際に行い、その後の 経過から自らの指導や処置を評 価する。 ・集団に対する保健教育を計画し、 実践、評価を行うことで、児童 生徒の健康課題を解決できる力 を養う。 ・健康相談・健康相談活動にお ける保護者や教職員、他の専門 機関との連携の実際について 学び健康相談活動についての理 解を深める。 ・全実習を通して、養護教諭に なるための自らの課題を明確化 し、今後何を学んでいけばよい のか考える。</p> <p>実習先を3グループに分け、それ ぞれのグループを佐久間、池谷、 橋本が事 中指導で学校訪問を行い、学生 から の質問を受け付け説明する。 第3回 養護実習 佐久間が事 中指導で各学校訪問</p>
第4回	担当 教員	<p>佐久間 浩美 池谷 壽夫 橋本 和幸 養護実習の発展</p>
	内容	<p>・児童生徒に対して個々の健康課題に 適応した関わり方を学び、実際に 行うことで、養護活動に必要な知 識や技術を習得する。 ・児童生徒に対する応急処置や応 急看護を実際に行い、その後の 経過から自らの指導や処置を評 価する。 ・集団に対する保健教育を計画し、 実践、評価を行うことで、児童 生徒の健康課題を解決できる力 を養う。 ・健康相談・健康相談活動にお ける保護者や教職員、他の専門 機関との連携の実際について 学び健康相談活動についての理 解を深める。 ・全実習を通して、養護教諭に なるための自らの課題を明確化 し、今後何を学んでいけばよい のか考える。</p> <p>実習先を3グループに分け、それ ぞれのグループを佐久間、池谷、 橋本が事 中指導で学校訪問を行い、学生 から の質問を受け付け説明する。</p>

		第4回 養護実習 佐久間が事中共導で各学校訪問
第5回	担当 教員	佐久間 浩美 池谷 壽夫 橋本 和幸 養護実習の発展
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒に対して個々の健康課題に適応した関わり方を学び、実際に行うことで、養護活動に必要な知識や技術を習得する。 ・児童生徒に対する応急処置や応急看護を実際に行い、その後の経過から自らの指導や処置を評価する。 ・集団に対する保健教育を計画し、実践、評価を行うことで、児童生徒の健康課題を解決できる力を養う。 ・健康相談・健康相談活動における保護者や教職員、他の専門機関との連携の実際について学び健康相談活動についての理解を深める。 ・全実習を通して、養護教諭になるための自らの課題を明確化し、今後何を学んでいけばよいのか考える。 <p>実習先を3グループに分け、それぞれのグループを佐久間、池谷、橋本が事中共導で学校訪問を行い、学生からの質問を受け付け説明する。 第5回 養護実習 佐久間が事中共導で各学校訪問</p>
第6回	担当 教員	佐久間 浩美 池谷 壽夫 橋本 和幸 養護実習の発展
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒に対して個々の健康課題に適応した関わり方を学び、実際に行うことで、養護活動に必要な知識や技術を習得する。 ・児童生徒に対する応急処置や応急看護を実際に行い、その後の経過から自らの指導や処置を評価する。 ・集団に対する保健教育を計画し、実践、評価を行うことで、児童生徒の健康課題を解決できる力を養う。 ・健康相談・健康相談活動における保護者や教職員、他の専門機関との連携の実際について学び健康相談活動についての理解を深める。 ・全実習を通して、養護教諭になるための自らの課題を明確化し、今後何を学んでいけばよいのか考える。 <p>実習先を3グループに分け、それぞれのグループを佐久間、池谷、橋本が事中共導で学校訪問を行い、学生からの質問を受け付け説明する。 第6回 養護実習 佐久間が事中共導で各学校訪問</p>
第7回	担当 教員	佐久間 浩美 池谷 壽夫 橋本 和幸 養護実習の発展
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒に対して個々の健康課題に適応した関わり方を学び、実際に行うことで、養護活動に必要な知識や技術を習得する。 ・児童生徒に対する応急処置や応急看護を実際に行い、その後の経過から自らの指導や処置を評価する。 ・集団に対する保健教育を計画し、実践、評価を行うことで、児童生徒の健康課題を解決できる力を養う。 ・健康相談・健康相談活動における保護者や教職員、他の専門機関との連携の実際について学び健康相談活動についての理解を深める。 ・全実習を通して、養護教諭になるための自らの課題を明確化し、今後何を学んでいけばよいのか考える。 <p>実習先を3グループに分け、それぞれのグループを佐久間、池谷、橋本が事中共導で学校訪問を行い、学生からの質問を受け付け説明する。 第7回 養護実習 佐久間が事中共導で各学校訪問</p>

第8回	担当 教員 佐久間 浩美 池谷 壽夫 橋本 和幸 養護実習の発展	<p>・児童生徒に対して個々の健康課題に適応した関わり方を学び、実際に行うことで、養護活動に必要な知識や技術を習得する。</p> <p>・児童生徒に対する応急処置や応急看護を実際に行い、その後の経過から自らの指導や処置を評価する。</p> <p>・集団に対する保健教育を計画し、実践、評価を行うことで、児童生徒の健康課題を解決できる力を養う。</p> <p>・健康相談・健康相談活動における保護者や教職員、他の専門機関との連携の実際について学び健康相談活動についての理解を深める。</p> <p>・全実習を通して、養護教諭になるための自らの課題を明確化し、今後何を学んでいけばよいのか考える。</p> <p>実習先を3グループに分け、それぞれのグループを佐久間、池谷、橋本が事 中指導で学校訪問を行い、学生からの質問を受け付け説明する。 第8回 養護実習 佐久間が事 中指導で各学校訪問</p>
第9回	担当 教員 佐久間 浩美 池谷 壽夫 橋本 和幸 養護実習の発展	<p>・児童生徒に対して個々の健康課題に適応した関わり方を学び、実際に行うことで、養護活動に必要な知識や技術を習得する。</p> <p>・児童生徒に対する応急処置や応急看護を実際に行い、その後の経過から自らの指導や処置を評価する。</p> <p>・集団に対する保健教育を計画し、実践、評価を行うことで、児童生徒の健康課題を解決できる力を養う。</p> <p>・健康相談・健康相談活動における保護者や教職員、他の専門機関との連携の実際について学び健康相談活動についての理解を深める。</p> <p>・全実習を通して、養護教諭になるための自らの課題を明確化し、今後何を学んでいけばよいのか考える。</p> <p>実習先を3グループに分け、それぞれのグループを佐久間、池谷、橋本が事 中指導で学校訪問を行い、学生からの質問を受け付け説明する。 第9回 養護実習 佐久間が事 中指導で各学校訪問</p>
第10回	担当 教員 佐久間 浩美 池谷 壽夫 橋本 和幸 養護実習の発展	<p>・児童生徒に対して個々の健康課題に適応した関わり方を学び、実際に行うことで、養護活動に必要な知識や技術を習得する。</p> <p>・児童生徒に対する応急処置や応急看護を実際に行い、その後の経過から自らの指導や処置を評価する。</p> <p>・集団に対する保健教育を計画し、実践、評価を行うことで、児童生徒の健康課題を解決できる力を養う。</p> <p>・健康相談・健康相談活動における保護者や教職員、他の専門機関との連携の実際について学び健康相談活動についての理解を深める。</p> <p>・全実習を通して、養護教諭になるための自らの課題を明確化し、今後何を学んでいけばよいのか考える。</p> <p>実習先を3グループに分け、それぞれのグループを佐久間、池谷、橋本が事 中指導で学校訪問を行い、学生からの質問を受け付け説明する。 第10回 養護実習 佐久間が事 中指導で各学校訪問</p>
	担当 佐久間 浩美 池谷 壽夫	

第11回	教員 橋本 和幸 養護実習の発展
	内容 <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒に対して個々の健康課題に適応した関わり方を学び、実際に行うことで、養護活動に必要な知識や技術を習得する。 ・児童生徒に対する応急処置や応急看護を実際に行い、その後の経過から自らの指導や処置を評価する。 ・集団に対する保健教育を計画し、実践、評価を行うことで、児童生徒の健康課題を解決できる力を養う。 ・健康相談・健康相談活動における保護者や教職員、他の専門機関との連携の実際について学び健康相談活動についての理解を深める。 ・全実習を通して、養護教諭になるための自らの課題を明確化し、今後何を学んでいけばよいのか考える。 <p>実習先を3グループに分け、それぞれのグループを佐久間、池谷、橋本が事中共指導で学校訪問を行い、学生からの質問を受け付け説明する。 第11回 養護実習 佐久間が事中共指導で各学校訪問</p>
第12回	担当教員 佐久間 浩美 池谷 壽夫 橋本 和幸 養護実習の発展
	内容 <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒に対して個々の健康課題に適応した関わり方を学び、実際に行うことで、養護活動に必要な知識や技術を習得する。 ・児童生徒に対する応急処置や応急看護を実際に行い、その後の経過から自らの指導や処置を評価する。 ・集団に対する保健教育を計画し、実践、評価を行うことで、児童生徒の健康課題を解決できる力を養う。 ・健康相談・健康相談活動における保護者や教職員、他の専門機関との連携の実際について学び健康相談活動についての理解を深める。 ・全実習を通して、養護教諭になるための自らの課題を明確化し、今後何を学んでいけばよいのか考える。 <p>実習先を3グループに分け、それぞれのグループを佐久間、池谷、橋本が事中共指導で学校訪問を行い、学生からの質問を受け付け説明する。 第12回 養護実習 佐久間が事中共指導で各学校訪問</p>
第13回	担当教員 佐久間 浩美 池谷 壽夫 橋本 和幸 養護実習の発展
	内容 <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒に対して個々の健康課題に適応した関わり方を学び、実際に行うことで、養護活動に必要な知識や技術を習得する。 ・児童生徒に対する応急処置や応急看護を実際に行い、その後の経過から自らの指導や処置を評価する。 ・集団に対する保健教育を計画し、実践、評価を行うことで、児童生徒の健康課題を解決できる力を養う。 ・健康相談・健康相談活動における保護者や教職員、他の専門機関との連携の実際について学び健康相談活動についての理解を深める。 ・全実習を通して、養護教諭になるための自らの課題を明確化し、今後何を学んでいけばよいのか考える。 <p>実習先を3グループに分け、それぞれのグループを佐久間、池谷、橋本が事中共指導で学校訪問を行い、学生からの質問を受け付け説明する。 第13回 養護実習 佐久間が事中共指導で各学校訪問</p>
	担当教員 佐久間 浩美 池谷 壽夫 橋本 和幸 養護実習の発展

第14回	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒に対して個々の健康課題に適応した関わり方を学び、実際に行うことで、養護活動に必要な知識や技術を習得する。 ・児童生徒に対する応急処置や応急看護を実際に行い、その後の経過から自らの指導や処置を評価する。 ・集団に対する保健教育を計画し、実践、評価を行うことで、児童生徒の健康課題を解決できる力を養う。 ・健康相談・健康相談活動における保護者や教職員、他の専門機関との連携の実際について学び健康相談活動についての理解を深める。 ・全実習を通して、養護教諭になるための自らの課題を明確化し、今後何を学んでいけばよいのか考える。 <p>実習先を3グループに分け、それぞれのグループを佐久間、池谷、橋本が事中共指導で学校訪問を行い、学生からの質問を受け付け説明する。 第14回 養護実習 佐久間が事中共指導で各学校訪問</p>
第15回	内容	<p>担当 教員 佐久間 浩美 池谷 壽夫 橋本 和幸 養護実習の発展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒に対して個々の健康課題に適応した関わり方を学び、実際に行うことで、養護活動に必要な知識や技術を習得する。 ・児童生徒に対する応急処置や応急看護を実際に行い、その後の経過から自らの指導や処置を評価する。 ・集団に対する保健教育を計画し、実践、評価を行うことで、児童生徒の健康課題を解決できる力を養う。 ・健康相談・健康相談活動における保護者や教職員、他の専門機関との連携の実際について学び健康相談活動についての理解を深める。 ・全実習を通して、養護教諭になるための自らの課題を明確化し、今後何を学んでいけばよいのか考える。 <p>実習先を3グループに分け、それぞれのグループを佐久間、池谷、橋本が事中共指導で学校訪問を行い、学生からの質問を受け付け説明する。 第15回 養護実習 佐久間が事中共指導で各学校訪問</p>

評価方法

実習校教員の評価をもとに行う。

教科書

テキスト

参考文献

『養護教諭のための教育実習マニュアル』著者：西川路由紀子 出版社：少年写真新聞社 定価：2000円

小学校、中学校、高等学校、学習指導要領、学習指導要領解説

担当教員実務経験の有無，有

参考書

テキスト

参考文献

『養護教諭のための教育実習マニュアル』 著者：西川路由紀子 出版社：少年写真新聞社 定価：2000円

小学校、中学校、高等学校、学習指導要領、学習指導要領解説

担当教員実務経験の有無，有

オフィスアワー

担当教員のオフィスアワーに伺う。

実務経験の有無

有

その他

養護実習IIにおける自らの課題を踏まえて、養護実習IIを行う必要がある。

担当教員実務経験の有無，有

講義コード	2004802
講義名	教職実践研究 [看]
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
時間	15.00
対象学年	3年
必修/選択	選択

担当教員

氏名
池谷 壽夫
橋本 和幸
菅沼 徳夫
佐久間 浩美

総合学習目標

保健体育科教員採用試験を受験する4年生を対象とした教職実践に関する研究，演習として、これまでの4年間で修得してきた知識と技能を実践的に体系化し、将来、教育現場で実践力のある教員になるために必要な知識と技能を修得することを目標とする。
健康科学部DP1-②、DP3-①、整備DP2-①、DP3-①に該当。

個別学習目標

- ・ 学校教育の基本と教員としての必要な知識を理解することができる。
- ・ 保健体育科教諭として、教科指導、学級経営、生徒指導等で求められる役割を理解できる。

準備学修

事前に学習指導要領総則および解説を読んで、重要事項をまとめておくこと（60分）
授業で配布されたプリントを読みなおし、基本的用語等を確認すること（30分）

授業計画

第1回	担当教員	池谷 壽夫 教職課程及び学習指導要領について【池谷壽夫】
	内容	AL:A, C
第2回	担当教員	池谷 壽夫 西洋と日本における教育の歴史について【池谷壽夫】
	内容	AL:A, C
第3回	担当教員	橋本 和幸 発達理論、学習理論、学級集団、教育評価【橋本和幸】
	内容	AL:A
	担	

第4回	当 教 員	池谷 壽夫 憲法、教育基本法、その他必要な法律について【江黒友美】
	内 容	AL:A, C
第5回	担 当 教 員	佐久間 浩美 養護教諭として必要な知識と技能について1-学校保健【佐久間浩美】
	内 容	学校保健とは、学校において児童生徒の健康の保持増進を図ること、集団教育としての学校教育活動に必要な健康や安全への配慮を行うなど、など学校における保健管理と保健教育、そしてそれらの活動を円滑に進めるための組織活動があることを理解する。AL:A, C
第6回	担 当 教 員	佐久間 浩美 養護教諭として必要な知識と技能について2-保健教育【佐久間浩美】
	内 容	学校における保健教育は、保健に関連する各教科、総合的な学習の時間、特別活動、保健室における個別指導や日常の学校生活での指導であることを知り、具体的な指導方法を理解する。AL:A, C
第7回	担 当 教 員	佐久間 浩美 養護教諭として必要な知識と技能について3-保健管理【佐久間浩美】
	内 容	学校における保健管理は、対人管理、対物管理などに分けて教育的な見地から実施することを知り、心身の管理、生活の管理、学校環境の管理の具体的な内容を理解する。AL:A, C
第8回	担 当 教 員	佐久間 浩美 養護教諭として必要な知識と技能について4-組織活動【佐久間浩美】
	内 容	学校における組織活動とは児童生徒の健康の保持増進を目指し、保健管理と保健教育を有機的に関連付け、効果的に推進することを知り、開かれた学校として行われる実践内容を理解する。AL:A, C
第9回	担 当 教 員	
	内 容	

評価方法

各回の授業中のレポートを中心に総合的に評価する。

教科書

特になし

参考書

中学校学習指導要領総則、中学校学習指導要領解説 保健体育編、高等学校学習指導要領解説 保健体育編・体育編、子どもの健康相談及び保健指導の手引（文部科学省）

オフィスアワー

金曜日3限・池谷研究室

実務経験の有無

有

その他

第1回～第4回は整復・看護合同で授業を行い、第5回～第8回は整復・看護別に授業を行います。

講義コード	2005201
講義名	教職実践演習[養護]
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	4
必修/選択	自由

担当教員

氏名
佐久間 浩美

総合学習目標

教職課程の他の授業科目の履修や教職課程以外でのさまざまな活動を通して、身につけた資質能力が養護教諭の必要最低限の資質能力として融合され、形成されているのかについて最終確認する。看護学科DP3-①、②、③

個別学習目標

養護教諭になる上で、自己の課題について具体的に自覚することができる。
教育現場に出向き現代的な健康課題を解決する健康教育を実施することで、養護教諭は学校におけるヘルスプロモーション活動の担い手であることを理解し、養護教諭として必要な実践的な能力を身につける。養護教諭になる上で自らの「養護観」「児童観」「生徒観」「健康観」を明確にしていく。

準備学修

授業の前には、1年次のテキスト、「学校における養護活動の展開」を熟読しておく(30分)、講義後には、健康課題を解決するための健康教育に役立つ専門書(医学、心理、教育)を読み学びを深める(60分)

授業計画

第1回	担当教員	佐久間 浩美 オリエンテーション
	内容	教職実践演習(養護教諭)の主旨・ねらいと履修カルテの活用方法について理解する。
第2回	担当教員	佐久間 浩美 養護実習での学びの振り返り1
	内容	養護実習で得た学びを振り返り、養護教諭に必要な実践的な能力とは何か、また児童観、生徒観について理解を深める AL:C 小学校発表①
第3回	担当教員	佐久間 浩美 養護実習での学びの振り返り2
	内容	養護実習で得た学びを振り返り、養護教諭に必要な実践的な能力とは何か、また児童観、生徒観について理解を深める AL:C 小学校発表②

第4回	担当 教員	佐久間 浩美 養護実習での学びの振り返り3
	内容	養護実習で得た学びを振り返り、養護教諭に必要な実践的な能力とは何か、また児童観、生徒観について理解を深める AL:C 中学校発表①
第5回	担当 教員	佐久間 浩美 養護実習での学びの振り返り4
	内容	養護実習で得た学びを振り返り、養護教諭に必要な実践的な能力とは何か、また児童観、生徒観について理解を深める AL:C 中学校発表②
第6回	担当 教員	佐久間 浩美 養護実習での学びの振り返り5
	内容	養護実習で得た学びを振り返り、養護教諭に必要な実践的な能力とは何か、また児童観、生徒観について理解を深める AL:C 高等学校発表①
第7回	担当 教員	佐久間 浩美 課題解決のための健康教育 指導案作成1
	内容	児童生徒の健康課題を解決する健康教育を学ぶため、実際に中学校に出向き「SNS依存、ネットゲーム依存」の授業を行う。グループに分かれて指導案を作成する。AL : B
第8回	担当 教員	佐久間 浩美 課題解決のための健康教育 指導案作成2
	内容	児童生徒の健康課題を解決する健康教育を学ぶため、実際に中学校に出向き「SNS依存、ネットゲーム依存」の授業を行う。グループに分かれて指導案を作成する。AL:B
第9回	担当 教員	佐久間 浩美 課題解決のための健康教育 模擬授業1
	内容	児童生徒の健康課題を解決する健康教育を学ぶため、実際に中学校に出向き「SNS依存、ネットゲーム依存」の授業を行う。グループに分かれて模擬授業を実施する。AL:C
第10回	担当 教員	佐久間 浩美 課題解決のための健康教育 模擬授業2
	内容	児童生徒の健康課題を解決する健康教育を学ぶため、実際に中学校に出向き「SNS依存、ネットゲーム依存」の授業を行う。グループに分かれて模擬授業を実施する。AL:C
第11回	担当 教員	佐久間 浩美 課題解決のための健康教育 フィールドワーク1

	内容	児童生徒の健康課題を解決する健康教育を学ぶため、実際に中学校に出向き「SNS依存、ネットゲーム依存」の授業を行う。授業を行うことで養護教諭が行う集団に対する保健教育の意義と課題を知る。AL:D
第12回	担当教員	佐久間 浩美 課題解決のための健康教育 フィールドワーク2
	内容	児童生徒の健康課題を解決する健康教育を学ぶため、実際に中学校に出向き「SNS依存、ネットゲーム依存」の授業を行う。授業を行うことで養護教諭が行う集団に対する保健教育の意義と課題を知る。AL:D
第13回	担当教員	佐久間 浩美 課題解決のための健康教育 フィールドワーク3
	内容	児童生徒の健康課題を解決する健康教育を学ぶため、実際に中学校に出向き「SNS依存、ネットゲーム依存」の授業を行う。授業を行うことで養護教諭が行う集団に対する保健教育の意義と課題を知る。AL:D
第14回	担当教員	佐久間 浩美 課題解決のための健康教育、振り返り
	内容	実際に行った健康教育の振り返りから、今後、養護教諭として何をしていかなければならないのかを考える。AL:B
第15回	担当教員	佐久間 浩美 まとめ、履修カルテの仕上げ
	内容	履修カルテの仕上げを行い、養護教諭一種免許状を受け取る責任と自覚を高める。

評価方法

授業観察レポート、履修カルテ、レポート、授業実践等で総合評価する

教科書

テキスト

『教職実践ノート』

参考文献

原田恵理子・森山賢一編著『自己成長を目指す教職実践演習テキスト』北樹出版、1600円（税別）

参考書

テキスト

『教職実践ノート』

参考文献

原田恵理子・森山賢一編著『自己成長を目指す教職実践演習テキスト』北樹出版、1600円（税別）

別)

オフィスアワー

木曜日、2～4時限、504研究室

実務経験の有無

有

その他

必要に応じて授業計画が変更することがある。

各回グループ演習を行うが、主となる教員が持ち回りで司会進行を担当し、他2名は補助教員として各グループに入って指導、助言を行う授業形式とする。

担当教員実務経験の有無， 有

講義コード	5101002
講義名	薬理学[看]
(副題)	
講義開講時期	前期後半
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	15.00
対象学年	2
必修/選択	必修

担当教員

氏名
檀 和夫

総合学習目標

内科系疾患の治療の中心をなす薬物療法について薬理学総論の基本的知識を習得する。各系統別疾患に用いられる薬物についてその種類、作用機序、投与方法、効果および副作用を学ぶ。これらの薬理学の知識は内科系疾患を理解するための疾病治療I、疾病治療II、疾病治療IIIの科目と合わせて学ぶことによってさらに確実に身につくように構築している。これらは看護学科DP-1②に相当する。

個別学習目標

- 1) 薬物の作用機序、生体への効果、体内動態、有用性・有害性を説明できる。
- 2) 各系統別疾患に用いられる薬物について説明できる。
- 3) 薬物の主な副作用について説明できる。

準備学修

1回の講義で扱う範囲は広いため十分な予習・復習が不可欠である。授業計画に記載した毎回のテーマにつき図書館で参考図書を読み事前に情報を得ておく(60分)、また講義後は授業内容につき理解が不十分なところを補っておくこと(60分)。授業では学習内容の確認のため毎回小テストを行う。

授業計画

第1回	担当教員	檀 和夫 薬理学総論
	内容	薬物の作用機序、薬の体内挙動、薬物の代謝・排泄、薬物の相互作用・副作用
第2回	担当教員	檀 和夫 感染症に対する薬物
	内容	病原体、抗菌薬の作用機序、抗感染症薬各論
第3回	担当教員	檀 和夫 抗がん薬・抗炎症薬
	内容	抗がん薬の作用機序、抗がん薬各論、抗炎症薬
第4回	担当教員	檀 和夫 神経系に作用する薬物
	内容	自律神経作用薬、中枢神経系に作用する薬物
第5回	担当教員	檀 和夫 心臓・血管系に作用する薬物

	内容	抗高血圧薬、狭心症治療薬、心不全治療薬、抗不整脈薬
第6回	担当教員	檀 和夫 呼吸器・消化器系に作用する薬物
	内容	鎮咳薬・去痰薬、気管支喘息治療薬、胃潰瘍・胃炎治療薬、制吐薬、下剤・止痢薬
第7回	担当教員	檀 和夫 血液・内分泌代謝系に作用する薬物
	内容	血液疾患治療薬、輸液・輸血製剤、糖尿病治療薬
第8回	担当教員	檀 和夫 薬物の副作用
	内容	副作用の種類、重要な医薬品副作用

評価方法

定期試験 100点 (100%) で評価する。ただし、授業内小テストの内容を勘案する。

教科書

テキスト 講義ごとに資料を配布する。

参考書

参考文献 系統看護学 薬理学 疾病のなりたちと回復の促進③ 著者：吉岡充弘 他 医学書院
2, 300円+税

オフィスアワー

オフィスアワー：月曜日および金曜日昼休み (12:10-13:00)、担当教員研究室。授業内容についての質問は授業中、授業後およびオフィスアワーに受け付ける。またメールでの質問も受け付ける (メールアドレス： dan@ryotokuji-u.ac.jp)。

実務経験の有無

担当教員実務経験の有無， 有

講義コード	5101102
講義名	微生物学・免疫学（感染症学を含む）[看]
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	2
必修/選択	必修

担当教員

氏名

中島 琢磨

総合学習目標

看護の現場や日常生活の中で、怪我やほこりの吸引など、「ばい菌」と接触する機会は絶え間なく訪れる。中には、些細な傷から私達の体内に侵入し、命を奪う「ばい菌」もある。それらは決して特殊なものではなく、私達の身の回りにいつも存在し、時には私達を護ることさえある。このような「ばい菌」を微生物と呼び、微生物によって発症する疾患が感染症である。看護の対象となる疾患の多くはこれら感染症であり、来院時に感染症でなくても、薬や治療の過程で感染症の犠牲になる人がある。一方で、感染症から私達自身を護っているのが免疫系という仕組みである。感染症を起こす微生物がどのような存在か、どのような疾患の原因になるかについて知る事は、感染を予防する上でも、感染症を治療する上でも重要である。

ところで、感染症が疑われるとき、私達は医師によって抗生薬の処方を受ける。抗生薬を始めとする医薬品の発達は、感染症の脅威から私達を遠ざけているが、薬剤に耐性を持つ病原性微生物が絶え間なく出現し続けていることを知っているだろうか。抗生薬を含む医薬品は、感染の予防や治療において補助的な役割を果たすに過ぎない。医薬品の有無にかかわらず感染源と対峙するのは、免疫系である。免疫系は、感染症以外にも健康維持に重要な働きをするが、時として暴走し、却って私達の健康を奪うことがある。従って、免疫系の構成とその働きや役割、機能調節の仕組みを学ぶことは、微生物を学ぶことと並んで重要である。

本講義では、感染症の原因となる微生物と免疫システムの基本を学び、生活や医療の実際において考え、応用できる基盤の涵養を目標とする。

本講義は、看護学科DP-1②に該当する。

個別学習目標

- ① 微生物（細菌・真菌・原虫・ウイルス）の性質について、基本的な事項を説明できる。
- ② 感染とその経路、および感染症の予防・診断・治療について、基本的な事項を説明できる。
- ③ 病原性微生物の性質を知り、感染症と関連付けて説明できる。
- ④ 消毒や滅菌の必要性や方法について説明できる
- ⑤ 薬剤耐性とその獲得機構について、基本的な事項を説明できる。
- ⑥ 免疫システムによる生体防御機構（自然免疫・獲得免疫）について、基本的な事項を説明できる。
- ⑦ 免疫システムの異常と疾患について、基本的な事項を説明できる。

準備学修

以下の生物学の基本事項を理解している必要がある

1. 細胞の種類やしきみ
2. 遺伝と遺伝子の構造・複製・発現のしくみ
3. タンパク質の性質と役割

授業計画

第1回	担当教員	中島 琢磨 微生物学の基礎（教科書第1章、第2章）
	内容	1. 微生物学や免疫学の発展の歴史と感染症の現状について学ぶ 2. 微生物の生物学的特徴について学ぶ
第2回	担当教員	中島 琢磨 微生物学の基礎 - 2（教科書第1章、第2章）
	内容	1. 微生物学や免疫学の発展の歴史と感染症の現状について学ぶ 2. 微生物の生物学的特徴について学ぶ
第3回	担当教員	中島 琢磨 微生物と感染症（教科書第3章）
	内容	感染症にかかわる病原体と感染症の概要を学ぶ
第4回	担当教員	中島 琢磨 感染症の制御（教科書第5章）
	内容	感染症の予防に関する法規、方法や、感染が起こった場合の対処法について学ぶ
第5回	担当教員	中島 琢磨 化学療法と耐性菌（教科書第6章）
	内容	感染症治療に用いられる薬の役割と作用メカニズムの概要を知る 薬剤耐性微生物が生じる仕組みについて理解する
第6回	担当教員	中島 琢磨 免疫と生体防御機構（教科書第4章1～4）
	内容	免疫とは何か？ 免疫の関わる基本用語を学び、免疫のしくみの概要を把握する
第7回	担当教員	中島 琢磨 免疫と生体防御機構2（教科書第4章5）
	内容	獲得免疫のしくみについて学ぶ
第8回	担当教員	中島 琢磨 免疫と生体防御機構3（教科書第4章6）
	内容	アレルギーについて学ぶ
第9回	担当教員	中島 琢磨 免疫と生体防御機構4（教科書第4章7～9）
	内容	自己免疫疾患、移植免疫、免疫不全症について学ぶ
第10回	担当教員	中島 琢磨 細菌学各論1（教科書第7章1～2）
	内容	代表的なグラム陽性細菌について学ぶ
第11回	担当教員	中島 琢磨 細菌学各論2（教科書第7章3～7）
	内容	代表的なグラム陰性細菌について学ぶ
第12回	担当教員	中島 琢磨 ウイルス学各論（教科書第8章）
	内容	ウイルスと病原性について学ぶ
		中島 琢磨

第13回	担当教員	真菌と寄生虫1 (教科書第9章～10章)
	内容	真菌とその感染症について学ぶ 寄生虫のうち、単細胞生物である原虫とその感染症について学ぶ
第14回	担当教員	中島 琢磨 真菌と寄生虫1 (教科書第10章～11章)
	内容	寄生虫のうち多細胞生物である蠕虫とその感染症について学ぶ
第15回	担当教員	中島 琢磨 全講義のまとめと補足
	内容	講義全体を俯瞰し、復習する 必要に応じ、補足を行う

評価方法

定期試験80%、小テスト20%、合計100%

教科書

感染制御の基本がわかる 微生物学・免疫学、増澤俊幸著、羊土社、2020年10月発刊、ISBN978-4-7581-0975-8、2,800円+税 (税込み 3,080円)

オフィスアワー

授業内容についての質問は授業中、授業後およびオフィスアワー（教員研究室）に受け付ける。また、メールでの質問も受け付ける。
オフィスアワー；火曜日と木曜日の昼休み、月曜日午後（13:00 - 16:00）
メールアドレス：t-nakajima@ryotokuji-u.ac.jp

実務経験の有無

有

その他

担当教員実務経験の有無，有

講義コード	5102403
講義名	リハビリテーション医学[看]
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	3・4
必修/選択	選択

担当教員

氏名
山之口 美喜生

総合学習目標

DPI
かつて、リハビリテーション医療における看護の役割は医師や理学療法士等の臨床治療を支える補助的な意味合いが濃かった。しかし、その役割が時代の変遷とともに進化し、ここ20余年の間にリハビリテーション看護学として体系化され、更に歩みを重ねている。本講では、リハビリテーション医学の概念と障害学や運動学の基礎理論を学びながら、看護の展開において重要となる”caring for patients”の視点からの生活活動等の援助の方法を具体的に考察できるようになることを目指す。
特に「上手な介助はすなわち訓練となる」ことを理解し、移動介助場面における”taking care of patients”のよりプロフェッショナルな技術を学ぶ。リハビリテーション医学を知ることは、より配慮されたcaringを通したより上質なcareの実践に役立つことになる、ということが理解できるようになる。

個別学習目標

- ①リハビリテーションの概念や歴史についての概要を理解する。
- ②障害についてその神経解剖的機序や運動学的意味を理解する。
- ③リハビリテーション医療とは何かを理解する。
- ④リハビリテーション看護とは何かを理解する。
- ⑤移乗動作などの具体的介助技術について、リハビリテーション医学の視点で実践できる。

準備学修

人体の構造・機能論Ⅲの授業で習った「筋」「脳」「神経」を復習しておくことで授業がより理解しやすくなります。

授業計画

第1回	担当教員	山之口 美喜生 リハビリテーションの概念と歴史 基本動作演習①
第2回	担当教員	山之口 美喜生 リハビリテーションの対象と障害者の実態 基本動作演習②
第3回	担当教員	山之口 美喜生 障害の階層とアプローチ 基本動作演習③
第4回	担当教員	山之口 美喜生 リハビリテーション評価 基本動作演習④
第5回	担当教員	山之口 美喜生 リハビリテーション医学の関連職種と連携 基本動作演習⑤
第6回	担当教員	山之口 美喜生 リハビリテーションの治療技術 基本動作演習⑥
		山之口 美喜生

第7回	担当教員	医学的リハビリテーションで用いられる治療手段（高齢者等） 基本動作演習⑦
第8回	担当教員	山之口 美喜生 医学的リハビリテーションで用いられる治療手段（脳卒中等） 基本動作演習⑧
第9回	担当教員	山之口 美喜生 医学的リハビリテーションで用いられる治療手段（骨折等） 基本動作演習⑨
第10回	担当教員	山之口 美喜生 医学的リハビリテーションで用いられる治療手段（内部疾患等） 基本動作演習⑩
第11回	担当教員	山之口 美喜生 具体的支援における実技－寝返りから起き上がり 基本訓練演習①
第12回	担当教員	山之口 美喜生 具体的支援における実技－車椅子操作・立ち上がり・歩行等 基本訓練演習②
第13回	担当教員	山之口 美喜生 地域リハビリテーションにおける治療と看護 症例検討演習①
第14回	担当教員	山之口 美喜生 老化・障害の影響とリハビリテーション（事例検討を含む） 症例検討演習②
第15回	担当教員	山之口 美喜生 リハビリテーションと看護との接点（まとめ） 総合演習

評価方法

演習等参加状況(60%)60点と課題レポート(40%)40点の合計100点で評価します。

教科書

テキストは特に定めずプリントを配布します。

参考書

参考文献

新体系 看護学全書 別巻「リハビリテーション看護」 粟生田友子 メジカルフレンド社

オフィスアワー

質問等は随時受け付けます。研究室来訪時には公開しているオフィスアワーを参考にしてください。

実務経験の有無

実務経験有

その他

受講時の服装は原則自由ですが、寝返り起き上がり介助や車椅子トランスファー介助等の演習時（事前にお知らせします）には実技にふさわしい服装で参加してください。

講義コード	5203202
講義名	地域リハビリテーション概論
(副題)	[看護]
講義開講時期	前期前半
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	15.00
対象学年	3
必修/選択	選択

担当教員

氏名
一色 員子

総合学習目標

理学療法士が関わる地域リハビリテーション領域を中心に、地域リハビリテーションの考え方、多職種連携、関連する制度、代表的な疾患と障害・生活を理解する。

理学療法学科 DP1-①に該当する。

個別学習目標

- ①地域リハビリテーションの定義について理解できる。
- ②地域リハビリテーションに関わる職種、多職種連携の目的と方法について理解できる。
- ③医療保険、介護保険、障害者総合支援法、地域包括ケアシステムの仕組みを理解できる。
- ④代表的な疾患の病態を理解し、必要な環境整備、生活指導、リスクを理解できる。

準備学修

教科書（範囲は初回講義時に資料を配布する）を読み、制度、疾患の概要の理解をするとともに、各疾患の病態や障害像をまとめておくこと（60分）

授業計画

第1回	担当教員	一色 員子 オリエンテーション、地域リハビリテーションの定義、地域・対象のとらえ方
	内容	講義の進め方、評価方法・基準について説明する。 地域リハビリテーションの定義を理解する。 地域のとらえ方、対象のとらえ方を理解する。
第2回	担当教員	一色 員子 多職種連携の理解、理学療法士の役割
	内容	多職種連携の方法、目的を理解する。 地域における理学療法士の役割、地域との関わり方を理解する。
第3回	担当教員	一色 員子 制度の理解①医療保険、介護保険AL:C
	内容	医療保険制度の特徴を理解する。 介護保険制度の仕組み、サービスを理解する。
	担当教	一色 員子

第4回	員	制度の理解②障害者総合支援法、地域包括ケアシステムAL:C
	内容	障害者総合支援法の目的、仕組み、サービスを理解する。 地域包括ケアシステムの概要を理解する。
第5回	担当教員	一色 員子 小テスト、疾患と障害、生活の理解①小児期AL:C
	内容	1-4回の範囲の小テストを実施する。 脳性麻痺、重症心身障害、二分脊椎、筋ジストロフィー、発達障害の病態を理解する。 生活上の配慮、衛生・健康管理、環境整備を理解する。
第6回	担当教員	一色 員子 疾患と障害、生活の理解②成人期（脳血管障害）AL:C
	内容	脳血管障害における社会復帰上の特徴を理解する。 復職、福祉的就労、介護の各ゴールについて理解する。
第7回	担当教員	一色 員子 疾患と障害、生活の理解③成人期（難病）AL:C
	内容	難病について理解する。 パーキンソン病、脊髄小脳変性症、多系統萎縮症、筋萎縮性側索硬化症の病態を理解する。 リスク、環境整備、生活指導を理解する。
第8回	担当教員	一色 員子 疾患と障害の理解、生活の理解④老年期（高齢期）AL:C
	内容	老年症候群を理解する。 高齢者の生活、生活支援のポイントを理解する。

評価方法

定期試験80点（80%）、小テスト20点（20%）、合計100点（100%）で評価する。

教科書

『Crosslink 理学療法学テキスト 地域理学療法学』編集：浅川康吉、出版社：株式会社メジカルビュー社、定価：4500円+税

参考書

適宜紹介する。

オフィスアワー

月曜日・3限、木曜日・2限 533教員研究室

実務経験の有無

有

その他

その他諸注意は、初回授業時に説明する。

講義コード	5302801
講義名	学校保健【養護教諭】
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	2・3・4
必修/選択	選択

担当教員

氏名
佐久間 浩美

総合学習目標

教育現場で行われている保健教育、保健管理、組織活動の具体的内容が分かり、学校保健はヘルスプロモーション活動の一つであることを理解する。看護学科DP 2-①に該当する。

個別学習目標

学校におけるヘルスプロモーション活動についての理解を深め、集団における保健教育、教科における保健教育については模擬授業を通して、健康診断、救急処置、学校環境衛生検査などの保健管理については実習を通して、教育現場に対応できる実践的な能力を身につけていく。

準備学修

準備として教科書「学校における養護活動の展開 改訂8版」で授業で行う内容を確認する(30分)、講義後には、実技内容を振り返り応急手当てに関しては実際に練習する(60分)、保健教育に関しては指導案、指導資料、教材を作成する(60分)

授業計画

第1回	担当教員	佐久間 浩美 オリエンテーション 学校保健安全法
	内容	学校保健安全法と学校におけるヘルスプロモーション活動について考える。AL:B
第2回	担当教員	佐久間 浩美 保健管理の実際 1 健康診断、保健調査
	内容	健康診断、保健調査の目的、計画、実施、評価について学ぶ。AL:D
第3回	担当教員	佐久間 浩美 保健管理の実際 2 健康観察、発育発達
	内容	児童生徒の発育発達について学び、健康観察の重要性を理解する。AL:B
第4回	担当教員	佐久間 浩美 保健管理の実際 3 学校衛生検査
	内容	学校環境衛生検査の目的、計画、実施、評価について学ぶ。AL:D
第5回	担当教員	佐久間 浩美 保健管理の実際 4 救急処置 傷、打撲、つき指
	内容	傷、打撲、つき指などへの対応を理解し、適切な救急処置の方法について学ぶ。AL:D
第6回	担当教員	佐久間 浩美 保健管理の実際 5 救急処置 捻挫、骨折
	内容	捻挫、骨折などへの対応を理解し、適切な救急処置の方法について学ぶ。AL:D

第7回	担当 教員	佐久間 浩美 保健管理の実際 6 救急処置 頭部打撲、熱中症
	内容	頭部打撲、熱中症などへの対応を理解し、適切な救急処置の方法について学ぶ。AD:D
第8回	担当 教員	佐久間 浩美 保健管理の実際 7 救急処置 児童生徒の疾病
	内容	児童生徒に多い疾患、アナフィラキシーショックなどへの対応を理解し、適切な救急処置の方法について学ぶ。AL : D
第9回	担当 教員	佐久間 浩美 保健教育の実際 1 学習指導要領 学習指導案
	内容	小学校、中学校、高等学校の保健体育、保健の学習指導指導要領について学ぶ。AL:B
第10回	担当 教員	佐久間 浩美 保健教育の実際 2 集団への保健教育
	内容	集団への保健教育の実際～集団への模擬保健教育を通して学びを深める～。AL:B
第11回	担当 教員	佐久間 浩美 保健教育の実際 3 教科における保健教育
	内容	教科における保健教育の実際～教科における模擬保健教育を通して学びを深める～ AL:B
第12回	担当 教員	佐久間 浩美 保健教育の実際 4 保健教育の発表①小学校
	内容	グループでの模擬保健教育の発表 履修者をA、B、C 3つのグループに分けて発表する。Aグループは小学校における保健教育。AL:C
第13回	担当 教員	佐久間 浩美 保健教育の実際 5 保健教育の発表②中学校
	内容	グループでの模擬保健教育の発表 履修者をA、B、C 3つのグループに分けて発表する。Bグループは中学校における保健教育。AL:C
第14回	担当 教員	佐久間 浩美 保健教育の実際 6 保健指導発表③高等学校
	内容	グループでの模擬保健指導教育の発表 履修者をA、B、C 3つのグループに分けて発表する。Cグループは高等学校における保健教育。AL:C
第15回	担当 教員	佐久間 浩美 教育論作文の書き方
	内容	学校保健に関わる論文の書き方について学ぶ。

評価方法

毎授業中のレポート20点、最終テスト20点（レポート形式）、包帯法の実技試験30点、模擬授業を含む保健指導案30点

教科書

テキスト

『学校における養護活動の展開 第9版』著者：津島ひろ江 出版社：ふくろう出版（養護概論で

使用したため購入しなくてもよい)

参考文献

『養護教諭のための救急処置 増補版』著者：松野智子 出版社：少年写真新聞社 定価：2160円

小学校、中学校、高等学校、学習指導要領、学習指導要領解説

参考書

テキスト

『学校における養護活動の展開 第8版』著者：津島ひろ江 出版社：ふくろう出版（養護概論で使用したため購入しなくてもよい）

参考文献

『養護教諭のための救急処置 増補版』著者：松野智子 出版社：少年写真新聞社 定価：2160円

小学校、中学校、高等学校、学習指導要領、学習指導要領解説

オフィスアワー

木曜日、2～4時限、504研究室

実務経験の有無

有

その他

養護教諭を目指す学生を対象にしている講義であるため、子どもの健康に関する書物を積極的に読んでほしい。

担当教員実務経験の有無，有

講義コード	5302802
講義名	学校保健【保健師】
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	2・3・4
必修/選択	選択

担当教員

氏名
佐久間 浩美

総合学習目標

学校保健における保健管理、保健教育、保健組織活動のねらいと具体的な方策について理解を深め、養護教諭二種免許状取得後に教育現場で働くことができるよう基礎的な知識と技術について学ぶ。看護学科DP2-①に該当する。

個別学習目標

- ・学校における保健教育、保健管理、保健組織活動についての内容を理解し説明することができる。
- ・養護教諭は、学校におけるヘルスプロモーション活動の担い手であることを理解し、求められる役割について説明することができる。

準備学修

準備として教科書の「学校における養護活動の展開 改訂9版」を読み、専門用語の意味をまとめておくこと(30分)、講義後には、授業の内容を振り返り保健師として何ができるのか自分の考えをレポートにまとめておく(60分)

授業計画

第1回	担当 教員	佐久間 浩美 オリエンテーション
	内容	新型コロナウイルス感染症における学校の対応と養護教諭の役割を理解する。
第2回	担当 教員	佐久間 浩美 学校教育と養護教諭
	内容	学校における養護教諭の職務とその専門性について理解する。AL:B
第3回	担当 教員	佐久間 浩美 養護教諭の歴史
	内容	時代のニーズにより変化する養護教諭の役割について理解する。保健師として学校保健にどのように取り組むことができるのかを考える。AL:B
第4回	担当 教員	佐久間 浩美 養護教諭と保健室
	内容	養護教諭の職務の特質と保健室の役割について理解する。AL:B
第5回	担当 教員	佐久間 浩美 学校保健計画
	内容	学校保健計画の目的、立案、実施、評価について理解する。AL:B
第6回	担当 教員	佐久間 浩美 健康観察と感染症の対応
	内容	

	内容	学校において予防すべき感染症と健康観察の意義について理解する。AL:B
第7回	担当 教員	佐久間 浩美 健康診断
	内容	健康診断の目的、実施、評価について理解する。AL:B
第8回	担当 教員	佐久間 浩美 養護活動の展開
	内容	保健室来室者への対応、フィジカルアセスメントについて理解する。AL:B
第9回	担当 教員	佐久間 浩美 健康相談
	内容	養護教諭の職務の特質を活かした健康相談について理解する。AL:B
第10回	担当 教員	佐久間 浩美 特別な支援が必要な児童生徒への対応
	内容	特別な支援が必要な児童生徒への対応について理解する。AL:B
第11回	担当 教員	佐久間 浩美 学校環境衛生検査
	内容	学校環境衛生検査の目的、実施、評価について理解する。AL:B
第12回	担当 教員	佐久間 浩美 学校安全と危機管理
	内容	学校における安全教育、安全管理を知り、養護教諭に求められる役割について理解する。AL:B
第13回	担当 教員	佐久間 浩美 疾病管理、食物アレルギーへの対応
	内容	食物アレルギーなどへの緊急対応を通じて疾病管理について理解する。AL:B
第14回	担当 教員	佐久間 浩美 学校におけるヘルスプロモーション活動
	内容	いじめ対応など学校におけるヘルスプロモーション活動について理解する。AL:B
第15回	担当 教員	佐久間 浩美 教育論作文の書き方
	内容	教育現場で考えられる児童生徒の健康課題を解決する教育論作文の書き方を理解する。

評価方法

毎授業中のレポート30点、最終テスト70点で評価する。

教科書

テキスト 『学校保健－子どもの「生きる力」を育む』 著者：門田新一郎 出版社：大学教育出版 本体2500円＋税

参考文献

参考書

参考文献 参考文献 小学校、中学校、高等学校、学習指導要領、学習指導要領解説

オフィスアワー

木曜日、2～4時限、504研究室

実務経験の有無

有

その他

保健師課程に在籍する方、もしくは強く保健師課程を希望する方が履修してください。また、1年次に養護概論を履修したものは、保健師課程を希望する方でも学校保健I（養護教諭）を履修してください。

担当教員実務経験の有無， 有

講義コード	7100101
講義名	人体の構造・機能論I
(副題)	循環器（血液）、呼吸器、消化器（代謝）、運動器（骨格・筋系）
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名
町田 志樹

総合学習目標

人体の構造と機能を学ぶ解剖学は、生理学と並んで看護師の教育において最重要の基礎となる。本講では生命の維持を司る循環器系や呼吸器系、消化器系をはじめ、生命の活用に関わる運動器系の基本的構造とその臨床的意義について学習する（看護学科DP3-①に該当する）。

個別学習目標

- ・解剖学用語、医学用語を理解し、適切に用いることができる。
- ・循環器系に関わる構造を理解し、肺循環と体循環を説明することができる。
- ・呼吸器系を上気道と下気道に区分し、説明することができる。
- ・消化器系を構成する消化管・外分泌腺などを説明することができる。
- ・骨格の構成要素を説明することができる。
- ・主要な骨格筋の形態を理解し、その作用を模倣することができる。

準備学修

シラバスに記載された各回ごとの範囲を、予習することが好ましい。

授業計画

第1回	担当教員	町田 志樹 解剖学総論
	内容	人体の構造・機能に関わる構造物の総論、並びに学習を進める上で必要な解剖学・医学用語を学習する（P11～15、P23～27）。
第2回	担当教員	町田 志樹 循環器系①
	内容	肺循環と体循環の概念ならびに心臓の主要な構造について学習する(P48・49、P150～158)。
第3回	担当教員	町田 志樹 循環器系②
	内容	血管の基本的な構造を理解した上で、全身の動脈を学習する(p175～187)。
第4回	担当教員	町田 志樹 循環器系③
	内容	全身の静脈を理解した上で門脈や硬膜静脈洞の構造と機能、胎児の血液循環を学習する（P488・489、脈管の復習）。

第5回	担当 教員	町田 志樹 循環器系④
	内容	講義前半ではリンパ系の構造と機能を学習する。講義後半では循環器の理解度の確認を行う（P206～208、循環器の復習）。
第6回	担当 教員	町田 志樹 小テストと解説
	内容	小テストとその解説を実施し、各論の理解度の確認を行う。
第7回	担当 教員	町田 志樹 呼吸器系①
	内容	呼吸器系の全体像ならびに上気道の構造と機能、気管支の形態について学習する（P97～103）。
第8回	担当 教員	町田 志樹 呼吸器系②
	内容	下気道の構造と機能ならびに縦郭、胸膜の概念について学習する（P103～107、P112、P303～306）。
第9回	担当 教員	町田 志樹 消化器系①
	内容	消化器系の全体像ならびに口腔、食道、胃の構造と機能を学習する（P56～68）。
第10回	担当 教員	町田 志樹 消化器系②
	内容	小腸、大腸の構造と機能を学習する（P72～84）。
第11回	担当 教員	町田 志樹 消化器系③
	内容	脾臓、肝臓、胆嚢の構造と機能ならびに腹膜の形態について学習する（P84～93）。
第12回	担当 教員	町田 志樹 人体の骨格
	内容	人体の骨格の部位名とその基本構造、ならびに関節の形態について学習する（P283～300）。
第13回	担当 教員	町田 志樹 体幹と頭頸部の骨格と筋
	内容	体幹と頭頸部を構成する骨格と筋について学習する（P300～310）。
第14回	担当 教員	町田 志樹 上肢の骨格と筋
	内容	上肢を構成する骨格と筋について学習する（P310～325）。
第15回	担当 教員	町田 志樹 下肢の骨格と筋
	内容	下肢を構成する骨格と筋について学習する（P325～339）。

評価方法

定期試験80%、小テスト20%で評価する。

教科書

『系統看護学講座 解剖生理学 人体の構造と機能①』

著者・編集者：坂井建雄、岡田隆夫

出版社：医学書院 定価：4, 180円

参考書

『P T O T ビジュアルテキスト専門基礎 解剖学』

著者：町田志樹

出版社：羊土社 定価：6, 160円

オフィスアワー

【前期】月曜1・3・4限、水曜1～5限、木曜1・2限、金曜3～5限

【教室】539研究室

実務経験の有無

有

その他

1) 座席指定を行う。

2) 講義の理解を深めるため、参考文献などの図も講義に用いる（適宜、配布予定）。

講義コード	7100201
講義名	人体の構造・機能論II
(副題)	(脳・神経、感覚器、内分泌、腎・泌尿器)
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名
町田 志樹

総合学習目標

人体の構造と機能を学ぶ解剖学は、生理学と並んで看護師の教育において最重要の基礎となる。本講では各器官を支配する神経系をはじめ感覚器系、内分泌系、泌尿器系、生殖器系の基本的構造とその臨床的意義について学習する（看護学科DP3-④に該当する）。

個別学習目標

- ・ 中枢・末梢神経の基本的な形態を理解し、説明することができる。
- ・ 神経系の形態を踏まえ、その役割を説明することができる。
- ・ 感覚器系の基本構造とその役割を伝導路を踏まえて説明することができる。
- ・ 内分泌腺とその標的器官の関係性を説明することができる。
- ・ 泌尿器系の構造を尿の生成と再吸収の過程を踏まえ、説明することができる。
- ・ 男女の生殖器の形態の違い、およびその役割を説明することができる。

準備学修

シラバスに記載された各回ごとの範囲を、予習することが好ましい。

授業計画

第1回	担当教員	町田 志樹 神経の基本構造と中枢神経
	内容	神経細胞と支持細胞の形態および中枢神経と末梢神経の全体像、中枢神経の区分について学習する（P359～368、P375・376）。
第2回	担当教員	町田 志樹 大脳の構造と機能
	内容	大脳の皮質と髄質の構造ならびにその機能について学習する（P376～383）。
第3回	担当教員	町田 志樹 間脳と脳幹、小脳、脊髄
	内容	間脳と脳幹、脊髄の構造と機能を学習する（P368～375）。
第4回	担当教員	町田 志樹 末梢神経
	内容	脊髄神経の主要な枝、脳神経・自律神経の構造と機能を学ぶ（P383～390、P241～243）。
	担当	町田 志樹

第5回	教員	上行路と下行路
	内容	主要な上行路と下行路について学習する。またそれを通じて中枢神経系の疾患との関係性も学ぶ (P391~397)。
第6回	担当教員	町田 志樹 小テストと解説
	内容	小テストとその解説を実施し、神経系に対する理解度の確認を行う。
第7回	担当教員	町田 志樹 視覚器
	内容	視覚器に関わる構造と機能と、その伝導路の学習を行う (P397~407)。
第8回	担当教員	町田 志樹 聴覚器と平衡器
	内容	聴覚器と平衡器に関わる構造と機能と、その伝導路の学習を行う (P408~413)。
第9回	担当教員	町田 志樹 その他の感覚器
	内容	外皮ならびに嗅覚器、味覚器の構造と機能の学習を行う (P413~416、P435~438)。
第10回	担当教員	町田 志樹 内分泌系①
	内容	内分泌とホルモンの概念を理解した上で視床下部と下垂体、甲状腺の学習を行う (P249~251、P254~263)。
第11回	担当教員	町田 志樹 内分泌系②
	内容	膵臓、副腎、性腺などの内分泌系としての構造と機能について学習を行う (P263~280)。
第12回	担当教員	町田 志樹 泌尿器系①
	内容	泌尿器系の全体像ならびに腎臓の皮質と髄質の構造と機能について学習を行う (P211~218、222・223)。
第13回	担当教員	町田 志樹 泌尿器系②
	内容	泌尿器系における排尿路の構造と機能について学習を行う (P225~230、P234~237)。
第14回	担当教員	町田 志樹 生殖器系
	内容	男性・女性生殖器の構造と機能について学習を行う(P461~474)。
第15回	担当教員	町田 志樹 発生・成長・老化と総括
	内容	講義前半では発生・成長・老化について学習する (P490~498)。講義後半では各論の理解度の確認を行う。

評価方法

定期試験80%、小テスト20%で評価する。

教科書

『系統看護学講座 解剖生理学 人体の構造と機能①』

著者・編集者：坂井建雄、岡田隆夫

出版社：医学書院 定価：4, 180円

参考書

『PTOTビジュアルテキスト専門基礎 解剖学』

著者：町田志樹

出版社：羊土社 定価：6, 160円

オフィスアワー

【後期】月曜3～5限、水曜3・4限、金曜3・4限

【教室】539研究室

実務経験の有無

有

その他

1) 座席指定を行う。

2) 講義の理解を深めるため、参考文献などの図も講義に用いる（適宜、配布予定）。

講義コード	7100301
講義名	人体構造・生理機能実習
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	実習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	2
必修/選択	必修

担当教員

氏名
増田 敦子

総合学習目標

1年次で学んだ人体の構造と機能をより深く理解するために、各器官系の相互作用から、人体に対する総合的な理解を深める。

また、解剖・生理の知識が病理、病態、検査、治療、薬理学の理解を深め、さらに看護実践につなげられる応用力を身に付ける。

看護学科DP1-①②に該当する。

個別学習目標

- 1) 各器官系の調整役をする神経系と内分泌系を骨格に個々の器官の相互作用を血液、呼吸器系、循環器系から説明できる。
- 2) 様々な条件によってもたらされる生体の反応を観察・理解し、生体内での内部環境の恒常性がどのように保たれているかについて、考え、説明することができる。

準備学修

・実習項目に関する内容を1年次の人体の構造・機能論IIIと生理学総論IIIの教科書や配布プリントで復習しておくこと(30分)。

授業計画

第1回	担当教員	増田 敦子 人体、骨格系
	内容	人体の部位、人体内部の腔所、ヒトの骨格
第2回	担当教員	増田 敦子 動作と筋系
	内容	身体の動作とそれを起こす筋、ヒトの骨格筋
第3回	担当教員	増田 敦子 呼吸器系 1
	内容	呼吸器の構造、呼吸運動と胸郭の動き・呼吸筋、肺気量
第4回	担当教員	増田 敦子 呼吸器系 2
	内容	ガスの運搬、ヘモグロビンの酸素解離曲線、呼吸調節、酸塩基平衡
第5回	担当教員	増田 敦子 循環器系 1、小テスト①(範囲:第1~4回)
	内容	心臓と出入りする血管、大動脈とその枝、脈拍の触れる部位、上肢の静脈

第6回	担当教員	増田 敦子 循環器系 2
	内容	心臓の刺激伝導系、心電図、血圧調節
第7回	担当教員	増田 敦子 血液 1
	内容	血液の成分とはたらき、止血機構、血液凝固因子
第8回	担当教員	増田 敦子 血液 2
	内容	液性免疫と細胞性免疫、抗体の種類とはたらき、血液型
第9回	担当教員	増田 敦子 神経系 1、小テスト②（範囲：第5～8回）
	内容	中枢神経系：脳、脊髄、機能中枢の部位、反射弓
第10回	担当教員	増田 敦子 神経系 2
	内容	末梢神経系：脳神経、脊髄神経とその障害、体性神経系と自律神経系の比較、自律神経系の作用
第11回	担当教員	増田 敦子 内分泌系 1
	内容	各種内分泌器官、下垂体門脈、視床下部と下垂体の関係
第12回	担当教員	増田 敦子 内分泌系 2
	内容	甲状腺、副甲状腺、副腎、膵臓から分泌されるホルモン
第13回	担当教員	増田 敦子 内分泌系 3、小テスト③（範囲：第9～12回）
	内容	性周期とホルモン、消化管、心臓、腎臓から分泌されるホルモン
第14回	担当教員	増田 敦子 期末試験対策
	内容	全体のまとめ、期末試験練習問題の解答・解説
第15回	担当教員	増田 敦子 期末試験
	内容	期末試験（30分）、マークシート回収後に解答・解説

評価方法

- 1) 小テスト30%、レポート10%、学期末試験60%、合計100%で評価する。
- 2) 小テストは授業の最初に10分間程度行うので、遅刻しないように留意すること。

教科書

1年次の「生理学総論I・II」と「人体の構造・機能論I・II」で使用した教科書をテキストとする
・人体の構造と機能（第4版）、エレインNマリーブ著、林正健二訳、医学書院、5、200円＋税
・系統看護学講座、解剖生理学、人体の構造と機能①、坂井建雄他著、医学書院、3、800円＋税

参考書

- ・ステップアップ解剖生理学（第2版）、増田敦子監修、サイオ出版、1、700円＋税
- ・解剖生理学がわかる、飯島治之著、技術評論社、1、780円＋税
- ・ナースのための解剖生理ポケットガイドブック、飯島治之著、技術評論社、1、480円＋税

オフィスアワー

- ・月・金は2限目、火～木は3限目に教員室。それ以外でも在室していれば対応可能。
- ・メール（a-masuda@ryotokuji-u.ac.jp）でも対応可能。

実務経験の有無

有

その他

1) 授業には、必ず教科書を持参すること。教科書を忘れた場合は図書館で借りてくること。スマホの使用を禁止する。

2) 小テストを授業の最初に行うので、遅刻・欠席などで、小テストを受験しなかった場合は、理由により追・再試験を行うので、原則1週間以内に申し出ること。

* 申し出がない場合、受験希望がないとして、追・再試験を行わないのでその回の点数は0とする。

講義コード	7100501
講義名	栄養学（食品学を含む）
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名
増田 敦子

総合学習目標

安静療法、薬物療法、手術療法、放射線療法、食事療法など疾病の治療には様々な方法があるが、どの治療法を選択するにしても、治療の成否には患者の自然治癒力が大きく影響する。すなわち、患者の栄養状態を改善することは病気からの回復を促進し、さらに病気の発症・進展を予防することにつながる。

フローレンス・ナイチンゲールは「看護覚え書」の中で「食事」と「食物の選択」をそれぞれ2つの章で分けて述べ、栄養を看護の上で重要な項目として取り上げている。ヴァージニア・ヘンダーソンは「看護の基本となるもの」の中で、「看護教育課程に栄養についての学習以上に重要な科目はない」と述べている。

本科目では、看護職が栄養学を学ぶ意義を踏まえ、看護実践で応用できる力を身に付けるために栄養学の基本的な知識について理解を深めることを目標とする。

看護学科DP1-①②に該当する。

個別学習目標

- 1) 糖質・脂質・タンパク質の種類と働き、代謝を理解する。
- 2) 代謝異常に関連する疾患について理解する。
- 3) エネルギー産生のしくみについて理解する。
- 4) ビタミン・ミネラルの働きと欠乏・過剰に関連する疾患について理解する。
- 5) 日本の食事摂取基準の基本的な考え方を理解する。
- 6) 疾患別治療・経管栄養・栄養輸液の概要を理解する。

準備学修

- ・予習として、授業経過に記載されている教科書の範囲を読んでおくこと（20分）。
- ・クラスルームに授業概要が掲示されている場合は、印刷したものは授業当日するので自分で印刷する必要はないが、目を通しておくこと（10分）。

授業計画

第1回	担当教員	増田 敦子 ガイダンス、栄養と生化学（教科書1-5頁）、人体と栄養生化学（教科書7-19頁）
	内容	授業の進め方、評価方法についての説明、食物と栄養、栄養素と栄養価、主要食品の栄養学的特徴、食生活指針
	担当教	増田 敦子 食物と栄養（教科書21-52頁）

第2回	員	
	内容	食物と栄養、栄養素と栄養価、主要食品の栄養学的特徴、食生活指針
第3回	担当教員	増田 敦子 糖質の栄養生化学（教科書53 – 59頁）
	内容	糖質と生体、糖質の構造と分類、糖質を含む食品と糖質の消化・吸収
第4回	担当教員	増田 敦子 糖質の栄養生化学（教科書59 – 68頁）
	内容	糖質とアルコールの代謝、糖質代謝の異常と疾患
第5回	担当教員	増田 敦子 脂質の栄養生化学（教科書69 – 84頁）、小テスト1回目（範囲は授業第1～4回目）
	内容	脂質と生体、脂質を含む食品、中性脂肪・リン脂質の構造、消化・吸収、代謝
第6回	担当教員	増田 敦子 脂質の栄養生化学（教科書85 – 100頁）
	内容	コレステロールと胆汁酸の構造、消化・吸収、代謝、リポたんぱく質の構造と代謝、脂質代謝の異常と疾患
第7回	担当教員	増田 敦子 タンパク質の栄養生化学（教科書101 – 109頁）
	内容	タンパク質と生体、アミノ酸の構造とペプチド、タンパク質、タンパク質・アミノ酸を含む食品と消化・吸収
第8回	担当教員	増田 敦子 タンパク質の栄養生化学（教科書109 – 116頁）
	内容	タンパク質とアミノ酸の代謝、血漿タンパク質、アミノ酸代謝の異常と疾患
第9回	担当教員	増田 敦子 エネルギーの栄養生化学（教科書117 – 134頁）、小テスト2回目（範囲は授業第5～8回目）
	内容	吸収とエネルギーの産生、糖質・脂質・タンパク質代謝の相互の関連、エネルギー代謝の異常と疾患
第10回	担当教員	増田 敦子 酵素の栄養生化学（教科書135-142頁）、ビタミンの栄養生化学（教科書143-152頁）、ミネラルの栄養生化学（教科書153-158頁）
	内容	酵素の性質と酵素反応、酵素と補酵素、ビタミンと生体、各種ビタミンを含む食品、消化・吸収、構造、機能と疾患、各種ビタミンの薬物としての利用、ミネラルと生体、各種ミネラルの機能

第11回	担当教員	増田 敦子 遺伝子の生化学（教科書159-174頁）
	内容	生命と遺伝子、核酸の構造、代謝と疾患、遺伝子と染色体の構造、遺伝子とタンパク質の合成、遺伝子の異常と疾患、がんの生化学、遺伝子工学の応用
第12回	担当教員	増田 敦子 食事摂取基準（教科書175-197頁）
	内容	食事摂取基準とは、食事摂取基準の歴史、日本人の食事摂取基準
第13回	担当教員	増田 敦子 成長・生活と栄養（教科書199-211頁）、栄養療法（教科書213-237頁）小テスト3回目（範囲は授業第9～12回目）
	内容	乳幼児の栄養、学童期・青少年期の栄養と問題、成人期の栄養と問題、高齢期の栄養と問題、エネルギー必要量と栄養、食事療法、経管栄養、輸液
第14回	担当教員	増田 敦子 期末試験対策
	内容	全体のまとめ、小テスト3回分の解答・解説
第15回	担当教員	増田 敦子 期末試験
	内容	期末試験（30分）、マークシート回収後に解答・解説

評価方法

- 1) レポート10点（1～2回）、小テスト30点（3回×10点）、期末試験60点、合計100点で評価する。
- 2) 小テストと期末試験は国家試験と同じ形式で、4～5択の多肢選択問題、1問2点で出題する。

教科書

新体系 看護学全書 人体の構造と機能②栄養生化学（第5版）、脊山洋右他編、メヂカルフレンド社、2, 700円＋税

参考書

人体の構造と機能（第4版）、エレインNマリー著、林正健二訳、医学書院、5, 200円＋税（生理学総論IIIのテキスト）

オフィスアワー

- ・月～水は4限目、木・金は1限目に教員室。それ以外でも在室していれば対応可能。
- ・メール（a-masuda@ryotokuji-u.ac.jp）でも対応可能。

実務経験の有無

有

その他

- 1) レポートは提出期間内に提出すること。
- ・提出期間最終日に公欠して提出できない場合は、登校初日の提出を認め、正規評価とする。
- ・公欠以外の欠席で提出できなかった場合は、期限1週間以内に提出すれば、正規評価の6割と

- する。
- 2) 小テストはクラスルームの-googleフォームへ提出期間内に回答・送信すること。
- ★注意：提出期限以降の提出は評価対象外とする。
- 3) 第15回に期末試験を行う。第14回に期末試験対策を行うが、日頃の復習を怠らないこと！

講義コード	7100601
講義名	疾病・治療I（総論）
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	2
必修/選択	必修

担当教員

氏名
檀 和夫

総合学習目標

疾病の原因と病態生理および病理学を理解することは個々の疾病を学ぶ上で必要となる基本であり、本科目は疾病各論の学習のための基礎を作ること为目标としている。また、人体の構造・形態や生理機能が異常となる疾病に現れる症状、徴候の概要および疾病の診断と治療の概要を総論的に学ぶことを目標とする。これらは看護学科DP-1②に相当する。

個別学習目標

- 1) 疾病の原因、分類の基本について説明できる。
- 2) 細胞および組織の損傷と生体の反応について説明できる。
- 3) 疾病の分類ごとの病態生理について説明できる。
- 4) 疾病の症状、徴候の基本について説明できる。
- 5) 疾病の診断と治療の基本について説明できる。

準備学修

看護師国家試験の出題基準で求めている基本的医学知識を修得することを目標としており、十分な予習、復習が不可欠である。授業計画に記載した毎回のテーマにつき図書館で参考図書を読み事前に情報を得ておく（60分）、また講義後は授業内容につき理解が不十分なところを補っておくこと（60分）。学習内容の確認のため毎回小テストを行う。

授業計画

第1回	担当教員	檀 和夫 疾病の原因と分類
	内容	内因・外因、循環障害・炎症・代謝障害・先天異常・腫瘍
第2回	担当教員	檀 和夫 細胞の損傷と生体の反応
	内容	細胞損傷の原因、細胞の適応現象・変性・死、創傷治癒
第3回	担当教員	檀 和夫 循環障害

	内容	循環障害の種類、ショック、高血圧
第4回	担当教員	檀 和夫 炎症と免疫
	内容	炎症の原因・病態、免疫・アレルギー・自己免疫疾患
第5回	担当教員	檀 和夫 感染症
	内容	病原体、感染症の分類・治療
第6回	担当教員	檀 和夫 代謝障害
	内容	糖尿病、脂質異常症、高尿酸血症
第7回	担当教員	檀 和夫 老化と死
	内容	老年症候群、廃用症候群、死の3徴候、脳死
第8回	担当教員	檀 和夫 先天異常と遺伝子異常
	内容	先天異常の分類、遺伝子異常と腫瘍
第9回	担当教員	檀 和夫 腫瘍
	内容	腫瘍の分類・特徴、腫瘍の発生機序・発生因子
第10回	担当教員	檀 和夫 疾病の症状、徴候
	内容	バイタルサイン、全身症候
第11回	担当教員	檀 和夫 診断方法
	内容	医療面接、身体診察、臨床検査
第12回	担当教員	檀 和夫 治療総論
	内容	治療法の種類、終末期医療、救命救急医療、疾病の経過と転帰
第13回	担当教員	檀 和夫 治療Ⅰ（薬物療法、栄養療法）
	内容	薬物の投与経路、食事療法・栄養療法
第14回	担当教員	檀 和夫 治療Ⅱ（手術療法、放射線療法、その他）
	内容	手術療法、放射線療法、輸液療法、輸血療法
第15回	担当教員	檀 和夫 総まとめ・国家試験問題
	内容	疾患と徴候、薬物の作用、基本的な病因、疾病に対する医療

評価方法

定期試験 100点（100%）で評価する。ただし授業内小テストの内容も勘案する。

教科書

テキスト 資料を配布する

参考書

参考文献 系統看護学講座 専門基礎 病理学 疾病のなりたちと回復の促進 1 医学書院 大橋健一
他、2, 400円+税

オフィスアワー

月曜日および金曜日昼休み（12:10-13:00）、担当教員研究室。授業内容についての質問は授業中、授業後およびオフィスアワーに受け付ける。またメールでの質問も受け付ける（メールアドレス： dan@ryotokuji-u.ac.jp）。

実務経験の有無

担当教員実務経験の有無, 有

講義コード	7100701
講義名	疾病・治療II（呼吸・循環・消化器系、神経系）
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	2
必修/選択	必修

担当教員

氏名
檀 和夫

総合学習目標

看護技術、看護学などの看護専門分野科目を学ぶためには個々の疾患の病態、症状、徴候、検査所見、治療法の知識が必須である。本科目は重要な内科系疾患についてのこれら知識の理解・習得を目標とする。これらは看護学科DP-1②に相当する。

個別学習目標

- 1) 循環器疾患、呼吸器疾患、消化器疾患、神経疾患の重要な内科系疾患の病態について説明できる。
- 2) 循環器疾患、呼吸器疾患、消化器疾患、神経疾患の重要な内科系疾患の症状、徴候、検査所見、診断について説明できる。
- 3) 循環器疾患、呼吸器疾患、消化器疾患、神経疾患の重要な内科系疾患の治療について説明できる。

準備学修

看護師国家試験の出題基準で求めている医学知識を全て習得することを目標としており、1回の講義で扱う範囲は広いため十分な予習・復習が不可欠であり、授業計画に記載した毎回のテーマにつき図書館で参考図書を読み事前に情報を得ておく（60分）、また講義後は授業内容につき理解が不十分なところを補っておくこと（60分）。課題レポート作成による学習も併用する。授業では学習内容の確認のため毎回小テストを行う。

授業計画

第1回	担当教員	檀 和夫 内科系医学 循環器疾患の病態と治療 (I)
	内容	総論、心不全、心臓弁膜症
第2回	担当教員	檀 和夫 内科系医学 循環器疾患の病態と治療 (II)
	内容	動脈硬化、虚血性心疾患
第3回	担当教員	檀 和夫 内科系医学 循環器疾患の病態と治療 (III)
	内容	不整脈、高血圧
第4回	担当教員	檀 和夫 内科系医学 循環器疾患の病態と治療 (IV)
	内容	心膜炎、心筋炎、動脈疾患
第5回	担当教員	檀 和夫 内科系医学 呼吸器疾患の病態と治療 (I)

	内容	総論、かぜ症候群
第6回	担当教員	檀 和夫 内科系医学 呼吸器疾患の病態と治療 (II)
	内容	肺炎、結核、インフルエンザ
第7回	担当教員	檀 和夫 内科系医学 呼吸器疾患の病態と治療 (III)
	内容	間質性肺炎、COPD、気管支喘息
第8回	担当教員	檀 和夫 内科系医学 呼吸器疾患の病態と治療 (IV)
	内容	肺癌、胸膜炎、気胸、肺血栓塞栓症
第9回	担当教員	檀 和夫 内科系医学 消化器疾患の病態と治療 (I)
	内容	消化管総論、食道炎、胃炎
第10回	担当教員	檀 和夫 内科系医学 消化器疾患の病態と治療 (II)
	内容	胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、腸閉塞、消化器癌
第11回	担当教員	檀 和夫 内科系医学 消化器疾患の病態と治療 (III)
	内容	肝・胆・膵総論、胆石・胆嚢炎
第12回	担当教員	檀 和夫 内科系医学 消化器疾患の病態と治療 (IV)
	内容	肝炎、肝硬変、肝癌、膵癌
第13回	担当教員	檀 和夫 内科系医学 神経疾患の病態と治療 (I)
	内容	総論、脳血管障害
第14回	担当教員	檀 和夫 内科系医学 神経疾患の病態と治療 (II)
	内容	髄膜炎、脳腫瘍、ALS
第15回	担当教員	檀 和夫 内科系医学 神経疾患の病態と治療 (III)
	内容	パーキンソン病、MS、ギラン・バレー症候群

評価方法

定期試験85点 (85%)、課題レポート15点 (15%) で評価する。ただし、授業内小テストの内容を勘案する。

教科書

テキスト 資料を配布する

参考書

参考文献 病期・病態・重症度からみた疾患別看護過程 井上智子/窪田哲朗、編 医学書院
7,000円+税

オフィスアワー

オフィスアワー：月曜日および金曜日昼休み (12:10-13:00)、担当教員研究室。授業内容についての質問は授業中、授業後およびオフィスアワーに受け付ける。またメールでの質問も受け付ける (メールアドレス： dan@ryotokuji-u.ac.jp)。

実務経験の有無

担当教員実務経験の有無, 有

講義コード	7100801
講義名	疾病・治療III（腎泌尿器、内分泌・代謝、血液、免疫、感染症）
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	2
必修/選択	必修

担当教員

氏名
檀 和夫
了徳寺 大郎

総合学習目標

看護技術、看護学などの看護専門分野科目を学ぶためには個々の疾患の病態、症状、徴候、検査所見、治療法の知識が必須である。本科目は重要な内科系疾患についてのこれら知識の理解・習得を目標とする。これらは看護学科DP-1②に相当する。

個別学習目標

- 1) 免疫系疾患、血液疾患、内分泌代謝疾患、腎疾患、感染症の重要な内科系疾患の病態について説明できる。
- 2) 免疫系疾患、血液疾患、内分泌代謝疾患、腎疾患、感染症の重要な内科系疾患の症状、徴候、検査所見、診断について説明できる。
- 3) 免疫系疾患、血液疾患、内分泌代謝疾患、腎疾患、感染症の重要な内科系疾患の治療について説明できる。

準備学修

看護師国家試験の出題基準で求めている医学知識を全て習得することを目標としており、1回の講義で扱う範囲は広いため十分な予習・復習が不可欠であり、授業計画に記載した毎回のテーマにつき図書館で参考図書を読み事前に情報を得ておく（60分）、また講義後は授業内容につき理解が不十分なところを補っておくこと（60分）。課題レポート作成による学習も併用する。授業では学習内容の確認のため毎回小テストを行う。

授業計画

第1回	担当教員	檀 和夫 内科系医学 免疫系疾患の病態と治療 (I)
	内容	総論、RA
第2回	担当教員	檀 和夫 内科系医学 免疫系疾患の病態と治療 (II)
	内容	SLE、シェーグレン症候群、花粉症、気管支喘息
第3回	担当教員	檀 和夫 内科系医学 血液疾患の病態と治療 (I)
	内容	総論、貧血総論
第4回	担当教員	檀 和夫 内科系医学 血液疾患の病態と治療 (II)
	内容	貧血各論
		檀 和夫

第5回	担当教員	内科系医学 血液疾患の病態と治療 (III)
	内容	血液悪性腫瘍
第6回	担当教員	了徳寺 大郎 内科系医学 血液疾患の病態と治療 (IV)
	内容	出血性疾患
第7回	担当教員	檀 和夫 内科系医学 内分泌代謝疾患の病態と治療 (I)
	内容	内分泌総論、下垂体疾患
第8回	担当教員	檀 和夫 内科系医学 内分泌代謝疾患の病態と治療 (II)
	内容	副腎疾患、甲状腺疾患
第9回	担当教員	檀 和夫 内科系医学 内分泌代謝疾患の病態と治療 (III)
	内容	代謝総論、脂質異常症、痛風
第10回	担当教員	檀 和夫 内科系医学 内分泌代謝疾患の病態と治療 (IV)
	内容	糖尿病
第11回	担当教員	檀 和夫 内科系医学 腎疾患の病態と治療 (I)
	内容	総論、腎不全、全身性疾患による腎障害
第12回	担当教員	檀 和夫 内科系医学 腎疾患の病態と治療 (II)
	内容	電解質異常、尿路感染症、腎がん
第13回	担当教員	檀 和夫 内科系医学 感染症の病態と治療 (I)
	内容	総論、腸管出血性大腸菌感染症
第14回	担当教員	檀 和夫 内科系医学 感染症の病態と治療 (II)
	内容	MRSA、AIDS、小児感染症
第15回	担当教員	檀 和夫 総まとめ
	内容	国家試験問題

評価方法

定期試験85点 (85%)、課題レポート15点 (15%) で評価する。ただし、授業内小テストの内容を勘案する。

教科書

テキスト 資料を配布する

参考書

参考文献 病期・病態・重症度からみた疾患別看護過程 井上智子/窪田哲朗、編 医学書院
7,000+税

オフィスアワー

オフィスアワー：月曜日および金曜日昼休み (12:10-13:00)、担当教員研究室。授業内容についての質問は授業中、授業後およびオフィスアワーに受け付ける。またメールでの質問も受け付

ける（メールアドレス：dan@ryotokuji-u.ac.jp）。

実務経験の有無

担当教員実務経験の有無、有

その他

担当教員実務経験の有無、有

講義コード	7100901
講義名	疫学
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	2
必修/選択	選択

担当教員

氏名
木谷 誠一

総合学習目標

公衆衛生学や保健政策を支える学問として、疫学があります。特に、組織化された地域社会の努力を通じて、疾病予防と健康増進を目指す公衆衛生活動に従事する保健師の必須の学問領域です。そのために、本講義では、以下の目標を設定します。

- ①看護臨床とは違う保健活動に必要な疫学の基本的な考え方・知識・技術を習得すること。
- ②疫学の応用分野を俯瞰して、解析結果を読み、応用できること
- ③実際に資料を適確に収集し、それについて解析・応用することができる。

看護学科DP2に相当

個別学習目標

1. 疫学の考え方と基礎概念について理解すること。
2. 疫学研究の結果について適切に理解し、説明・応用 については適切な保健指導能力を育成する。
2. 目標とする国家試験の出題基準と傾向を把握し、その水準の問題に対応できる。

準備学修

できるだけ教科書に沿って講義を行う。各回の講義の主題（トピック）に相当する部分を教科書で事前に読み込んでおくこと。また、トピックに関する近年のニュース（話題）を、具体的に調べて、学習効率を高めてほしい。
保健師・看護師国家試験の出題基準で定めているレベルの疫学知識を網羅する予定である。難解な概念把握のためには、積極的学習が望まれる。

授業計画

第1回	担当教員	木谷 誠一 オリエンテーション
	内容	疫学の基本的な考え方、用語について学ぶ。また感染症事例から疫学の歴史や調査方法の概略、因果関係について学ぶ

第2回	担当教員	木谷 誠一 疾病頻度の指標
	内容	有病率と罹患率、死亡率と致命率、年齢調整死亡率について学ぶ。
第3回	担当教員	木谷 誠一 曝露効果の指標
	内容	相対危険 寄与危険
第4回	担当教員	木谷 誠一 疫学研究のデザイン
	内容	記述疫学（横断研究・生態学的研究）と分析疫学
第5回	担当教員	木谷 誠一 コホート研究
	内容	フラミンガム研究・久山町研究
第6回	担当教員	木谷 誠一 症例対照研究
	内容	オッズ比について学ぶ
第7回	担当教員	木谷 誠一 介入研究
	内容	介入研究のデザイン（無作為化・マスキング）について学ぶ。
第8回	担当教員	木谷 誠一 疫学研究の質 1
	内容	母集団と標本抽出、バイアス
第9回	担当教員	木谷 誠一 疫学研究の質 2
	内容	さらにバイアスと交絡因子について学ぶ。
第10回	担当教員	木谷 誠一 疫学の応用 スクリーニング検査
	内容	

	容	妥当性と信頼性、感度と特異度について学ぶ。
第11回	担当 教員	木谷 誠一 フィールド疫学（実地疫学）
	内容	食中毒や新興感染症等の感染症のアウトブレイクについて学ぶ
第12回	担当 教員	木谷 誠一 臨床疫学とEBM/EBN（Evidence-based Medicine or Nursing）
	内容	科学的エビデンスおよび主な疾患の疫学について学ぶ。特にEBM(evidence-Based Medicine)やエビデンスレベル、システマティックレビューについても解説する。
第13回	担当 教員	木谷 誠一 疫学の応用
	内容	政策疫学・社会疫学・ライフコース疫学・遺伝疫学について述べる。 EBHC（evidence based Health Care）、地域診断や健康政策の実際を知る。
第14回	担当 教員	木谷 誠一 疫学 総復習
	内容	疫学の応用を俯瞰した後、最初の基礎に立ち返り、疫学的因果関係・疫学研究における倫理について述べる。復習の時間を設ける
第15回	担当 教員	木谷 誠一 まとめ
	内容	詳細な解説と応用分野における将来的な展望について述べる

評価方法

評価の基本は期末に実施される筆記試験（100点満点）で評価する。

教科書

看護疫学入門第3版 大木秀一 医歯薬出版 3300円税込

参考書

看護学生のための疫学・保健統計（改訂3版）浅野嘉延 南山堂2,400円+税

オフィスアワー

木曜日午前1時限2時限

実務経験の有無

有

その他

受講者の人数によって、一部ゼミ形式を行うことがある

講義コード	7101301
講義名	障害者福祉論
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	3・4
必修/選択	選択

担当教員

氏名
入江 多津子

総合学習目標

障害児・者福祉の理念、概念の変遷をたどることにより、現在の障害者福祉の課題を学ぶ。障害者福祉の中核である「ノーマライゼーション」について考察することにより、看護の理念の構築を図るDP1-①、DP1-②、DP2-①、DP3-③、DP4-①、DP4-②4、DP4-③

個別学習目標

配布する資料を中心に、障害者の概念、福祉理念を学び、障害者福祉の全体像を学習していく。それを通し、障害者福祉について自分の考えを構築し、障害者看護の考えについて述べる事が出来る。

授業計画

第1回	担当 教員	入江 多津子 「障害者」福祉とは
	内容	① 現代社会と障害者福祉 ② 障害の構造的理解
第2回	担当 教員	入江 多津子 「障害」の概念と障害者の実態
	内容	① 障害の法的定義 ② 障害者の実態 ③ 病気と障害
第3回	担当 教員	入江 多津子 障害者手帳制度とサービスの実態
	内容	① 身体障害者福祉法と身体障害者手帳② 知的障害者福祉法と知的障害者手帳③ 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律と精神保健福祉手帳について
第4回	担当 教員	入江 多津子 障害者福祉の基本理念〈1〉
	内容	① 国際障害分類 (ICIDH) ② 国際生活機能分類 (ICF) について
第5回	担当 教員	入江 多津子 障害者福祉の基本理念〈2〉
	内容	① 障害者の暮らしと生活実態 ② ノーマライゼーションの歴史
第6回	担当 教員	入江 多津子 障害者福祉の基本理念〈3〉
	内容	① リハビリテーションとは ② リハビリテーションの定義
第7回	担当 教員	入江 多津子 障害者福祉施策の発展〈1〉
	内容	① 戦後の障害者福祉 ② 最近の障害者福祉施策 ③ 民間活動について

第8回	担当 教員	入江 多津子 障害者福祉施策の発展（2）
	内容	①障害者支援のための社会計画 ②障害者福祉計画
第9回	担当 教員	入江 多津子 福祉理念の発展
	内容	①福祉理念の発展（IL運動）②国際障害者年(1981年)が及ぼした影響
第10回	担当 教員	入江 多津子 障害者施策の具体的発展（1）
	内容	①障害者基本法について ②発達障害者支援法等について
第11回	担当 教員	入江 多津子 障害者施策の具体的発展（2）
	内容	①障害者プランとは ②障害者プランのサービス(入江)
第12回	担当 教員	入江 多津子 障害者福祉サービスの体系（1）
	内容	①障害者総合支援法 ②障害者の雇用 ③障害者の所得保障
第13回	担当 教員	入江 多津子 障害者福祉サービスの体系（2）
	内容	高齢者、障害者等の移動等の円滑化に促進に関する法律及びその他関連法について
第14回	担当 教員	入江 多津子 障害者福祉サービスの体系（3）
	内容	障害児・者の福祉施設について
第15回	担当 教員	入江 多津子 障害者福祉の今後の課題と共生社会実現に向けて
	内容	障害者差別解消法と共生社会実現に向けて

評価方法

授業参加レポート（40%）及び期末テスト（課題レポート:60%）

教科書

テキスト：内閣府（編集）障害者白書〈令和4年版〉単行本 2, 860円

参考書

参考文献：

- 1 佐藤久夫 共生社会を切り開く -- 障害者福祉改革の羅針盤 単行本 有斐閣 2, 808円
- 2 八木 晃介 生老病死と健康幻想: 生命倫理と優生思想のアポリア 単行本 - 2016年 批評社 3,240円
- 3 立岩真也, 杉田俊介 相模原障害者殺傷事件 —優生思想とヘイトクライム— 単行本 2016年 青土社 1,944円

オフィスアワー

別途提示する。

実務経験の有無

実務経験の有無：有

その他

「障害者福祉」は障害者自身が自力で「権利としての福祉」を勝ち取ってきた経緯がある。それを学ぶことにより、共生社会に必要な諸条件を考え、今後、ますます在宅医療が推進される中で、患者・利用者中心の看護を考える。

担当教員実務経験の有無，有

講義コード	7101501
講義名	アサーティブコミュニケーション
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	3・4
必修/選択	選択

担当教員

氏名
大井 美樹

総合学習目標

コミュニケーションでの相手と自分を大切にすることの重要性を理解し、状況に合わせた適切な方法を習得し、看護場面での活かすことができる。

DPとの関連：DP3－③

個別学習目標

- 1.アサーションという自己表現の考え方と方法を理解する。
- 2.自分の気持ちや意見を表現することができる。
- 3.コミュニケーションを妨げている様々な要素について見直すことができる。

授業計画

第1回	担当教員	大井 美樹 ガイダンス アサーションとは何か？
	内容	授業の進め方について説明する。アサーションとは何かについて理解できる。
第2回	担当教員	大井 美樹 自分のアサーションをチェックする。
	内容	チェックリストを用いて、自分の自己表現の傾向を知る。
第3回	担当教員	大井 美樹 自分のイメージを探る
	内容	自分のことについての「20の私」を書き出し、自分自身についての気づきを得る。 AL-A
第4回	担当教員	大井 美樹 事例を用いたアサーションの確認
	内容	様々なケースを取り上げ、自己表現についての理解を深める。
第5回	担当教員	大井 美樹 事例を用いたアサーションの確認
	内容	様々なケースを取り上げ、自己表現についての理解を深める。
	担当教員	大井 美樹 アサーションを進めるためのヒント

第6回	内容	自分の体験から、自己表現でつまづいた時のことを振り返ることができる。AL-A
第7回	担当教員	大井 美樹 アサーションの基本的権利
	内容	アサーションに関わる権利について理解できる。
第8回	担当教員	大井 美樹 「常識」とアサーション AL-E
	内容	常識チェック表を用いて、自分の日常の考え方を見直す。
第9回	担当教員	大井 美樹 「常識」とアサーション
	内容	自分の体験をもとに、非現実的な思い込みに気づくことができる。
第10回	担当教員	大井 美樹 自己表現を生み出すということ AL-A
	内容	「私メッセージ」の練習を通して、よりよい自己表現ができる。
第11回	担当教員	大井 美樹 「自己表現を生み出す」ということ
	内容	ある一定の方法を用いて、問題解決のステップを知る。
第12回	担当教員	大井 美樹 「相手のことを知る」ということ
	内容	「きく」の意味を考えることができる。
第13回	担当教員	大井 美樹 「聴く」ということ AL-E
	内容	傾聴チェックシートを用いて、自分自身の聴くという姿勢を振り返ることができる。
第14回	担当教員	大井 美樹 アサーショントレーニング AL-A
	内容	提示された場面設定から、アサーティブコミュニケーションを実践してみる。
第15回	担当教員	大井 美樹 まとめ
	内容	これまでの授業回をふり返り、アサーティブコミュニケーションについて自分の考えをまとめることができる。

評価方法

授業時間内の提出物（60点）と授業終了後の課題レポート（40点）で、100点とする。

教科書

テキスト

授業資料はこちらで配布します。

参考文献

- ・アサーション自分の気持ちの伝え方 自分も相手も大切にする、気持ちのいい自己表現

平木典子 主婦の友社 東京

- ・系統看護学講座 基礎分野 人間関係論 第3版 医学書院

参考書

テキスト

授業資料はこちらで配布します。

参考文献

- ・アサーション自分の気持ちの伝え方 自分も相手も大切にする、気持ちのいい自己表現

平木典子 主婦の友社 東京

- ・系統看護学講座 基礎分野 人間関係論 第3版 医学書院

オフィスアワー

水曜日 3限 木曜日 4限

実務経験の有無

有

その他

履修登録者が5名以下の場合、開講しない。

オフィスアワー:各授業終了後、1時間をオフィスアワーとする。

本授業に関連する実務経験：有

講義コード	7102001
講義名	衛生学
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	2・3・4
必修/選択	選択

担当教員

氏名

木谷 誠一

総合学習目標

医療、保健の分野で実務に携わるには、自らの専門領域での専門性を高めるための努力の継続が肝要であるが、一方、広く社会を鳥瞰し、将来を見据えた冷静な目を持つことも求められている。本講座では、保健師あるいは養護教諭として期待されるコミュニケーション能力と調整能力とを養うことを目的とする。そのため、公衆衛生の各トピックを、各自の自主性のもと重点的に取り上げ、プレゼンテーションと質疑応答を行う。そうすることで、健康科学と隣接する衛生学領域での重要な知識も会得することが期待される。できれば、結婚・家族・地域社会・行政へ視点を拡大する契機になれば目標を十分に達成されたことになる。看護学科DP3に相当

個別学習目標

具体的なテーマとしては、感染症、食品衛生、精神保健、環境衛生、産業安全衛生、アレルギー問題を取り上げ、実務に携わるに際して自信を持って臨める確実な知識の運用を目差す。また、将来、行政における保健政策の履行や地域医療における病診連携や院内チーム医療の一員として働くことの意義と、そのために必要な調整能力やコミュニケーション能力の育成を図る。

準備学修

各自興味ある講義の主題（トピック）を徹底的に調べ上げ、まとめ、説得力を持ってプレゼンテーションできるように、自己訓練しておくことが必要である。そのためには、常日頃から主題（トピック）に関するニュースや議論に注意深く耳を傾けてゆくよう心掛けることが期待される。卒業後、看護職および保健師の職場に就いても、持続する学習の重要性を理解する。

授業計画

第1回	担当教員	木谷 誠一 講義オリエンテーション
	内容	各自主題（トピック）と発表日の割り当てをする
第2回	担当教員	木谷 誠一 成人保健と健康増進
	内容	健康増進法・健康日本21（第二次）特定健診・特定保健指導
	担当	木谷 誠一

第3回	教員	成人・高齢者保健
	内容	成人の生活習慣病・高齢者医療確保法、介護保険法について調べ、2025年問題等々の課題を考える
第4回	担当教員	木谷 誠一 母子保健
	内容	主な母子保健施策・母子保健統計・母子保健法を取り上げ、母子保健の課題を考える
第5回	担当教員	木谷 誠一 感染症対策1
	内容	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）インフルエンザ・感染症法について調べ、新興感染症や再興感染症の実情を知り、グローバル化した保健問題について考える。
第6回	担当教員	木谷 誠一 感染症対策2
	内容	予防接種（ワクチン）の効能のメカニズムや法制度についてしらべ、課題について考える
第7回	担当教員	木谷 誠一 環境と健康
	内容	大気汚染・水質汚濁・生活環境管理・下水道・上水道について調べ、現代の課題について考える
第8回	担当教員	木谷 誠一 食品保健およびアレルギー問題
	内容	食品衛生法・食中毒について学ぶ。また公衆衛生や環境保健・学校保健の観点からアレルギーを考察する
第9回	担当教員	木谷 誠一 学校保健
	内容	学校保健安全法・学校感染症について調べ、学校保健の課題を考える
第10回	担当教員	木谷 誠一 産業保健
	内容	産業保健・労働基準法・労働安全衛生法・労働災害を調べ、企業で働く労働者の健康に関する課題を考える。
第11回	担当教員	木谷 誠一 精神保健福祉
		日本の精神保健福祉の歴史と現状および精神保健福祉法制度や社会復帰対策につ

	内容	いて調べ、今後の対策を考える 精神障害について、公衆衛生や障害福祉・実態と問題点について幅広く学ぶ予定である。
第12回	担当教員	木谷 誠一 国際保健
	内容	地球環境問題、WHOの活動を中心とした国際保健医療協力について調べ、世界の保健のグローバル化という課題と対策を考える。
第13回	担当教員	木谷 誠一 地域保健
	内容	地域保健法を中心に、地域の医療・保健・福祉（社会保障含む）を調べ、その課題と可能性について考える。
第14回	担当教員	木谷 誠一 医療法と医療供給体制
	内容	刻々と改正されている医療法・医療計画・地域医療構想について調べ、超高齢社会の課題について考える。
第15回	担当教員	木谷 誠一 感染症・ワクチンにおける偏見と現代的課題
	内容	ポスト・コロナあるいはウィズ・コロナの時代に向けて、偏見や科学的エビデンスについて考える

評価方法

後半に実施される成果の口頭発表/プレゼンテーションを評価の基礎点とするが、セミナーでの貢献や理解度も加味して総合的に評価する。

教科書

公衆衛生がみえる2022-2023 医療情報科学研究所 ￥3960 税込 メディックメディア
あるいは国民衛生の動向2022-2023 厚生労働統計協会 2695円（税込）どちらでもよい
（公衆衛生学に前者を使用しなかった2年生に配慮）

参考書

シンプル衛生公衆衛生学2023 南江堂 ￥2640税込

オフィスアワー

木曜日午前1時限2時限

実務経験の有無

有

その他

必須科目である公衆衛生学をさらに深め、パブリック・ヘルスの重要性や応用の広がりを喚起する予定である。学生諸君の積極的学習に基づき、発表が行われる。本講義は、セミナー形式の対面授業で行う。

担当教員実務経験の有無, 有

講義コード	7102102
講義名	公衆衛生学
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名
木谷 誠一

総合学習目標

臨床医学・臨床看護が、患者個人の病気を対象とするものであるのに対し、公衆衛生は集団（地域社会・職域・学校等）の健康を対象にする。公衆衛生学で学ぶことは保健医療の骨組みとなるものであり、個別の治療やケアにおいても関連する。ナイチンゲールは、看護ケアのみではなく、統計を駆使して公衆衛生学の確立にも寄与した。人類の歴史や近代社会・現代社会を見る目を持ち、その中で、将来に向けた自分たち/看護師・保健師の役割についても自覚していただきたい。できれば、結婚・家族・地域社会・行政へ視点を拡大する契機になれば目標を十分に達成されたことになる。看護学科DP1に相当

個別学習目標

健康の概念、予防医学の基礎・健康増進から始まり、さらに感染症対策を知り、ライフサイクルに応じた母子保健、学校保健、産業保健、成人・高齢者保健、精神保健地域保健、および国際保健、環境衛生の各応用領域の基礎を幅広く学ぶ。その上で、社会保障と保健医療福祉の制度及び医療法・医療安全の確保について学ぶ。将来看護師・保健師として働く際、医療現場での柔軟な対応力を身につけることを目指す。

準備学修

できるだけ教科書に沿って講義を行う。各回の講義の主題（トピック）に相当する部分を教科書で事前に読み込んでおくこと。また、トピックに関する近年のニュース（話題）を、具体的に調べて、学習効率を高めてほしい。

授業計画

第1回	担当教員	木谷 誠一 講義オリエンテーション、公衆衛生と健康の概念
	内容	公衆衛生の歴史と健康の概念、予防医学について考える。
第2回	担当教員	木谷 誠一 成人保健と健康増進
	内容	健康増進法・健康日本21（第二次）特定健診・特定保健指導
第3回	担当教員	木谷 誠一 成人・高齢者保健
	内容	成人の生活習慣病・高齢者医療確保法、介護保険法について学ぶ
第4回	担当教員	木谷 誠一 母子保健
	内容	主な母子保健施策・母子保健法について学ぶ
第5回	担当教員	木谷 誠一 感染症対策
		感染症法・検疫法や予防接種（ワクチン）の効能のメカニズムや法制度について

	内容	て学ぶ。
第6回	担当 教員	木谷 誠一 環境と健康
	内容	大気汚染・水質汚濁・化学物質の健康影響について学ぶ
第7回	担当 教員	木谷 誠一 食品保健
	内容	食品衛生法・食中毒について学ぶ。
第8回	担当 教員	木谷 誠一 学校保健
	内容	学校保健安全法・学校感染症について学ぶ
第9回	担当 教員	木谷 誠一 産業保健
	内容	産業保健・労働基準法・労働安全衛生法・労働災害について学ぶ
第10回	担当 教員	木谷 誠一 精神保健福祉
	内容	日本の精神保健福祉の歴史と現状および精神保健福祉法や社会復帰対策について学ぶ。
第11回	担当 教員	木谷 誠一 国際保健
	内容	地球環境問題、WHOの活動を中心とした国際保健医療協力について現状を把握し、世界の保健問題のグローバル化について学ぶ。
第12回	担当 教員	木谷 誠一 地域保健
	内容	地域保健法を中心に、地域の医療・保健・福祉を学ぶ。
第13回	担当 教員	木谷 誠一 医療法と医療供給体制
	内容	刻々と改正されている医療法・医療計画、地域医療構想について学ぶ。
第14回	担当 教員	木谷 誠一 日本の医療・保健・福祉 復習（おさらい）
	内容	今までの個別の内容を、試験対策も含めて総復習を行う。
第15回	担当 教員	木谷 誠一 まとめ
	内容	詳細な解説と公衆衛生活動の今後の展望について述べる

評価方法

期末に実施する筆記試験（100点満点）を評価の基礎点とする。

教科書

公衆衛生が見える 2022/2023最新版 医療情報科学研究所（編）メディックメディア 3, 600円＋税

参考書

国民衛生の動向 2022・2023 厚生労働統計協会 2695円（税込み）
コンパクト公衆衛生学 第7版 朝倉書店 2, 900円＋税

オフィスアワー

木曜日午前 1 時限, 2 時限

実務経験の有無

有

その他

保健師・看護師国家試験の出題基準で定めているレベルの公衆衛生学の知識を網羅する。積極的学習が望まれる。

担当教員実務経験の有無, 有

講義コード	7102201
講義名	保健医療福祉行政論
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	3
必修/選択	必修

担当教員

氏名

川名 ヤヨ子

総合学習目標

我が国の保健医療福祉行政の理念としくみを理解し、保健・医療・福祉に関する諸制度の根拠及び概要と基本的知識として諸制度について理解を深め、行政の役割を学修する。

特に社会構造・社会情勢の変化と現状を踏まえつつ関連する法律、施策、組織、行政活動（計画策定・実行・評価等）を理解し、少子高齢社会・在宅看護の需要が拡大するなか、ここ数年の感染症蔓延する状況での諸制度の運用等看護職の視点を通して考察し、看護活動の役割と展望を学修する。

看護学科DP 1 ①② DP 4 ②③に対応

個別学習目標

1. 保健医療福祉行政の基礎的知識を理解し、その根拠を学ぶ
2. 国民の生活背景と保健医療福祉行政の関係性を理解し、説明できる
3. 保健医療福祉行政の連携から保健活動における看護職の役割を考えることが出来る
4. 保健医療福祉行政を計画・実施・評価・政策提言へのプロセスを住民視点で考えられる

準備学修

・厚生労働省のホームページから保健・医療・福祉の情報を収集し、概略を把握する。また学生の住所地の市町村のホームページから保健・医療・福祉関連の資料から発信されている情報を具体的に興味をもって閲覧する。各單元ごとに教科書・資料を振り返り、基本情報をまとめ理解する（15分～20分）

社会の歴史的背景と諸制度の成り立ちとをリンクさせる。（5～10分）

授業計画

第1回	担当教員	川名 ヤヨ子 授業ガイダンス 保健医療福祉行政の法的根拠と国民の権利と義務
	内容	講義形式とし、保健・医療・福祉の基本から現状を考察できるよう展開する。総合学習目標を念頭に個別学習目標を理解し学習効果を確実のものとする。保健医療福祉の法的根拠と国民の権利と義務、世界の公衆衛生の趨勢と保健医療福祉が目指す活動。
第2回	担当教員	川名 ヤヨ子 保健医療福祉制度の変遷（公衆衛生政策の基盤形成）

	内容	英国で始まった近代公衆衛生の歴史を通して公衆衛生の本質を考える。併せて日本の近代公衆衛生の歴史を学び、健康課題への対応の理念を理解する。
第3回	担当教員	川名 ヤヨ子 保健医療福祉制度の変遷（政策の充実と転換）
	内容	昭和50年代～現在、における地域保健の基盤となる法律や制度を理解する。それらの個別政策内容とその経緯を理解し、少子高齢社会の政策と関連付けて理解。
第4回	担当教員	川名 ヤヨ子 保健医療福祉行政・財政のしくみ（国・都道府県・市町村・行政と保健師の役割）
	内容	行政（国・都道府県・市町村）の定義・しくみ・役割を学ぶ。保健行政（地域保健・労働行政・環境衛生・学校保健）の仕組み。行政における保健師の業務や体制を理解し、役割と活動課題等を考える。
第5回	担当教員	川名 ヤヨ子 保健医療福祉の財政と公衆衛生に関する国際的な活動
	内容	国と地方公共団体の財政の仕組みを学び、予算編成と決算の意義を理解する。また社会保障の給付と財源について考える。保健医療分野の国際協力の仕組みを理解し、国際保健に関する主な国際機関について学ぶ。
第6回	担当教員	川名 ヤヨ子 社会保障制度の理念としくみ。医療制度と政策
	内容	社会保障制度の概念・目的・制度体系など総論的に学ぶ。社会保障の法規と行政体系について理解し、今後の課題と改革動向を考える。医療制度は医療提供体制と医療保険制度で構築されていることを理解する。社会保障制度改革として、医療・介護の提供体制と保健制度の改革を知る。
第7回	担当教員	川名 ヤヨ子 介護保険制度の概要（サービス内容・地域包括センター・国・都道府県・市町村の役割）
	内容	介護保険制度が目指す、ケアマネジメント方式に基づくサービスを理解する。介護保険制度は、保険者である市町村・都道府県・国・医療保険者が重層的に支えるシステムの仕組みを学ぶ。介護保険制度における看護職（保健師）の役割を理解する
第8回	担当教員	川名 ヤヨ子 社会保障・社会福祉制度（年金・公的扶助・雇用保険・労働者災害補償保険等）
	内容	公的年金制度の体系と役割を学び、所得保障制度の中心となっている公的年金制度及び労働保険（雇用保険・労災保険）を学ぶ。社会福祉制度について、公的扶助（生活保護）基本原理と実施の原則や沿革・概要を学ぶ。
第9回	担当教員	川名 ヤヨ子 社会保障・社会福祉制度（児童家庭福祉・高齢者。障害者等）小テスト
	内容	対象者ごとに縦割りになっている社会保障制度の児童福祉・高齢者福祉・障害者福祉の沿革や概要を理解する。日常生活の自立支援事業について考える。
	担当	川名 ヤヨ子

第10回	教員	地域保健の体系（公的機関）と関係機関との連携
	内容	地域保健体系における都道府県と市町村の役割分担を理解し、保健所・市町村保健センターの業務と相違点を理解する。 地域保健法に基づく保健所の機能強化の内容について学び、考察する。
第11回	担当教員	川名 ヤヨ子 もし「国民皆保険でなかったら」医療保障制度の考察
	内容	当たり前になっている「医療保険制度」、人生百年時代に向かう‘今’未来の在り方を考えてみましょう！ 日本特有の「世界一の制度」の成り立ちと経緯を理解し、現在の医療提供体制の問題点を探り、我が国の医療保障政策のあるべき方向性や道筋を考える。
第12回	担当教員	川名 ヤヨ子 地域づくりを推進する保健センターの実際と保健計画の策定と評価
	内容	地方公共団体では地方自治法に基づく市町村総合計画（基本構想）を柱に様々な保健医療福祉計画が策定されていることを学ぶ。市町村総合計画をはじめ、各計画の整合性と推進にあたっての連携の重要性を理解する。他部署の計画についても根拠を含め熟知することの重要性を学ぶ。
第13回	担当教員	川名 ヤヨ子 保健医療福祉計画の策定プロセス・推進と評価
	内容	保健計画策定のプロセスの各段階におけるポイントを学び、住民の参画の意味・形態について多角的に考え、所属内でのコンセンサスを得てエンパワーメントされ実践へ。保健計画は、新たな法律の制定や改正により着手されることが多い。方法論の議論からではなく、何のための策定か？住民と行政の協働作業での策定が原則である。
第14回	担当教員	川名 ヤヨ子 保健医療福祉事業の企画書作成の実際
	内容	保健医療福祉事業の「企画書」策定にあたって具体的な事例を紹介し、先輩学生が取り上げたテーマを紹介する。 A4一枚の企画書の各項目の考え方について事例を通して示す。
第15回	担当教員	川名 ヤヨ子 看護の視点を活用した政策提言とまとめ
	内容	14回の授業展開から保健医療福祉の行政を振り返り、過去から現在へと理解を深め、未来に向けたあるべき方向性を思索し、看護職として政策提言への道筋を探る過程を仮想したい。

評価方法

評価方法：定期試験、課題、小テスト、で評価し60点以上を合格。

基準：定期試験60%、課題：保健計画「企画書」作成30%、小テスト10%

教科書

テキスト：標準保健師講座 別巻I保健医療福祉行政論（医学書院）3100円+税

参考文献

国民衛生の動向（厚生労働統計協会） 国民の福祉と介護の動向（厚生労働統計協会）

参考書

テキスト：標準保健師講座 別巻I保健医療福祉行政論（医学書院）3100円+税

参考文献

国民衛生の動向（厚生労働統計協会） 国民の福祉と介護の動向（厚生労働統計協会）

授業時に紹介する

実務経験の有無

有り

その他

- ・教科書、配布資料参考図書を活用した予習・復習を实践して授業に臨むこと
- ・厚生労働省が進める保健医療福祉の動向に関心を持ち社会現状と照らし合わせ受講する
- ・公衆衛生看護学、看護学各論と関連づけて積極的に自己学習すること

講義コード	7102301
講義名	保健統計学
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	2
必修/選択	必修

担当教員

氏名
木谷 誠一

総合学習目標

保健医療の現場や調査報告書などで得られるデータを解釈する上で必要な統計学の基礎知識を身につける。統計学の基本的な概念や方法論を理解して、保健統計資料の解釈や疫学的な調査研究の実施に際して役立つ知識と技術を習得させる。看護学科DP2に相当

個別学習目標

1. 保健統計分野で用いられる用語や定義について理解し、説明できる。
2. 公表されている保健統計データについて理解し、臨床現場での利用と公衆衛生上の意義を説明できる。
3. 記述統計学と推測統計学の違いが説明できる。
4. 示されたデータに関して検定や推定ができる。

準備学修

前半の保健統計では、公衆衛生の教科書も参照して、公衆衛生学の復習に努めてもらいたい。後半の統計学では、高校の教科書も動員して、数理的な理解に努めてほしい。

授業計画

第1回	担当教員	木谷 誠一 オリエンテーション
	内容	保健統計学を学ぶ意義について考える。また、日本の人口の特徴と人口動態統計について学ぶ。
第2回	担当教員	木谷 誠一 人口動態統計
	内容	出生率（特に合計特殊出生率）、死亡率（特に年齢調整死亡率）、生命表について学ぶ
第3回	担当教員	木谷 誠一 母子保健の統計
	内容	母子保健を統計の面から考える。
第4回	担当教員	木谷 誠一 主要な疾患の死因統計
	内容	予防医学や超高齢社会を考える資料として学び、保健政策を考える基盤とする
	担当	木谷 誠一

第5回	教員	保健統計調査
	内容	人口統計や死因統計では把握できない疾病の状況を国民生活基礎調査と患者調査から学ぶ
第6回	担当教員	木谷 誠一 その他基礎的な統計調査
	内容	感染症、食中毒、国民健康・栄養調査、医療経済統計、疾病分類、情報処理について学ぶ
第7回	担当教員	木谷 誠一 保健統計の復習およびデータサイエンスとしての統計学の基礎
	内容	データの種類と代表値・バラツキについて学ぶ
第8回	担当教員	木谷 誠一 記述統計 1
	内容	データの記述（表と図の利用）について学ぶ
第9回	担当教員	木谷 誠一 確率と代表的な確率分布
	内容	高校数学の復習をした上で、確率変数、確率分布について学ぶ
第10回	担当教員	木谷 誠一 記述統計 2
	内容	2種類のデータの関係性：相関と回帰について学ぶ
第11回	担当教員	木谷 誠一 推測統計学
	内容	母集団と標本、標本抽出、区間推定と仮説検定について学ぶ
第12回	担当教員	木谷 誠一 t 検定
	内容	統計学の実践として、小さな標本の2つの群の違いを見極めるため t 検定、F検定について学ぶ
第13回	担当教員	木谷 誠一 分散分析・ノンパラメトリック検定
	内容	さまざまな検定方法について学ぶ
第14回	担当教員	木谷 誠一 分類されたデータの検定
	内容	クロス表で示されるデータからカイ2乗検定を学ぶ。多変量解析等の紹介および講義の復習も予定する
第15回	担当教員	木谷 誠一 まとめ
	内容	詳しい解説および保健統計という試みの将来への展望について述べる

評価方法

期末に実施する筆記試験（100点満点）を評価の基礎とする。

教科書

ていねいな保健統計学第2版 白戸亮吉、鈴木研太 羊土社2420円（税込み）

参考書

国民衛生の動向2022-2023 厚生労働統計協会 2695円（税込）

公衆衛生が見える 2022/2023 医療情報科学研究所（編）メディックメディア3, 600円+税

オフィスアワー

木曜日午前1時限2時限

実務経験の有無

有

その他

保健師・看護師国家試験の出題基準で定めているレベルの保健統計の知識を網羅する。積極的学習が望まれる。

講義コード	7102401
講義名	産業保健看護論
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	3・4
必修/選択	選択

担当教員

氏名
木谷 誠一
川名 ヤヨ子

総合学習目標

社会の発展とともに事業場において労働環境が、刻々変化しています。化学物質による労働災害や長時間労働による健康障害に対して、国は法令・指針・通達等で対応しています。産業保健看護論を学ぶことにより、科学的根拠および法的根拠に基づいた看護活動の在り方が一望でき、働く人への健康増進と労働文化の向上に繋がることが期待されます。看護学科DP3 DP4 ③に相当

個別学習目標

- ・「労働と健康の調和を図る」看護活動を通し、イキイキ働く支援方法の実践と役割を学ぶ
- ・働く人々の安全と健康を確保する継続的で計画的な心身両面への健康づくりを考える
- ・将来的に衛生管理者として活動できる知識・理論・技術を習得する
- ・健康管理を経営的視点から捉えた健康経営の推進と意義を考える

準備学修

前半は産業医学の面から講義します。各回の講義の主題（トピック）に相当する部分を教科書で事前に読み込んでおくこと。後半は産業看護職の視点に立ち、それぞれに即したトピックについて扱います。各主題の基本事項については教科書を活用し、それらに関する近年のニュース（話題）を、具体的に調べて、講義聴講時の学習効率を高めてほしい。毎授業15～30分

授業計画

第1回	担当教員	木谷 誠一 オリエンテーション（木谷）
	内容	産業保健総論と歴史および労働基準法・労働安全衛生法・労働契約法について学ぶ
第2回	担当教員	木谷 誠一 労働安全衛生法 1 （木谷）
	内容	安全衛生管理体制と作業環境管理
	担当	木谷 誠一

第3回	教員	労働安全衛生法 2 (木谷)
	内容	作業管理と健康管理
第4回	担当教員	木谷 誠一 労働安全衛生法 3
	内容	健康管理 (続き) および過重労働対策・メンタルヘルス対策について学ぶ
第5回	担当教員	木谷 誠一 労働災害・職業性疾病 (木谷)
	内容	労働者災害補償保険法と労働安全衛生教育について学ぶ
第6回	担当教員	木谷 誠一 職業性疾病各論 (木谷)
	内容	職業がん、じん肺、作業環境による健康障害、および作業態様による健康障害について学ぶ
第7回	担当教員	木谷 誠一 中間まとめ (木谷)
	内容	前半の講義のまとめ確認および産業保健の将来的な展望について述べる
第8回	担当教員	川名 ヤヨ子 産業保健・産業看護の理念、産業看護の歴史、定義 (川名)
	内容	産業看護の定義・役割を理解し、産業看護職に求められるコンピテンシーについて学ぶ。我が国の産業看護の歴史を4区分し概観する。
第9回	担当教員	川名 ヤヨ子 産業保健の基本と産業看護活動 (川名)
	内容	産業看護活動の基本となる様々な知識 (労働生理・産業疲労・人間工学・リスク・職業性疾病・作業関連疾患・その他当) と役割の概要を学ぶ。
第10回	担当教員	川名 ヤヨ子 産業看護活動の実際 (企業活動と産業看護活動) (川名)
	内容	企業活動における産業看護職の位置づけを理解し、産業看護職が専門性を発揮できる活動 (産業保健計画・健康診断・健康相談・健康づくり等) 業務の実際を学ぶ。
第11回	担当教員	川名 ヤヨ子 産業看護活動 (職場巡視・職場の安全等) 騒音対策を通して (川名)
	内容	産業保健専門職チームの一員として他部門等と連携する活動 (疾病管理・労働衛生教育・職場巡視・安全管理・地域保健等) の実践業務を学ぶ。事例として「騒

	容	音職場の改善事例の取り組み」DVD視聴。
第12回	担当教員	川名 ヤヨ子 産業看護活動（女性労働者への健康支援等）（川名）
	内容	女性の社会進出が進み、女性労働者が働き続けられることを目指し、法律・制度・支援のあり方等が改正されている。女性の職業生活を「労働基準法」「男女雇用機会均等法」「育児・介護休業法」に基づき理解を深める。
第13回	担当教員	川名 ヤヨ子 産業看護活動（高年齢労働者・治療と仕事の両立支援等）（川名）
	内容	働く高齢者の特性に配慮した、「エイジフレンドリーな職場づくり」ガイドラインや事業場における治療と職業生活の「両立支援のための」ガイドライン等を理解し、長寿社会をいかにサポートできるか考えます。
第14回	担当教員	川名 ヤヨ子 これからの産業保健・看護と健康経営（川名）
	内容	現在、感染症による働き方・職場管理や様々な問題が挙げられる。産業保健の国際動向（ILO第187号条約）と産業看護活動の国内動向を考える。健康経営や投資対効果（メリット）への実情を知って、看護職の貢献等について考える。
第15回	担当教員	川名 ヤヨ子 産業看護の課題と展望（川名）
	内容	国内・外の動向からも、産業保健活動は「法規準拠」(rules-based)型から「自主対応」(self-management)型に変化している。このことを念頭に産業看護の課題と展望を考えましょう！

評価方法

評価方法：前半木谷分担分50点 定期中間テストを評価の基盤とする。後半川名分担分50点は、定期テスト80% 課題20%で評価する。合計して60点以上合格とする。

教科書

テキスト：公衆衛生が見える 2022/2023あるいは2020/2021版 医療情報科学研究所（編）メディックメディア 3, 600円＋税（本講義前半で使用する）（2年次公衆衛生学講義で使用したものでよい）

産業看護学（最新版）河野啓子著 日本看護協会出版会3500円＋税

参考書

参考書籍：労働衛生のしおり（最新版） 中央労働災害防止協会編 650円＋税

産業看護職のための産業保健入門 森晃爾編 保健文化社 1700円

オフィスアワー

（木谷）木曜日午前1時限2時限

実務経験の有無

有

その他

- ・教科書、配布資料、参考図書を活用し、予習・復習を行うこと。
- ・社会構造・社会情勢を敏感にキャッチし「労働生活と健康の調和」に関連付けること。

- ・最新の関連法案の施行等について常にアンテナを高くする。

講義コード	7102601
講義名	養護概論
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	選択

担当教員

氏名
佐久間 浩美

総合学習目標

養護教諭は、教育現場において児童生徒のこころと身体、命を守る専門職であることを理解する。さらに、学校におけるヘルスプロモーション活動の担い手として、求められる役割について説明することができる。授業のなかで、積極的に討論に参加し、自らの養護観、教育観、児童・生徒観を作り上げていくことを目標とする。看護学科DP 1-②、2-①に該当する。

個別学習目標

- ・学校保健における養護教諭の役割が理解できる。
- ・養護教諭の職務である保健教育、保健管理、保健組織活動についての内容を理解し説明することができる。
- ・養護教諭は、学校におけるヘルスプロモーション活動の担い手であることを理解し、求められる役割について説明することができる。

準備学修

学習の準備として教科書の「学校における養護活動の展開 改訂9版」を読み、専門用語をまとめておくこと（30分）、講義後は、授業の内容を振り返り自分の考えをまとめ、さらに章末の採用試験問題を解き、できなかった箇所をノートにまとめておくこと（60分）

授業計画

第1回	担当教員	佐久間 浩美 オリエンテーション
	内容	新型コロナウイルス感染症における学校の対応と養護教諭の役割を理解する。
第2回	担当教員	佐久間 浩美 学校教育と養護教諭
	内容	学校における養護教諭の職務とその専門性について理解する。AL:B
第3回	担当教員	佐久間 浩美 養護教諭誕生までの歴史的経緯
	内容	時代のニーズにより変化する養護教諭の役割について理解する。AL:B
第4回	担当教員	佐久間 浩美 養護教諭と保健室
	内容	養護教諭の職務の特質と保健室の役割について理解する。AL:B
第5回	担当教員	佐久間 浩美 学校保健計画
	内容	学校保健計画の目的、立案、実施、評価について理解する。AL:B

第6回	担当教員	佐久間 浩美 健康観察と感染症の対応
	内容	学校において予防すべき感染症と健康観察の意義について理解する。AL:B
第7回	担当教員	佐久間 浩美 健康診断
	内容	健康診断の目的、実施、評価について理解する。AL:B
第8回	担当教員	佐久間 浩美 養護活動の展開
	内容	保健室来室者への対応、フィジカルアセスメントについて理解する。AL:B
第9回	担当教員	佐久間 浩美 健康相談
	内容	養護教諭の職務の特質を活かした健康相談について理解する。AL:B
第10回	担当教員	佐久間 浩美 特別な支援が必要な児童生徒への対応
	内容	特別な支援が必要な児童生徒への対応について理解する。AL:B
第11回	担当教員	佐久間 浩美 学校環境衛生検査
	内容	学校環境衛生検査の目的、実施、評価について理解する。AL:B
第12回	担当教員	佐久間 浩美 学校安全と危機管理
	内容	学校における安全教育、安全管理を知り、養護教諭に求められる役割について理解する。AL:B
第13回	担当教員	佐久間 浩美 疾病管理、食物アレルギーへの対応
	内容	食物アレルギーなどへの緊急対応を通じて疾病管理について理解する。AL:B
第14回	担当教員	佐久間 浩美 学校におけるヘルスプロモーション活動
	内容	いじめ対応など学校におけるヘルスプロモーション活動について理解する。AL:B
第15回	担当教員	佐久間 浩美 教育論作文の書き方
	内容	教育現場で考えられる児童生徒の健康課題を解決する教育論作文の書き方を理解する。

評価方法

毎授業中のレポート30点、最終テスト70点で評価する。

教科書

テキスト 『学校における養護活動の展開 第10版』 著者：津島ひろ江 出版社：ふくろう出版 本体2600円＋税

参考文献 小学校、中学校、高等学校、学習指導要領、学習指導要領解説

参考書

参考文献 小学校、中学校、高等学校、学習指導要領、学習指導要領解説

オフィスアワー

木曜日、2～4時限、504研究室

実務経験の有無

有

その他

児童生徒が置かれている社会情勢や学校の状況に興味をもち、幅広い知識を得るため、多くの書物を読んでほしい。

担当教員実務経験の有無, 有

講義コード	7102701
講義名	健康相談活動の理論及び方法
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	3
必修/選択	選択

担当教員

氏名
佐久間 浩美

総合学習目標

養護教諭の職務の特質や保健室の機能を生かした健康相談活動について理解を深め、演習を通して具体的な支援の方法を身につけていく。看護学科DP1-②、2-①に該当する。

個別学習目標

- ・ 児童生徒のこころの健康課題について把握できる。
- ・ こころの健康問題と身体症状との関連を理解できる。
- ・ 養護教諭が行う健康相談・健康相談活動の進め方について理解し、事例をもとにしたロールプレイングでは適切な対応ができる。

準備学修

準備として1年次に使用した「学校における養護活動の展開」の健康相談の部分を事前に読む(30分)、講義後は、講義でだされた事例についてまとめることや、逐語録作成や健康相談のロールプレイングのシナリオ作成など出された課題を行う(60分)

授業計画

第1回	担当教員	佐久間 浩美 オリエンテーション
	内容	事例を通して、学校における健康相談・健康相談活動の重要性を理解する。AL:B
第2回	担当教員	佐久間 浩美 児童生徒の心身の健康問題の現状と背景
	内容	児童生徒の心身の健康問題とその背景にある社会情勢に目を向け問題点を理解する。AL:B
第3回	担当教員	佐久間 浩美 養護教諭の職務とこころの健康問題
	内容	養護教諭の職務の特質を生かした健康相談・健康相談活動について理解する。AL:B

第4回	担当 教員	佐久間 浩美 健康相談活動を支える諸理論および技法
	内容	発達理論を理解し、健康相談について理解する。AL:B
第5回	担当 教員	佐久間 浩美 心身医学の基礎知識
	内容	ストレス理論と認知的アプローチについての基礎的知識を理解する。AL:B
第6回	担当 教員	佐久間 浩美 学校における健康相談と対応
	内容	健康相談の意義と目的、虐待の事例を考える。AL:B
第7回	担当 教員	佐久間 浩美 発達障害
	内容	発達障害を知り、適切な支援方法について理解する。AL:B
第8回	担当 教員	佐久間 浩美 健康相談活動に活かすカウンセリングの技法
	内容	カウンセリングの技と逐語録の書き方を理解する。AL:B
第9回	担当 教員	佐久間 浩美 健康相談活動の支援計画と連携について
	内容	事例をもとに学校における健康相談の支援計画と連携について理解する。AL:B
第10回	担当 教員	佐久間 浩美 事例を通して支援計画を学ぶ
	内容	事例をもとに具体的な支援計画を立てる。AL:B
第11回	担当 教員	佐久間 浩美 健康相談の実際
	内容	事例をもとに健康相談のロールプレイングを行う。AL:D
第12回	担当 教員	佐久間 浩美 児童生徒の現代的健康課題の解決①いじめ、不登校
		児童生徒の現代的な健康課題を解決するために教員としてどのように働きかけられ

	内容	ば良いのかグループで考え、ロールプレイングを通して学びを深める。事例は、いじめ、不登校 AL:C
第13回	担当教員	佐久間 浩美 児童生徒の現代的健康課題の解決②虐待、体罰
	内容	児童生徒の現代的な健康課題を解決するために教員としてどのように働きかければ良いのかグループで考え、ロールプレイングを通して学びを深める。事例は、虐待、体罰 AL:C
第14回	担当教員	佐久間 浩美 児童生徒の現代的な健康課題の解決③インターネットゲーム、スマホ依存
	内容	児童生徒の現代的な健康課題を解決するために教員としてどのように働きかければ良いのかグループで考え、ロールプレイングを通して学びを深める。事例は、インターネットゲーム、スマホ依存 AL:C
第15回	担当教員	佐久間 浩美 まとめ 実技試験
	内容	事例を用いて保健室で行われる健康相談についての実技試験を実施する。

評価方法

毎授業中のレポート30点、児童生徒の現代的な健康課題の解決についての発表 10点、実技試験10点、定期試験50点で評価する。

参考書

『新版、養護教諭が行う健康相談・健康相談活動の理論と実際』 著者：三木とみ子 出版社：ぎょうせい 定価：3,960円（税込み）

参考文献

「養護教諭の行う健康相談」 著者：井手元美奈子他 出版社：東山書房 定価：2,200円（税抜）

オフィスアワー

木曜日、2～4時限、504研究室

実務経験の有無

有

その他

児童生徒を取り巻く社会情勢について興味をもち、児童生徒のこころの健康に関する書物を多く読んでほしい。

担当教員実務経験の有無，有

講義コード	7102801
講義名	スポーツ栄養学[看]
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	4
必修/選択	選択

担当教員

氏名
作田 雅子

総合学習目標

現代の日本人の健康課題は、少子化の子どもの健全な発育発達、女性のやせ、男性の肥満と生活習慣病の蔓延、高齢者の介護予防等が挙げられ、その対策としては運動・スポーツの奨励と栄養改善が考えられている。スポーツ栄養学はアスリートの競技力向上を目的に発達してきましたが、その内容は、健康づくりにも応用が期待されている。スポーツ栄養学という学問を理解し、成人、子ども、高齢者の健康づくり並びに競技力向上のために貢献できる知識を習得し、対象者別に応用できることを目標とする。

看護DP1

個別学習目標

- 1.現代の食生活の問題点と健康増進、生活習慣病との関連を理解する。
- 2.健康維持増進から競技力向上までを含めた栄養と食事、運動との関連について理解する。
- 3.スポーツ活動に伴うエネルギー源栄養素の種類と機能、代謝について理解する。
- 4.スポーツ活動に伴うビタミンおよびミネラルの種類と働き、代謝を理解し、欠乏症と過剰症について理解する。
- 5.水分の働きと代謝について理解する。
- 6.エネルギー源栄養素の代謝と相互関連について理解する。
- 7.ウエイトコントロールおよびコンディショニングのための栄養と運動について理解する。
- 8.運動強度や運動時間の違いによる、各エネルギー基質への依存度の変化について理解する。
- 9.競技者のための目的別、そして期分けに適した食事および栄養について理解する。
- 10.健康増進目的および競技力を向上させる物質やサプリメント、特定保健食品、栄養補助食品について知り、それらの効果、リスクおよびドーピング問題について理解する。
- 11.スポーツ活動に伴う相対的なエネルギー不足や栄養障害について理解し、発育発達が著しい成長期の子どもたちに配慮すべき内容がわかる。

準備学修

講義後は、配布資料を用いて復習（30分）をすること。

授業計画

--	--	--

第1回	担当 教員	作田 雅子 現代日本人の食生活の現状とスポーツ栄養学概要
	内容	現代の食生活の課題とスポーツ栄養学の概要
第2回	担当 教員	作田 雅子 エネルギー代謝およびエネルギー消費量の評価
	内容	エネルギー摂取量とエネルギー消費量、そのバランスについて学ぶ
第3回	担当 教員	作田 雅子 5大栄養素の役割①（炭水化物、たんぱく質、脂質）
	内容	エネルギー源となる炭水化物(糖質)、たんぱく質、脂質の体内での働きや摂取量による、スポーツへの影響について学ぶ
第4回	担当 教員	作田 雅子 5大栄養素の役割②（ビタミン、ミネラル）
	内容	エネルギー産生やカラダづくりに特に影響を及ぼすビタミン、ミネラルの働きや摂取量について学ぶ
第5回	担当 教員	作田 雅子 水分補給について
	内容	体内での水分の働き、水分摂取の重要性とその摂取方法について学ぶ
第6回	担当 教員	作田 雅子 身体組成の評価
	内容	身体組成の測定方法や数値のよみかたについて学ぶ
第7回	担当 教員	作田 雅子 ウェイトコントロールについて
	内容	増量・減量方法について学ぶ
第8回	担当 教員	作田 雅子 栄養補助食品（サプリメント）
	内容	サプリメント及び栄養エルゴジェニックエイドとドーピング問題について学ぶ
第9回	担当 教員	作田 雅子 試合期の食事
	内容	試合調整期から試合当日までの食事摂取方法および試合後の疲労回復のための食事方法について学ぶ
第10回	担当 教員	作田 雅子 競技者に多くみられる栄養障害
	内容	骨の健康や貧血予防のための栄養摂取方法について学ぶ
第11回	担当 教員	作田 雅子 ジュニア選手の栄養摂取
	内容	スポーツをしている子供に対する食育を学ぶ
第12回	担当 教員	作田 雅子 女性アスリートの栄養摂取
	内容	女性アスリートの問題点について学ぶ
第13回	担当 教員	作田 雅子 スポーツ栄養マネジメント
	内容	栄養評価、サポート計画、栄養教育、モニタリングなどを学ぶ
第14回	担当 教員	作田 雅子 総合演習
	内容	スポーツ栄養学の知識を活用し、事例検討を行う
		作田 雅子

第15回	担当 教員	講義まとめ
	内容	講義総括
評価方法		
レポート課題20点(20%) および定期試験80点(80%)、合計100点(100%)で評価を行います。		
参考書		
『スポーツ栄養学 科学の基礎から「なぜ？」にこたえる』寺田新.東京大学出版会 2,800円+税 『今より強く！を目指して～アスリートの身体づくりと食のエッセンス～』公益財団法人日本 陸上競技連盟医事委員会.ライフサイエンス出版 1,500円+税		
実務経験の有無		
有		
その他		
本科目の受講にあたっては栄養学および生化学や生理学、さらにスポーツ医学の知識が要求される。		

講義コード	7102901
講義名	芸術療法実技I（造形の感性と創造）
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	実技
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	2
必修/選択	選択

担当教員

氏名
金森 昭憲
大西 健太郎

総合学習目標

この講座では、医療・福祉・介護などの現場で活かせるアートについて、様々な角度から表現の可能性について追究していきます。芸術療法というものを幅広く捉えながら演習形式の授業を行います。個々人による造形制作から身体表現を交えた他者との共同作業など、誰もが楽しめる「アート」のあり方という視点で創作に取り組む。本来すべての人間が持っている美的感性を自己/他者の中に発見し、磨き育てていくことを目標とします。

DP4-①

個別学習目標

1. 芸術療法についての基礎的知識を持つことができる。
2. 様々な表現活動が心身の癒しに効果的であることを理解することができる。
3. 「成果」や「評価」の形にかかわらず、自分にとっての楽しみ、興味、あるいは課題に焦点を当てることができる。
4. 様々な表現演習を他者と共同することで、自分とは異なる特性や可能性に気づく。
5. 情操教育としての幅広いアートに関する基礎的知識を持つことができる。

準備学修

事前に説明された課題については次の授業までに準備してくること。

授業計画

第1回	担当教員	金森 昭憲 大西 健太郎 オリエンテーション
	内容	授業概要の説明
第2回	担当教員	金森 昭憲 絵画療法体験 描画テストの実践
	内容	風景画を描いて内容を分析する。
第3回	担当教員	金森 昭憲 癒しの美術 箱型アート作品 1
	内容	制作の説明。材料の選択と制作。
第4回	担当教員	金森 昭憲 癒しの美術 箱型アート作品 2
	内容	作品の制作（完成）
第5回	担当教員	金森 昭憲 コラージュ療法体験 コラージュボックス法

	内容	コラージュの解説と制作。
第6回	担当教員	金森 昭憲 箱庭療法体験
	内容	箱庭の解説と制作。
第7回	担当教員	金森 昭憲 アートをテーマにしたDVD鑑賞 1
	内容	芸術家の解説。動画を通じて画家の人間模様に迫る。
第8回	担当教員	金森 昭憲 アートをテーマにしたDVD鑑賞 2
	内容	前回の動画の続き。授業時間にレポートの作成。
第9回	担当教員	大西 健太郎 ガイダンス ～演習を通して「看護」と「アート」の関係を考える～
	内容	講師・学生の自己紹介 授業概要の説明・授業前アンケート
第10回	担当教員	大西 健太郎 演習①「アルミホイル工作」
	内容	アルミホイルロール1本を使った造形遊び
第11回	担当教員	大西 健太郎 演習②「自分シール・自分マーク」
	内容	全面がシールになった特製の画用紙を使ったコミュニケーション。
第12回	担当教員	大西 健太郎 演習③「ひたすらプスプス」
	内容	梱包緩衝材に使われる白い繭玉状の素材と爪楊枝を使った造形遊び。
第13回	担当教員	大西 健太郎 演習④「手レよむダンス」
	内容	手話をもとにした身体表現の創作。
第14回	担当教員	大西 健太郎 演習エピソードの検証と発表① ～エピソードの抽出・検証～
	内容	全部の演習を振り返り関心を持ったエピソードを検証する。
第15回	担当教員	大西 健太郎 演習エピソードの検証と発表② ～発表～
	内容	課題を発表する。

評価方法

提出課題（レポートを含む）100% [金森]

提出課題（ノート、レポート）70%、制作課題の発表30% [大西]

教科書

指定なし。配布資料を用いる。

参考書

指定なし。配布資料を用いる。

オフィスアワー

質問等は授業の前後で受け付ける。

実務経験の有無

「有」

その他

履修者数の制限あり（最大25名。履修希望者が25名を超える場合は抽選）

第1回目の授業は合同オリエンテーション。二人の担当教員が7回ずつ授業を行う。

適宜プリント資料を配布する。クラスによっては授業内容・授業計画が前後する場合があります。

講義コード	7102999
講義名	芸術療法実技I (造形の感性と創造)
(副題)	[2021年度入学生用]
講義開講時期	前期
講義区分	実技
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	2
必修/選択	選択

担当教員

氏名
金森 昭憲
大西 健太郎

総合学習目標

この講座では、医療・福祉・介護などの現場で活かせるアートについて、様々な角度から表現の可能性について追究していきます。芸術療法というものを幅広く捉えながら演習形式の授業を行います。個々人による造形制作から身体表現を交えた他者との共同作業など、誰もが楽しめる「アート」のあり方という視点で創作に取り組む。本来すべての人間が持っている美的感性を自己/他者の中に発見し、磨き育てていくことを目標とします。

DP4-①

個別学習目標

1. 芸術療法についての基礎的知識を持つことができる。
2. 様々な表現活動が心身の癒しに効果的であることを理解することができる。
3. 「成果」や「評価」の形にかかわらず、自分にとっての楽しみ、興味、あるいは課題に焦点を当てることができる。
4. 様々な表現演習を他者と共同することで、自分とは異なる特性や可能性に気づく。
5. 情操教育としての幅広いアートに関する基礎的知識を持つことができる。

準備学修

事前に説明された課題については次の授業までに準備してくること。

授業計画

第1回	担当教員	金森 昭憲 オリエンテーション
	内容	授業概要の説明
第2回	担当教員	金森 昭憲 絵画療法体験 描画テストの実践1
	内容	風景画(着彩)を描いて内容を分析する樹木画(沿筆)を描いて内容を分析する。
第3回	担当教員	金森 昭憲 絵画療法体験 描画テストの実践2
	内容	風景画(着彩)を描いて内容を分析する。
第4回	担当教員	金森 昭憲 癒しの美術 箱型アート作品1
	内容	材料の選択と制作
第5回	担当教員	金森 昭憲 癒しの美術 箱型アート作品2
	内容	

	内容	制作・作品を仕上げる。
第6回	担当教員	金森 昭憲 コラージュ療法体験 コラージュ・ボックス法1
	内容	コラージュの解説と制作
第7回	担当教員	金森 昭憲 コラージュ療法体験 コラージュ・ボックス法2
	内容	コラージュの制作
第8回	担当教員	金森 昭憲 癒しの美術 マトリョーシカ1
	内容	入れ子人形のキャラクターをイメージしてペイントする。
第9回	担当教員	金森 昭憲 癒しの美術 マトリョーシカ2
	内容	入れ子人形のペイントを完成させる。
第10回	担当教員	金森 昭憲 箱庭療法体験1
	内容	箱庭の解説と制作
第11回	担当教員	金森 昭憲 箱庭療法体験1
	内容	箱庭の制作と鑑賞
第12回	担当教員	金森 昭憲 アートをテーマにしたDVD鑑賞 1
	内容	有名な芸術家の解説。動画を通じて画家の人間模様に迫る。
第13回	担当教員	金森 昭憲 アートをテーマにしたDVD鑑賞2
	内容	前回の動画の続き。授業時間でレポート作成。
第14回	担当教員	金森 昭憲 アートを通じたレクリエーション 1
	内容	立体物の制作
第15回	担当教員	金森 昭憲 アートを通じたレクリエーション2
	内容	立体物の完成・発表
第16回	担当教員	大西 健太郎 ・ガイダンス ・「自己紹介」の制作
	内容	・授業に向けた楽しみを想像する。 ・「自己紹介」をする準備・制作／宿題。
第17回	担当教員	大西 健太郎 ・「自己紹介」発表 ・「みかん頭巾」の紹介
	内容	・自作の「自己紹介」(2分/人)発表。 ・考えを巡らせる道具「みかん頭巾」の説明。
第18回	担当教員	大西 健太郎 ・「みかん頭巾」制作 ・「みかんワークタイム」
	内容	「みかん頭巾」を被りながら考えを書き溜める = 「みかんワーク」時間。 (※以降、毎回)
第19回	担当教員	大西 健太郎 身体の表現・その①～ブラブラの巻～
	内容	2人1組になって、お互いに身体の脱力エクササイズ「ブラブラ」を行う。

第20回	担当教員	大西 健太郎 続・身体の表現・その①+「みかんワークタイム」
	内容	他者との非言語・共同作業の中で気づいたことなど「みかんワーク」での振り返り。
第21回	担当教員	大西 健太郎 身体の表現・その②～「手の会話」の巻～
	内容	音声言語を使わず「手」の表情や動きを通じてコミュニケーションをする。
第22回	担当教員	大西 健太郎 続・身体の表現・その②+「みかんワークタイム」
	内容	普段は使わないコミュニケーション方法など「みかんワーク」での振り返り。
第23回	担当教員	大西 健太郎 身体の表現・その③～「『お』ダンス」の巻～
	内容	前回の「手の会話」の発展形。「お」というかけ声で作るダンスパフォーマンス。
第24回	担当教員	大西 健太郎 続・身体の表現・その③+「みかんワークタイム」
	内容	表現の「受け手/発し手」について考察する。 「みかんワーク」での振り返り。
第25回	担当教員	大西 健太郎 身体の表現・その④～「ぷちこーそく共同作業」の巻～
	内容	指先、片腕、言葉など、体の一部を一時的に「拘束」し、共同で工作作業をする。
第26回	担当教員	大西 健太郎 続・身体の表現・その④+「みかんワークタイム」
	内容	一時的「拘束」によって生じる意思疎通の変化など「みかんワーク」で振り返る。
第27回	担当教員	大西 健太郎 「自己紹介-X」の紹介～制作
	内容	授業での体験を経て改めて、他者へ自分を紹介する「自己紹介-X」を制作する。
第28回	担当教員	大西 健太郎 続「自己紹介-X」の制作+「みかんワークタイム」
	内容	他者との関わりやコミュニケーションに対する意識など「みかんワーク」で振り返る。
第29回	担当教員	大西 健太郎 「自己紹介-X」発表
	内容	「自己紹介-X」(2～3分/人)発表。
第30回	担当教員	大西 健太郎 「みかんワークタイム」+まとめ
	内容	初回の「自己紹介」から「自己紹介-X」になる過程や結果を「みかんワーク」で振り返る。

評価方法

提出課題(レポートを含む)100% [金森]

提出課題(ノート、レポート)70%、制作課題の発表30% [大西]

教科書

指定なし。配布資料を用いる。

参考書

指定なし。配布資料を用いる。

オフィスアワー

質問等は授業の前後で受け付ける。

実務経験の有無

「有」

その他

適宜プリント資料を配布する。クラスによっては授業内容・授業計画が前後する場合があります。

2コマ連続で、2つの領域を14回ずつ交代で行います。

※基準単位数は「2」。システムの都合により基準単位数に相違があります。

講義コード	7103002
講義名	芸術療法実技II[笹山クラス]
(副題)	(書の感性と創造)
講義開講時期	前期
講義区分	実技
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	2
必修/選択	選択

担当教員

氏名

笹山 紅樹

総合学習目標

書道を通して心の癒しができるように、さまざまな書の表現と鑑賞を行う。使用する筆、墨、紙などによって異なる表現の特徴を知り、さまざまな技法を駆使しながら作品を完成させる。また、書は言語を素材としており、心の療法において高い効果が期待できる。したがって技法のみならず、表現する言葉、撰文、効果的に見せるための構成についても検討する。書表現する楽しみ、完成させる喜びの体験を通して心が癒される書作品とは如何なるものかを考究することを目標とする。

看護DP1

個別学習目標

- ①書作品の制作を通して楽しみを体感することができる。
- ②用具用材の使い分けによってさまざまな作風の作品を作ることができる。
- ③古典を元に、書風の違いを理解して作品に活かすことができる。
- ④構成を考えながら、文章の内容に応じた書風で個性豊かな表現ができる。
- ⑤作品制作・作品鑑賞を通して感性を高めることができる。

授業計画

第1回	担当教員	笹山 紅樹 ガイダンス・芸術療法と書道 / 身近な書を書く (ペン、小筆)
第2回	担当教員	笹山 紅樹 書に親しむI 楷書の技法 (大筆) / 身近な書を書く (小筆)
第3回	担当教員	笹山 紅樹 書に親しむI 古典に学ぶ楷書の技法 (大筆) / 身近な書を書く (小筆)
第4回	担当教員	笹山 紅樹 書に親しむI 楷書の芸術性と作品制作 (大筆) / 身近な書を書く (小筆)
第5回	担当教員	笹山 紅樹 書に親しむII 行書の技法 (大筆) / 身近な書を書く (小筆)
第6回	担当教員	笹山 紅樹 書に親しむII 古典に学ぶ行書 (大筆) / 身近な書を書く (小筆)
第7回	担当教員	笹山 紅樹 書に親しむII 行書の芸術性と作品制作 / 身近な書を書く (小筆)
第8回	担当教員	笹山 紅樹 書に親しむIII 草書の技法 (大筆) / 身近な書を書く (小筆)

第9回	担当教員	笹山 紅樹 書に親しむIII 草書の芸術性と作品制作（大筆） / 身近な書を書く（小筆）
第10回	担当教員	笹山 紅樹 書に親しむiv 行草作品の制作（大筆）
第11回	担当教員	笹山 紅樹 書に親しむiv 行草作品制作と鑑賞（大筆）
第12回	担当教員	笹山 紅樹 書に親しむV 隷書の技法（大筆）
第13回	担当教員	笹山 紅樹 書に親しむV 隷書の芸術性と作品制作（大筆）
第14回	担当教員	笹山 紅樹 書に親しむVI 様々な書体で表現しよう（大筆）
第15回	担当教員	笹山 紅樹 書に親しむVII 最終作品制作

評価方法

毎時の提出作品100%で評価する。

教科書

テキスト

プリントで配布

参考書

プリントで配布

その他

筆、小筆、墨汁（計2,200円程度）の購入が必須です。筆は使用可能であれば手持ちの物でも可。

1回目の講義の際に筆の購入について説明します。

初回は昨年購入した筆を用意してください。

人数制限を行う場合あり

担当教員実務経験の有無，有

講義コード	7103003
講義名	芸術療法実技II[園山クラス]
(副題)	(書の感性と創造)
講義開講時期	前期
講義区分	実技
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	2
必修/選択	選択

担当教員

氏名
園山 絢上

総合学習目標

書道を通して心の癒しができるように、さまざまな書の表現と鑑賞を行う。使用する筆、墨、紙などによって異なる表現の特徴を知り、さまざまな技法を駆使しながら作品を完成させる。また、書は言語を素材としており、心の療法において高い効果が期待できる。したがって技法のみならず、表現する言葉、撰文、効果的に見せるための構成についても検討する。書表現する楽しみ、完成させる喜びの体験を通して心が癒される書作品とは如何なるものかを考究することを目標とする。看護学科DP4-①に該当する。

個別学習目標

- ①書作品の制作を通して楽しみを体感することができる。
- ②用具用材の使い分けによってさまざまな作風の作品を作ることができる。
- ③古典を元に、書風の違いを理解して作品に活かすことができる。
- ④構成を考えながら、文章の内容に応じた書風で個性豊かな表現ができる。
- ⑤作品制作・作品鑑賞を通して感性を高めることができる。

授業計画

第1回	担当教員	園山 絢上 ガイダンス・芸術療法と書道 / 文字で時代の旅をするI ペンで書く楷書の作品制作
第2回	担当教員	園山 絢上 小筆で書く仮名の作品制作 (いろは歌) / 文字で時代の旅をするII 大筆で書く楷書の作品制作
第3回	担当教員	園山 絢上 小筆で書く仮名の作品制作 (いろは歌) / 文字で時代の旅をするIII 大筆で書く楷書の作品制作
第4回	担当教員	園山 絢上 小筆で書く仮名の作品制作 (いろは歌) / 文字で時代の旅をするIII 大筆で書く行書の作品制作
第5回	担当教員	園山 絢上 小筆で書く仮名の作品制作 (いろは歌) / 文字で時代の旅をするIII 大筆で書く行書の作品制作
第6回	担当教員	園山 絢上 小筆で書く仮名の作品制作 (いろは歌) / 文字で時代の旅をするIII 大筆で書く

		く行書の作品制作
第7回	担当教員	園山 絢上 小筆で書く仮名の作品制作（いろは歌） / 文字で時代の旅をするIV 大筆で書く草書の作品制作
第8回	担当教員	園山 絢上 小筆で書く仮名の作品制作（いろは歌） / 文字で時代の旅をするIV 大筆で書く草書の作品制作
第9回	担当教員	園山 絢上 小筆で書く仮名の作品制作（いろは歌） / 文字で時代の旅をするIV 大筆で書く草書の作品制作
第10回	担当教員	園山 絢上 文字で時代の旅をするV 露鋒と蔵鋒の書き分け
第11回	担当教員	園山 絢上 文字で時代の旅をするV 大筆で書く隸書の作品制作
第12回	担当教員	園山 絢上 文字で時代の旅をするVI 篆刻（篆書の文字で雅印を彫る）デザイン制作・刻す
第13回	担当教員	園山 絢上 文字で時代の旅をするVI 篆刻（篆書の文字で雅印を彫る）刻す・押印する
第14回	担当教員	園山 絢上 文字で時代の旅をするVII 大筆で書く古代文字の作品制作
第15回	担当教員	園山 絢上 文字で時代の旅をするVII 大筆で書く古代文字の作品制作

評価方法

毎時の提出作品（100%）で評価する。

教科書

テキスト
プリントで配布

参考文献
五體字類／西東書房

実務経験の有無

有

その他

人数制限を行う場合あり。
筆・墨汁の購入必須。（大筆・小筆・墨汁 計2,500円程度）
すでに筆をお持ちの方はそちらをお使いください。
ただし使用可能か確認のこと。
1回目の講義の際に筆の購入について説明します。
※学内販売日は別途お知らせいたします。

講義コード	7103101
講義名	生理学総論I
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名
増田 敦子

総合学習目標

臨床の看護職に必要とされる体のしくみと機能を体系的に理解し、日常生活における健康問題への適切な対応ができるようになる手がかりをつけることを目標とする。すなわち、病気の原因、病気が起こるメカニズムは正常な体のしくみを知らなければ理解できない。「病気になるとどの内臓が異常になってどういう症状がおこるのか？」を理解し、患者に適切な看護が提供できるための基礎知識を修得する。

看護学科DP1-①②に該当する。

個別学習目標

- 1) 人体を構成している器官系の主要な機能とホメオスタシスの重要性について説明できる。
- 2) 血液とその循環から生体内の物流システムを説明できる。
- 3) 生体の内外に存在する異物から身を守るしくみを説明できる。
- 4) 生体の生命維持に必要なガス交換のしくみが説明できる。
- 5) 生体の生命維持に必要な酸素と栄養素の摂取・代謝のしくみが説明できる。
- 6) 体温調節のしくみが説明できる。

準備学修

- 1) 各回の授業概要をClassroomに掲示するので、前日までに目を通しておくこと（15分）。
- 2) 配布する○×問題集のうち、各回の授業概要に対応する部分を授業終了後1週間以内に3回、目を通しておくこと（15分）。

授業計画

第1回	担当教員	増田 敦子 生理学の基礎①：人体
	内容	授業ガイダンス：生理学の勉強の仕方、書籍紹介、授業の進め方など。第1章 人体：オリエンテーション（教科書1～11頁）①解剖学と生理学の意味を理解する。②人体がどのように作られているかを理解する。③ヒトが生命を維持するのに必要な機能を理解する。④ホメオスタシスの概念を理解する。
第2回	担当教員	増田 敦子 生理学の基礎②：化学の基礎
	内容	第2章 化学の基礎（教科書25～55頁）①人体の大半を作り上げている4つの元素をあげる。②原子の構造からイオンについて理解する。③合成反応と分解反応を比較する。④無機化合物と有機化合物を分類する。⑤酸と塩基、pH（水素イオン

	容	濃度) の概念を理解し、血液のpH値を述べる。⑥糖質、脂質、タンパク質、核酸について構成要素、構造、体内での機能について理解する。⑦人体におけるATPの重要性について理解する。
第3回	担当 教員	増田 敦子 生理学の基礎③：細胞
	内容	第3章 細胞と組織 (教科書63～88頁) ①細胞、細胞内小器官を定義する。②細胞の主要な3領域 (核、細胞質、細胞膜) を示す。③細胞内小器官のそれぞれの主要な機能について述べる。④細胞膜を介した物質の様々な輸送過程を述べる。⑤タンパク質合成の概要を述べる。
第4回	担当 教員	増田 敦子 血液①：血液の成分と機能、止血機構、小テスト① (範囲：第1～3回)
	内容	第10章 血液 (教科書323～333頁) ①血漿成分とその役割を述べる。②血球成分の名称とそれぞれの役割を述べる。③造血幹細胞の役割を述べる。④血液の凝固過程を述べる。⑤線維素溶解の過程を述べる。
第5回	担当 教員	増田 敦子 血液②：生体防御、血液型
	内容	第12章 リンパ系と生体防御機構 (教科書381～407頁)、第10章 血液 (教科書334～335頁) ①血液中での生体防御機構に関わる成分とその機能を説明する。②先天的 (非特異的) 防御機構について、説明する。③液性免疫と細胞性免疫の違いを説明する。④リンパ球がどのように成熟し、B細胞とT細胞が産生されるか、比較対照して説明する。⑤免疫におけるマクロファージの重要性について説明する。⑥抗体を5種類あげ、免疫における役割を説明する。⑦ABO式およびRh式血液型について述べる。⑧なぜ同じ血液型の血液を輸血する必要があるか説明する。
第6回	担当 教員	増田 敦子 循環器系①：心臓
	内容	第11章 心臓血管系 (教科書341～353頁) ①血液が心臓を中心にどのように循環するか述べる。②肺循環系と体循環系を比較し、それぞれの特徴を述べる。③心臓の弁の役割を説明する。④心臓の刺激伝導系の名称をあげ、刺激が伝わる経路を説明する。⑤心電図からどのような情報が得られるかを説明する⑥収縮、拡張、1回拍出量、心周期、心音の各用語の意味を説明する。⑦以下のそれぞれの因子により心拍数がどのようにかわるかを述べる (迷走神経による刺激、運動、アドレナリン)
第7回	担当 教員	増田 敦子 循環器系②：血管、血圧
	内容	第11章 心臓血管系 (教科書353～370頁) ①動脈、静脈および毛細血管の構造と機能を比較し、それぞれの特徴を述べる。②血圧と脈拍を定義し、身体はどこで脈拍が触られるかを述べる。③血圧に影響する、あるいは血圧を規定する因子をあげる。④毛細血管壁を通して行われる交換について説明する。⑤リンパ系が、心臓血管系とどのように機能的にむすびついているかを説明する。
第8回	担当 教員	増田 敦子 呼吸器系①：呼吸のしくみ、肺気量、小テスト② (範囲：第4～7回)
	内容	第13章 呼吸器系 (教科書417～430頁) ①肺換気、外呼吸、内呼吸、呼気、吸気の

	内容	各用語の意味を定義する。②呼吸を司る筋が、どのようにはたらいて肺をふくらませたり縮めたりしているのかを説明する。③肺気量に関する用語（1回換気量、肺活量、予備吸気量、予備呼気量、残気量、機能的残気量、全肺気量）を定義する。
第9回	担当教員	増田 敦子 呼吸器系②：ガスの運搬、呼吸調節
	内容	第13章 呼吸器系（教科書430～434頁） ①肺内および組織におけるガス交換を説明する。②酸素と二酸化炭素が、血液でどのように運ばれるかを説明する。③呼吸を司る脳の部位をあげる。④呼吸数に影響する身体の状態をいくつかあげる。⑤酸素や二酸化炭素の濃度が、どのようにして呼吸の回数と深さに影響するかを説明する。
第10回	担当教員	増田 敦子 消化器系①：消化管、消化液
	内容	第14章 消化器系と代謝（教科書447～462頁） ①消化と吸収の違いを述べる。②食物の消化と吸収に関する消化器系全般のはたらきと各器官の役割を述べる。③唾液の成分とはたらきを述べる。④小腸で絨毛が消化の過程をどのように手助けしているかを説明する。⑤消化器系の主要なはたらきを6つ述べる。
第11回	担当教員	増田 敦子 消化器系②：消化機能の調節
	内容	第14章 消化器系と代謝（教科書462～469頁） ①嚥下の機序を説明する。②消化管の中で食物がまぜ合わされ、管に沿って移送されるしくみを説明する。③消化の過程における局所ホルモンのはたらきを説明する。④消化器官や付属腺で産生される主な酵素または酵素群の一覧を示し、どの食物に作用するかを述べる。⑤タンパク質・脂肪（脂質）・炭水化物（糖質）が消化されて生じる最終産物の名称をあげる。⑥消化の過程における胆汁の役割を説明する。
第12回	担当教員	増田 敦子 栄養と代謝、小テスト③（範囲：8～11回）
	内容	第14章 消化器系と代謝（教科書469～480頁） ①栄養素、カロリーについて定義する。②酵素、代謝、同化、異化について、それぞれの意味を明らかにする。③代謝における肝臓の役割を述べる。④糖質、脂質、タンパク質が、細胞の代謝においてどのように消費されるかを述べる。⑤身体のエネルギー平衡の重要性を説明する。
第13回	担当教員	増田 敦子 体温調節
	内容	第14章 消化器系と代謝（教科書480～482頁）、第12章 リンパ系と生体防御機構（教科書392頁） ①核心温度の体温調節部位について述べる。②体温の生理的変動について説明する。③熱の産生と放散のしくみについて述べる。④体温がどのように調節されているかを述べる。⑤発熱のしくみについて述べる。
第14回	担当教員	増田 敦子 まとめ
	内容	①第12、13回の復習、②期末試験についてのガイダンス、③期末試験練習問題の解説

第15回	担当教員	増田 敦子 期末試験とその解説
	内容	期末試験（30分）、回収（10分）、その解説（50分）

評価方法

- 1) レポート10%・小テスト30%、期末試験60%、合計100%で評価する。
- 2) 小テストは授業の最初に10分間程度行うので、遅刻しないように留意すること。
- 3) 公欠などにより小テストを受験しなかった場合は追試験を行うので、速やかに（原則、1週間以内）申し出ること。

教科書

人体の構造と機能（第4版）、エレインNマリブ著、林正健二訳、医学書院、5, 200円+税

参考書

ステップアップ解剖生理学（第2版）、増田敦子監修、サイオ出版、1, 700円+税

オフィスアワー

- ・月・金は2限目、火～木は3限目に教員室。それ以外でも在室していれば対応可能。
- ・メール（a-masuda@ryotokuji-u.ac.jp）でも対応可能。

実務経験の有無

有

その他

- 1) 授業終了後1週間以内に、Classroomに掲示される「講義ごとの理解度チェック」を提出期限内に提出し、早めに復習をすること。
- 2) 授業終了1週間以内に、初回講義時に配布するO×問題集で該当する部分を解いて、日頃の復習を習慣化し、早めに小テストの準備を始めること。
- 3) 教科書各章の本文中に設けられている「Q」、「確認してみよう」および章末に設けられている「復習問題」を解いて理解を深めること。
- 4) 授業中の配布物はすべてClassroomに掲示するので、休んだときは印刷するか教員室に取りに来ること。授業概要とパワーポイント資料はClassroomに掲示するので、自習すること。分からないことは、早めに質問して解決すること。

講義コード	7103201
講義名	生理学総論II
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名
増田 敦子

総合学習目標

臨床の看護職に必要とされる体のしくみと機能を体系的に理解し、日常生活における健康問題への適切な対応ができるようになる手がかりをつけることを目標とする。すなわち、病気の原因、病気が起こるメカニズムは正常な体のしくみを知らなければ理解できない。「病気になるとどの内臓が異常になってどういう症状がおこるのか?」を理解し、患者に適切な看護が提供できるための基礎知識を修得する。

看護学科DP1-①②に該当する。

個別学習目標

- 1) 人体の機能を維持する2つの調節系（神経系と内分泌系）について説明できる。
- 2) 感覚器が外界の変化を情報として受け取り、その情報を調節中枢へ伝えるしくみを説明できる。
- 3) 感覚器からの情報を分析・判断し、指令を運動器に伝える神経系のしくみを説明できる。
- 4) 調節中枢からの指令がどのように運動器に伝わり、その指令が遂行されるしくみを説明できる。
- 5) 代謝産物の排泄のしくみを説明できる。
- 6) 種の保存のしくみを説明できる。

準備学修

- 1) 各回の授業概要をClassroomに掲示するので、前日までに目を通しておくこと（15分）。
- 2) 配布する〇×問題集のうち、各回の授業概要に対応する部分を授業終了後1週間以内に3回、目を通しておくこと（15分）。

授業計画

第1回	担当教員	増田 敦子 神経系①：神経系概要と神経細胞の生理学
	内容	第7章 神経系（教科書217～229頁） ①神経系のはたらきの全体像を述べる。②神経系を構造および機能の観点から区別し、それぞれについて説明する。③中枢神経系と末梢神経系とは何かを述べ、それぞれ何から構成されているかを述べる。④神経細胞（ニューロン）と神経膠細胞（グリア細胞）の機能を説明する。⑤神経細胞の基本的な構造を説明し、その構成部分の名称を述べる。⑥神経細胞でどのように活動電位が発生して伝導され、どのようにして他の神経細胞へ伝達されるかを説明する。神経細胞でどのように活動電位が発生して伝導され、どのようにして他の神経細胞へ伝達されるかを説明する。
	担当	増田 敦子

第2回	教員	神経系②：中枢神経系(1)脳
	内容	第7章 神経系（教科書230～243頁） ①脳の模式図上で大脳半球・間脳・脳幹・小脳を区別し、それぞれの機能を説明する。②脳波とは何か。それによって神経系の機能がどのように把握されているかを説明する。③髄膜の3層を区別し、それぞれの機能を述べる。④髄液の産生と機能について、また、血液脳関門について説明する。
第3回	担当教員	増田 敦子 神経系③：中枢神経系(2)脊髄
	内容	第7章 神経系（教科書225～245頁） ①脊髄の構造を説明する。②脊髄の重要な機能を述べる。③反射弓と脊髄反射について述べる。
第4回	担当教員	増田 敦子 神経系③：末梢神経系（1）体性神経系、小テスト①（範囲：第1～3回）
	内容	第7章 神経系（教科書245～252頁） ①脳神経の番号・名称をあげ、それぞれの主要なはたらきを述べる。②脊髄の前根と後根、脊髄神経、前枝と後枝について説明する。③脊髄神経の前枝と後枝の走行と分布を述べる。④大きな神経叢をあげ、それぞれを構成している神経とその分布を説明する。
第5回	担当教員	増田 敦子 神経系④：末梢神経系（2）自律神経系
	内容	第7章 神経系（教科書247～256頁） ①交感神経系と副交感神経系について、それぞれの構造と機能を説明する。②心臓・肺・消化器系・血管について、交感神経系と副交感神経系の作用を比較しつつ説明する。
第6回	担当教員	増田 敦子 感覚系①：感覚総論、体性感覚
	内容	第7章 神経系（教科書112～118、225～226頁）、第4章 皮膚と膜（教科書111～118頁） ①感覚のはたらきについて説明する。②感覚の種類について、3つ述べる。③体性感覚の受容器について説明する。④感覚の伝導路について説明する。
第7回	担当教員	増田 敦子 感覚系②：特殊感覚
	内容	第8章 特殊感覚（教科書267～285頁） ①眼の付属器を同定し、それぞれの役割を説明する。②杆体と錐体の機能の違いを説明する。③角膜から網膜にいたる、光の透過について説明する。④視覚の神経伝導路（視覚路）を、網膜から後頭葉まで順にたどる。⑤外耳・中耳・内耳の構造と機能を説明する。⑥身体のバランスに、平衡器がどのようにはたらいているかを説明する。⑦聴覚におけるコルチ器の機能を説明する。⑧嗅覚受容器と味覚受容器について、その構造と機能を説明する。⑨基本的な5つの味覚をあげ、味覚に影響を及ぼす要因を述べる。
第8回	担当教員	増田 敦子 運動系：筋肉の収縮と運動の調節、小テスト②（範囲：第4～7回）
	内容	第6章 筋系（教科書177～190頁）、第7章 神経系（教科書219～252頁） ①3種類の筋組織における、構造および機能の類似点と相違点、また体内での存在を述べる。②骨格筋の微細構造を述べ、アクチンおよびミオシンを含むフィラメントの

	内容	役割を説明する。③筋細胞の活動電位はどのようにして発生するのかを述べる。④筋細胞の収縮という事象について述べる。⑤骨格筋に関して適用された次の用語を定義する（強縮、等尺性・等張性収縮）。⑥運動の調節に関与する神経系について、その概要を説明する。⑦錐体路と錐体外路について説明する。
第9回	担当教員	増田 敦子 内分泌系①：ホルモン概要、視床下部と下垂体
	内容	第9章 内分泌系（教科書295～302頁） ①ホルモンとは何か、ホルモンが作用する標的細胞とは何かを述べる。②ホルモンの作用のしくみについて理解する。③生体のホメオスタシス（恒常性）がホルモンによってどのように調節されているかを、例をあげて述べる。④視床下部と下垂体とが、ホルモンの分泌に関してどのようにかかわり合っているのかを、例をあげて述べる。
第10回	担当教員	増田 敦子 内分泌系②：甲状腺、副甲状腺、副腎、膵臓
	内容	第9章 内分泌系（教科書302～313頁） ①甲状腺からはどのようなホルモンが分泌され、どのような作用をもつのは述べる。②上皮小体（副甲状腺）からはどのようなホルモンが分泌され、どのような作用をもつのか述べる。③副腎からはどのようなホルモンが分泌され、どのような作用をもつのか述べる。④膵臓からはどのようなホルモンが分泌され、どのような作用をもつのか述べる。⑤血液中のカルシウムイオンやグルコースの濃度はどのようなホルモンの作用でどのように調節されるのか述べる。
第11回	担当教員	増田 敦子 泌尿器系①：ネフロンと尿の生成、小テスト③（範囲：第8～10回）
	内容	第15章 泌尿器系（教科書493～501頁） ①ネフロンが腎臓の構造と機能の単位であることを理解し、その解剖を述べる。②尿が生成される過程を述べ、ろ過・再吸収・分泌にかかわるネフロンの部位を区別する。
第12回	担当教員	増田 敦子 泌尿器系②：クリアランス、排尿、体液調節
	内容	第15章 泌尿器系（教科書502～511頁） ①クリアランスを定義する。②排尿を定義する。③排尿に関して外および内尿道括約筋が果たす役割を述べる。④抗利尿ホルモンとアルドステロンの役割を説明する。
第13回	担当教員	増田 敦子 生殖器系：生殖器系
	内容	第16章 生殖器系（教科書517～543頁） ①性の決定を遺伝子から述べる。②精子形成について述べる。③卵子形成について述べる。④月経周期の各期と子宮内膜の変化を述べる。⑤受精と受精卵について述べる。⑥どのようにして分娩がはじまるのかを説明する。
第14回	担当教員	増田 敦子 まとめ
	内容	①第11～13回の復習、②期末試験についてのガイダンス、③期末試験練習問題の解説
	担	

第15回	当 教 員	増田 敦子 期末試験とその解説
	内 容	期末試験（30分）、回収（10分）、その解説（50分）

評価方法

- 1) レポート10%・小テスト30%、期末試験60%、合計100%で評価する。
- 2) 小テストは授業の最初に10分間程度行うので、遅刻しないように留意すること。
- 3) 公欠などにより小テストを受験しなかった場合は追試験を行うので、速やかに（原則、1週間以内）申し出ること。

教科書

人体の構造と機能（第4版）、エレインNマリーブ著、林正健二訳、医学書院、5, 200円+税

参考書

ステップアップ解剖生理学（第2版）、増田敦子監修、サイオ出版、1, 700円+税

オフィスアワー

- ・月～水は4限目、木・金は1限目に教員室。それ以外でも在室していれば対応可能。
- ・メール（a-masuda@ryotokuji-u.ac.jp）でも対応可能。

実務経験の有無

有

その他

- 1) 授業終了後1週間以内に、Classroomに掲示される「講義ごとの理解度チェック」を提出期限内に提出し、早めに復習をすること。
- 2) 授業終了1週間以内に、初回講義時に配布するO×問題集で該当する部分を解いて、日頃の復習を習慣化し、早めに小テストの準備を始めること。
- 3) 教科書各章の本文中に設けられている「Q」、「確認してみよう」および章末に設けられている「復習問題」を解いて理解を深めること。
- 4) 授業中の配布物はすべてClassroomに掲示するので、休んだときは印刷するか教員室に取りに来ること。授業概要とパワーポイント資料はClassroomに掲示するので、自習すること。分からないことは、早めに質問して解決すること。

講義コード	7103301
講義名	疾病・治療IV (外科系)
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	2
必修/選択	必修

担当教員

氏名
了徳寺 大郎

総合学習目標

医療専門職としての外科学の基本的知識を習得する。

【ディプロマポリシーは看護学科DP1-②に相当】

個別学習目標

国家試験頻出の問題から用語・疾患解説を行い、総合的な病態理解を目標とする。

授業計画

第1回	担当教員	了徳寺 大郎 損傷 創傷治癒・炎症・熱傷
第2回	担当教員	了徳寺 大郎 無菌法 外科感染症 SSI
第3回	担当教員	了徳寺 大郎 腫瘍総論
第4回	担当教員	了徳寺 大郎 腫瘍各論①
第5回	担当教員	了徳寺 大郎 腫瘍各論②
第6回	担当教員	了徳寺 大郎 ショック・心肺蘇生
第7回	担当教員	了徳寺 大郎 臓器移植・再生医療・輸血・輸液
第8回	担当教員	了徳寺 大郎 麻酔・周術期管理・クリニカルパス 緩和医療
第9回	担当教員	了徳寺 大郎 胸部外科
第10回	担当教員	了徳寺 大郎 血管外科
第11回	担当教員	了徳寺 大郎 腹部外科 上部
第12回	担当教員	了徳寺 大郎 腹部外科 下部
第13回	担当教員	了徳寺 大郎 腹部外科 肝胆膵

第14回	担当教員	了徳寺 大郎 脳外科疾患・頭部外傷
第15回	担当教員	了徳寺 大郎 泌尿器疾患

評価方法

学期末試験（100点） 合計100点 テストは授業で行った範囲から出題します。

評価方法に関してはテスト、授業内で行うアンケートより多角的、包括的に評価します。

成績不良者に関しては、場合によってはレポート作成依頼などの追加指導を行います。

教科書

臨床外科看護総論 編集 北島正樹 江川幸二 医学書院 3,080円

臨床外科看護各論 編集 矢永勝彦 高橋則子 医学書院 3,520円

参考書

標準外科学第14版 監修 畠山勝義 編集 北野正剛 田邊稔 池田徳彦 医学書院 9, 180円 購入の必要はありません

実務経験の有無

有

講義コード	7103401
講義名	疾病・治療V（小児・母性・精神疾患等）
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	2学年
必修/選択	必修

担当教員

氏名
大井 美樹
河端 恵美子
森田 桂子
横関 祐一郎
会津 安理
久米 美代子

総合学習目標

「疾病・治療I,II,III,IV」と連動し、看護の専門科目のベースとなる医学知識を身につける。
 小児科領域では、小児疾病の動向、小児に特徴的な疾病の症状と治療を学ぶ。
 精神科領域では、精神機能を理解したうえで精神症状を捉え、主な精神疾患の病態と治療法について学ぶ。
 産科婦人科領域では、特に周産期において母体と胎児の生命に関わることの多い異常妊娠、異常分娩、異常産褥、異常胎児、異常新生児について学ぶとともに心理的な病状についても理解する。また、女性生殖器系の異常について、病態生理と治療法を理解し、女性のライフサイクルとの関連性を説明できる。

<ディプロマポリシーとの関連>

DP1：①② DP2：① DP3：① DP4：①③

個別学習目標

1. 主な精神疾患と治療を学び、精神に障害をもつ対象を生物学的側面から理解できる。
2. 小児疾病の動向および特徴的な疾病の症状と治療について説明できる。
3. 周産期の異常（妊娠・分娩・産褥・新生児）の病態生理と治療および女性生殖器疾患の病態生理と治療について説明できる。

準備学修

3. 産婦人科領域：事前学習 教科書を読み、周産期の異常の病態生理についてまとめておく(30分)
 事後学習 授業の内容を振り返り、主要疾患の治療法、対処法についてまとめておく(30分)。

授業計画

第1回	担当教員	横関 祐一郎 小児期における代表的疾患①
	内容	小児期の染色体異常、代謝性疾患、内分泌疾患について疾患の特徴や治療について理解できる。
	担	

第2回	当 教 員	横関 祐一郎 小児期における代表的疾患②
	内 容	小児期における感染症、皮膚・アレルギー疾患の特徴や治療について理解できる。
第3回	担 当 教 員	横関 祐一郎 小児期における代表的疾患③
	内 容	呼吸器系疾患と循環器疾患の種類や症状、治療について理解できる。
第4回	担 当 教 員	横関 祐一郎 小児期における代表的疾患④
	内 容	消化器疾患の各疾病の症状や治療について理解できる。 腎・泌尿器および生殖器疾患の各疾病の症状や治療について理解できる。
第5回	担 当 教 員	横関 祐一郎 小児期における代表的疾患⑤
	内 容	小児期における悪性腫瘍の各疾病の特徴や治療について理解できる。 小児期における神経疾患の特徴や治療について理解できる。 小児期における精神疾患（発達障害）の特徴や治療について理解できる。
第6回	担 当 教 員	河端 恵美子 小児期の代表的な疾患についての復習
	内 容	これまで学んだ小児期の代表的な疾患についての国家試験の過去問題や練習問題を実施し、各疾患の理解を深める。
第7回	担 当 教 員	会津 安理 精神機能と特徴的な精神症状について
	内 容	思考、感情、意欲、知覚等の特徴的な精神症状を理解できる。
第8回	担 当 教 員	会津 安理 統合失調症について
	内 容	統合失調症の症状、治療や支援について理解できる。
第9回	担 当 教 員	会津 安理 気分障害（双極性障害）とうつ病について
	内 容	気分障害（双極性障害）の分類やうつ病のさまざまな症状、主な治療について理解できる。
第10回	担 当 教 員	会津 安理 精神科における診察や主な治療法について
	内 容	診察や主な検査、治療（電気けいれん療法、精神科リハビリテーション等）につ

	容	いて理解できる。
第11回	担当教員	森田 桂子 妊娠期の異常
	内容	妊娠期の異常の主となる疾患（妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病）や多胎妊娠、異所性妊娠、切迫早産などの妊娠の異常と妊娠期に注意すべき感染症について理解できる。
第12回	担当教員	森田 桂子 分娩期の異常①分娩3要素と胎児付属物の異常
	内容	分娩3要素の異常（産道の異常、娩出力の異常、胎児の異常による分娩障）と胎児の付属物の異常、胎児機能不全について理解できる。
第13回	担当教員	森田 桂子 分娩期の異常②、産褥期の異常
	内容	①分娩経過における異常（分娩時の損傷、分娩時異常出）、産科処置と産科手術について理解できる。 ②産褥期の異常（子宮復古不全、産褥血栓症、精神障害など）について理解できる。
第14回	担当教員	森田 桂子 新生児の異常
	内容	新生児仮死、低出生体重児、呼吸障害、高ビリルビン血症など、新生児期の異常とその診断、医学的管理について理解できる。
第15回	担当教員	森田 桂子 生殖器の機能的疾患と婦人科疾患
	内容	生殖器の機能的疾患（①月経異常・月経随伴症状、②更年期障害、③不妊症）、臓器別婦人科疾患（①子宮、②卵巣）について理解できる。

評価方法

産科婦人科領域：定期試験30点（30%）

小児科領域：定期試験40点（40%）

精神科領域：定期試験30点（30%）

合計100点（100%）

教科書

- ・今野美紀他：小児看護学I小児看護学概論・小児看護技術改定第4版，南江堂
- ・二宮啓子他：小児看護学II小児看護支援論改定第4版.南江堂
- ・森恵美ほか：系統看護学講座 専門分野II 母性看護学各論 母性看護学②，医学書院
- ・末岡浩ほか：系統看護学講座 専門分野II 女性生殖器 成人看護学⑨，医学書院
- ・精神看護学② 精神障害をもつ人の看護 メジカルフレンド社

参考書

- ・病気がみえる vol.10 産科 第4版 MEDIC MEDIA
- ・病気がみえる vol. 9 婦人科・乳腺外科 第4版 MEDIC MEDIA
- ・病気が見える vol.15 小児科 第1版 MEDIC MEDIA

実務経験の有無

有

講義コード	7103501
講義名	保健医療福祉行政論I（保健・医療・介護・福祉サービスのしくみ）
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	2
必修/選択	必修

担当教員

氏名
河野 好美
大澤 豊子
渡部 幸子

総合学習目標

我が国の保健医療介護福祉行政の理念としくみを理解し、保健・医療・介護・福祉に関する諸制度の根拠・概要と現状を学修する。社会構造・情勢の変化と現状を踏まえつつ、関連する法律、施策、組織、行政活動（計画策定、実行、評価）の概要を理解し、保健医療介護福祉行政の政策形成過程を看護職（保健師）としての視点を通し、活動の役割と展望を学修する。

DP1 ①② DP2 ① DP3 ①③ DP4①②③

個別学習目標

1. 保健医療介護福祉行政の基礎的知識を理解し、その根拠を学ぶ
2. 国民の生活背景と保健医療介護福祉行政の関係性を理解し、説明できる
3. 保健医療介護福祉の連携を基盤とした保健活動における保健師の役割を考えることができる
4. 保健医療介護福祉行政を保健計画から実施、評価、政策提言への基本的プロセスを理解する。

授業計画

第1回	担当教員	河野 好美 授業ガイダンス
	内容	保健医療介護福祉行政の法的根拠と国民の権利と義務
第2回	担当教員	大澤 豊子 保健医療介護福祉制度の変遷①
	内容	公衆衛生政策の基盤形成、諸外国と日本の相違、戦前から昭和50年頃までの変遷
第3回	担当教員	大澤 豊子 保健医療介護福祉制度の変遷②
	内容	政策の充実と転換（昭和50年から現在までの変遷）
第4回	担当教員	河野 好美 保健医療介護福祉行政のしくみ①
	内容	国・都道府県行政と保健師の役割
第5回	担当教員	河野 好美 保健医療介護福祉行政のしくみ②
	内容	市町村行政と保健師の役割

第6回	担当教員	河野 好美 保健医療介護福祉行政のしくみ③
	内容	保健医療介護福祉の財政
第7回	担当教員	河野 好美 社会保障制度①
	内容	社会保障制度の理念としくみ・医療提供体制の概要と医療保障
第8回	担当教員	河野 好美 社会保障制度②
	内容	介護保険制度の概要（サービス内容・地域包括支援センター・国都道府県市町村の役割）
第9回	担当教員	渡部 幸子 社会保障制度③
	内容	年金・公的扶助・雇用保険、労働者災害補償保険、児童家庭福祉、障害者等）
第10回	担当教員	渡部 幸子 地域保健の体系（公的機関）と関係機関との連携
	内容	都道府県・市町村の役割分担、地域での関係機関との連携
第11回	担当教員	大澤 豊子 公衆衛生に関する国際的活動・国民の権利と義務
	内容	国際保健、保健医療分野での国際協力について、国民の権利と義務について
第12回	担当教員	河野 好美 保健医療介護福祉の計画と評価①
	内容	地方公共団体の保健医療介護福祉計画の実際について
第13回	担当教員	大澤 豊子 河野 好美 渡部 幸子 保健医療介護福祉の計画と評価②
	内容	事例を通して保健計画の策定プロセスについて考える
第14回	担当教員	大澤 豊子 河野 好美 渡部 幸子 保健医療介護福祉の計画と評価③
	内容	事例を通して保健計画の推進と評価について考える
第15回	担当教員	河野 好美 見極め・解説 まとめ
	内容	総括

評価方法

定期試験100点（100%）で評価し、60点以上を合格とする。

教科書

- ・ 準保健師講座 別巻 1 保健医療介護福祉行政論
- ・ 国民衛生の動向（厚生労働統計協会）

参考書

- ・ 国民の福祉と介護の動向（厚生労働統計協会）

その他

- ・ 教科書・配布資料・参考図書を活用し、予習復習を行い授業に臨むこと
- ・ 厚生労働省が進める保健医療介護福祉の動向に関心を持って受講すること
- ・ 公衆衛生看護学、看護学各論と関連づけて積極的に自己学習する。

講義コード	7103701
講義名	看護と関係法規
(副題)	
講義開講時期	前期前半
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	15.00
対象学年	2学年
必修/選択	必修

担当教員

氏名
大橋 純江
飯田 裕美

総合学習目標

一般的な法の概念から、看護に関わる法律、さらに医療、保健衛生、福祉、労働衛生等に関わる法や制度について学ぶ。そして、看護サービスを提供するために必要な法律について理解し、チーム医療の中で、看護職としての職務の根拠や判断基準を修得する。

【授業形態】

講義

【アクティブラーニング】

ディスカッション・グループワーク

DP1-②、DP2-①に該当する。

個別学習目標

1. 看護職に必要な基本的法律を理解する
2. 看護職として働くために必要な法律を理解する
3. 看護職として働くための根拠や判断基準がわかる

準備学修

保健師助産師看護師法の改定の経緯と理由を参考文献やインターネット検索でリサーチする。

授業計画

第1回	担当教員	大橋 純江 第1回 <ガイダンス-なぜ私たちは法を学ぶ(必要がある)のか->
	内容	医療従事者が知っておくべき法の基礎について □法の概念 □厚生労働行政のしくみ □看護に必要な法令の理解 【事前学修】法の種類について調べる 【事後学修】法の役割、学ぶべき理由について自身の言葉でまとめる
第2回	担当教員	大橋 純江 第2回 医療に関する法律および医療事故とその責任
	内容	看護法、医療法、保健師助産師看護師法、移植医療、医療の安全と確保について □保健師助産師看護師法 □医療法 □医療関係資格法

		<p>□医療を支える法</p> <p>【事前学修】保健師助産師看護師法、医療法について調べる 【事後学修】保健師助産師看護師の定義、名称独占、業務独占、免許などについて言葉で言える</p>
第3回	担当教員	大橋 純江 第3回 社会保険
	内容	<p>医療・介護の費用保険、年金制度について</p> <p>□社会保険法</p> <p>【事前学修】自分の社会保険について調べる 【事後学修】各社会保険制度についてまとめる</p>
第4回	担当教員	大橋 純江 第4回 社会福祉
	内容	<p>社会福祉、生活保護、障害者（児）・児童・高齢者に関する法律</p> <p>□福祉の基盤 □児童・高齢・障害分野と手当</p> <p>【事前学修】社会福祉の各分野と看護の関係を調べる 【事後学修】各特徴をまとめ、社会福祉における看護職の役割を考える</p>
第5回	担当教員	大橋 純江 第5回 公衆衛生
	内容	<p>感染症・地域保健（地域保健法・健康増進法）</p> <p>□共通保険法</p> <p>【事前学修】看護との関係を調べる 【事後学修】各特徴をまとめ、看護職の役割を考える</p>
第6回	担当教員	大橋 純江 第6回 保健活動
	内容	<p>母子保健・精神保健・学校保健・がん対策基本法・難病法</p> <p>□分野別保険法</p> <p>【事前学修】看護との関係を調べる 【事後学修】各特徴をまとめ、看護職の役割を考える</p>
第7回	担当教員	大橋 純江 第7回 環境衛生
	内容	<p>環境・食品・ごみ・災害に関する法律</p> <p>□環境衛生法 □環境法</p> <p>【事前学修】取り巻く環境について調べる 【事後学修】各特徴をまとめ、看護職の役割を考える</p>
第8回	担当教員	大橋 純江 第8回 労働衛生・まとめ
	内容	<p>労働基準法・労働安全衛生法・労働者災害補償保険法・雇用保険法・男女均等機会法・育児介護休業法</p> <p>□労働法 □社会基盤整備</p> <p>【事前学修】看護との関係を調べる 【事後学修】各特徴をまとめ、看護職の役割を考える</p>

評価方法

【評価項目】

定期試験・提出物

【割合】

定期試験80%・提出物20%

教科書

系統看護学講座 専門基礎 看護関係法令 健康支援と社会保障制度4 医学書院

参考書

公衆衛生がみえる2021-2022 メディックメディア

国民衛生の動向2021/2022

オフィスアワー

オフィスアワーは、オフィスアワー案内を参照してください。

実務経験の有無

実務経験あり

その他

- 1) ディスカッションおよびグループワークには主体的に参加すること。
- 2) 課題の提出は期日を厳守すること。

講義コード	7103801
講義名	芸術療法概論
(副題)	
講義開講時期	前期前半
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	15.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名
橋本 和幸

総合学習目標

芸術療法は、絵画や造形活動を心理療法やリハビリテーションで利用するものです。このような方法を用いると、言語を用いることなく自己表現が出来るため、適用対象が幅広くなるという利点があります。この授業では、芸術療法の理論的背景と治療的効果を理解し、そのいくつかの技法を体験的に学ぶことを目的とします。
【看護学科ディプロマポリシー:DP1-①,DP3-②に相当】

個別学習目標

- ・芸術が人の心に与える影響について学ぶ。
- ・芸術療法の理論的背景にある心理学の考え方を学ぶ。
- ・芸術療法のいくつかの技法について、その実施法と解釈法を学ぶ。

準備学修

各回を受講する前に教科書の該当ページに目を通しておくと、理解しやすくなると思います。

授業計画

第1回	担当教員	橋本 和幸 芸術療法の概要
	内容	芸術療法とはどういうものを説明する。
第2回	担当教員	橋本 和幸 芸術療法の歴史
	内容	芸術療法の始まりや発展した経緯を説明する。
第3回	担当教員	橋本 和幸 芸術療法で扱うもの
	内容	イメージとナラティブについて説明する。
第4回	担当教員	橋本 和幸 芸術療法の背景にある諸理論
	内容	芸術療法の技法や解釈の根拠となっている臨床心理学の理論を紹介する。
第5回	担当教員	橋本 和幸 実技の説明I：描画法
	内容	絵を描く芸術療法について説明する。
第6回	担当教員	橋本 和幸 実技の説明II：造形
	内容	粘土を用いた造形技法について説明する。
		橋本 和幸

第7回	担当教員	実技の説明Ⅲ：身体表現
	内容	自分や他の参加者の身体を用いて表現を行う技法について説明する。
第8回	担当教員	橋本 和幸 実技の説明Ⅳ：文芸
	内容	俳句・連歌を用いた芸術療法について説明する。

評価方法

定期試験60%と講義内課題40%で評価を行う。

教科書

テキスト はじめての芸術療法 橋本和幸 ムイスリ出版 1,480円+税

参考書

授業ごとに紹介します。

オフィスアワー

前期は木曜・5限に教員研究室で受け付けます。

実務経験の有無

有

その他

・テキストを各自で用意して授業に臨んでください。

講義コード	7200101
講義名	看護学概論
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名

天野 勢子

佐藤 みつ子

飯田 裕美

総合学習目標

看護学の基本概念である人間・健康・環境・看護に関する概要を様々な理論を通して理解し、看護の本質を探究する。看護の歴史的変遷や保健・医療・福祉システムの下での看護の位置づけと役割の重要性を理解し、実践科学としての看護ケアの基本的方法を学ぶ。さらに人の尊厳を重視した豊かな人間性など、看護者として成長するための倫理観を養う。これらの学びを通して、看護専門職業人としてどうあるべきかについて考えることができる。

看護学科 DPI-② 3-①②③ に該当する。

個別学習目標

1. 看護学の基本概念である人間・健康・環境・看護に関する概要を説明できる。
2. 保健・医療・福祉システムの中での多職種との連携・協働、看護の役割・活動について説明できる。
3. 実践科学としての看護ケアの考え方、基本的方法について説明できる。
4. 人の尊厳を重視し、豊かな人間性と看護者として成長するための倫理観を身につけることができる。
5. 看護の歴史的変遷を踏まえて、看護の位置づけと役割について説明できる。
6. 看護の専門職業人としてどうあるべきかについて考えることができる。

授業計画

第1回	担当教員	天野 勢子 佐藤 みつ子 科目オリエンテーション
	内容	看護を学ぶとは、保健医療福祉の概念と看護【佐藤】
第2回	担当教員	天野 勢子 佐藤 みつ子 看護とは①

	内容	看護師という職業、看護と法（保健師助産師看護師法、医療法、看護師の人材確保に関する法律）、看護師の業務の範囲と複雑性、専門職の基準
第3回	担当 教員	天野 勢子 佐藤 みつ子 看護とは②
	内容	看護の定義（各職能団体による定義、看護理論家による定義）、看護学の主要な概念（人間、健康、健康、看護）、看護の要素
第4回	担当 教員	天野 勢子 佐藤 みつ子 看護の対象
	内容	看護の対象、成長発達の見点からの人間、成長・発達の概念と一般原則、一般的な成長・発達理論の概要、欲求の見点からの人間、マズローの基本的欲求段階層の概要、生活者としての人間
第5回	担当 教員	天野 勢子 佐藤 みつ子 看護の目的－健康①
	内容	健康の概念（WHOの定義）、健康についての多様な考え方、人間にとっての健康の意味、健康に影響を及ぼす因子、家族・集団・地域と健康
第6回	担当 教員	天野 勢子 佐藤 みつ子 看護の目的－健康②
	内容	人々の健康に対する看護のあり方（AL: B）
第7回	担当 教員	天野 勢子 佐藤 みつ子 看護実践の場－環境①
	内容	内部環境と外部環境、身体的環境（ホメオスタシス：恒常性）、精神的環境（防衛機制）、人間と環境の関係
第8回	担当 教員	天野 勢子 佐藤 みつ子 看護実践の場－環境②
	内容	看護実践の場としての環境（社会）、集団・地域と健康、災害と看護、国際社会と健康
第9回	担当 教員	天野 勢子 佐藤 みつ子 看護の方法①
	内容	看護の目的、看護の業務（保健師助産師看護師法）、看護の役割・機能 看護実践における技術、看護技術の特性、看護技術を実践するプロセス
第10回	担当 教員	天野 勢子 佐藤 みつ子 看護の方法②
	内容	看護実践における看護過程の意義、看護実践に必要な機能 チーム医療とは、多職種連携・協働と看護職の役割
第11回	担当 教員	天野 勢子 佐藤 みつ子 看護と倫理①
	内容	倫理とは何か、なぜ倫理を学ぶのか、倫理的判断に必要な基本的知識 倫理的行動の4つの要素、倫理的原則、看護者の倫理綱領
		天野 勢子

第12回	担当 教員	佐藤 みつ子 看護と倫理②
	内容	臨床現場で生じやすい倫理的問題と倫理的判断 倫理的問題における看護者の役割、事例検討
第13回	担当 教員	天野 勢子 佐藤 みつ子 看護の変遷①
	内容	看護の歴史を学ぶ意義、ナイチンゲールの現代看護への影響、 アメリカの看護の発展過程の概要、日本の看護の発展過程の概要、 日本の看護の変遷と社会背景の関係
第14回	担当 教員	天野 勢子 佐藤 みつ子 看護の変遷② (AL: B)
	内容	看護の過去から現代までを概観し、現在の看護についての考えを深める
第15回	担当 教員	天野 勢子 佐藤 みつ子 プロフェッショナル、これからの看護
	内容	プロフェッショナルとは、国際的視野を持ち看護を検討、実践していく力【佐藤】

評価方法

到達目標に対応させて、「定期試験70点（70%）、課題・レポート30点（30%）、合計100点（100%）で評価する。」

教科書

テキスト

- ①茂野香おる他 系統看護学講座 専門分野 1 看護学概論 医学書院 2400円+税
- ②F・ナイチンゲール 看護覚え書（改訳第7版） 現代社 1700円+税
- ③ヴァージニア・ヘンダーソン（湯槇ます・小玉香津子約） 看護の基本となるもの 1200円+税
日本看護協会出版会

2. 参考文献

適宜紹介する。

参考書

適宜指示する

その他

1. 準備学習について

積極的な質問、グループワークなどへの取り組み・かかわりなど、皆さんの大いなる参加を期待します。

- ① <各回共通の事前学習>：シラバスに記載されている学習内容と教科書に該当する部分をよく読み、自分の考えや疑問をまとめておくこと（30分程度）

② <各回共通の事後学習> : 教科書の授業内容に該当する部分および提示された資料をよく読み、自分の考えをまとめておくこと (30分程度)

③ <第2回~第14回> : 指定の文献を読み進め、内容および自分の考えをまとめておくこと (60分程度)

2. 指定課題 : 授業中に指示する。

3. テキストのほか、配布資料、課題資料を熟読する。

4. レポートの提出期限を守らないものは、採点対象外とする。

5. 担当教員の実務経年「有」

6. オフィスアワーについて

「火曜日・4限・310研究室」、その他随時

講義コード	7200201
講義名	看護過程論
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	2
必修/選択	必修

担当教員

氏名
天野 勢子
飯田 裕美

総合学習目標

系統的思考過程にそって看護を展開するための看護過程の基礎知識について理解する。
 DP1-①② DP2-① DP3-①②③ DP4-①③

個別学習目標

- 1) 看護過程の意義・概念と構成要素について理解する。
- 2) 看護過程を展開する際に基盤となる理論について理解する。
- 3) 看護過程の各構成要素について理解する。
- 4) 系統的思考過程を育むために看護過程の展開記録を活用できる。
- 5) 事例に基づく看護過程の展開について理解する。

授業計画

第1回	担当教員	天野 勢子 飯田 裕美 看護過程の定義と構成要素
	内容	看護過程の定義 看護過程の構成要素 人をとらえる視点の理論と活用
第2回	担当教員	天野 勢子 飯田 裕美 Iアセスメント 1.情報収集
	内容	指定事例の情報収集 AL:E
第3回	担当教員	天野 勢子 飯田 裕美 Iアセスメント 1.情報収集
	内容	指定事例の情報収集 AL:E
第4回	担当教員	天野 勢子 飯田 裕美 Iアセスメント 1.情報収集
	内容	指定事例の情報収集 AL:E 情報収集のまとめ

第5回	担当教員	天野 勢子 飯田 裕美 Iアセスメント 2.情報の分析・解釈
	内容	指定事例の情報分析・解釈 AL:B
第6回	担当教員	天野 勢子 飯田 裕美 Iアセスメント 2.情報の分析・解釈
	内容	指定事例の情報分析・解釈 AL:B
第7回	担当教員	天野 勢子 飯田 裕美 Iアセスメント 2.情報の分析・解釈
	内容	指定事例の情報分析・解釈 AL:B
第8回	担当教員	天野 勢子 飯田 裕美 Iアセスメント 2.情報の分析・解釈
	内容	情報の分析・解釈のまとめ AL:B
第9回	担当教員	天野 勢子 飯田 裕美 II看護問題の明確化 1.関連図
	内容	指定事例の関連図 AL:B
第10回	担当教員	天野 勢子 飯田 裕美 II看護問題の明確化 1.関連図
	内容	指定事例の関連図 AL:B
第11回	担当教員	天野 勢子 飯田 裕美 II看護問題の明確化 2.看護問題リストと優先順位
	内容	指定事例の関連図 AL:C 関連図のまとめ 指定事例の看護問題リストと優先順位 AL:B
第12回	担当教員	天野 勢子 飯田 裕美 III看護計画
	内容	指定事例の看護計画の立案 AL:E
第13回	担当教員	天野 勢子 飯田 裕美 IV実施
	内容	指定事例の看護計画 AL:C 指定事例の看護の実施 AL:E
第14回	担当教員	天野 勢子 飯田 裕美 IV実施 V評価 要約
	内容	指定事例の看護の実施・評価 AL:C
第15回	担当教員	天野 勢子 飯田 裕美 まとめ
	内容	総括

評価方法

学生個々の看護過程展開の基礎的能力が習得できるよう、各構成要素毎に個人演習・グループワーク・まとめの時間をとりつつ進めていく。適宜国家試験の過去問や練習問題を提示しポイントの理解を促していく。個々で学んだ知識は、今後の各看護学領域での看護過程展開の基礎となることを意識し、最終的に看護過程という思考過程を踏むことの意義を考えてもらうとともに、看護過程の展開に関する試験を行い、100点満点で評価する。

教科書

【テキスト】

- 1)有田清子 他:系統看護学講座 専門分野I基礎看護技術I基礎看護学①, 医学書院, 2020.2600円+税
- 2) 任和子編著:実習記録の書き方がわかる看護過程展開ガイド, 照林社, 2015.2600円+税
- 3)石塚睦子監修:看護学生クイックノート, 照林社, 2019.925円+税

【参考文献】

- 1)井上智子, 窪田哲朗編:病期・病態・重症度からみた疾患別看護過程, 医学書院, 2016.7000円+税
- 2)井上智子, 稲瀬直彦編:緊急度・重症度からみた症状別看護過程, 医学書院, 2016.5000円+税
- 3)高木永子監修:看護過程に沿った対症看護 病態生理と看護のポイント, Gakken, 2012.4200円+税
- 4)石塚睦子:よくわかる周手術期看護, Gakken, 2017.2200円+税
- 5)マジョリー・ゴードン(上鶴重美訳):アセスメント覚書 ゴードン 機能的健康パターンと看護診断, 医学書院, 2016.2800円+税

参考書

- 1)井上智子, 窪田哲朗編:病期・病態・重症度からみた疾患別看護過程, 医学書院, 2016.7000円+税
- 2)井上智子, 稲瀬直彦編:緊急度・重症度からみた症状別看護過程, 医学書院, 2016.5000円+税
- 3)高木永子監修:看護過程に沿った対症看護 病態生理と看護のポイント, Gakken, 2012.4200円+税
- 4)石塚睦子:よくわかる周手術期看護, Gakken, 2017.2200円+税
- 5)マジョリー・ゴードン(上鶴重美訳):アセスメント覚書 ゴードン 機能的健康パターンと看護診断, 医学書院, 2016.2800円+税

実務経験の有無

有

その他

看護過程論は、看護の対象である人の基本的欲求を充足するために、正確に『情報収集』し妥当な『分析・解釈』に基づき『問題・課題』を明確化して、その解決のために対象の自立状況に応じて『実践』『評価』していく一連の思考過程を学ぶ科目である。そのような看護の思考過程の学習は、患者を受け持ち看護実践を行う臨地実習や看護師となつてからの安全・安楽な看護につながる意義がある。学生には、本科目で習得した学びを今後に応用させていくことが期待される。毎回の授業が関連性を持って進んでいくので、その点を意識しながら、個々の看護過程展開能力の基礎をしっかりと習得して欲しい。

講義コード	7200502
講義名	看護技術II（日常生活援助技術）
(副題)	[看A]
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	60.00
対象学年	2
必修/選択	必修

担当教員

氏名
藤森 京子
天野 勢子
飯田 裕美

総合学習目標

科学的根拠に基づいて安全・安楽・自立をふまえた生活支援技術を修得する。

看護学科DP1-②、DP3-①②に該当する。

個別学習目標

- 1) 生活支援技術を実施するために必要な基礎知識（技術の概要・目的・方法）が説明できる。
- 2) 技術の習得レベルを自己評価し、技術習得に向けた反復練習を実施することができる。
- 3) 看護者としてふさわしい態度で、科学的根拠に基づいて安全で正確な生活支援技術を実施することができる。
- 4) 侵襲性の高い技術を実施する際の看護師に求められる責務を表現することができる。
- 5) 看護で求められるコミュニケーション能力を現状より向上できる。

準備学修

授業には該当箇所のテキストを読み、予習してから臨みましょう。

授業計画

第1回	担当教員	藤森 京子 天野 勢子 飯田 裕美 看護技術の概念
	内容	看護技術の概念 原則 特殊性 授業ガイダンス 授業の進め方 技術演習の進め方、技術練習方法など 看護技術における安全・安楽・自立について
第2回	担当教員	藤森 京子 天野 勢子 飯田 裕美 看護技術を学ぶということ 基礎看護実習室の使い方
		看護を学ぶ姿勢について 身だしなみチェック

	内容	基礎看護実習室の使い方 技術練習について 基礎看護実習室での学習の手引き
第3回	担当教員	藤森 京子 天野 勢子 飯田 裕美 活動と休息①：講義
	内容	良い姿勢 ボディメカニクス 体位 睡眠・休息についての基礎知識 睡眠休息への援助
第4回	担当教員	藤森 京子 天野 勢子 飯田 裕美 活動と休息②：演習
	内容	良い姿勢について 体位 移動動作 体位変換（仰臥位、側臥位、ファールー位、長座位、端座位、立位、各体位への変換） 歩行の援助
第5回	担当教員	藤森 京子 天野 勢子 飯田 裕美 活動と休息③：講義
	内容	車いす、ストレッチャーの基礎知識、点検、移動、移乗について 援助の実際
第6回	担当教員	藤森 京子 天野 勢子 飯田 裕美 活動と休息④：演習
	内容	移動、移乗動作の実際 車いすを用いた場合 ストレッチャーを用いた場合 その他
第7回	担当教員	藤森 京子 天野 勢子 飯田 裕美 観察の技術
	内容	看護における観察とは 観察の目的 観察の方法
第8回	担当教員	藤森 京子 天野 勢子 飯田 裕美 バイタルサインの測定①：講義
	内容	体温についての基礎知識、体温測定方法 アセスメント 脈拍についての基礎知識 脈拍測定方法 アセスメント 呼吸についての基礎知識、呼吸測定方法 アセスメント
第9回	担当教員	藤森 京子 天野 勢子 飯田 裕美 バイタルサインの測定②：演習
	内容	体温測定方法 脈拍測定方法 呼吸測定方法

第10回	担当教員	藤森 京子 天野 勢子 飯田 裕美 バイタルサインの測定③：講義
	内容	血圧測定について 基礎知識 血圧の測定方法 血圧計について（種類、違い、血圧計の仕組み） 水銀レス血圧計（リバロッチ型を用いて） 血圧についてのアセスメント
第11回	担当教員	藤森 京子 天野 勢子 飯田 裕美 バイタルサインの測定④演習
	内容	血圧測定
第12回	担当教員	藤森 京子 天野 勢子 飯田 裕美 バイタルサインの測定⑤：演習
	内容	体温、脈拍、呼吸、血圧を通して測定①
第13回	担当教員	藤森 京子 天野 勢子 飯田 裕美 バイタルサインの測定⑥：演習
	内容	体温、脈拍、呼吸、血圧を通して測定②
第14回	担当教員	藤森 京子 天野 勢子 飯田 裕美 苦痛の緩和、看護にとっての安楽確保の技術：講義・演習
	内容	体位保持、ポジショニング 援助の基礎知識 援助の実際 仰臥位、側臥位、ファールー位、腹臥位の体位保持 実施後の評価
第15回	担当教員	藤森 京子 天野 勢子 飯田 裕美 清潔・衣生活の援助技術①：講義
	内容	清潔の援助についての基礎知識 皮膚粘膜の構造と機能 清潔援助の効果 洗浄剤 病床での衣生活について 熱産生、熱放散、被服気候 病衣の選び方
第16回	担当教員	藤森 京子 天野 勢子 飯田 裕美 清潔・衣生活の援助技術②：演習
	内容	臥床患者の寝衣交換 和式寝衣 パジャマ
	担当教	藤森 京子 天野 勢子

第17回	員	飯田 裕美 清潔・衣生活の援助技術③：講義
	内容	入浴、シャワー浴について 全身清拭について 足浴、手浴について 陰部洗浄について
第18回	担当教員	藤森 京子 天野 勢子 飯田 裕美 清潔・衣生活の援助技術④：演習
	内容	演習 全身清拭、足浴手浴 陰部洗浄（その1）
第19回	担当教員	藤森 京子 天野 勢子 飯田 裕美 清潔・衣生活の援助技術⑤：演習
	内容	演習 全身清拭、足浴手浴 陰部洗浄（その2）
第20回	担当教員	藤森 京子 天野 勢子 飯田 裕美 清潔・衣生活の援助技術⑥：演習
	内容	演習 全身清拭、足浴手浴 陰部洗浄（その3）
第21回	担当教員	藤森 京子 天野 勢子 飯田 裕美 清潔・衣生活の援助技術⑦：講義
	内容	洗髪について 基礎知識 援助の方法（ケリーパッド、洗髪車、洗髪台、頭髪の清拭） アセスメント 整容について
第22回	担当教員	藤森 京子 天野 勢子 飯田 裕美 清潔・衣生活の援助技術⑧：演習
	内容	洗髪の演習 ケリーパッドを用いた方法 整容について
第23回	担当教員	藤森 京子 天野 勢子 飯田 裕美 食事の援助技術①：講義
	内容	栄養状態、摂食能力、食欲に関する認識やアセスメント 医療施設で提供される食事の種類と形態 口腔ケアについて
第24回	担当教員	藤森 京子 天野 勢子 飯田 裕美 食事の援助技術②：演習
	内容	食事摂取の援助 口腔ケア
	担当教員	藤森 京子 天野 勢子 飯田 裕美

第25回		排泄の援助技術①：講義
	内容	排泄の意義 排泄器官の機能と排泄のメカニズム 排尿、排便のアセスメント 排泄の援助の方法
第26回	担当教員	藤森 京子 天野 勢子 飯田 裕美 排泄の援助技術②：講義
	内容	グリセリン浣腸について 一時的導尿について
第27回	担当教員	藤森 京子 天野 勢子 飯田 裕美 排泄の援助技術③：演習
	内容	排泄の援助（その①） 床上排泄 おむつ交換 グリセリン浣腸
第28回	担当教員	藤森 京子 天野 勢子 飯田 裕美 排泄の援助技術④：演習
	内容	一時的導尿
第29回	担当教員	藤森 京子 天野 勢子 飯田 裕美 実技試験①【藤森 天野 大橋 飯田 小室他】
	内容	実技試験①
第30回	担当教員	藤森 京子 天野 勢子 飯田 裕美 実技試験②【藤森、天野、大橋、飯田、小室 他】
	内容	実技試験②

評価方法

- 1) 課題、提出物 10点 (10%)
- 2) 筆記試験 (定期試験) 60点 (60%)
- 3) 実技試験 (実技試験項目の知識確認テストを含む) 30点 (30%)

上記1) 2) 3) 合計100点 (100%) で評価する。

教科書

テキスト

- 1) 香春知永, 齋藤やよい編：看護学テキストNICE 基礎看護技術, 南江堂, 2020, 4200円 + 税
- 2) 任 和子他: 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術, 医学書院, 2017, 5500円 + 税

参考書

参考文献

1) 任 和子他:系統看護学講座 専門分野I 基礎看護学[3]基礎看護技術II, 医学書院, 2020, 2900円+税

2) 石塚睦子, 林省吾,山内麻江,伊正政裕:看護で役立つ診療に伴う技術と解剖生理, 丸善出版, 2014, 2300円+税

実務経験の有無

有

その他

技術演習はA・Bクラスに分かれます。清潔なユニフォーム・ナースシューズを着用し、身だしなみを整えて出席してください。感染予防対策（手指衛生、マスク・フェイスシールドの着用、換気）を徹底してください。技術演習の詳細、ベッド配置等については、講義時に説明します。

講義コード	7200503
講義名	看護技術II（日常生活援助技術）
(副題)	[看B]
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	60.00
対象学年	2
必修/選択	必修

担当教員

氏名
藤森 京子
天野 勢子
飯田 裕美

総合学習目標

科学的根拠に基づいて安全・安楽・自立をふまえた生活支援技術を修得する。

看護学科DP1-②、DP3-①②に該当する。

個別学習目標

- 1) 生活支援技術・診療過程支援技術を実施するために必要な基礎知識（技術の概要・目的・方法）が説明できる。
- 2) 技術の習得レベルを自己評価し、技術習得に向けた反復練習を実施することができる。
- 3) 看護者としてふさわしい態度で、科学的根拠に基づいて安全で正確な生活支援技術・診療過程支援技術を実施することができる。
- 4) 侵襲性の高い技術を実施する際の看護師に求められる責務を表現することができる。
- 5) 看護で求められるコミュニケーション能力を現状より向上できる。

準備学修

授業には該当箇所のテキストを読み、予習してから臨みましょう。

授業計画

第1回	担当教員	藤森 京子 天野 勢子 飯田 裕美 看護技術の概念
	内容	看護技術の概念 原則 特殊性 授業ガイダンス 授業の進め方 技術演習の進め方、技術練習方法など 酸素吸入療法、吸入
第2回	担当教員	藤森 京子 天野 勢子 飯田 裕美 看護技術の安全・安楽・自立

	内容	
第3回	担当教員	藤森 京子 天野 勢子 飯田 裕美 実習室の使い方
	内容	実習室の使い方 身だしなみチェック
第4回	担当教員	藤森 京子 天野 勢子 飯田 裕美 観察
	内容	
第5回	担当教員	藤森 京子 天野 勢子 飯田 裕美 バイタルサイン 体温・脈拍・呼吸
	内容	バイタルサイン：講義 体温・脈拍・呼吸
第6回	担当教員	藤森 京子 天野 勢子 飯田 裕美 バイタルサイン演習
	内容	バイタルサインの測定の演習：体温・脈拍・呼吸
第7回	担当教員	藤森 京子 天野 勢子 飯田 裕美 バイタルサインの測定：血圧測定
	内容	バイタルサインの測定：講義 血圧測定(リバロッチ型血圧計)
第8回	担当教員	藤森 京子 天野 勢子 飯田 裕美 バイタルサインの測定：演習
	内容	バイタルサインの測定リバロッチ型血圧計を用いて(演習)
第9回	担当教員	藤森 京子 天野 勢子 飯田 裕美 バイタルサインの測定：演習
	内容	バイタルサインの測定：全体を通して① TPRBp
第10回	担当教員	藤森 京子 天野 勢子 飯田 裕美 バイタルサインの測定：演習
	内容	バイタルサインの測定：全体を通して② 演習TPRBp
第11回	担当教員	藤森 京子 天野 勢子 飯田 裕美 活動と休息：講義
	内容	活動と休息 睡眠 姿勢と体位 体位変換
第12回	担当教員	藤森 京子 天野 勢子 飯田 裕美 活動と休息：演習
		活動と休息：演習

	内容	体位変換
第13回	担当教員	藤森 京子 天野 勢子 飯田 裕美 活動と休息：授業 車いす、ストレッチャーの取り扱い
	内容	活動と休息：車いす、ストレッチャー 姿勢と体位に異常を生じた場合
第14回	担当教員	藤森 京子 天野 勢子 飯田 裕美 活動と休息：演習
	内容	活動と休息：演習 移動・移乗 車いすを用いた場合、ストレッチャーを用いた場合 その他
第15回	担当教員	藤森 京子 天野 勢子 飯田 裕美 苦痛の緩和、看護にとっての安楽：需要、演習
	内容	ポジショニング（授業・演習）
第16回	担当教員	藤森 京子 天野 勢子 飯田 裕美 身体の清潔①授業
	内容	身体の清潔：身体の清潔の意義 衣生活について
第17回	担当教員	藤森 京子 天野 勢子 飯田 裕美 身体の清潔①：演習
	内容	寝衣交換
第18回	担当教員	藤森 京子 天野 勢子 飯田 裕美 身体の清潔②：授業 全身清拭、足浴、陰部洗浄
	内容	全身清拭について 足浴、手浴について 陰部洗浄について
第19回	担当教員	藤森 京子 天野 勢子 飯田 裕美 身体の清潔②演習 全身清拭 足浴手浴 陰部洗浄
	内容	演習 全身清拭、 足浴手浴 陰部洗浄 （その1）
第20回	担当教員	藤森 京子 天野 勢子 飯田 裕美 身体の清潔②演習 全身清拭 足浴手浴 陰部洗浄
	内容	演習 全身清拭、 足浴手浴 陰部洗浄 （その2）
第21回	担当教員	藤森 京子 天野 勢子 飯田 裕美 身体の清潔③：授業 洗髪、整容
	内容	洗髪の意義 整容の意義
		藤森 京子

第22回	担当教員	天野 勢子 飯田 裕美 身体の清潔③ 演習 洗髪
	内容	演習 洗髪と整容動作
第23回	担当教員	藤森 京子 天野 勢子 飯田 裕美 食事、栄養摂取、口腔ケア：授業
	内容	食事の意義 栄養摂取について 口腔ケアの方法について
第24回	担当教員	藤森 京子 天野 勢子 飯田 裕美 食事の援助について：演習
	内容	食事摂取についての援助 口腔ケアの実施
第25回	担当教員	藤森 京子 天野 勢子 飯田 裕美 排泄について：講義
	内容	排泄の意義
第26回	担当教員	藤森 京子 天野 勢子 飯田 裕美 排泄：演習
	内容	演習：床上排泄 グリセリン浣腸 おむつ交換
第27回	担当教員	藤森 京子 天野 勢子 飯田 裕美 排泄を促す援助：授業
	内容	排泄を促す援助 導尿
第28回	担当教員	藤森 京子 天野 勢子 飯田 裕美 排泄を促す援助：演習
	内容	導尿
第29回	担当教員	藤森 京子 天野 勢子 飯田 裕美 実技試験①【藤森、天野、大橋、飯田、小室 他】
	内容	実技試験
第30回	担当教員	藤森 京子 天野 勢子 飯田 裕美 実技試験②【藤森 天野 大橋 飯田 小室他】
	内容	実技試験

評価方法

1) 課題、提出物 10点 (10%)

2) 筆記試験（定期試験）60点（60%）

3) 実技試験（実技試験項目の知識確認テストを含む） 30点（30%）

上記1) 2) 3) 合計100点（100%）で評価する。

教科書

テキスト

- 1) 香春知永,齋藤やよい編：看護学テキストNICE 基礎看護技術,南江堂,2020,4200円＋税
- 2) 任 和子他:根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術, 医学書院, 2017, 5500円＋税

参考書

参考文献

- 1) 任 和子他:系統看護学講座 専門分野I 基礎看護学[3]基礎看護技術II, 医学書院, 2020, 2900円＋税
- 2) 石塚睦子, 林省吾,山内麻江,伊正政裕:看護で役立つ診療に伴う技術と解剖生理, 丸善出版, 2014, 2300円＋税

実務経験の有無

有

その他

技術演習はA・Bクラスに分かれます。清潔なユニフォーム・ナースシューズを着用し、身だしなみを整えて出席してください。感染予防対策（手指衛生、マスク・フェイスシールドの着用、換気）を徹底してください。技術演習の詳細、ベッド配置等については、講義時に説明します。

講義コード	7200701
講義名	基礎看護学実習I
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	実習
基準単位数	1
時間	45.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名
大橋 純江
天野 勢子
藤森 京子
正藤 倫音
水田 進
田中 陽子
飯田 裕美
多賀谷 浩子
繁田 法史

総合学習目標

基礎看護学実習は、看護学実習の基礎となる実習として位置づけ、各専門看護学実習の基礎的・基本的な知識や技術、態度を習得できるようにする。基礎看護学実習Iでは、病院実習を通して、病院の概要を知ると共に、看護の対象の療養環境を理解し、看護への関心を持つことを実習の目的とする。

DP1-①② DP2-① DP3-①②③ DP4-①②③

個別学習目標

1. 看護・医療が提供されている場としての医療施設の概要を理解する。
2. 医療施設で療養中の人々が、どのように生活されているのかを理解する。
3. 看護・医療が提供されている場で、どのような人々がどのように患者の療養生活を支えているのかを知る。
4. 医療施設における看護の場、看護活動の実際を知る。
5. 看護学生としての責任ある行動をとることができる。
6. 自己の看護についての考えを深める。

授業計画

担当教員	大橋 純江 天野 勢子 飯田 裕美
-------------	-------------------------

第1回	内容	<p>実習期間：2024年3月4日～8日</p> <p>実習時間：1単位45時間</p> <p>実習内容：病院・病棟見学、看護援助の見学。詳細は実習要項を参照のこと</p> <p>実習病院: 東京臨海病院、東京ベイ浦安市川医療センター、東京大学医学部附属病院、</p> <p>行徳総合病院、八潮中央総合病院、順天堂大学医学部附属浦安病院、国際医療福祉大学市川病院</p> <p>実習担当教員:天野勢子、大橋純江、飯田裕美、正藤倫音、藤森京子、水田進、多賀谷浩子、田中陽子、繁田法史</p>
-----	----	--

評価方法

1. 評価の条件

基礎看護学実習の出席時間数の4/5以上を満たしていることが必要である。

2. 実習内容、実習態度、課題レポートを総合して評価する。

教科書

1. テキスト なし

2. 参考文献 ガイダンス時に説明

参考書

1. テキスト なし

2. 参考文献 ガイダンス時に説明

その他

1. 病院の外来や病棟は、健康レベルが低下している方々が多いため、自己の健康管理に留意し実習に臨むようにする。

2. 事前課題：看護学概論をはじめ、前期の授業で学んだ内容を復習し、実習内容について見学の視点をまとめる。事前に提示された課題に取り組み実習に臨む（60分）。

事後学習：その日の学びを整理し、疑問点や不明点について明らかにした上で翌日の実習に臨む（60分）。

3. 担当教員実務経験の有無、有

講義コード	7200801
講義名	基礎看護学実習II
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	実習
基準単位数	2
時間	90.00
対象学年	2
必修/選択	必修

担当教員

氏名

天野 勢子

大橋 純江

竹村 禎子

藤森 京子

正藤 倫音

水田 進

田中 陽子

飯田 裕美

多賀谷 浩子

繁田 法史

総合学習目標

既習科目の学びを基盤に、看護過程を用いて、対象の抱える看護上の問題を明らかにし、ニーズを充足させるための基礎的な看護実践能力を養う。

日常生活の援助を通して、看護についての考えを深めることができる。

DP1-①② DP2-① DP3-①②③ DP4-①②③

個別学習目標

- 1) 対象と援助的な人間関係を築くことができる。
- 2) 対象のニーズを把握することができる。
- 3) 対象の看護上の問題を明らかにすることができる。
- 4) 対象の看護上の問題を解決するための計画を立案することができる。
- 5) 対象の状況に合わせて計画した看護援助を実施できる。
- 6) 実施した看護援助を評価・修正できる。
- 7) 看護学生として、適切な行動をとることができる。
- 8) 自己の看護観を深めることができる。

授業計画

--	--	--

第1回	担当 教員	天野 勢子 大橋 純江 飯田 裕美
	内容	<p>実習期間：2024年2月19日～3月1日（2週間）</p> <p>実習時間：2単位90時間 臨地実習は原則8：30～16：00(病院によつて8:00～15:30)</p> <p>実習内容：実習要項を参照のこと AL-D</p> <p>実習病院: 東京臨海病院、東京ベイ浦安市川医療センター、東京大学医学部附属病院、</p> <p>行徳総合病院、八潮中央総合病院、順天堂大学医学部附属浦安病院 国際医療福祉大学市川病院</p> <p>実習担当教員:大橋純江、天野勢子、飯田裕美、正藤倫音、竹村禎子、藤森京子、水田 進、多賀谷浩子、田中陽子、繁田法史</p>

評価方法

1)履修条件

『便覧』に示されている「先修条件科目」を履修し合格していること。

2)評価を受ける資格

基礎看護学実習Ⅱの出席時間数が、4/5以上を満たしていること。

2) 評価の方法

基礎看護学実習Ⅱ実習評価表（実習要項内に明示）の項目に従い、実習目標への到達度、実習態度、実習記録の内容と提出状況等によって、総合的に評価する。

教科書

テキスト

1)茂野香おる他:系統看護学講座 専門分野I 基礎看護学[2]基礎看護技術I, 医学書院, 2020

参考書

参考文献

1)高木永子監修:看護過程に沿った対症看護 病態生理と看護のポイント(第5版) , Gakken, 2018,

2)任和子編:根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術, 医学書院, 2017

実務経験の有無

有

その他

1. グループに分かれ、病院施設で実習する。学生一人当たり原則入院中の患者1名を受け持ち、日常生活援助の実施を通して看護過程の展開の基本を習得する。

2. 患者に必要な看護援助の実施に当たっては、各自が学習の事前準備を整えて臨み、実習指導者や教員の助言・指導のもと行う。

3. 受け持たせて頂く患者様に感謝し、責任を持って実習に臨む。

4. 指定された事前の感染症抗体価検査やインフルエンザの予防接種は必ず行っておく。

5. 実習開始前の実習ガイダンスには必ず出席すること。日時は追って提示する。

6. 実習では、専門基礎科目で学習した内容（人体の構造と機能I・II、生理学総論、薬理学など）、基礎看護学で学習した内容（看護学概論、基礎看護技術I・II、看護過程論、ヘルスアセスメント）の専門的知識や看護技術が必要になるため、しっかりと復習して実習に臨む。

7. 看護技術については、実習前の基礎看護学実習室開放日時を確認し、必ず繰り返し練習をしておくこと。

8. 実習に当たっては、「(個人情報保護の)誓約書」、「受け持ち患者同意書」を取り交わすなど、大学と病院の規定を遵守しなければならない。

講義コード	7200901
講義名	成人看護学概論
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名
竹村 禎子
正藤 倫音

総合学習目標

成人期にある人の発達課題と特徴、成人を取り巻く社会環境と生活、健康の動向と政策をふまえ、健康状態に応じた看護について理解する。

【ディプロマ・ポリシーとの関連：DP1-①②、DP2-①】

個別学習目標

- 1) 成人期にある人の発達課題と特徴について理解する。
- 2) 成人を取り巻く社会環境と成人の生活について理解する。
- 3) 成人の健康の動向と保健・医療・福祉政策について理解する。
- 4) 成人の健康状態に応じた看護について理解する。

準備学修

教科書の索引を見て、専門用語で不明な用語について意味等をまとめておくこと(1時間)

授業計画

第1回	担当教員	竹村 禎子 オリエンテーション 1.成人看護の対象である『成人』について
	内容	講義予定やテキストについて理解する。 1)人の一生における成人期の位置づけを理解する。 2)成長・発達過程からみた成人の特徴を理解する。 A.青年期 B.壮年期 C.向老期
第2回	担当教員	竹村 禎子 2.成人を取り巻く社会環境と成人の生活について
	内容	1)社会の中で生活を営むということについて学習する。 2)働くことと生活について学習する。
第3回	担当教員	竹村 禎子 2.成人を取り巻く社会環境と成人の生活について
	内容	3)家族との関係について学習する。 4)多様なライフスタイルについて学習する。
	担当	正藤 倫音

第4回	教員	3.成人の健康の動向と保健・医療・福祉政策について
	内容	1)保健統計からみた成人の健康の動向(A.人口構成 B.平均寿命、死亡数他 C.受療状況)について学習する。
第5回	担当教員	正藤 倫音 3.成人の健康の動向と保健・医療・福祉政策について
	内容	D.体力の程度 E.労働災害、業務上疾病 F.性感染症について学習する。
第6回	担当教員	正藤 倫音 3.成人の健康の動向と保健・医療・福祉政策について
	内容	G.ドメスティック・バイオレンス H.自殺 I.障害者の状況について学習する。
第7回	担当教員	正藤 倫音 3.成人の健康の動向と保健・医療・福祉政策について
	内容	2)成人各期に特徴的な健康問題について学習する。 3)成人期を対象とした保健・医療・福祉政策について学習する。
第8回	担当教員	竹村 禎子 4.健康障害をもつ成人に関わる際の基本的な視点について
	内容	1)成人期にある人が健康障害を持つことの意味について学習する。
第9回	担当教員	竹村 禎子 4.健康障害をもつ成人にかかわる際の基本的な視点について
	内容	2)健康生活を支える人間関係の構築について学習する。 3)患者・家族の意思決定を支える意義について学習する。
第10回	担当教員	竹村 禎子 4.健康障害をもつ成人にかかわる際の基本的な視点について
	内容	4)健康の危機状況への適応について学習する。 5)健康行動への行動変容:成人に対する健康学習支援について学習する。
第11回	担当教員	竹村 禎子 5.成人の健康状態に応じた看護について
	内容	1)健康の保持・増進のための支援について学習する。 2)急性期患者の支援について学習する。 3)周術期患者の支援について学習する。 4)回復期患者の支援について学習する。
第12回	担当教員	正藤 倫音 5.成人の健康状態に応じた看護について
	内容	5)慢性期患者の支援について学習する。 6)リハビリ期患者の支援について学習する。
第13回	担当教員	正藤 倫音 5.成人の健康状態に応じた看護について
	内容	7)終末期患者の支援について学習する。 8)がん治療患者の支援について学習する。
第14回	担当教員	正藤 倫音 6.地域・在宅への継続医療と看護について
	内容	1)療養の場患者の支援について学習する。
第15回	担当教員	竹村 禎子 6.地域・在宅への継続医療と看護について
	内容	2)入退院支援患者の支援について学習する。
第16回	担当教員	竹村 禎子 定期試験
	内容	定期試験100点(100%)

評価方法

100 (100%) 100

筆記試験 点 、 点満点で評価する。

教科書

黒江ゆり子:新体系看護学全書 成人看護学①成人看護学概論/成人保健,メヂカルフレンド社,2500円+税

参考書

参考文献 指定なし。配布資料を用いる。

オフィスアワー

木曜日4・5限 竹村・正藤研究室

実務経験の有無

有り

その他

適宜プリント資料を配付します。予習復習をして臨んでください。
本講義は対面授業で行う予定です。対面が不可能な社会状況においては、遠隔にて行います。

講義コード	7201001
講義名	成人看護学方法論I (急性期)
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	2
必修/選択	必修

担当教員

氏名
石塚 睦子
田中 陽子

総合学習目標

急性期・救命救急看護の概念を理解し、成人期患者の生命と生活の質を守るための一般的な周術期看護について、家族支援も含めて理解する。

【ディプロマ・ポリシーとの関連：DP1-①②、DP2-①、DP3-①②、DP4-①③】

個別学習目標

- 1)急性期・救命救急看護の概念を理解する。
- 2)成人期患者の生命と生活の質を守るための一般的な周術期(術前・術中・術後)看護について、家族支援も含めて理解する。

準備学修

教科書の索引を見て、不明な専門用語について意味をまとめておくこと。(1時間)

授業計画

第1回	担当教員	石塚 睦子 石塚 睦子 オリエンテーション 急性期・周術期看護・救命救急看護について
	内容	授業予定やテキストについて理解する。 1)急性期・周術期・救命救急看護の概念を理解する。 2)手術を受ける患者看護の変遷について理解する。
第2回	担当教員	石塚 睦子 周術期看護総論—1.術前の看護 術前の情報収集と分析について
	内容	術前の情報収集と分析のポイントについて学習する。
第3回	担当教員	石塚 睦子 周術期看護総論—1.術前の看護 術前のオリエンテーションについて
	内容	手術前に関する術前オリエンテーション内容を理解する。
第4回	担当教員	石塚 睦子 周術期看護総論—1.術前の看護 術前の看護処置
	内容	手術前日から当日の看護とその根拠について学習する。
	担当教	石塚 睦子 周術期看護総論—1.術前の看護

第5回	員	術後の病床整備
	内容	術後の病室と物品の準備とその根拠について学習する。
第6回	担当教員	石塚 睦子 周術期看護総論—2.術中の看護 全身麻酔と手術侵襲について
	内容	全身麻酔と手術侵襲により生じる看護問題と対処方法について学習する。
第7回	担当教員	石塚 睦子 周術期看護総論—2.術中の看護 手術室内の準備について
	内容	患者入室前の手術室内の準備とその根拠について学習する。
第8回	担当教員	石塚 睦子 周術期看護総論—2.術中の看護 患者受け入れと患者に行われる処置の根拠について
	内容	1)手術部での患者受け入れに当たり、誤認防止のための工夫について学習する。 2)手術室内で患者に行われる処置と根拠について学習する。
第9回	担当教員	石塚 睦子 周術期看護総論—2.術中の看護 患者に行われる処置の根拠について
	内容	手術室内で患者に行われる処置と根拠について学習する。
第10回	担当教員	石塚 睦子 周術期看護総論—2.術中の看護 手術部の構造設備について
	内容	手術部の構造設備とその根拠について学習する。
第11回	担当教員	石塚 睦子 周術期看護総論—2.術中の看護 手術部に入るスタッフの清潔について
	内容	手術部に入るスタッフの清潔と方法、その根拠について学習する。
第12回	担当教員	石塚 睦子 周術期看護総論—3.術後の看護 手術部から帰室した直後の看護について
	内容	手術部から帰室した直後の患者の状況と看護について学習する。
第13回	担当教員	石塚 睦子 周術期看護総論—3.術後の看護 術後1週間の看護について
	内容	術後1週間の主な看護問題と問題解決に向けた看護について学習する。
第14回	担当教員	石塚 睦子 周術期看護総論—3.術後の看護 術後1週間の看護について
	内容	術後1週間の主な看護問題と問題解決に向けた看護について学習する。
第15回	担当教員	石塚 睦子 周術期看護総論—3.術後の看護 主な看護問題と看護計画について
	内容	術後の主な看護問題に対する看護計画について学習する。
第16回	担当教員	石塚 睦子 定期試験
	内容	定期試験100点(100%) 100点満点で評価する。

評価方法

試験100点(100%)

※提出課題を含める場合がある。

教科書

- 1)矢永勝彦,高橋則子編:系統看護学講座別巻 臨床外科看護総論,医学書院,2023.
- 2)石塚睦子:よくわかる周手術期看護,Gakken,2200円+税,2023.
- 3)石塚睦子:看護学生クイックノート,照林社,2023.

参考書

必要時、適宜提示する。
配付資料を用いる。

オフィスアワー

木曜日4・5限 教員の研究室

実務経験の有無

有り

その他

テキストについて予習復習をして臨むこと。
本講義は原則対面授業で行う。ただし、学内対面が不可能な場合は、遠隔講義で行う。

講義コード	7201101
講義名	成人看護方法論II
(副題)	(急性期・回復期・リハビリ期)
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	60.00
対象学年	3
必修/選択	必修

担当教員

氏名
石塚 睦子
水田 進
田中 陽子
多賀谷 浩子

総合学習目標

急性期・周術期・救命救急状態にある成人期患者の生命を守り、生活の質を保障するための看護について理解する。

【ディプロマ・ポリシーとの関連：DP1-①②、DP2-①、DP3-①②、DP4-①③】

個別学習目標

- 1)急性期・周術期・救命救急看護の概念を理解する。
- 2)成人期患者の一般的な周術期(術前・術中・術後)看護について、家族支援も含めて理解する。
- 3)成人期患者の健康障害別周術期看護について理解する。
- 4)成人期患者の救命救急看護について理解する。

準備学修

教科書の索引を見て、不明な専門用語について意味をまとめておくこと。(1時間)

授業計画

第1回	担当教員	石塚 睦子 オリエンテーション 急性期・周術期看護・救命救急看護について
	内容	授業予定やテキストについて理解する。 1)急性期・周術期・救命救急看護の概念を理解する。 2)手術を受ける患者看護の変遷について理解する。
第2回	担当教員	石塚 睦子 【周術期看護総論】 1.術前の看護 術前の情報収集と分析について
	内容	術前の情報収集と分析のポイントについて学習する。
第3回	担当教員	石塚 睦子 1.術前の看護 術前のオリエンテーションについて
	内容	手術前に関する術前オリエンテーション内容を理解する。
第4回	担当教員	石塚 睦子 1.術前の看護 術前のオリエンテーションについて

	内容	手術後に関する術前オリエンテーション内容を理解する。
第5回	担当教員	石塚 睦子 1.術前の看護 術前の看護処置
	内容	手術前日から当日の看護とその根拠について学習する。
第6回	担当教員	石塚 睦子 1.術前の看護 術後の病床整備
	内容	術後の病室と物品の準備とその根拠について学習する。
第7回	担当教員	石塚 睦子 2.術中の看護 全身麻酔と手術侵襲について
	内容	全身麻酔と手術侵襲により生じる看護問題と対処方法について学習する。
第8回	担当教員	石塚 睦子 2.術中の看護 全身麻酔と手術侵襲について
	内容	全身麻酔と手術侵襲により生じる看護問題と対処方法について学習する。
第9回	担当教員	石塚 睦子 2.術中の看護 手術室内の準備について
	内容	患者入室前の手術室内の準備とその根拠について学習する。
第10回	担当教員	石塚 睦子 2.術中の看護 手術室内の準備について
	内容	患者入室前の手術室内の準備とその根拠について学習する。
第11回	担当教員	石塚 睦子 2.術中の看護 患者受け入れと患者に行われる処置の根拠について
	内容	1)手術部での患者受け入れに当たり、誤認防止のための工夫について学習する。 2)手術室内で患者に行われる処置と根拠について学習する。
第12回	担当教員	石塚 睦子 2.術中の看護 患者に行われる処置の根拠について
	内容	2)手術室内で患者に行われる処置と根拠について学習する。
第13回	担当教員	石塚 睦子 2.術中の看護 手術部の構造設備について
	内容	手術部の構造設備とその根拠について学習する。
第14回	担当教員	石塚 睦子 2.術中の看護 手術部に入るスタッフの清潔について
	内容	手術部に入るスタッフの清潔と方法、その根拠について学習する。
第15回	担当教員	石塚 睦子 3.術後の看護 手術部から帰室した直後の看護について
	内容	手術部から帰室した直後の患者の状況と看護について学習する。
第16回	担当教員	石塚 睦子 3.術後の看護 術後1週間の看護について

	内容	術後1週間の主な看護問題と問題解決に向けた看護について学習する。
第17回	担当教員	石塚 睦子 3.術後の看護 術後1週間の看護について
	内容	術後1週間の主な看護問題と問題解決に向けた看護について学習する。
第18回	担当教員	石塚 睦子 3.術後の看護 主な看護問題と看護計画について
	内容	術後の主な看護問題に対する看護計画について学習する。
第19回	担当教員	多賀谷 浩子 【周術期各論】 1.呼吸器疾患の周術期看護について
	内容	肺切除術の周術期看護と胸腔ドレーンの管理について学習する。
第20回	担当教員	田中 陽子 2.循環器疾患の周術期看護について
	内容	心筋梗塞のバイパス術の周術期看護について学習する。 下肢静脈瘤手術の周術期看護について学習する。
第21回	担当教員	水田 進 3.消化器疾患の周術期看護について
	内容	食道離断術の周術期看護について学習する。
第22回	担当教員	水田 進 3.消化器疾患の周術期看護について
	内容	胃切除術の周術期看護について学習する。
第23回	担当教員	田中 陽子 3.消化器疾患の周術期看護について
	内容	肝切除術の周術期看護について学習する。
第24回	担当教員	水田 進 3.消化器疾患の周術期看護について
	内容	腹腔鏡下胆嚢摘出術の周術期看護について学習する。
第25回	担当教員	多賀谷 浩子 3.消化器疾患の周術期看護について
	内容	大腸切除術の周術期看護について学習する。
第26回	担当教員	田中 陽子 4.内分泌疾患の周術期看護について
	内容	甲状腺摘出術の周術期看護について学習する。
第27回	担当教員	田中 陽子 5.女性生殖器疾患の周術期看護について
	内容	乳房切除術の周術期看護について学習する。
第28回	担当教員	水田 進 6.脳神経疾患の周術期看護について
	内容	脳腫瘍摘出術の周術期看護について学習する。
第29回	担当教員	多賀谷 浩子 7.耳鼻咽喉疾患の周術期看護について
	内容	喉頭摘出術の周術期看護について学習する。
第30回	担当教員	多賀谷 浩子 救命救急患者の看護について
	内容	救命救急看護、ショック・熱傷患者の看護について学習する。
第31回	担当教員	石塚 睦子 定期試験

内容	定期試験100点(100%)
評価方法	
試験100点(100%) ※提出課題を含める場合がある。	
教科書	
1)矢永勝彦,高橋則子編:系統看護学講座別巻 臨床外科看護総論,医学書院,2023. 2)石塚睦子:よくわかる周手術期看護,Gakken,2200円+税,2023. 3)石塚睦子:看護学生クイックノート,照林社,2023. 4)北島政樹,江川幸二編:系統看護学講座別巻 臨床外科看護各論,医学書院,2023.	
参考書	
必要時、適宜提示する。 配付資料を用いる。	
オフィスアワー	
木曜日4・5限 教員の研究室	
実務経験の有無	
有り	
その他	
テキストについて予習復習をして臨むこと。 本講義は原則対面授業で行う。ただし、学内対面が不可能な場合は、遠隔講義で行う。	

講義コード	7201102
講義名	成人看護学方法論II (周手術期・回復期)
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	2
必修/選択	必修

担当教員

氏名
石塚 睦子
水田 進
田中 陽子
多賀谷 浩子

総合学習目標

周術期・救命救急状態にある成人期患者の生命を守り、生活の質を保障するための健康障害別看護について理解する。

【ディプロマ・ポリシーとの関連：DP1-①②、DP2-①、DP3-①②、DP4-①③】

個別学習目標

- 1)成人期患者の健康障害別周術期看護について理解する。
- 2)成人期患者の救命救急看護について理解する。

準備学修

教科書の索引を見て、不明な専門用語について意味をまとめておくこと。(1時間)

授業計画

第1回	担当教員	石塚 睦子 【周術期看護各論】 1.呼吸器疾患の周術期看護について
	内容	肺切除術の周術期看護と胸腔ドレーンの管理について学習する。
第2回	担当教員	石塚 睦子 1.呼吸器疾患の周術期看護について
	内容	胸腔ドレーンの管理について学習する。 ※腹腔・皮下ドレーン管理との違い等についても学習する。
第3回	担当教員	石塚 睦子 2.消化器疾患の周術期看護について
	内容	腹腔鏡下胆嚢摘出術の周術期看護について学習する。
第4回	担当教員	水田 進 2.消化器疾患の周術期看護について
	内容	食道離断術の周術期看護について学習する。
第5回	担当教員	水田 進 2.消化器疾患の周術期看護について
	内容	胃切除術の周術期看護について学習する。
6	担当教員	田中 陽子 2.消化器疾患の周術期看護について

第 回	内容	肝切除術の周術期看護について学習する。
	担当教員	多賀谷 浩子 2.消化器疾患の周術期看護について
第7回	内容	大腸切除術の周術期看護について学習する。
	担当教員	田中 陽子 3.循環器疾患の周術期看護について
第8回	内容	心筋梗塞のバイパス術の周術期看護について学習する。 下肢静脈瘤手術の周術期看護について学習する。
	担当教員	田中 陽子 4.内分泌疾患の周術期看護について
第9回	内容	甲状腺摘出術の周術期看護について学習する。
	担当教員	田中 陽子 5.女性生殖器疾患の周術期看護について
第10回	内容	乳房切除術の周術期看護について学習する。
	担当教員	多賀谷 浩子 5.女性生殖器疾患の周術期看護について
第11回	内容	子宮摘出術の周術期看護について学習する。
	担当教員	水田 進 6.脳神経疾患の周術期看護について
第12回	内容	脳腫瘍摘出術の周術期看護について学習する。
	担当教員	多賀谷 浩子 7.耳鼻咽喉疾患の周術期看護について
第13回	内容	喉頭摘出術の周術期看護について学習する。
	担当教員	水田 進 6.運動器疾患の周術期看護について
第14回	内容	椎間板ヘルニアの周術期看護について学習する。 外反母趾の周術期看護について学習する。
	担当教員	多賀谷 浩子 【救命救急看護各論】 ショック、熱傷について
第15回	内容	ショック・熱傷患者の看護について学習する。
	担当教員	石塚 睦子 水田 進 田中 陽子 多賀谷 浩子 定期試験
第16回	内容	筆記試験100点(100%)

評価方法

試験100点(100%)

教科書

- 1)北島政樹,江川幸二編:系統看護学講座別巻 臨床外科看護各論,医学書院,2023.
 - 2)石塚睦子:よくわかる周手術期看護,Gakken,2200円+税,2023.
 - 3)石塚睦子:看護学生クイックノート,照林社,2023.
- 教科書に記載されていない内容については配付資料を用いる。

参考書

必要時、適宜提示する。

オフィスアワー

木曜日4・5限 各教員の研究室

実務経験の有無

有り

その他

テキストについて予習復習をして臨むこと。
本講義は原則対面授業で行う。ただし、学内対面が不可能な場合は、遠隔講義で行う。

講義コード	7201201
講義名	高齢者看護学概論
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名

越智 美智子

総合学習目標

加齢に伴う高齢者の健康状態や生活の変化を身体的・心理的・社会的変化やスピリチュアルから捉えることができる基礎的知識を学ぶ。さらに、ヘルスケアシステムを踏まえ高齢者が健康に生きるとはどういうことかを考え、高齢者の尊厳と生活の質（Quality of life）の維持・向上にむけた高齢者看護について理解する。（OP1-②、DP2-①、DP4-①②③）

個別学習目標

1. 高齢者を取り巻く環境の変化と高齢者看護の特徴を知ることができる。
2. ライフサイクルと高齢者の発達・成熟について理解することができる。
3. 加齢に伴う高齢者の身体的変化と健康上の課題を理解することができる。
4. 加齢に伴う高齢者の心理的・社会的変化やスピリチュアルと健康上の課題を理解することができる。
5. 高齢者とのコミュニケーションについて理解することができる。
6. 高齢者疑似体験を通して、加齢に伴う高齢者の身体的・心理的・社会的変化を述べる事ができる。
7. 高齢者の生活にかかわる保健医療福祉制度について知ることができる。
8. 高齢者看護の倫理的課題を知ることができる。
9. 多様な場にいる高齢者を支える看護の役割を理解することができる
10. 高齢者のその人らしい生活の継続について知ることができる（理論・アプローチを含む）

準備学修

テレビ・新聞・雑誌・インターネットなどを通して、高齢者に関する情報を積極的に得るようにしてください。日頃から周囲の高齢者に目を向け、高齢者問題に関心を持ち、高齢者の加齢による心身の変化が日常生活にどのように影響しているのか主体的に探究しましょう。

授業計画

第1回	担当教員	越智 美智子 高齢社会の現状と高齢者看護
	内容	高齢社会の現状、特に日本の高齢化の背景とその特徴について理解する。 事前学習：教科書熟読し、老いについて考えておく。 事後学習：授業内容の振り返り高齢者社会の現状をまとめておく。 インタビュー可能な高齢者を探しておく。
	担当教員	越智 美智子 老年期の対象理解のための演習

第2回	内容 1. 「高齢者疑似体験についてオリエンテーション」 2. 「高齢社会における倫理的課題のGWについてオリエンテーション」 3. 「地域に生活する高齢者からのインタビュー」について テーマとインタビュー項目の決定、テーマに関する文献を検索し計画を行う。 事前学習：テーマになる高齢者に関する情報収集をしておく。 事後学習：インタビュー計画書を作成し、計画書に沿ってインタビューを行う。
第3回	担当教員 越智 美智子 老年期の対象の理解-① 内容 1. ライフサイクルにおける老年期の位置づけと特徴について学ぶ。 (高齢人口動態、高齢者を取り巻く環境など) 2. 高齢者の活動について紹介。 事前学習：授業内容の予習(高齢者の統計データ)を予習しておく。 事後学習：授業内容の振り返り、キーワードをノートにまとめる。
第4回	担当教員 越智 美智子 老年期の対象の理解-② 内容 高齢者の加齢に伴う身体的変化のおよび健康障害の特徴を学ぶ。 1. 老化とは 2. 老化に伴う身体・精神・社会的変化 3. 加齢に伴う各種機能の変化 事前学習：高齢者の心身各機能の加齢変化をまとめておく。 事後学習：授業内容を振り返り、加齢変化のキーワードをノートにまとめておく。
第5回	担当教員 越智 美智子 高齢者の生活と健康の理解-① 内容 <G発表> 「地域に生活する高齢者からのインタビュー」を通してのグループワークやその発表を聴き、地域の高齢者について学ぶ。 事前学習：グループ発表の準備(インタビューのまとめを行い、GWの資料作成)をしておく。 事後学習：グループ発表から学んだことをまとめる。
第6回	担当教員 越智 美智子 高齢者の生活と健康の理解-② 内容 <G発表> 「地域に生活する高齢者からのインタビュー」を通してのグループワークやその発表を聴き、地域の高齢者について学ぶ。 事前学習：グループ発表の準備(インタビューのまとめを行い、GWの資料作成)をしておく。 事後学習：グループ発表から学んだことをまとめる。
第7回	担当教員 越智 美智子 高齢者の日常生活の理解 「高齢者疑似体験」を通して加齢変化について考える 内容 <演習> 高齢者疑似体験装具(おいたろう)を装着し、疑似体験を行うことで、身体機能の変化が高齢者の日常生活に対してどのように影響しているか学び、適切な援助方法を考える。

	容	事前学習：演習用紙を熟読する。加齢変化による高齢者とのコミュニケーションの特徴を捉えておく。 事後学習：演習の振り返り、ノートにまとめておいた疑似体験の情報から、レポート作成する。
第8回	担当 教員	越智 美智子 高齢社会における倫理的課題
	内容	「高齢社会における倫理的課題」について学び、高齢者の尊厳について考える。高齢者が広範囲で差別を受けている現状において、高齢社会における倫理的課題や権利擁護に関するテーマを選択し、グループワーク（情報収集から現状把握）を行い、ディスカッションし、どのような支援をしていくことが高齢者のQOL維持向上につながるのかまとめ、後日プレゼンテーションする。 事前学習：テーマ決定のための資料選択をしておくこと。 事後学習：テーマに沿ったグループ発表への作業およびレポート作成すること。
第9回	担当 教員	越智 美智子 ライフサイクルにおける老年期の特徴
	内容	加齢による精神的・社会的変化の特徴、高齢者の発達課題、生きがい、幸福感、喪失、スピリチュアリティ、セクシャリティなどについて学ぶ。 事前学習：発達課題について調べておく。 事後学習：授業の内容を振り返り、各理論家の示す老年期の発達課題の特徴についてノートに整理する。
第10回	担当 教員	越智 美智子 高齢社会における倫理的課題-①
	内容	<G発表> 「倫理的課題と尊厳に関するテーマ」の発表を通して、超高齢社会の課題を考える。 グループワーク発表は学会方式で行い、各グループ発表に対する評価を学生個々に評価することでプレゼンテーション技術を習得する。 事前課題：グループ発表の準備をしておく。 事後学習：G発表内容の振り返りと倫理的課題に関する学びをノートにまとめる。
第11回	担当 教員	越智 美智子 高齢社会における倫理的課題-②
	内容	<G発表> 「倫理的課題と尊厳に関するテーマ」の発表を通して、超高齢社会の課題を考える。 グループワーク発表は学会方式で行い、各グループ発表に対する評価を学生個々に評価することでプレゼンテーション技術を習得する。 事前課題：グループ発表の準備をしておく。 事後学習：G発表内容の振り返りと倫理的課題に関する学びをノートにまとめる。
第12回	担当 教員	越智 美智子 高齢者の生活と健康
		高齢者の生活と健康にかかわる状況について学ぶ。 公的機関などから発表されている「人間関係・生活パターン・暮らし・活動・年

	内容	金・健康など」高齢者調査データから特徴的な傾向を把握し、高齢者の健康と生活の多様性について考えることができる。 事前学習：授業内容の予習（高齢者の生活白書統計データ）を予習しておく。 事後学習：授業内容の振り返り、キーワードをノートにまとめる。
第13回	担当教員	越智 美智子 高齢者を取り巻く保健・医療・福祉システム
	内容	高齢社会の社会保障制度の歴史と現状を学び、2025年を見据えた社会保障制度改革情報に関心を持ち、高齢者看護の質の向上を図る意識を持つことができる。 事前学習：授業内容（老人保健法・老人福祉法・高齢者医療・高齢者政策等）を予習しておく。 事後学習：授業内容の振り返り、保健医療福祉制度についてキーワードをノートにまとめる。
第14回	担当教員	越智 美智子 介護保険制度
	内容	介護保険制度の仕組みと在宅および保険・医療・福祉施設における高齢者支援について学ぶ。 事前学習：在住地域の高齢者支援体制について調べておく。 事後学習：授業内容の振り返り、介護保険制度や介護サービスについてキーワードをノートにまとめる。
第15回	担当教員	越智 美智子 高齢者看護とその役割
	内容	高齢者看護の基本的な考え方である高齢者のQOLに焦点を当てた看護について理解し、高齢者を支える多様な職種との連携の重要性も認識し、高齢者看護の役割や活動の特性を学ぶ。 事前学習：これまでの授業の内容を振り返り、高齢者看護学に関わる知識を整理しておく。 事後学習：全講義の資料を振り返り、学んだ知識の盤石を図る。

評価方法

定期試験成績85%、課題レポート・グループワーク&発表&参加度15%で総合的に評価します。
初回の授業の際に、詳しく説明します。

教科書

テキスト
・北川公子他：系統看護学講座専門分野 老年看護学 第9版第6刷、医学書院 2, 970円（税込）
・適宜参考図書や視聴覚教材等を提示します。

参考書

テキスト
・北川公子他：系統看護学講座専門分野 老年看護 病体疾患論 第5版第6刷、医学書院 2, 530円（税込）
・適宜参考図書や視聴覚教材等を提示します。

オフィスアワー

越智 美智子 毎週火曜日4限～5限

実務経験の有無

越智 美智子 実務経験有

その他

第7回と第8回はクラスを2つに分けて高齢者の疑似体験と高齢社会における倫理的課題のGWを行います。

講義コード	7201401
講義名	精神看護学概論
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名
大井 美樹
鳥海 真希
西 将希

総合学習目標

1. 精神の健康と障害をとらえる上で、こころのしくみやストレスと危機について学び、自分の体験を通して理解できる。
2. 精神医療の歴史と現状や課題を踏まえたうえで、精神に障害のある人への関心をもち、社会保障制度の知識をもとに対象の地域生活について考え、精神看護学の基礎知識を養う。

DPとの関連：DP1-②, DP2, DP3-③, DP4-①・③

個別学習目標

1. 精神の健康と障害のとらえ方について理解できる。
2. 心のしくみと人格の発達について理解できる。
3. ライフサイクルにおける発達段階の特徴や課題を学び、事例を通して対象を理解できる。
4. 学校・職場・地域における精神保健について理解できる。
5. 精神医療の歴史的変遷および精神障害者を取り巻く現状と課題について理解できる。
6. 精神障害者を支える社会保障制度について理解できる。
7. 精神科医療における患者の権利や処遇をめぐる問題について理解できる。

準備学修

本授業は後期の精神看護学実習の先修条件科目であり、授業内容は実習と深く関連しています。そのため、授業や配布資料等の内容をよく理解するとともに復習を行い、不十分な点については次回の講義までに質問し解決しておくこと。

授業計画

第1回	担当教員	大井 美樹 精神の健康と障害のとらえ方
	内容	精神看護学の基本的な考え方と精神障害を捉える3つの側面について学び、精神の健康について理解できる。
	担	

第2回	当 教 員	西 将希 ライフサイクルにおける精神の健康
	内 容	ライフサイクルにおける発達段階の特徴について理解することができる。
第3回	担 当 教 員	西 将希 ストレスと危機
	内 容	ストレスが心身に及ぼす影響と対処行動を理解し、危機介入における予防概念について理解することができる。
第4回	担 当 教 員	鳥海 真希 こころのしくみと人格の発達
	内 容	自我の構造と機能、防衛機制について理解することができる。
第5回	担 当 教 員	鳥海 真希 ライフサイクルと精神保健（学校・職場・地域における精神保健）
	内 容	ライフサイクル別に精神の健康と特徴を理解し、その人らしい社会生活を送るための介入について理解することができる。
第6回	担 当 教 員	大井 美樹 対象理解—ヒストリーを読む AL-E
	内 容	対象理解に必要な視点を整理し、高校1年生のA君のヒストリーを時系列にそって、こころ・からだ・社会関係にわけて整理できる。
第7回	担 当 教 員	大井 美樹 対象理解—対象の全体像と意味づけ AL-C
	内 容	教員の全体像を提示し、個人ワークの内容を照らし合わせながら、対象の全体像と意味づけについて理解を深めることができる。
第8回	担 当 教 員	大井 美樹 精神保健福祉の歴史的変遷
	内 容	精神医療の流れを法律との関連から学び、時代背景と共に精神医療の特徴を理解できる。
第9回	担 当 教 員	大井 美樹 精神保健福祉に関する法律と施策
	内 容	精神障害者を支える法律の必要性と特に重要となる精神保健福祉法について理解できる。
第10回	担 当 教 員	大井 美樹 長期入院者の地域移行の動きと施策の動向
	内 容	長期入院者の地域移行についての国の施策と動向を学び、退院支援の必要性を理解することができる。

第11回	担当 教員	大井 美樹 精神保健福祉の現状と課題
	内容	長期入院者の地域移行と地域生活支援のための課題を当事者および医療者側の視点で考え理解できる。
第12回	担当 教員	大井 美樹 地域移行支援・地域生活支援の基礎知識—社会資源の活用— AL—E
	内容	精神障害者の生活支援のための社会資源やサービスについて学び、事例をもとに支援の内容について考えることができる。
第13回	担当 教員	大井 美樹 地域で暮らす精神障害者の健康— 1
	内容	ナースと暮らすシェアハウス「ナースさくまの家」設立の趣旨と実践紹介。訪問看護における看護師の役割から、地域で精神障害者がその人らしく暮らすとはどういうことか考えることができる。 ゲスト：佐久間洋子
第14回	担当 教員	大井 美樹 地域で暮らす精神障害者の健康— 2
	内容	精神障害者を抱える家族の実態を通して、精神障害者の生活の意味や課題を考える。 ゲスト：佐久間洋子
第15回	担当 教員	大井 美樹 精神科医療の特殊性と治療環境（権利と処遇）
	内容	精神科における治療行為や処遇の特殊性から、倫理の視点で考えることができる。

評価方法

筆記試験80% 課題レポート20%（10点×2回） 合計100点で評価する。

教科書

精神看護学① 精神看護学概論／精神保健 メジカルフレンド社
精神看護学② 精神障害をもつ人の看護 メジカルフレンド社
系統看護学講座 別巻 精神保健福祉 未安民生 医学書院

参考書

精神看護学I 精神保健・多職種をつながり 萱間真実・野田文隆 南江堂
精神看護学① 情緒発達と精神看護の基本 出口禎子 鷹野朋実 メディカ出版

オフィスアワー

大井 水曜日 3限,木曜日 4限
鳥海 木曜日昼休み 4限
西 月曜日 2限,火曜日 2限,水曜日 2限,木曜日 2限,金曜日 2限

実務経験の有無

有

その他

- ・この科目は、精神看護学実習の先修条件科目である。
- ・座席指定のため、決められた場所に着席のこと。

講義コード	7201501
講義名	精神看護方法論
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	60.00
対象学年	3
必修/選択	必修

担当教員

氏名

大井 美樹

塩田 みどり

西 将希

鳥海 真希

総合学習目標

1. 精神科における主な疾患の理解と治療について学び、看護につなげることができる。
2. 精神看護の基礎的知識と技術を身につけ、看護過程を用いて対象理解と必要な看護を提供するための方法を習得し、精神看護学実習へ繋がる内容として理解できる。
3. 精神看護の実践の場である地域社会において、人々の精神の健康保持・増進のための支援について学ぶ。

D Pとの関連 D P1-②, D P2, D P3-②③, D P4-①③

個別学習目標

1. 代表的な精神疾患の病態および治療を学び、精神に障害をもつ対象を生物学的側面から理解できる。
2. 精神科における主な治療とその看護および倫理的側面について理解できる。
3. 健康障害の段階（病期）に応じた精神科看護の特徴が理解できる。
4. 精神に障害がある対象の理解と必要な看護を考えるうえで、オレムアンダーウッドモデル（理論）を理解できる。
5. 紙上事例を通してオレムアンダーウッド理論を用いた看護過程の展開を行い、看護の必要性が理解できる。
6. 精神科チーム医療における専門職連携と多様な社会資源・サービスについて学び、長期入院患者の地域移行支援・地域生活支援について考え理解できる。
7. コミュニケーションの成り立ちを理解し、患者—看護師関係におけるコミュニケーション技術の基礎を養うことができる。
8. 様々な場で行われる精神看護を通して精神看護専門看護師の役割を理解できる。

準備学修

本授業は後期の精神看護学実習の先修条件科目であり、授業内容は実習と深く関連しています。そのため、授業や配布資料等の内容をよく理解するとともに復習を行い、不十分な点については次回の講義までに解決しておくこと。

授業計画

第1回	担当教員	大井 美樹 西 将希 ガイダンス 精神疾患という病気の捉え方
	内容	履修をする上での注意事項を伝える。 精神を病むことについて生物学的・心理学的・社会的側面から捉える必要性を理解できる。
第2回	担当教員	西 将希 さまざまな精神症状について
	内容	精神機能の障害として、さまざまな精神症状について理解できる。
第3回	担当教員	西 将希 統合失調症の理解
	内容	統合失調症の診断、特徴および症状について理解できる。
第4回	担当教員	西 将希 精神科における主な治療と看護
	内容	精神科における主な治療（薬物療法、電気けいれん療法、精神科リハビリテーション療法、精神療法）とそれに伴う看護について理解できる。
第5回	担当教員	西 将希 入院治療の意味
	内容	入院治療のメリット・デメリットを考え、看護の視点で考えることができる。
第6回	担当教員	西 将希 健康の障害と段階別看護（急性期）
	内容	統合失調症の事例をもとに、急性期の病状の特徴と看護について理解できる。
第7回	担当教員	西 将希 健康の障害と段階別看護（消耗期）
	内容	統合失調症の事例をもとに、消耗期の病状の特徴と看護について理解できる。
第8回	担当教員	西 将希 健康の障害の段階別看護（回復期）

	員	
	内容	統合失調症の事例をもとに、回復期の病状の特徴と看護について理解できる。
第9回	担当教員	塩田 みどり 健康の障害の段階別看護（慢性期）
	内容	統合失調症の事例をもと、慢性期の病状の特徴と看護について理解できる。
第10回	担当教員	大井 美樹 回復過程とストレングスモデル
	内容	疾病回復の一連の過程において、リカバリーを支援するためのストレングスモデルについて理解できる。
第11回	担当教員	大井 美樹 塩田 みどり 西 将希 中間試験と解説
	内容	これまでの知識の習得を問う試験を行い学習到達度の確認とし、今後の授業内容で知識の再獲得につなげる。なお、終了後には解説を行う。
第12回	担当教員	西 将希 患者—看護師関係におけるコミュニケーション
	内容	治療関係の基本となる受容、傾聴、共感について学び、関係発展のための援助技術として理解できる。
第13回	担当教員	大井 美樹 塩田 みどり 西 将希 患者—看護師関係におけるコミュニケーション／気分障害 AL-E
	内容	患者—看護師関係を築く上での基本となるコミュニケーションの演習を行い、講義をもとにロールプレイングのふり返りを行うことができる。(A) 気分障害の疾患と治療について学び、気分障害（うつ病）の看護について理解できる。(B) ***Aグループ、Bグループの入れ替え制とする講義と演習
第14回	担当教員	大井 美樹 塩田 みどり 西 将希 患者—看護師関係におけるコミュニケーション／気分障害 AL-E
	内容	患者—看護師関係を築く上での基本となるコミュニケーションの演習を行い、講義をもとにロールプレイングのふり返りを行うことができる。(B) 気分障害の疾患と治療について学び、気分障害（うつ病）の看護について理解できる。(A) ***Aグループ、Bグループの入れ替え制とする講義と演習
第15回	担当教員	大井 美樹 塩田 みどり 西 将希 コミュニケーション技術演習のふり返りとグループ間発表 AL-B
	内容	第13.14回の演習のふり返りをもとにグループ間での意見交換や発表をもって学びを深め、コミュニケーション技術の理解と修得ができる。
	担当	大井 美樹

第16回	教員	看護場面の再構成とプロセスレコード
	内容	看護場面の再構成としてのプロセスレコードについて学び、認識の違いの視点からコミュニケーションについて考えることができる。
第17回	担当教員	大井 美樹 塩田 みどり 西 将希 精神症状がある人とのコミュニケーション AL-B
	内容	体感幻覚のある人、不安を訴える人、無為・自閉傾向のある人等へのコミュニケーションを3つのグループに分かれて演習する。
第18回	担当教員	大井 美樹 塩田 みどり 鳥海 真希 オレムアンダーウッドモデル（理論）の理解
	内容	理論の3つの枠組みについて学び、理論の考え方と看護ケアの関連を理解できる。
第19回	担当教員	大井 美樹 オレムアンダーウッドモデル（理論）の活用
	内容	理論を用い看護過程を展開する上での基礎的項目を学び、事例を通して考えることができる。
第20回	担当教員	大井 美樹 オレムアンダーウッドモデル（理論）を用いた看護過程 AL-E
	内容	段階別看護で用いた事例を通し、情報収集の視点と情報、アセスメント、看護の方向性、看護計画までの考え方を学び理解できる。
第21回	担当教員	大井 美樹 普遍的セルフケア要素への援助
	内容	普遍的セルフケア要素6項目ごとの観察および援助について理解できる。
第22回	担当教員	大井 美樹 紙上事例を用いた看護過程の展開（統合失調症） AL-E
	内容	不足情報の確認および情報の共有を行い、アセスメントまでの個人ワークを行う。
第23回	担当教員	大井 美樹 紙上事例を用いた看護過程の展開（統合失調症） AL-E
	内容	アセスメントまでの学習内容を確認し、看護の方向性と看護計画については教員の例を提示し考えるための個人ワークとし、学生個々に教員が対応する。
第24回	担当教員	塩田 みどり 精神障害者の地域生活を支える
	内容	

	容	精神科訪問看護を通して、地域生活支援の実際を考え理解できる。
第25回	担当教員	大井 美樹 長期入院患者の地域移行支援の展開－精神科チーム医療と専門職連携－
	内容	長期入院患者の地域移行支援における精神科チーム医療と専門職の役割および連携について理解できる。
第26回	担当教員	大井 美樹 紙上事例を用いた長期入院患者の地域移行支援の展開 AL-E
	内容	事例から得られた情報や不足情報の整理およびアセスメント（課題の明確化）までの個人ワークを行う。
第27回	担当教員	大井 美樹 紙上事例を用いた長期入院患者の地域移行支援の展開 AL-B
	内容	個人ワークした内容を持ち寄り、グループ内での意見交換をもとに地域移行支援について理解を共有できる。
第28回	担当教員	大井 美樹 アルコール依存症，強迫性障害の理解とそれぞれの看護
	内容	アルコール依存症，強迫性障害の特徴とそれぞれの看護について理解できる。
第29回	担当教員	西 将希 災害時における精神保健（PTSDを含む）
	内容	災害時のストレスと影響要因について学び、精神障害者への支援の実際を理解できる。
第30回	担当教員	塩田 みどり 看護師のメンタルヘルスとリエゾン精神看護
	内容	看護師の仕事とストレスの関連性から精神科で働く看護師のストレスの特徴を学び、リエゾン看護師のさまざまな活動を通して、精神看護専門看護師の役割を理解できる。

評価方法

筆記試験80%（中間試験：40点，定期試験：60点）
合計100点で総合評価する。

教科書

精神看護学概論で使用したテキスト

系統看護学講座 専門分野II 精神看護学の基礎 武井麻子 本体2200円+税
系統看護学講座 専門分野II 精神看護学の展開 武井麻子 本体2300円+税
系統看護学講座 別巻 精神保健福祉 末安民生 医学書院 本体2400円+税

参考書

- ・オレムのセルフケアモデル事例を用いた看護過程の展開【第2版】宇佐美しおり他 ヌーベルヒコ
カワ
- ・初めての精神科看護 公益財団法人浅香山病院看護部 メディカ出版
- ・ストレンクスからみた精神看護過程 編集：萱間真実 医学書院

オフィスアワー

大井 水曜日 3限,木曜日 4限
塩田 金曜日 2限
西 月曜日～金曜日 1限

実務経験の有無

有

その他

- ・この科目は、精神看護学実習の先修条件科目である。
- ・座席指定のため、決められた場所に着席のこと。
- ・グループワークでは与えられた個人ワークをもとに、課題についてグループメンバー間で協力して取り組むこと。
- ・授業配布資料等は実習に活かせるようファイルに綴じて整理しておくこと。

講義コード	7201601
講義名	成人看護学実習I
(副題)	(慢性期看護実習)
講義開講時期	後期
講義区分	実習
基準単位数	3
時間	135.00
対象学年	3
必修/選択	必修

担当教員

氏名

竹村 禎子

石塚 睦子

正藤 倫音

水田 進

田中 陽子

多賀谷 浩子

総合学習目標

受け持ち患者の看護過程を通して、慢性疾患を持つ患者とその家族への基本的な看護実践能力を修得する。

【ディプロマ・ポリシーとの関連：1-①②、2-①、3-①②③、4-①②③】

個別学習目標

I. 慢性疾患をもつ患者の状況を分析し、看護過程を展開する。

1. ゴードンの機能的健康パターンの枠組みを基に、看護に必要な情報を正確に収集する。
2. 情報を分析・解釈・統合し、看護問題を抽出する。
3. 看護問題の優先順位を根拠に基づき判断する。
4. 達成可能な目標を具体的に設定する。
5. 患者の個別性を踏まえた看護計画を具体的に立案する。
6. 実施した看護援助を評価し、必要時、計画を追加・修正する。
7. 目標達成できたかを看護問題ごとに評価し、看護介入継続の必要性を判断する。
8. 受け持ち患者の入院時から、受け持ち終了時までの要約をする。

II. 安全・安楽・自立をふまえ慢性疾患患者へ看護技術を実施する。

1. 計画立案した援助技術（指導技術を含む）を患者の反応を確認しながら、安全・安楽・自立をふまえ実施する。

III. 慢性疾患を持つ患者とその家族とのコミュニケーションの意義を認識し、対象に合ったコミュニケーションに努める。

1. 慢性疾患を持つ患者とその家族とのコミュニケーションの意義を認識する。
2. 患者とその家族に関心を持ち、信頼関係構築のためのコミュニケーションに努める。
3. 患者とその家族の価値観や多様性を尊重する視点を持つ。

IV. 慢性疾患患者とその家族への看護の目的と役割を理解する。

1. 患者の生命と療養生活の質を守る意義を認識する。
2. 必要時社会資源を活用し、患者を取り巻く関係職種との連絡・調整・協力を努める。
3. 受け持ち患者の看護の目的と役割を考え、自己の看護観を深める。

V. 専門職業人としての倫理的な態度・行動に努める。

1. カンファレンスを行い、問題解決に向け、相互理解を深める。
2. 主体的に学習に取り組む。
3. 実習生としてふさわしいマナーが守れる。

準備学修

成人看護方法論Iの授業内容を踏まえて慢性期にある患者の特徴や看護などを復習して、成人看護学実習IIに臨んでください。

授業計画

第1回	担当教員	正藤 倫音 石塚 睦子 水田 進 田中 陽子 多賀谷 浩子
	内容	1.授業方法 〔1週目〕 初日、学内にて全体ガイダンス、病院・病棟のガイダンスを行う。 2日目以降、病棟オリエンテーション後、受け持ち患者（慢性期にある患者を1名、あるいは学生2名で患者1名）を決定する。 〔2週目〕 受け持ち患者の看護過程を展開する。 学内で学習の整理・指導時間を1日設ける。 適宜カンファレンスを行い、学習の共有化を図る。中間カンファレンスでは、進捗状況と今後の課題について話し合う。 〔3週目〕 受け持ち患者の看護過程を展開する。 適宜カンファレンスを行い、学習の共有化をはかる。最終カンファレンスでは、実習目標に沿った3週間の学びと課題について話しあう。 最終日には、学内で実習目的・目標をふまえたまとめ・指導時間を設ける。 2.学習内容 1)看護過程の展開 2年次履修科目『看護過程論』『成人看護方法論I(慢性期・ターミナル期の看護)』の内容を活用した慢性期にある患者と家族への看護過程の展開 2)看護技術の実施について 1年次『看護技術I(日常生活援助)』、2年次『看護技術II(診療の補助技術)』を活用し、慢性期に必要な看護技術について安全・安楽・自立をふまえ実施 3)慢性期にある患者と家族とのコミュニケーション 4)多職種連携と看護の役割 5)責任の自覚、問題解決型学習と倫理的行動

評価方法

評価を受ける要件として、4/5以上の出席が必要となる。
欠席理由が履修の手引きにおいて認められた場合には、不足時間を補充することができる。
評価は、実習目的・目標に沿って総合的に評価する。
評価内容の詳細は、実習要項・評価表を参照のこと。
60点未満の場合、再実習は行わない。

参考書

- 1)井上智子,佐藤千史:疾患別看護過程,医学書院,7,000円+税
- 2)リンダJ.カルペニート:看護診断ハンドブック,医学書院,3,800円+税
- 3)高木永子:看護過程に沿った対症看護,学研,4,600円+税
- 4)石塚睦子:看護学生クイックノート,照林社,925円+税

実務経験の有無

有

その他

実習前に感染症(麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎・B型肝炎)の抗体価を調べ、抗体価が基準に満たない場合は、ワクチン接種を済ませておくこと。

実習詳細は、クラスルームを活用します。



講義コード	7201701
講義名	成人看護学実習II
(副題)	(急性期看護実習)
講義開講時期	後期
講義区分	実習
基準単位数	3
時間	135.00
対象学年	3
必修/選択	必修

担当教員

氏名
石塚 睦子
竹村 禎子
正藤 倫音
水田 進
田中 陽子
多賀谷 浩子

総合学習目標

周手術期にある成人期の患者と家族への看護を展開する。

【ディプロマ・ポリシーとの関連：1-①②、2-①、3-①②③、4-①③】

個別学習目標

- I. 周手術期にある成人期の患者の状況を分析し、看護過程を展開する。
 1. アセスメント(情報収集、情報の分析)する。
 2. 問題を明確にする
 3. 優先度の高い看護問題の計画を立案する。
 4. 実施したことを評価し、必要時計画を修正する。

- II. 安全・安楽・自立をふまえ周手術期患者へ看護技術を実施する。
 1. 周手術期患者の状況に応じ日常生活の援助技術を実施する。
 2. 周手術期患者の状況に応じ診療の補助技術を実施する。

- III. 周手術期にある成人期の患者と家族の状況に応じたコミュニケーションに努める。
 1. 手術を受ける患者・家族の心理を受け止めたコミュニケーションに努める。

2. 時間的制約がある中でも気配りあるコミュニケーション、対応に努める。
3. 身体の一部喪失や形態・機能の変化が生じた患者、苦痛のある患者の心理に配慮したコミュニケーションに努める。

IV. 医療チームにおける多職種連携の実際と看護の役割を理解する。

V. 専門職業人になる者としての責任を自覚し、問題解決型の学習や倫理的行動に努める。

1. 健康管理に努める。
2. 必要な報告・連絡・相談ができる。
3. 問題解決型の学習に努める。
4. マナーを守る。
5. 患者の生命、人間としての尊厳・権利を尊重する。

準備学修

成人看護方法論II(急性期・周術期看護総論・各論)の学習内容を復習しておくこと。

例 ①術前の情報収集と分析のポイント ②術前オリエンテーション内容 ③術中患者に行われることとその根拠 ④全身麻酔と手術侵襲 ⑤術後ベッド・環境の準備 ⑥手術部から帰室した直後の患者の状態と観察点 ⑦術後1週間の看護問題と看護ケアなど

授業計画

第1回	担当教員	石塚 睦子 正藤 倫音 水田 進 田中 陽子 多賀谷 浩子
		<p>1. 授業方法</p> <p>〔1週目〕</p> <p>全体ガイダンス、手術部と病棟のガイダンスを行い、病棟での受け持ち患者を決定する。</p> <p>〔2週目〕</p> <p>周手術期にある患者を1名(あるいは学生2名で1名)受け持ち、看護過程を展開する。</p> <p>2週目木曜日に学内で学習の整理・指導時間を設ける。</p> <p>〔3週目〕</p> <p>2～3週目に適宜カンファレンスを行い、学習の共有化をはかる。</p> <p>最終日に学内で実習目的・目標をふまえたまとめ・指導時間を設ける。</p>

内容	<p>2.学習内容</p> <p>1)看護過程の展開</p> <p>2年次『看護過程論』と3年次履修科目『成人看護方法論II(急性期・回復期・リハビリ期 の看護)』の履修内容を活用した周手術期にある患者と家族への看護過程の展開</p> <p>2)看護技術の実施について</p> <p>1年次『看護技術I(日常生活援助)』、2年次『看護技術II(診療の補助技術)』を活用し、 手術前後に必要な看護技術について安全・安楽・自立をふまえ実施</p> <p>3)周手術期にある患者と家族とのコミュニケーション</p> <p>4)多職種連携と看護の役割</p> <p>5)責任の自覚、問題解決型学習と倫理的行動</p>
-----------	--

評価方法

評価を受ける要件として、4/5以上の出席が必要となる。

欠席理由が履修の手引き・共通要項の規定において認められた場合には、不足時間を補充することができる。

評価は、実習目的・目標に沿って総合的に評価する。

評価内容の詳細は、実習要項・評価表を参照のこと。

60点未満の場合、再実習は行わない。

教科書

- 1)矢永勝彦他編:系統看護学講座別巻 臨床外科看護総論,医学書院
- 2)北島政樹他編:系統看護学講座別巻 臨床外科看護各論,医学書院
- 3)石塚睦子:よくわかる周手術期看護, Gakken
- 4)石塚睦子監修:看護学生クイックノート, 照林社

参考書

- 1)井上智子,窪田哲朗編:疾患別看護過程+病態関連図,医学書院,2020.
- 2)高木永子監修:看護過程に沿った対症看護 病態生理と看護のポイント,Gakken,2022.
- 3)梶谷環監修:一般外科術前・術中・術後管理,へるす出版,1985.
- 4)目でみる手術室看護の基本 患者を事故から守るために,医学書院,1983.

オフィスアワー

木曜日4・5限 研究室

実務経験の有無

有り

その他

実習前に感染症(麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎・B型肝炎)の抗体価を調べ、抗体価が基準

に満ちていない場合は、ワクチン接種を済ませておくこと。

講義コード	7201801
講義名	高齢者看護学実習
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	実習
基準単位数	4
時間	180.00
対象学年	3
必修/選択	必修

担当教員

氏名

根本 友子

越智 美智子

繁田 法史

総合学習目標

加齢に伴う高齢者の特性を理解し、あらゆる健康レベルにある地域や施設で生活する高齢者の生活を支える看護を実践できる基礎的能力を修得する。(DP1-② DP2-① DP3-①② DP4-①)

1. 地域や施設で生活する高齢者の加齢による変化を踏まえ、高齢者の健康状態を身体的、精神的、社会的側面から統合的に捉えることができる
2. 高齢者を取り巻く環境と家族について理解することができる
3. 高齢者の自尊心を尊重する姿勢を持ち、コミュニケーションをはかることができる
4. 高齢者との関わりを通して、地域や施設で生活する高齢者の生活上の課題や支援の方法について考えることができる
5. 保健・医療・福祉における関連職種や機関との連携、調整について学び、看護の役割を考えることができる
6. 地域や施設で生活する高齢者の援助を通して、高齢者看護における倫理的配慮について考えることができる
7. 実習を通して、自己の高齢者観を養うことができる

個別学習目標

高齢者看護学実習I (多様な場における高齢者の看護)

多様な場で療養しながら生活する高齢者の特徴を理解し、看護について学び、健康維持・回復への生活に向けて、必要な知識・技術・態度を修得する。

1. 医療機関に入院する高齢者の看護の見学を通して、高齢者への実際の関わり方、看護援助について理解できる
2. 高齢者の支援施設(グループホームやデイサービス)の実習を通して、高齢者の生活上の課題や支援の方法について理解できる

3. 高齢者との関わりを通して、高齢者の生活上の課題や支援の方法について理解できる
4. 高齢者の自尊心を尊重する姿勢をもちコミュニケーションをはかることができる
5. 高齢者支援施設における社会資源の活用について理解できる
6. 高齢者の援助を通して、高齢者看護における倫理的配慮について考えることができる
7. 保健・医療・福祉における看護の役割と多職種連携・協働することの重要性について理解できる
8. 実習を通して、自己の課題が明確にでき及び高齢者観を深めることができる

高齢者看護学実習II（施設における高齢者の看護）

加齢に伴う変化や多様な健康レベルにより、施設で生活する高齢者とその家族の特性を理解し、その人らしさや生活の質（Quality of life）を踏まえた生活支援に必要な看護の知識・技術・態度を修得する。

1. 施設で生活する高齢者の身体的・心理的・社会的変化、生活過程、価値観、スピリチュアリティを踏まえ、包括的視点でアセスメントできる
2. 施設で生活する高齢者の健康障害リスクについてアセスメントできる
3. 施設で生活する高齢者のセルフケア能力と、その人らしさや持てる力を発揮できる支援についてアセスメントできる
4. 施設で生活する高齢者の生活上の課題や支援を明確にすることができる
5. 施設で生活する高齢者のQOLを踏まえた看護援助を計画・実践・評価することができる
6. 高齢者がその人らしく生活するために、多様な健康レベルに応じた多職種や関係機関との連携・協働について理解できる
7. 高齢者を取り巻く環境と家族について理解し、その人らしく生活するための社会資源とその活用の実際について理解できる
8. 高齢者の自尊心を尊重する姿勢で関わり、高齢者看護倫理について考えることができる
9. 実習を通して、自己の課題が明確にでき及び高齢者観を深めることができる

授業計画

	担当 教員	根本 友子 越智 美智子 繁田 法史
		3年次後期 9月～3月の期間に実施する。
		高齢者看護学実習I（2単位 2週間）
		病院実習：病院において看護実践を見学し、高齢者とのコミュニケーションや支援方法を学ぶ。

第1回	内容	<p>施設実習：グループホーム・デイサービスにおける看護を学ぶ。</p> <p>高齢者看護学実習II（2単位 2週間）</p> <p>特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、有料老人ホームで生活する高齢者の生活上の課題を見出し、支援について学ぶ。</p> <p>* 詳細は臨地実習要項を参照すること</p>
-----	----	--

評価方法

1. 評価方法

- 1) 実習出席状況(実習時間の4/5以上の出席)により評価の対象となる
- 2) 実習内容、実習記録、最終レポートを評価表に基づき総合的に評価する
2. 1週目の金曜日に自己評価表に記入し、教員と中間評価を行う
3. 2週目の金曜日に自己評価表に記入し、教員と最終評価を行う

教科書

テキスト

1. 北川公子他：系統看護学講座専門分野II老年看護学第9版第4刷，医学書院，（2,970円）
2. 烏羽研二他：系統看護学講座専門分野II老年看護病態・疾患論第5版第4刷，医学書院，（2,530円）

参考書

参考書

1. 山田律子他：「生活機能からみた老年看護過程」，第4版，医学書院，（4,070円）
2. 亀井智子他：「根拠と事故防止からみた老年看護技術」，第3版，医学書院，（4,400円）

オフィスアワー

越智：金曜日5限 531研究室
 根本：金曜日5限 536研究室
 菊池：金曜日5限 助教室 1

実務経験の有無

本授業に関連する実務経験「有」

その他

事前学習、事前準備については事前オリエンテーションにて詳細を説明します。

「高齢者看護学実習要項」を十分に精読しておいてください。

講義コード	7201901
講義名	精神看護学実習
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	実習
基準単位数	2
時間	90.00
対象学年	3
必修/選択	必修

担当教員

氏名
大井 美樹
塩田 みどり
鳥海 真希
西 将希

総合学習目標

精神に障害をもちながら生きる「人」としての対象理解を深め、精神保健福祉の知識をもとに、対象がその人らしく生きるために必要な精神科看護の実際を学ぶ。

DPとの関連：DP1－②，DP2－①，DP3－①②③，DP4－①③

個別学習目標

1. 対象が社会生活を送る上でどのような難しさを体験しているのか理解できる。
2. 対象がその人らしい日常生活を送るために必要な看護を提供できる。
3. 対象との関係を発展させ、関係性を築くことができる。
4. 社会復帰施設の実習を通し、精神障害者の生活を支えるさまざまな制度やサービスについて理解できる。

準備学修

提示された事前課題に取り組み、精神看護方法論の授業内容を復習し、理解を確実なものとして実習に臨むこと。

授業計画

第1回	担当教員	大井 美樹 塩田 みどり 鳥海 真希 西 将希
		実習期間：3年次後期 実習時間：2単位90時間

内容

実習場所：精神科病院の急性期病棟、亜急性期病棟、回復期病棟、療養病棟のいずれかで行う。

実習方法：2週間の病棟実習を基本に1名の患者を受け持ち、うち1日は社会復帰施設実習として、精神科デイケア見学実習または精神科訪問看護に同行する。

* 詳細は精神看護学実習要項を参照する。

評価方法

実習日数の4/5以上の出席をもって評価の対象とする。

実習目標の達成度を実習記録や実習中の理解により、評価表をもとに総合的に判断する。

教科書

精神看護学概論および精神看護方法論で使用したテキスト

オフィスアワー

大井 水曜日 3限,木曜日 4限

塩田 金曜日 2限

鳥海 木曜日昼休み 4限

西 月曜日 2限,火曜日 2限,水曜日 2限,木曜日 2限,金曜日 2限

実務経験の有無

有

その他

- ・ 1グループ4～5人で編成され、各実習病棟2～3名の配置とする。
- ・ 臨地実習前の全体オリエンテーションおよび精神看護学実習の直前オリエンテーションには必ず出席すること。
- ・ 講義で配布した資料はファイルに綴じておくこと。

講義コード	7202001
講義名	小児看護学概論
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	2
必修/選択	必修

担当教員

氏名
河端 恵美子

総合学習目標

【ディプロマポリシーとの関連：DP1-①②, DP3-③, DP4-①③】

小児の成長発達過程の特徴や子どもへの看護援助を理解し、子どもと家族を取り巻く社会的環境及び特別な状況にある子ども、障害を持った子どもの看護の役割について学ぶ。

個別学習目標

1. 小児看護の特徴と理念を理解する。
2. 小児看護における倫理と子どもの権利を理解する。
3. 小児各期の成長発達の特徴を理解する。
4. 小児期に特徴的な健康問題と看護援助を理解する。
5. 子どもと家族を取り巻く社会のあり方を理解する。
6. 子どもの健康を保持・増進するための看護の役割を理解する。
7. 健康障害が子どもと家族に与える影響について、説明できる。
8. 小児のアセスメントについて、その意義と概要を具体的に述べることができる。

授業計画

第1回	担当教員	河端 恵美子 ガイダンス、小児看護とその対象を理解する
	内容	1) 小児看護とは 2) こども 3) 家族
第2回	担当教員	河端 恵美子 子どもの健康な生活を支える法・制度（1）
	内容	1) 子どもに関する保健統計 2) 子どもの保健・福祉に関する政策と法・制度 3) 子どもの健康増進のための社会資源の活用
第3回	担当教員	河端 恵美子 子どもの健康な生活を支える法・制度（2）
	内容	1) 子どもの教育と制度

		2) 学校保健
第4回	担当教員	河端 恵美子 子どもの成長・発達の特徴と支援（1）
	内容	1)子どもの成長・発達の基礎知識 2)子どもの成長・発達とは 3)形態的・機能的発達 4)心理・社会的発達 5)身体・心理・社会的成長・発達の評価 6) 成長・発達とメディアとの付き合い方
第5回	担当教員	河端 恵美子 新生児期の特徴と支援
	内容	1) 新生児期の形態的・機能的発達、心理社会的発達 2) 子どもと家族のに日常生活への支援 3) 新生児期に起こりやすい健康問題と支援
第6回	担当教員	河端 恵美子 乳児期の特徴と支援
	内容	1) 乳児期の形態的・機能的発達 2) 心理・社会的発達 3) 乳児期の子どもと家族の日常生活への支援 4)乳児期に起こりやすい健康問題と支援
第7回	担当教員	河端 恵美子 幼児期の特徴と支援
	内容	1) 幼児期の形態的・機能的発達 2) 幼児期の心理社会的発達 3) 幼児期の子どもと家族のに日常生活への支援 4) 幼児期に起こりやすい健康問題と支援
第8回	担当教員	河端 恵美子 学童期の特徴と支援
	内容	1) 形態的・機能的発達 2) 心理・社会的発達 3) 学童期の子どもと家族の日常生活への支援 4) 学童期に起こりやすい健康問題と援助
第9回	担当教員	河端 恵美子 思春期の特徴と支援
	内容	1) 思春期の形態的・機能的発達 2) 思春期の心理・社会的発達 3) 思春期の子どもと家族のに日常生活への支援 4) 思春期に起こりやすい健康問題と援助 2) 学童期・思春期の養育と看護
第10回	担当教員	河端 恵美子 小児医療と小児看護の基本
	内容	1) 小児医療の変遷と現状 2) 小児看護の変遷と現状 3) 小児医療における子どもへの倫理的配慮 4) 小児医療における生命倫理 5) 小児医療における子どもの遊び・学習 6) 小児医療における医療安全
第11回	担当教員	河端 恵美子 健康問題を抱える子どもと家族への支援
	内容	1) 身体障害のある子どもと家族への支援 2) 発達障害のある子どもと家族への支援 3) 心の問題を抱える子どもと家族への支援

		4) 児童虐待を受けた子どもと家族への支援 5) 災害を受けた子どもと家族への支援
第12回	担当教員	河端 恵美子 子どもに特徴的な症状と看護 (1)
	内容	1) いつもと違う 2) 痛み 3) 発熱
第13回	担当教員	河端 恵美子 子どもに特徴的な症状と看護 (2)
	内容	1) 発熱 2) 脱水 3) 嘔吐 4) 下痢
第14回	担当教員	河端 恵美子 子どもに特徴的な症状と看護 (3)
	内容	1) 発疹 2) 呼吸困難 3) 痙攣
第15回	担当教員	河端 恵美子 小児看護学概論の学びから
	内容	今までの学習の復習と知識の確認

評価方法

小テスト (30%) ・ 筆記試験 (70%) 合計 (100%)

教科書

<テキスト>

・ 看護学テキストNiCE 小児看護学I 小児看護学概論・小児看護学技術 最新版 編集二宮啓子・今野美紀 南江堂 定価 3600円+税

院.

<参考文献>

・ 中野綾美他：ナーシング・グラフィカ 小児看護学① 小児の発達と看護，メディカ出版.

版.

参考書

<参考書>

・ 奈良間美保他：系統看護学講座 専門分野II 小児看護学概論・小児臨床看護総論 小児看護学①，医学書院.

・ 奈良間美保他：系統看護学講座 専門分野II 小児臨床看護各論 小児看護学②，医学書院.

・ 中野綾美他：ナーシング・グラフィカ 小児看護学① 小児の発達と看護，メディカ出版.

オフィスアワー

金曜日・3・4限・研究室524

その他

1. テキストは必ず持参すること。
2. 適時プリント資料を配布する。
3. 小テストはガイダンスの授業日程で表示する。

2. 授業予定は、変更する場合があります。
3. 課題の未提出や提出期限の遅れは、減点の対象となります。

担当教員実務経験の有無，有

講義コード	7202101
講義名	小児看護方法論
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
時間	60.00
対象学年	3
必修/選択	必修

担当教員

氏名
河端 恵美子
田辺 洋子
横関 祐一郎

総合学習目標

【ディプロマポリシーとの関連：DP1-①②， DP2-①， DP3-①②③， DP4-①③】

小児特有の疾患を理解し、健康障害をもつ子どもと家族に必要な看護実践への基礎的知識と技術を修得する。

個別学習目標

1. 小児期に多い疾患の病態と治療について、説明することができる。
2. 健康障害および入院が子どもと家族に及ぼす影響とその看護について説明することができる。
3. 演習を通して、小児看護に必要な基礎的看護技術が実施できる。
4. 事例を通して、疾患をもつ子どもと家族の看護過程の展開ができる。

準備学修

事前学習：教科書を事前に読み、その日の授業内容を確認する。（各20分）
 事後学修：授業終了後、配布された資料等を見直し、振り返り、自己学修ノートにまとめる。
 小児看護技術においては、小児看護技術学修ノートを作成する。（各30分）

授業計画

第1回	担当教員	河端 恵美子 ガイダンス 子どものアセスメント（1）
	内容	1 アセスメントに必要な技術やその実施方法を理解できる ・コミュニケーション ・健康歴の聴取 ・全身状態の把握
第2回	担当教員	河端 恵美子 子どものアセスメント（2）
	内容	子どものアセスメントに必要な項目や準備物品、方法について理解する。 1 バイタルサイン測定 ・呼吸測定 ・心拍測定 ・体温測定 ・血圧測定 2 身体測定 ・身長、体重、頭囲、胸囲、泉門
	担当教	河端 恵美子

第3回	員	子どもの検査・処置
	内容	1 主な検査法について理解する ・採血 ・採尿・導尿 ・咽頭・鼻腔培養 ・骨髄穿刺・腰椎穿刺 2 処置 ・吸入 ・吸引 ・酸素療法
第4回	担当教員	横関 祐一郎 小児期における代表的疾患①
	内容	小児期の染色体異常、代謝性疾患、内分泌疾患について疾患の特徴や治療について理解できる。
第5回	担当教員	横関 祐一郎 小児期における代表的疾患②
	内容	小児期における感染症、皮膚・アレルギー疾患の特徴や治療について理解できる。
第6回	担当教員	横関 祐一郎 小児期における代表的疾患③
	内容	呼吸器系疾患と循環器疾患の種類や症状、治療について理解できる。
第7回	担当教員	横関 祐一郎 小児期における代表的疾患④
	内容	消化器疾患の各疾病の症状や治療について理解できる。 腎・泌尿器および生殖器疾患の各疾病の症状や治療について理解できる。
第8回	担当教員	横関 祐一郎 小児期における代表的疾患⑤
	内容	小児期における悪性腫瘍の各疾病の特徴や治療について理解できる。 小児期における神経疾患の特徴や治療について理解できる。 小児期における精神疾患（発達障害）の特徴や治療について理解できる。
第9回	担当教員	田辺 洋子 病気・障害のある子どもと家族の看護
	内容	1)病気に対する子どもの理解の特徴と発達段階に応じた説明について理解する。 2)病気・障害、および入院が子ども家族に及ぼす影響とその看護について理解する。
第10回	担当教員	田辺 洋子 状況別にみる子どもと家族の看護①
	内容	1.外来における子どもと家族の看護 1) 外来を受診する子どもと家族の特徴とその看護について理解する。
第11回	担当教員	田辺 洋子 状況別にみる子どもと家族の看護②
	内容	2.検査・処置を受ける子どもと家族の看護 3.入院における子どもと家族の看護 1) 検査・処置を受ける子どもと家族の特徴とその看護について理解する。
第12回	担当教員	田辺 洋子 状況別にみる子どもと家族の看護③
		4.手術を受ける子どもと家族の看護

	内容	1) 手術を受ける子どもに対する術前・術中・術後の看護について理解する。 2) 手術を受ける子どもの家族に対する看護を理解する。
第13回	担当教員	田辺 洋子 状況別にみる子どもと家族の看護④ 5.薬物療法を受ける子どもと家族の看護 6.リハビリテーションにおける子どもと家族の看護
	内容	1)薬物療法を受ける子どもと家族の特徴とその看護について理解する。 2)リハビリテーションを受ける子どもと家族の特徴とその看護について理解する。
第14回	担当教員	田辺 洋子 状況別にみる子どもと家族の看護⑤ 7.救急外来における子どもと家族の看護
	内容	1)小児救急外来を受診する子どもと家族の特徴について理解する。 2)小児救急外来に必要な技術と対応について理解する。
第15回	担当教員	田辺 洋子 状況別にみる子どもと家族の看護⑥ 8.集中治療を受ける子どもと家族の看護 9.活動制限が必要な子どもと家族の看護 10.隔離が必要な子どもと家族の看護
	内容	1)集中治療を受ける子どもと家族の特徴について理解する。 2)活動制限・隔離が必要な子どもと家族の特徴について理解する。
第16回	担当教員	田辺 洋子 状況別にみる子どもと家族の看護⑦ 11.在宅療養する子どもと家族の看護 12.慢性疾患をもつ子どもと家族の看護
	内容	1)在宅療養する子どもと家族の特徴とその看護について理解する。 2)慢性疾患をもつ子どもと家族の特徴とその看護について理解する。
第17回	担当教員	田辺 洋子 状況別にみる子どもと家族の看護⑧ 13.終末期にある子どもと家族の看護
	内容	1)終末期にある子どもと家族の特徴とその看護について理解する。
第18回	担当教員	河端 恵美子 小児看護過程総論
	内容	小児における看護過程について理解できる。 1) 小児看護の変遷がわかる。 2) 小児看護の目標がわかる。 3) 小児における看護過程の展開について理解する。
第19回	担当教員	河端 恵美子 田辺 洋子 小児看護過程の展開① 事例展開
	内容	ネフローゼの事例展開 事例の情報をアセスメント項目に従い分類できる。
第20回	担当教員	河端 恵美子 田辺 洋子 小児の看護過程の実際②
	内容	アセスメント項目に分類した内容からアセスメントでき、看護問題が抽出できる。
第21回	担当教員	河端 恵美子 田辺 洋子 小児の看護過程の実際③
	内容	看護問題の順位付けを行い、看護計画が立案できる。
		河端 恵美子

第22回	担当教員	田辺 洋子 小児の看護過程の実際④
	内容	川崎病の看護過程の展開 事例の情報をアセスメント項目に従い分類できる。
第23回	担当教員	河端 恵美子 田辺 洋子 小児の看護過程の実際⑤
	内容	アセスメント項目に分類した内容からアセスメントでき、看護問題が抽出できる。
第24回	担当教員	河端 恵美子 田辺 洋子 小児の看護過程の実際⑥
	内容	看護問題の順位付けを行い、看護計画が立案できる。
第25回	担当教員	河端 恵美子 田辺 洋子 小児看護技術演習① D
	内容	1)子どものバイタルサインを測定することができる。 2)子どもの身体計測ができる。
第26回	担当教員	河端 恵美子 田辺 洋子 小児看護技術演習② D
	内容	1)プレパレーションについて考え、実施できる。 2)入院している子どもの遊びについて考え、実施できる。
第27回	担当教員	河端 恵美子 田辺 洋子 小児看護技術演習③ D
	内容	1)清潔・衣生活の援助ができる。 ・沐浴、清拭、陰部洗浄・臀部浴、口腔内の清潔、衣服の交換
第28回	担当教員	河端 恵美子 田辺 洋子 小児看護技術演習④ D
	内容	1)食事の援助ができる。 ・食事の援助方法が理解できる。(離乳食)
第29回	担当教員	河端 恵美子 田辺 洋子 小児の看護技術演習⑤ B D
	内容	1)環境を調整する技術ができる。 環境調整、事故を防止する環境づくりについて考える。 抑制ジャケット 2)安全な移動方法がわかる。 乳児の抱き方、ベビーカーでの移乗と移送、ストレッチャーの移乗と移送ができる。
第30回	担当教員	河端 恵美子 田辺 洋子 小児看護技術演習⑥ D B
	内容	1)与薬の技術がわかる。 経口薬・坐薬・注射の基本的な技術がわかる。 子どもが与薬について理解できるように説明方法を検討できる。

評価方法

定期試験 (80%) 演習・看護過程提出物 (20%) 合計100%

教科書

- ・二宮啓子 今野美紀 看護テキストNICE 小児看護学II 小児看護支援論（改訂第4版）子どもと家族の主体性を支える 南江堂
- ・二宮啓子 今野美紀 看護テキストNICE 小児看護学I 小児看護学概論・小児看護技術（改訂第4版）子どもと家族を理解し力を引き出す 南江堂
- ・荃津智子他 発達段階を考えたアセスメントにもとづく小児看護過程 第2版 医歯薬出版株式会社

参考書

- ・奈良間美保他：系統看護学講座 専門分野II 小児臨床看護各論 小児看護学② 医学書院
- ・中野綾美他 ナーシング・グラフィカ 小児看護学② 小児看護技術 メディカ出版

オフィスアワー

河端：金曜日3・4限 研究室524
田辺：金曜日3・4限 研究室522

実務経験の有無

有

その他

1. 使用するテキスト、配布された講義資料を持参すること。
2. 適時プリント資料を配布する。
3. 指定された座席に着席し、私語や携帯電話の使用を禁止する。
4. 提示された課題は、必ず期限を守り提出すること。

講義コード	7202201
講義名	母性看護学概論
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	2
必修/選択	必修

担当教員

氏名
森田 桂子
上野 典子

総合学習目標

母性看護の基盤となる概念と母性看護の対象を身体的特性、心理・社会的特性、リプロダクティブヘルス/ライツ、母子保健統計や関係法規など幅広い視点から理解する。また女性・家族のライフサイクルの変化及び女性のライフステージ各期の心身の変化や健康課題について理解し、看護の役割と支援の方法を考察できる。

看護学科DP1-①②、DP2-①、DP3-①③、DP4-①②③に該当する。

個別学習目標

- 1) 母性看護の基盤となる概念や理論、母性看護の目的について理解し、説明できる。
- 2) 母性看護の対象とその特性を理解し、説明できる。
- 3) 女性のライフステージ各期の健康問題について理解し、女性とその家族への健康支援を考えることができる。
- 4) 母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状を説明できる。
- 5) リプロダクティブヘルス/ライツに関する倫理的課題や支援の必要性を説明できる。
- 6) 性と生殖をめぐる諸問題と、リプロダクティブヘルスケアについて説明できる。

準備学修

事前学習：教科書は事前に読み各回の内容を把握するとともに、母性とは何か、リプロダクティブヘルスケア、女性のライフサイクルとその課題、母子保健統計についてまとめておく(各30分)

事後学習：授業の内容を振り返るとともに、母性看護に関連する新聞記事や雑誌等に目を通し、自分の考えをまとめておく(各90分)

指定したテーマについてレポート課題を出すことがあります。

授業計画

第1回	担当教員	森田 桂子 母性看護の基盤となる概念① 母性とは
	内容	①ガイダンスにより母性看護学概論の学習について概略を知る。 ②母性とは何かを考えながら、愛着・母子相互作用と母子関係形成、家族機能と家族の発達課題、母性看護のあり方を理解する。
第2回	担当教員	森田 桂子 母性看護の基盤となる概念② リプロダクティブヘルス/ライツ、ヘルスプロモーション

	内容	リプロダクティブヘルス/ライツについて理解し、母性看護の対象者を看護するうえで重要な概念であるウィメンズヘルスやヘルスプロモーションの考え方を学習する。
第3回	担当教員	森田 桂子 母性看護の対象理解①
	内容	生殖器の形態・機能について理解し、特に女性については性周期による変化、妊娠の成立を学習する。
第4回	担当教員	上野 典子 母性看護の対象理解②
	内容	女性のライフサイクルと家族の発達に関連から、母性の発達・成熟・継承を理解するとともに社会的・心理的特性から見た女性・男性の発達の違いを理解する。
第5回	担当教員	森田 桂子 女性のライフステージ各期における看護① 思春期
	内容	①ライフサイクルにおける女性の健康と看護について理解を深める。 ②思春期の身体的特徴と心理・社会的特徴を理解し、思春期女性の健康と看護を学習する。
第6回	担当教員	森田 桂子 女性のライフステージ各期における看護② 性成熟期
	内容	性成熟期の身体的特徴と心理・社会的特徴を理解し、性成熟期女性の健康と看護について学習する。
第7回	担当教員	森田 桂子 女性のライフステージ各期における看護③ 更年期、老年期
	内容	更年期・老年期の身体的特徴と心理・社会的特徴を理解し、更年期・老年期の女性の健康と看護について学習する。
第8回	担当教員	上野 典子 セクシュアリティの発達と課題
	内容	①人間の性を示すセクシュアリティについて学ぶ。 ②セクシュアリティを理解し、セクシュアリティの多様性と性的マイノリティ（性指向と性自認、性同一性障害）について考えを深める。
第9回	担当教員	森田 桂子 母性看護における倫理
	内容	①母性看護を实践するうえで重要な生命倫理と看護倫理について理解する。 ②性と生殖をめぐる倫理的課題を考え、母性看護における専門職としての倫理性について理解する。
第10回	担当教員	森田 桂子 母子保健の変遷と母子にかかわる社会資源
	内容	①母性看護の歴史と統計的指標からその変遷を知り、母性看護に関する法律と母

	内容	子保健施策の観点から、母性看護の現状および母性にかかわる社会資源の活用について理解する。 ②母性看護が提供される場や職種について理解を深める。
第11回	担当教員	上野 典子 リプロダクティブヘルスケア① 家族計画、性感染症、HIV感染
	内容	①家族計画と受胎調節法の種類とそれぞれの特徴について理解する。 ②おもな性感染症の概要や症状と女性、妊娠や胎児・新生児への影響について理解し、その予防法や感染した対象者への看護を考えることができる。さらに、HIV感染した女性に対する看護を考えることができる。
第12回	担当教員	上野 典子 リプロダクティブヘルスケア② 人工妊娠中絶、喫煙女性
	内容	人工妊娠中絶が女性の健康に及ぼす影響や社会的課題、喫煙と女性の健康について、その現状および対応・看護について理解する。
第13回	担当教員	上野 典子 リプロダクティブヘルスケア③ 性暴力、児童虐待
	内容	①性暴力被害の実態と社会の対応及び性暴力を受けた女性の健康、児童虐待の現状を理解する。 ②性暴力や児童虐待の問題への対応と看護について理解を深め、援助を考えることができる。
第14回	担当教員	森田 桂子 国際化の中での母性看護/母性看護に必要な看護技術
	内容	①在日外国人の母子保健について現状を理解し、母性看護学領域の国際援助を考えることができる。 ②母性看護に用いられる看護技術（基盤となる看護技術、ヘルスプロモーションのための看護技術、親になる過程および家族適応を促す看護技術、周産期の死に対する看護技術）の特徴とそれらの関連性を理解する。
第15回	担当教員	森田 桂子 上野 典子 学修到達度の確認と解説
	内容	学修到達度の確認と国家試験に出題されやすい母性看護学概論の総括、解説

評価方法

学修到達度の確認（みきわめ試験）80点（80%）課題レポート20点（20%）、合計100点（100%）で評価する。

課題レポートは第2回 リプロダクティブヘルス/ライツに関する課題 4点

第4回 父性に関する課題 4点

第7回 女性のライフサイクルの健康問題に関する課題 8点

第11回 リプロダクティブヘルスケアに関する課題 4点 計20点とする。

教科書

テキスト

系統看護学講座専門分野Ⅱ 母性看護学概論 母性看護学 [1] 森恵美他 医学書院 定価2,500円+税

参考書

参考文献

母性看護学I 概論・ライフサイクル 改訂第2版 齋藤いずみ他 南江堂 定価2,600円+税

母性看護学① 母性看護学概論/ウィメンズヘルスと看護 渡邊浩子他編著 最新版 メジカルフレンド社 定価3,000円+税

厚生労働省の指標 増刊 国民衛生の動向2021/2022 厚生労働統計協会編 厚生労働統計協会 定価2,450円+税

オフィスアワー

森田：火・金曜日 4限

上野：火・金曜日 昼休み、4限

実務経験の有無

有

その他

初回授業時に、講義のすすめ方、テキスト、評価、受講上の留意点など説明します。

2回目からは、提示された課題を予習して参加してください。

適宜プリントを配布します。

この科目は、母性看護学実習の先修条件科目となります。

講義コード	7202301
講義名	母性看護方法論
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	60.00
対象学年	3
必修/選択	必修

担当教員

氏名
森田 桂子
上野 典子
星 玲衣

総合学習目標

マタニティサイクル各期（妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期）の特徴をウェルネスの視点から理解し、母子に必要な援助方法と基本的看護ケア技術を修得する。

看護学科DP1-②、DP2-①、DP3-①②、DP4-①③に該当する。

個別学習目標

- 1) マタニティサイクル期の女性の身体的、心理・社会的特徴と変化を説明できる。
- 2) 新生児期の成長発達の変化と特徴を説明できる。
- 3) マタニティサイクル各期のケアの特徴と看護者の役割を説明できる。
- 4) マタニティサイクル各期の異常について基礎的な知識と看護を説明できる。
- 5) 演習を通して母性看護に必要な看護技術が実施できる。
- 6) 事例を通してウェルネス看護診断に基づく看護過程の展開ができる。

準備学修

事前学習：教科書は事前に読み、マタニティサイクル各期の定義や専門用語の意味等をまとめておく(各30分)。

事後学習：授業の内容を振り返るとともに、母性看護に必要な知識についてまとめる。母性看護技術においては、各技術の手順書を作成する(各90分)。

授業計画

第1回	担当教員	森田 桂子 上野 典子 星 玲衣 ガイダンス/【森田】妊娠期の看護(1) 妊娠期の身体的特性
	内容	①ガイダンスにより授業の進め方、使用教科書の活用方法が理解できる。 ②妊娠の生理、胎児の発育とその整理、妊婦の身体的特徴と変化について理解する。
第2回	担当教員	森田 桂子 妊娠期の看護(2) 妊娠期の心理・社会的特性、妊婦と胎児のアセスメント
	内容	①妊娠期の心理的特徴と妊婦・家族の新しい役割獲得に向けた支援について理解する。 ②妊婦の身体的特徴と生理的特徴をふまえ、妊婦と胎児の健康状態のアセスメン

		トの視点が理解できる。
第3回	担当 教員	森田 桂子 妊娠期の看護(3) 妊婦と家族の看護① 食生活
	内容	妊婦と胎児の健康の保持・増進のための妊娠中の食生活を理解し、妊婦のセルフケア能力を高める援助について学習する。
第4回	担当 教員	森田 桂子 妊娠期の看護(4) 妊婦と家族の看護② 日常生活
	内容	妊婦のセルフケア能力を高める援助について、日常生活への保健指導を理解する。
第5回	担当 教員	森田 桂子 妊娠期の看護(5) 妊婦と家族の看護③ 親になるための準備
	内容	出産・育児への準備を通して家族役割の変化とその獲得について理解する。
第6回	担当 教員	森田 桂子 妊娠期の看護(6) 妊娠期の異常と看護
	内容	ハイリスク妊娠や妊娠期の感染症、疾患、合併症など妊娠の異常についてその要因と看護について理解する。
第7回	担当 教員	星 玲衣 分娩期の看護(1) 分娩経過、産婦と家族のアセスメント
	内容	①分娩期の経過に伴う身体的変化及び心理・社会的変化を理解し、正常な分娩進行と妊婦・胎児の健康状態、心理・社会的な問題に焦点を合わせたアセスメントを学習する。 ②分娩の進行に沿った援助の実際を理解する。
第8回	担当 教員	森田 桂子 分娩期の看護(2) 分娩期の産婦と家族の看護、分娩期の異常と看護
	内容	①産婦及び家族のニーズに応じた援助について理解する。 ②分娩経過における異常を理解し、異常時の看護について学習する。
第9回	担当 教員	上野 典子 新生児期の看護(1) 新生児の生理と機能、胎外生活への適応と成熟度評価
	内容	新生児の生理的特徴と子宮外環境に適応するまでの経過を理解する。
第10回	担当 教員	上野 典子 新生児期の看護(2) 新生児の健康状態のアセスメント①
	内容	新生児の健康状態のアセスメントの方法とそのポイントを理解し、生理的变化や新生児の生活についてアセスメントできる。
	担当	上野 典子

第11回	教員	新生児期の看護(3) 新生児の健康状態のアセスメント② 新生児の行動、母子関係の評価
	内容	新生児の行動と母子相互作用、愛着形成について理解を深める。
第12回	担当教員	上野 典子 新生児期の看護(4) 出生直後から退院までのケア
	内容	出生直後から生後24時間までの看護及び移行期を過ぎてからの新生児への看護について理解する。
第13回	担当教員	上野 典子 新生児期の看護(5) 新生児期の異常と看護
	内容	新生児にみられる異常とその診断、アセスメントを学習し、健康問題を持つ新生児の看護について理解する。
第14回	担当教員	森田 桂子 産褥期の看護(1) 産褥経過、褥婦の身体的変化、心理・社会的変化
	内容	①妊娠中に生じた母体の変化が復古していく過程と分娩後の乳房の変化と乳汁分泌について学習し、褥婦の身体的変化と産褥経過を理解する。 ③子どもを迎えた褥婦とその家族の心理・社会的変化、母親役割の獲得や家族関係の再構成など母子を支える看護を理解する。
第15回	担当教員	森田 桂子 産褥期の看護(2) 褥婦のアセスメント
	内容	分娩後の身体的変化や心理的適応状態から褥婦の健康状態のアセスメントについて理解する。
第16回	担当教員	森田 桂子 産褥期の看護(3) 褥婦と家族の看護
	内容	褥婦のセルフケア能力の獲得に向け、身体的変化に伴うニーズへの援助や産褥早期の看護、退院後の褥婦へのサポートについて理解する。
第17回	担当教員	星 玲衣 産褥期の看護(4) 産褥期に必要な援助技術
	内容	褥婦への具体的な援助として、子宮復古促進、母乳栄養の確立、育児にかかわる看護を理解し、退院後の育児支援について考えることができる。
第18回	担当教員	森田 桂子 産褥期の看護(5) 産褥期の異常と看護
	内容	産褥期に起こりやすい子宮復古不全、発熱、精神症状など、産褥期の問題とその看護について理解し、回復への看護を考えることができる。
第19回	担当教員	森田 桂子 上野 典子 星 玲衣
	内容	妊娠期の看護技術 妊婦の健康診査に必要な技術

	内容	AL/D 演習① 妊婦健康診査の目的及び健康診査で用いられる技術（腹囲測定、子宮底長測定、レオポルド触診法、胎児心音の聴取、NST）の目的・手順・注意事項を理解し、演習を通して技術を習得する。
第20回	担当教員	森田 桂子 上野 典子 星 玲衣 妊娠期・分娩期の看護技術 妊婦体験、分娩期の呼吸法と補助動作
	内容	AL/D 演習② ①妊婦体験を通して妊婦の心理を理解するとともに、妊婦への援助(日常生活動作、食事指導含む)を考える。 ②産婦と家族のケアを通して分娩をイメージし、対象に寄り添った看護（産痛緩和、分娩促進援助、安楽な体位）を理解できる。
第21回	担当教員	森田 桂子 上野 典子 星 玲衣 妊娠期・産褥期の看護技術 退行性変化の観察、進行性変化の観察
	内容	AL/D 演習③ ①妊婦の健康診査に必要な技術(モデルを使用) を再確認する。 ②産婦の健康診査に必要な技術の目的、方法を理解し、モデルを使用して産婦の進行性変化、退行性変化を促進する援助技術を取得する。
第22回	担当教員	森田 桂子 上野 典子 星 玲衣 産褥期の看護技術 退行性変化の観察、進行性変化の観察、授乳への援助（ポジショニングとラッチオン）
	内容	AL/D 演習④ ①産婦の健康診査に必要な技術をモデルを使用して再確認する。 ②モデルを使用し、授乳時の産婦への援助（ポジショニングとラッチオン）を実際に行い理解する。
第23回	担当教員	森田 桂子 母性看護過程の展開(1) ヘルスプロモーション型看護診断、ウェルネスの考え方、産婦と新生児の事例展開
	内容	①ウェルネス診断に基づく母性看護過程の展開について理解する。 ②産婦と新生児の事例を紹介し、ペーパーシミュレーションを行う。
第24回	担当教員	森田 桂子 上野 典子 星 玲衣 母性看護過程の展開(2) 事例展開
	内容	AL/B 産婦と新生児の事例に基づき情報収集と情報の整理をグループワークで実践する。
第25回	担当教員	森田 桂子 上野 典子 星 玲衣 母性看護過程の展開(3) 事例展開
	内容	AL/B 産婦と新生児の看護過程の展開;事例のアセスメントをふかめ、看護診断を抽出する（グループワークで行う）。
第26回	担当教員	森田 桂子 上野 典子 星 玲衣 母性看護過程の展開(4) 事例展開

	内容	褥婦と新生児の看護過程の展開；事例のアセスメント、看護診断から計画（具体策）を立案する（個人ワーク）。
第27回	担当教員	森田 桂子 上野 典子 星 玲衣 新生児期の看護技術(1) バイタルサイン測定と全身状態の観察、新生児の清潔方法
	内容	AL/D 演習⑤ ①新生児の健康診査で用いられる技術(バイタルサイン及び全身の観察)の目的・手順・注意事項を理解し、モデルを使用して実施できる。 ②新生児の清潔ケアの目的を理解し、方法を選択し安全・安楽に配慮しながら清潔ケアを実施できる（モデル使用）。
第28回	担当教員	森田 桂子 上野 典子 星 玲衣 新生児期の看護技術(2)新生児のバイタルサイン測定、全身状態の観察、新生児の清潔方法
	内容	AL/D 演習⑥ 新生児の健康診査に必要な技術（バイタルサイン測定、全身の観察、清潔方法）をモデルを使用して確実に実施できる。
第29回	担当教員	森田 桂子 上野 典子 星 玲衣 新生児期の看護技術(3) 沐浴、更衣、おむつ交換
	内容	AL/D 演習⑦ ①新生児の沐浴の目的、方法を理解し、モデルを使用して一人でも実施できるレベルまで演習を行う。 ②新生児の衣服の交換、おむつ交換を新生児の安楽を考えて実施できる。
第30回	担当教員	森田 桂子 上野 典子 星 玲衣 新生児期の看護技術(3)沐浴、新生児の抱き方とびん哺乳
	内容	AL/D 演習⑧ ①新生児の沐浴の目的、方法を理解し、モデルを使用して一人でも実施できるレベルまで繰り返し演習を行う。 ②母親の乳房の形態に合わせた抱き方をモデルを使用して実施する。瓶哺乳による授乳体験ができる。

評価方法

定期試験70点(70%)、演習・看護過程の提出物30点(30%)、計100点(100%)

提出物30点(30%)：演習時の提出物(チェックリスト4回、レポート3回 学習ノート) 15点(15%)

看護過程の提出物(情報用紙、アセスメント、看護計画) 15点(15%)

教科書

テキスト

系統看護学講座専門分野II母性看護学各論母性看護学 [2] 森恵美他 医学書院 3,100円+ 税

ウェルネス看護診断にもとづく母性看護過程第3版 太田操編 医歯薬出版 2,300円+ 税

ナーシング・グラフィカ 母性看護学③母性看護技術第5版 荒木奈緒 中込さと子 小林康江編 メディカ出版 2,860円(税込)

参考書

参考文献

病気がみえるvol.10 産科 医療情報科学研究所編 メディックメディア 3,600円+ 税

ナーシング・グラフィカ 母性看護学② 母性看護の実践第2版 小林康江 中込さと子 荒木奈緒編
メディカ出版 3,960円（税込）

カラー写真で学ぶ 周産期の看護技術 最新版 櫛引美代子 医歯薬出版株式会社 1,800円+税

オフィスアワー

森田：火曜日 2限、木曜日 4限

上野：火曜日 4限、金曜日 3限

星：金曜日1・2限

実務経験の有無

有

その他

テキスト、評価、受講上の留意点について初回講義時に説明する。

適宜プリント資料を配布する。

母性看護技術および看護過程の展開は小グループで実施する。演習時のグループについては、演習1回目に説明する。演習は小グループで行うため内容を組み合わせて実施する場合があります。

この科目は、母性看護学実習の先修条件科目である。

講義コード	7202401
講義名	小児看護学実習
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	実習
基準単位数	2
時間	90.00
対象学年	3
必修/選択	必修

担当教員

氏名
河端 恵美子
田辺 洋子

総合学習目標

【ディプロマポリシーとの関連：DP1-②， DP2-①， DP3-①②③， DP-①②③】

小児各期の成長発達の特徴と健康段階による子どもと家族への影響を理解し、健康段階に応じた小児看護を実践するために必要な基礎的能力を養う。

個別学習目標

1. 小児の日常生活を通して成長発達段階を理解できる。
2. 小児に適したコミュニケーション方法を考え、実践できる。
3. 健康を障害された小児の病態生理・治療を理解し、健康の回復と成長発達の促進を考慮した看護を理解し、実践できる。
4. 小児をめぐる保健・福祉・教育の各機関との連携の重要性を理解し、看護の役割について考えることができる。
5. 小児との関わりを通して、自己の小児看護観を育むことができる。

準備学修

事前学修：小児の成長・発達、小児看護実践に必要な知識と看護技術について、作成した自己学修ノートに追記し、技術演習を行っておく。（60分）
 授業時事例展開した看護過程の振り返りをする。（60分）
 実習施設のHPを閲覧し、実習施設の概要、看護体制等まとめておく。（30分）

授業計画

第1回	担当教員	河端 恵美子 田辺 洋子 1. 授業計画
	内容	1.実習単位：2単位 90時間（2週間） 2.実習期間：2023年9月～2024年3月 3.実習施設：総合病院およびクリニックの小児科病棟、小児科外来、保育園 4.実習方法：各施設において、健康を障害された子どもとその家族の看護について学ぶ。 保育園において、子どもの成長発達や日常生活における支援を学ぶ。 * 詳細は、小児看護学実習要項とオリエンテーション資料を参照のこと。

評価方法

実習時間の4/5以上出席していること。

別紙実習評価表に基づき評価する。

教科書

- ・二宮啓子・今野美紀 看護テキストNICE 小児看護学II 小児看護支援論（改訂第4版）子どもと家族の主体性を支える 南江堂
- ・二宮啓子・今野美紀 看護テキストNICE 小児看護学I 小児看護概論・小児看護技術（改訂第4版）子どもと家族を理解し力を引き出す 南江堂
- ・荃津智子他：発達段階を考えたアセスメントにもとづく小児看護過程，医歯薬出版株式会社

参考書

- ・病気がみえる Vol15 小児科 MEDIC MEDIA
- ・山元恵子他：写真でわかる小児看護技術 アドバンス，インターメディカ.
- ・浅野みどり他：根拠と事故防止からみた小児看護技術第2版，医学書院.

オフィスアワー

河端：金曜日3・4限 研究室524

田辺：金曜日3・4限 研究室522

実務経験の有無

有

その他

小児看護学概論、小児看護方法論を復習し、講義で配布された資料を持参すること。
実習事前課題の項目を学習し、実習で活用できるようにすること。

講義コード	7202501
講義名	母性看護学実習
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	実習
基準単位数	2
時間	90.00
対象学年	3
必修/選択	必修

担当教員

氏名
森田 桂子
上野 典子
星 玲衣

総合学習目標

母性看護の対象(妊婦・産婦・褥婦・新生児とその家族)の特性を理解し、母子ともに健康に過ごせるように、母子とその家族に対する看護の基礎的な実践能力を養う。

看護学科DP1-②、DP2-①、DP3-①②③、DP4-①②③に該当する。

個別学習目標

- 1) 妊婦と胎児の健康状態を理解し、妊娠が正常に経過していることが説明できる。
- 2) 分娩各期の経過から産婦の特徴を理解し、必要な看護を考えることができる。
- 3) 褥婦が回復し、心身の変化に適応していく過程を理解し、ウェルネスの視点に基づいて必要な看護を実践できる。
- 4) 新生児が胎外生活に適応していく過程や生理的变化を理解し、援助ができる。
- 5) 退院に向けて諸条件を整え、家族を含めた指導の必要性が理解できる。
- 6) 地域における母子保健活動と医療チームの連携について理解し、母子を支援する継続的な看護を考えることができる。
- 7) 生命の尊厳について考え、自己の母性観・父性観を深めることができる。

準備学修

母性看護に必要な技術の手順を確認し、手順書の追記、技術演習を行っておく(各60分)。
母性看護過程の展開で使用した事例のアセスメント、看護計画を見直す。特に看護計画は実践可能なものを追記する(90分)。
実習施設のHPを閲覧し、産科病棟の概要、看護体制等についてまとめておく(30分)。

授業計画

第1回	担当教員	森田 桂子 上野 典子 星 玲衣 母性看護学実習
	内容	母性看護学実習 1. 実習期間：2023年9月～2024年3月 2. 実習時間：2単位 90時間(2週間) 3. 実習施設：総合病院および診療所の産科病棟および産科外来、助産院

4. 実習方法：各施設において、妊婦・産婦・褥婦・新生児とその家族の看護を学ぶ。
助産院では、地域における母子保健活動についても学ぶ。

※詳細は、母性看護学実習要項を参照のこと。

評価方法

実習時間の4 / 5以上出席していること。

別紙実習評価表に基づき評価する。

教科書

系統看護学講座専門分野II 母性看護学各論 森恵美他 医学書院 3,100円+税
ウェルネス看護診断に基づく母性看護過程第3版 太田操編 医歯薬出版 2, 300円+税
ナーシング・グラフィカ 母性看護学 (3) 母性看護技術 第5版 荒木奈緒他 メディカ出版
2,860円(税込)

参考書

参考文献
病気が見えるVol10 産科 医療情報科学研究所編 メディックメディア 3, 500円+税
母性看護実習クイックノート 池西静江他 照林社 900円+税

オフィスアワー

森田：金曜日 4限
上野：金曜日 4限
星：金曜日 4限

実務経験の有無

有

その他

母性看護学概論、母性看護方法論を復習し、授業で配付した資料を実習で活用すること。
事前学習項目は実習要項を参照し、指定の項目を学習し理解したうえで実習で活用できるように工夫すること。

講義コード	7203101
講義名	在宅看護方法論
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
時間	60.00
対象学年	3
必修/選択	必修

担当教員

氏名
松浦 真理子
入江 多津子
諏訪免 典子
繁田 法史

総合学習目標

在宅看護実践特有の生活と健康を支える看護技術について、講義・演習を通して修得する。また、在宅看護における紙上事例を展開し、在宅療養者とその家族に対する看護につなげる思考過程と必要な援助方法について学修する。

看護学科DP1-①②、2-①、3-①②③、4-①②③に該当する。

個別学習目標

- 1) 暮らしの場で看護を行うための心構えについて説明できる。
- 2) 在宅療養生活を支える基本となる技術について説明できる。
- 3) 在宅療養者の日常生活を支える看護技術について説明できる。
- 4) 在宅療養を支える看護技術（医療ケア）について説明できる。
- 5) 地域・在宅における時期別の看護について説明できる。
- 6) 在宅看護の特性を踏まえた看護過程の展開方法について理解できる。
- 7) 在宅療養における看護過程の展開におけるポイントを理解できる。

準備学修

事前準備：①在宅看護学概論で学習した在宅看護の対象についてまとめておく。

②基礎看護技術について復習しておく。

③看護過程論について復習しておく。

事後学習：①授業の名利用を振り返り、在宅療養者の暮らしを支えるために必要な知識・技術・態度についてまとめる。

②対象の状況に応じた在宅看護の方法について考察する。

授業計画

第1回	担当教員	松浦 真理子 授業ガイダンス（在宅看護学実習に関することも含む） 暮らしの場における看護の心構え 参考書②50-56
	内容	①科目の位置づけ、総合学習目標、到達目標について理解できる。 ②授業の進め方、教科書・参考書の活用方法について理解できる。 ③治療の場と暮らしの場の違いについて理解できる。 ④暮らしの場で看護実践を行う際の視点について理解できる。 ⑤地域・在宅看護実践に欠かせない要素について理解できる。
		繁田 法史

第2回	担当教員	在宅療養生活を支える基本的な技術 ①セルフケアを支える対話・コミュニケーション 175-179、参考書②57-61 繁田・入江・松浦・諏訪免 講義・演習
	内容	①コミュニケーションの基本について理解できる。 ②対象者と看護師のパートナーシップについて理解できる。 ③対象者と看護師の対話・コミュニケーションについて理解できる。
第3回	担当教員	松浦 真理子 在宅療養生活を支える基本的な技術 ②療養者の暮らしを取り巻くリスクと安全対策 参考書②70-78 ★ 松浦・入江・諏訪免・繁田 講義・演習
	内容	①在宅看護に求められるヘルスアセスメントについて理解できる。 ②療養者の暮らしを取り巻くリスクについて理解できる。 ③療養者が安全に外出するための準備と方法について理解できる。
第4回	担当教員	諏訪免 典子 在宅療養生活を支える基本的な技術 ③在宅看護実践におけるリスクマネジメント 参考書②80-85 講義
	内容	①在宅看護でリスクが発生しやすい要因について理解できる。 ②在宅で起こりうる事故の種類と特徴について理解できる。 ③事故発生時の対応について理解できる。 ④事業所における事故の予防対策の構築について理解できる。 ⑤在宅看護における看護師への暴力・ハラスメントと防止対策について理解できる。
第5回	担当教員	松浦 真理子 在宅療養生活を支える基本的な技術 ④在宅看護とリハビリテーション 松浦・入江・諏訪免・繁田 講義・演習
	内容	①リハビリテーションの基本的な考え方について理解できる。 ②在宅療養生活におけるリハビリテーションの目的と意義について理解できる。 ③障害や状態に応じた生活リハビリテーションについて理解できる。
第6回	担当教員	入江 多津子 在宅療養生活を支える基本的な技術 ⑤重症心身障害者（児）の在宅ケアの基本 松浦・入江・諏訪免・繁田 講義・演習
	内容	①重症心身障害者（児）と家族について理解できる。 ②重症心身障害者（児）の社会参加の意義について理解できる。 ③重症心身障害者（児）の日常生活上の支援について理解できる。
第7回	担当教員	諏訪免 典子 地域における暮らしを支える日常生活援助技術 ①排泄に関する在宅看護技術 195-200 諏訪免・入江・松浦・繁田 講義・演習
	内容	①暮らしにおける排泄とその援助の意義について理解できる。 ②排泄のアセスメントについて理解できる。 ③目的に応じた排泄援助の実際について理解できる。

第8回	担当教員	松浦 真理子 地域における暮らしを支える日常生活援助技術 ②清潔・衣生活に関する在宅看護技術 210-212 松浦・入江・諏訪免・繁田 講義・演習
	内容	①在宅における清潔援助の特徴について理解できる。 ②清潔に関するアセスメントについて理解できる。 ③在宅における清潔援助のポイントについて理解できる。
第9回	担当教員	松浦 真理子 療養生活を支える看護技術（医療ケア） ①医療ケアの原理原則 参考書③92-98 講義
	内容	①医療ケアの意義と目的について理解できる。 ②観察とアセスメントについて理解できる。 ③在宅療養者と家族のセルフマネジメント力の維持・向上のための支援について理解できる。 ④在宅療養の場で生じる薬物療法に関するトラブルと回避方法について理解できる。 ⑤多職種との連携・社会資源の活用について理解できる。
第10回	担当教員	諏訪免 典子 療養生活を支える看護技術（医療ケア） ②褥瘡ケアとストマケアについて 232-238、246-250 諏訪免・入江・松浦 講義・演習
	内容	①在宅における褥瘡ケアとストマケアの意義と目的について説明できる。 ②在宅における褥瘡ケアとストマケアにおけるアセスメントについて説明できる。 ③在宅における褥瘡ケアとストマケアの実際について学ぶ。
第11回	担当教員	入江 多津子 療養生活を支える看護技術（医療ケア） ③在宅における栄養法 254-266 松浦・入江・諏訪免 講義・演習
	内容	①在宅経管栄養法、在宅中心静脈栄養法の目的と体調の特徴について理解できる。 ②在宅経管栄養法、在宅中心静脈栄養法のアセスメントについて理解できる。 ③在宅経管栄養法、在宅中心静脈栄養法のリスクマネジメントについて理解できる。 ④在宅経管栄養法、在宅中心静脈栄養法の援助の実際について学ぶ。
第12回	担当教員	松浦 真理子 療養生活を支える看護技術（医療ケア） ④在宅における排痰ケア 276-277 松浦・入江・諏訪免 講義・演習
	内容	①在宅における排痰ケアの意義について理解できる。 ②排痰ケアにおけるアセスメントについて理解できる。 ③排痰ケアの実際について学ぶ。 ④排痰ケアで生じやすいトラブル・合併症について理解できる。
		松浦 真理子

第13回	担当教員	療養生活を支える看護技術（医療的ケア） ⑤食生活・嚥下に関する在宅看護技術-1.アセスメント 188-192、参考書②105-111 松浦・入江・諏訪免（ST他） 講義・演習
	内容	①在宅での食生活の特徴について理解できる。 ②栄養状態のアセスメントが理解できる。 ③経口摂取の意義について理解できる。 ④経口摂取のためのアセスメントの視点について理解できる。
第14回	担当教員	松浦 真理子 療養生活を支える看護技術（医療的ケア） ⑥食生活・嚥下に関する在宅看護技術-2.経口摂取の実際 188-192、参考書②111-119 諏訪免・入江・松浦（ST他） 講義・演習
	内容	①摂食・嚥下の観察と評価方法について理解できる。 ②看護師が行う摂食・嚥下訓練の実際について理解できる。 ③嚥下機能に応じた食形態について理解できる。 ④食支援における地域連携について理解できる。
第15回	担当教員	松浦 真理子 療養生活を支える看護技術（医療的ケア） ⑦在宅における呼吸法と在宅酸素療法（HOT） 276-277 松浦・入江・諏訪免 講義・演習
	内容	①呼吸生理について理解できる。 ②在宅酸素療法（HOT）の意義と目的、対象の特徴について理解できる。 ③在宅酸素療法（HOT）におけるアセスメントについて理解できる。 ④在宅酸素療法（HOT）の実際について学ぶ。 ⑤在宅酸素療法（HOT）の安全管理と援助について理解できる。
第16回	担当教員	松浦 真理子 療養生活を支える看護技術（医療的ケア） ⑧在宅における呼吸法と在宅酸素療法（NPPV） 276-277 松浦・入江・諏訪免 講義・演習
	内容	①呼吸生理について理解できる。 ②在宅人工呼吸療法（NPPV）の意義と目的、対象の特徴について理解できる。 ③在宅人工呼吸療法（NPPV）におけるアセスメントについて理解できる。 ④在宅人工呼吸療法（NPPV）の実際について学ぶ。 ⑤在宅人工呼吸療法（NPPV）の安全管理と援助について理解できる。
第17回	担当教員	松浦 真理子 在宅看護の展開 ①在宅看護における看護過程の基本 講義
	内容	①在宅看護過程の着眼点と対象について理解できる。 ②在宅看護過程の意義と目的について理解できる。 ③在宅看護過程の特徴について理解できる。 ④在宅看護過程の概要について理解できる。
第18回	担当教員	松浦 真理子 在宅看護の展開 ②情報収集と情報整理：紙上事例を用いた在宅看護過程 松浦・入江・諏訪免

		演習
	内容	①4領域に基づき情報を整理することができる。
第19回	担当教員	松浦 真理子 在宅看護過程 ③統合的機能関連図を活用した情報の整理 松浦 講義
	内容	①総合的機能関連図に情報を整理する方法について理解できる。
第20回	担当教員	松浦 真理子 在宅看護過程 ④統合的機能関連図を活用した情報の整理：紙上事例を用いた在宅看護過程 松浦・入江・諏訪免 演習
	内容	①総合的機能関連図に情報振り分けることができる。
第21回	担当教員	松浦 真理子 在宅看護過程 ⑤情報の関係の整理 松浦・入江・諏訪免 講義・演習
	内容	①情報の関係（つながり）を整理する方法について理解できる。 ②原因から結果の方向に矢印を記入できる。
第22回	担当教員	松浦 真理子 在宅看護過程 ⑥情報の解釈・判断：紙上事例を用いた在宅看護過程 松浦・入江・諏訪免 講義・演習
	内容	①情報を統合して解釈する方法について理解できる。 ②情報と情報の関連を点検する方法について理解できる。
第23回	担当教員	松浦 真理子 在宅看護過程 ⑦看護課題の命名：紙上事例を用いた在宅看護過程 松浦・入江・諏訪免 講義・演習
	内容	①情報と情報の関係（つながり）を再点検し、看護課題を明確にする方法について理解できる。 ②情報と情報の関係（つながり）を再点検し、看護課題を命名することができる。
第24回	担当教員	松浦 真理子 在宅看護過程 ⑧看護計画の立案・実施・評価 松浦 講義
	内容	①看護目標（長期目標・短期目標）の設定方法について理解できる。 ②具体策の立案方法について理解できる。 ③看護過程の実施・評価について理解できる。
第25回	担当教員	松浦 真理子 在宅看護過程 ⑨看護計画の立案：紙上事例を用いた在宅看護過程 松浦・入江・諏訪免 講義・演習
	内容	①療養者の期待される成果を考え、看護目標（長期目標・短期目標）を設定することができる。 ②趣味レーションをしながら療養者像を作り、具体策を考えることが理解できる。
		松浦 真理子

第26回	担当教員	在宅看護過程 ⑩看護過程の展開の発表会の準備と発表 松浦・入江・諏訪免 演習
	内容	①準備段階において、メンバー間での合意形成が図れる。 ②発表会に向けて主体的に動くことができる。
第27回	担当教員	松浦 真理子 在宅看護過程 ⑪看護過程演習の成果発表会（1～8グループ） 松浦・入江・諏訪免 演習
	内容	①期待される成果をもたらすための最良の看護援助を考え、発表することができる。 ②発表会に参加することで新たな気づきを得ることができる。
第28回	担当教員	松浦 真理子 在宅看護過程 ⑫看護過程演習の成果発表会（9～16グループ） 松浦・入江・諏訪免 演習
	内容	①期待される成果をもたらすための最良の看護援助を考え、発表することができる。 ②発表会に参加することで新たな気づきを得ることができる。
第29回	担当教員	松浦 真理子 在宅看護における倫理 松浦・入江・諏訪免 23-24、参考書②51、参考書③36-39 講義・演習
	内容	①看護倫理の概要と活用 ②在宅看護特有の倫理問題 ③倫理調整
第30回	担当教員	松浦 真理子 在宅看護方法論のまとめ 松浦 講義
	内容	①暮らしの場で看護を行うための心構え ②在宅療養生活を支える基本となる技術 ③在宅療養者の日常生活を支える看護技術について説明できる。 ④在宅療養を支える看護技術（医療ケア）について説明できる。 ⑤地域・在宅における時期別の看護について説明できる。 ⑥在宅看護の特性を踏まえた看護過程の展開方法について理解できる。 ⑦在宅療養における看護過程の展開におけるポイントを理解できる。

評価方法

定期試験 60% (60点)
課題レポート 30% (30点) (提出物6回)
演習の取り組み 10% (10点)
*提出遅れは、評価対象とならない。

教科書

テキスト
①『系統看護学講座 統合分野 在宅看護論(第5版)』 編著：秋山正子他 医学書院 2,600+税
②『強みと弱みからみた地域・在宅看護過程(第2版)』 編集：河野あゆみ 医学書院 3,800円+税

参考書

テキスト
①『系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論〔1〕 地域・在宅看護の基盤』 編著：河原加代

子 医学書院 2,000円+税

②『系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論〔2〕 地域・在宅看護の実践』 編著：河原加代

子 医学書院 2,500円+税

③在宅看護論②『在宅療養を支える技術』 編者：臺有桂 メディカ出版社 2,800円+税

オフィスアワー

別途提示します。

実務経験の有無

実務経験の有無：有

その他

*在宅看護学実習に向けての科目（授業）である。そのため、主体的・積極的な学修活動が必要となる。

講義コード	7203401
講義名	在宅看護学実習
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	実習
基準単位数	2
時間	90.00
対象学年	3
必修/選択	必修

担当教員

氏名
松浦 真理子
入江 多津子
諏訪免 典子

総合学習目標

在宅看護学実習では、訪問看護ステーションでの実習を基盤とし、様々な療養者宅に訪問看護師等と同行訪問することで具体的な看護内容および訪問看護師の役割を学修する。また、在宅療養環境および地域で生活する療養者やその家族の特性を理解し、保健・医療・福祉システム（法・制度を含む）を踏まえ、活用している社会資源や多職種連携の実際についても学修する。受け持ち療養者宅には、実習期間中に2回以上、同行訪問をすることで看護過程を展開（アセスメントおよび看護の方向性まで）し、実践している看護の意義を考察する。

DP1-①②、DP2-①、DP3-①②③、DP4-①②③に該当する。

個別学習目標

1. 在宅療養者とその家族の特徴を踏まえた在宅看護の実際を理解する。
2. 在宅療養者とその家族について身体的、精神的、社会的側面からアセスメントし、必要な在宅看護の方向性を明示する。
3. 訪問看護師および訪問看護ステーションの役割と機能を理解する。
4. 看護学生としての社会的役割と責任を踏まえ、適切に行動する。

準備学修

在宅看護学概論、在宅看護学方法論、他参考資料の復習をして実習んでください。

授業計画

	担当教員	松浦 真理子 入江 多津子 諏訪免 典子
		詳細は実習要項参照 〈実習施設〉 訪問看護ステーション（千葉県内他）計15施設

第1回

内容

〈実習内容〉

在宅看護学実習では、生活者としての在宅療養者とその家族への理解を深め、地域の保健・医療・福祉サービス機関と連携しながら、在宅療養者および家族への看護を実践するための能力と態度を養う。

1 療養者およびその家族のニーズを理解し、必要な看護とその工夫について学ぶ。

2 療養者およびその家族との信頼関係を構築することの重要性とプロセスを学ぶ。

〈実習方法〉

訪問看護師等との同行訪問が基本となる。訪問先は居宅の他、病院や高齢者施設等も含む。

〈実習期間等〉

2023年9月～2024年3月までの2週間（10日間：学内日を含む）・2単位・90時間

〈実習時間〉

原則として、8：30～16：00（実習施設による）

〈グループメンバー数〉

1～3名

評価方法

詳細は実習要項参照

在宅看護学実習評価票に基づき、実習施設の管理者および指導者等の意見も参考に評価する。

教科書

参考書等

①『系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 第5版』河原加代子他 医学書院 2,600円＋税

参考書

参考書等

①『系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 第5版』河原加代子他 医学書院 2,600円+税

オフィスアワー

別途提示する。

実務経験の有無

実務経験の有無：有

その他

- ・実習要項を熟読し、実習目的・目標を理解して実習に臨むこと。
- ・実習に関連する授業内容を十分に復習しておくこと。
- ・看護過程の展開に関しては、在宅看護方法論の授業での学びが必要となるため、十分に想起して取り組むこと。
- ・積極的、能動的、主体的に取り組むこと。
- ・体調管理に十分留意し、遅刻・欠席・早退をしないこと。
- ・実習態度（挨拶・言葉遣い等）、訪問時のマナー、個人情報の管理に十分気をつけること。

担当教員実務経験の有無， 有

講義コード	7203501
講義名	公衆衛生看護学概論
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名
大澤 豊子
河野 好美
渡部 幸子

総合学習目標

公衆衛生看護の理念と目的、歴史的動向を概観し、地域を基盤とする公衆衛生看護活動の特性について基本的な考え方を理解する。地域の人々を個人・家族・集団・組織から捉えて、生活の特徴を健康状態および生活状況から理解する。さらに、地域の人々の健康状態および健康課題について、その個人や人々をとりまく環境と関連させて理解する。

【看護学科DP1 ①② DP2 ① DP4 ①②③に該当する。】

個別学習目標

- 1) 公衆衛生看護の理念・目的・歴史的変遷が説明できる
- 2) 公衆衛生看護活動の特性について説明できる
- 3) 公衆衛生看護の対象・活動の場と展開の基盤と方法を説明できる
- 4) 地域の人々の健康状態について、とりまく環境と関連させて説明できる
- 5) 公衆衛生看護における管理について説明できる。
- 6) 公衆衛生看護の課題を明確にし、公衆衛生看護の役割と課題が説明できる

準備学修

- 1) シラバスを確認し、事前学習をして授業に臨むこと。
- 2) 自分自身や家族、身近な人々の健康に関心を持つとともに、社会情勢の変化や保健・医療・福祉に関する話題にアンテナを張って授業に臨むことを期待する。

授業計画

第1回	担当教員	大澤 豊子 ガイダンス 公衆衛生看護の理念
	内容	公衆衛生看護の理念・意義・目的について学び保健師の役割について理解できる。(講義)
第2回	担当教員	大澤 豊子 公衆衛生看護の歴史
	内容	公衆衛生看護の変遷をたどることにより、公衆衛生看護活動の特徴を知ることによって公衆衛生看護の今後の課題を理解することができる。
	担当教員	大澤 豊子 公衆衛生の理念

第3回	内容	公衆衛生の理念、活動の変遷をたどることにより公衆衛生の基本・今後の課題を理解する。
第4回	担当 教員	大澤 豊子 社会環境の変化と健康課題
	内容	社会環境の変化が人々の生活にに影響を及ぼし、健康課題が変化していくことを学び、保健婦としての役割を理解する。
第5回	担当 教員	河野 好美 公衆衛生看護の対象
	内容	公衆衛生看護の対象としての個人・家族・グループ・組織の特徴を学び対象の支援方法を理解する。
第6回	担当 教員	大澤 豊子 公衆衛生看護の場 行政機関（保健所）
	内容	公衆衛生看護活動の場である行政機関である保健所の機能・目的・業務内容を学び保健師の役割を理解する。
第7回	担当 教員	河野 好美 公衆衛生看護の場 行政機関（市町村）
	内容	公衆衛生看護活動の場として行政機関である市町村の機能・目的・業務内容を学び保健師の役割を理解する。
第8回	担当 教員	渡部 幸子 公衆衛生看護の場 ③職域・学校
	内容	公衆衛生看護活動の場としての職域保健・学校保健の機能・目的・業務内容を学び保健師の役割を理解する
第9回	担当 教員	渡部 幸子 公衆衛生看護の場 ④（医療施設・福祉機関）
	内容	公衆衛生看護活動の場としての医療施設・福祉機関の機能・業務内容を学び保健師の役割を理解する
第10回	担当 教員	大澤 豊子 公衆衛生看護活動の展開の基盤
	内容	公衆衛生看護活動の展開の基盤・理論・展開方法を学び保健師の役割を理解する。
第11回	担当 教員	河野 好美 公衆衛生看護活動の展開 ②個別指導（家庭訪問・健康相談）
	内容	公衆衛生看護活動の展開として個別指導である家庭訪問・健康相談の目的・対象・方法を理解する。
第12回	担当 教員	河野 好美 公衆衛生看護活動の展開③ 集団指導（健康診査・健康教育）
	内容	公衆衛生看護活動の展開として個別指導である健康診査・健康教育目的・対象・方法を理解する。
第13回	担当 教員	河野 好美 公衆衛生看護活動の展開④地域組織づくり
	内容	公衆衛生看護活動の展開方法としての地域組織づくりの目的・対象・方法を理解する。
第14回	担当 教員	渡部 幸子 健康危機管理
	内容	健康危機管理の基本・災害・感染症集団発生の保健活動を学び保健師の役割を理解する。
第15回	担当 教員	大澤 豊子 まとめ
	内容	公衆衛生看護学概論の授業内容の振り返り。

評価方法
定期試験100点（100%）、60点以上を合格とする。
教科書
標準保健師講座1 公衆衛生看護学概論 第5版 標 美奈子 医学書院 3,100円+税 国民衛生の動向（厚生労働統計協会） 2,450円+税
参考書
新版 保健師業務要覧 第4版（日本看護協会出版会） 4,400円+税
オフィスアワー
火曜日3限
実務経験の有無
担当教員実務経験の有無，有

講義コード	7203601
講義名	健康生活支援論I
(副題)	(健康支援技術)
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	2
必修/選択	必修

担当教員

氏名
渡部 幸子
大澤 豊子
河野 好美

総合学習目標

公衆衛生看護活動における対象を理解し、対象の健康問題をアセスメントする基本的な方法を学び、支援技術の目的とその方法を理解する。また、公衆衛生看護活動の支援に必要な保健行動理論を学び、地域ケアシステムの構築の展開について理解する。

【看護学科 DP1 ①② DP2 ① DP3 ③ DP4①②③に該当する】

個別学習目標

1. 個人・家族・集団を単位とした対象について理解する。
2. 対人支援技術の基本になる主要な保健行動理論を理解し説明できる。
3. 健康相談、家庭訪問、健康教育、地域組織活動における保健指導を説明できる。
4. 地域保健活動の基盤となる地域診断の目的、方法について説明できる。
5. 地域の情報整理、健康課題をアセスメントする方法を理解する。
6. 健康教育の目的、方法を理解し、企画案と指導案の立て方を理解する。
7. 地域ケアシステムとネットワークについて理解し、説明できる。

準備学修

看護学の既存の学習に加え、公衆衛生看護学概論、公衆衛生学、保健統計など関連科目をよく復習して臨む。

授業計画

第1回	担当教員	渡部 幸子 ガイダンス 対象者の理解①生活者としての対象理解と支援、目的
	内容	公衆衛生看護の対象となる個人・家族に対する支援方法とその目的を理解できる。
第2回	担当教員	大澤 豊子 対象者の理解②家族を単位とした対象理解、グループ・組織の理解と支援
	内容	①家族への理解を家族看護論を通し深め、対象への支援方法を理解できる ②対象となるグループ・組織などの集団を理解し、集団への支援方法を理解できる

第3回	担当 教員	渡部 幸子 保健行動理論と保健指導
	内容	①公衆衛生看護に必要な保健行動理論を理解できる ②公衆衛生看護における保健指導について定義・その手法について理解できる
第4回	担当 教員	河野 好美 健康相談・健康診査の目的、方法、展開方法
	内容	地域における健康増進活動における健康相談・健康診査の目的、対象、法的根拠、そして展開方法が理解できる
第5回	担当 教員	河野 好美 家庭訪問の概要
	内容	公衆衛生看護活動における家庭訪問の目的、対象の把握方法、そして展開方法について理解できる
第6回	担当 教員	河野 好美 大澤 豊子 渡部 幸子 家庭訪問の方法と展開①事例検討（演習）（A L : B）
	内容	公衆衛生看護活動における家庭訪問について、家庭訪問の対象に合わせた準備や計画立案について理解できる
第7回	担当 教員	河野 好美 大澤 豊子 家庭訪問の展開②事例検討（演習）（A L : B）
	内容	事例から、グループワークを通して家庭訪問の対象・計画・展開方法を理解する
第8回	担当 教員	渡部 幸子 地域の健康問題とアセスメント方法①地域診断に使用する理論
	内容	地域診断の目的を理解し、コミュニテアズパートナーモデル理論を使用して情報収集の方法を理解する
第9回	担当 教員	渡部 幸子 大澤 豊子 河野 好美 地域の健康問題とアセスメント方法②アセスメントと健康課題の抽出（演習）（A L : B）
	内容	地域の情報をアセスメントし、健康課題の抽出方法を理解する
第10回	担当 教員	渡部 幸子 大澤 豊子 河野 好美 地域の健康問題とアセスメント方法③健康課題の抽出と優先順位（演習）（A L : B）
	内容	地域の情報からアセスメントした結果から健康課題を挙げ、優先順位の方法がわかる
第11回	担当 教員	大澤 豊子 健康教育①健康教育の概要
	内容	公衆衛生看護技術である健康教育の目的、企画立案、指導案などの作成方法や健康教育の展開方法を理解できる
第12回	担当 教員	大澤 豊子 河野 好美 渡部 幸子 健康教育③企画書立案（A L : B）
	内容	地域診断で抽出された健康課題から、グループワークを通して課題を解決していく健康教育の目的と意義を考えることができる
	担当	大澤 豊子 河野 好美

第13回	教員	渡部 幸子 健康教育④企画書立案（まとめ）（AL:B）
	内容	地域診断で抽出された健康課題から、グループワークを通して課題を解決していく健康教育の計画を立案できる
第14回	担当教員	渡部 幸子 地域におけるグループづくりと地域組織と活動支援
	内容	公衆衛生看護活動におけるグループづくりの方法と地域組織活動への支援方法を理解できる
第15回	担当教員	渡部 幸子 地域ケアシステムとネットワーク、まとめ
	内容	地域ケアシステムを理解し、連携・協働の重要性を理解できる

評価方法

課題30%、定期試験70%で評価する。60点以上を合格とする。課題は提出期限を厳守し、期限後の提出は認めない。

教科書

公衆衛生看護技術 中村裕美子 著者代表 医学書院 3, 200円+税

参考書

国民衛生の動向 厚生労働統計協会 2, 450円+税

新版保健師業務要覧第4版 日本看護協会出版会 日本看護協会出版会 4, 400円+税

オフィスアワー

金曜日 2限

実務経験の有無

有

その他

- 1) 事前にシラバスを確認し、教科書の範囲を学習して授業に臨むこと。
- 2) 公衆衛生看護学概論で学習したことを基盤として、関連科目と統合した自己学習をすること。

講義コード	7203701
講義名	健康生活支援論II
(副題)	(健康教育論を含む)
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	60.00
対象学年	3
必修/選択	選択

担当教員

氏名
渡部 幸子
大澤 豊子
河野 好美

総合学習目標

地域を単位とした潜在・顕在する健康課題を査定する地域アセスメント<地域診断>の過程を学習する。地域アセスメント<地域診断>に基づく活動計画・実践・評価のプロセスを踏まえた公衆衛生看護活動の展開方法と技術を習得する。さらに、住民ニーズの施策化など、地域における組織的な解決方法についての基本的知識を学ぶ。

【看護学科DP2 ① DP3 ①、②、③ DP4 ①、②、③ に該当する。】

個別学習目標

- 1) 地域アセスメント<地域診断>による地域の健康課題を明確化する方法を説明できる
- 2) 健康課題を解決するための地区活動の活動計画を立案できる
- 3) 地域の組織活動の育成、支援に関する理論と技術を説明できる
- 4) 健康課題を保健政策に反映させるための事業化、施策化のプロセスを説明できる
- 5) 地域ケアシステム構築の社会的背景、ケアシステムづくりの支援方法を説明できる

準備学修

公衆衛生看護学関連科目の復習を行ってください。また、健康生活支援論Iで学習した知識を使って演習をしていきますので、しっかり知識を身につけておいてください。

授業計画

第1回	担当教員	渡部 幸子 ガイダンス、地域診断の目的
	内容	保健師として必要な技術を習得するための科目であることを理解する。 保健師活動の基本である地域を理解するための地域診断の目的を理解できる
第2回	担当教員	渡部 幸子 地域保健活動・地区活動の基本
	内容	地域診断を通して行われる地域保健活動と保健師の地区活動の必要性を理解できる
	担	渡部 幸子

第3回	当 教 員	大澤 豊子 河野 好美 地域診断の方法① 情報収集(演習)A L : B
	内 容	グループワークを通して、地域診断に必要な情報の収集方法を見つけ、情報収集できる
第4回	担 当 教 員	渡部 幸子 大澤 豊子 河野 好美 地域診断の方法② 健康課題の抽出と分析(演習)A L : B
	内 容	情報を収集した地域の情報を整理し、アセスメントを行い、健康課題を抽出できる
第5回	担 当 教 員	渡部 幸子 大澤 豊子 河野 好美 地域診断の方法③ 地域診断発表 (発表)A L : C
	内 容	グループが担当した地域の特徴、生活する人々の様子を説明するとともに、地域の健康課題を提示し、その支援の方向性を提示して発表できる
第6回	担 当 教 員	渡部 幸子 保健医療福祉における事業化と施策化
	内 容	地域診断で抽出された健康課題から、保健事業の施策・事業についてグループで考えることができる
第7回	担 当 教 員	大澤 豊子 健康教育の目的・特性と基礎理論
	内 容	保健師の技術である健康教育の目的とその特性を理解できる。また、基礎となる理論を理解し、健康教育に活かすことができる。
第8回	担 当 教 員	大澤 豊子 河野 好美 渡部 幸子 健康教育 ① 実施計画 (企画・指導案) の作成 AL:B
	内 容	地域診断に基づいて、健康教育の実施計画の立案をグループで検討し、作成できる
第9回	担 当 教 員	大澤 豊子 河野 好美 渡部 幸子 健康教育 ②実施計画 (指導案) の作成 (演習) AL: B【大澤・渡部】
	内 容	グループで作成した健康教育の計画に基づいて、指導案を作成できる
第10回	担 当 教 員	大澤 豊子 河野 好美 渡部 幸子 健康教育 ③媒体の作成 (演習) A L : B【大澤・渡部】
	内 容	グループで作成した健康教育の企画案に基づき、必要な媒体を作成できる
第11回	担 当 教 員	大澤 豊子 河野 好美 渡部 幸子 健康教育 ④発表 AL: C【大澤・渡部】
	内 容	グループで作成した健康教育を、企画案・指導案に基づき、発表できる。また、その学びを意見交換を行うことで全員で共有できる。

第12回	担当教員	河野 好美 家庭訪問の目的・特性と基礎理論(演習)AL : B【渡部】
	内容	保健師活動の基本的技術である家庭訪問の目的とその特徴を理解できる。また、その活動の基礎理論を理解できる。
第13回	担当教員	河野 好美 大澤 豊子 渡部 幸子 家庭訪問①計画立案と実践【渡部・大澤】
	内容	新生児訪問の事例について、グループで検討し、家庭訪問の必要性と計画を立案できる
第14回	担当教員	河野 好美 大澤 豊子 河野 好美 家庭訪問 ② 計画の立案と実践(演習)AL : B【渡部・大澤】
	内容	新生児訪問の事例について、グループで計画した家庭訪問を、各自グループ内で実践できる。また、実践について訪問記録を記載し、自己を振り返ることができ、グループで共有できる
第15回	担当教員	渡部 幸子 まとめ【渡部】
	内容	保健師活動として必要な基本技術について、その目的と特徴を振り返り、将来の保健師としての活動をイメージすることができる

評価方法

講義内で提示する課題60%、定期試験40%で評価し、60点以上を合格とする。

課題・レポートは提出期限を厳守し、期限後の提出は認めない。

教科書

公衆衛生看護技術 中村裕美子 医学書院 3,200円+税
国民衛生の動向 (厚生労働統計協会) 2,450円+税

参考書

地域保健福祉活動のための地域看護アセスメントガイド第2版 (医歯薬出版) 2,600円+税

オフィスアワー

金曜日2限

実務経験の有無

担当教員実務経験の有無, 有

その他

1) 予習: 教科書の各授業内容に該当する部分に必ず目を通してから授業に臨むこと。公衆衛生看護学概論、健康生活支援論I、疫学、保健統計学を理解した上での授業内容であるため、これらの科目を復習し授業に臨むこと。また、予習のための課題を提示することもある。

2) 復習: 教科書、配布資料、参考図書を活用し復習を行う。また、並行して履修する公衆衛生看護活動論、保健医療福祉行政論とも関連づけて自己学習すること。

講義コード	7203801
講義名	公衆衛生看護活動論
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	3
必修/選択	必修

担当教員

氏名
河野 好美
大澤 豊子
渡部 幸子

総合学習目標

対象別に保健福祉分野の動向と保健活動を学習する。地域の人々の主体的な課題解決に向けて、制度や施策、地域の社会資源を活用して展開する保健活動について学習する。また、感染症の予防および管理について公衆衛生看護活動の特徴を学ぶ。

【看護学科DP1 ①② DP2 ① DP3 ②③ DP4①②③に該当する。】

個別学習目標

- 1) 発達段階別の健康課題に対する保健サービスと保健活動を説明できる
- 2) 障害及び難病に対する保健医療福祉施策と保健活動を説明できる
- 3) 感染症及び歯科口腔保健の動向や保健活動から疾病予防、管理を説明できる

準備学修

看護学の領域別看護の復習をして臨むこと。

授業計画

第1回	担当教員	河野 好美 ガイダンス、母子保健活動①母子保健医療福祉の動向
	内容	公衆衛生看護学における母子保健活動の概要を理解できる。また、現在の医療・保健・福祉の動向を理解し、活動の法的根拠を理解できる。
第2回	担当教員	河野 好美 母子（親子）保健活動② 乳幼児の発育・発達 生活上の健康課題と支援
	内容	公衆衛生看護活動における母子保健の基本的活動である乳幼児の発育・発達 生活上の健康課題と支援について、事例を通して理解できる
第3回	担当教員	河野 好美 母子（親子）保健活動③ 女性の健康課題と支援
	内容	公衆衛生看護活動における女性の健康課題と支援について、事例を通して理解できる
	担当	河野 好美

第4回	教員	母子（親子）保健活動④ 支援のニーズが高い親子の健康課題と支援
	内容	公衆衛生看護活動における母子保健活動の中でも支援ニーズの高い虐待などの事例を通して、その県k脳課題や支援方法について理解できる
第5回	担当教員	河野 好美 成人保健活動① 成人保健医療福祉の動向
	内容	公衆衛生看護学における成人保健活動の概要を理解できる。また、現在の医療・保健・福祉の動向を理解し、活動の法的根拠を理解できる。
第6回	担当教員	河野 好美 成人保健活動② 成人保健の健康課題と支援
	内容	公衆衛生看護活動における成人保健の健康課題と支援について、事例を通して理解できる
第7回	担当教員	河野 好美 高齢者保健活動① 高齢者保健医療福祉の動向
	内容	公衆衛生看護学における高齢者保健活動の概要を理解できる。また、現在の医療・保健・福祉の動向を理解し、活動の法的根拠を理解できる。
第8回	担当教員	河野 好美 高齢者保健活動② 高齢期の健康課題と支援
	内容	公衆衛生看護活動における高齢者保健の健康課題と支援について、事例を通して理解できる
第9回	担当教員	渡部 幸子 精神保健活動① 精神保健医療福祉の動向
	内容	公衆衛生看護学における精神保健活動の概要を理解できる。また、現在の医療・保健・福祉の動向を理解し、活動の法的根拠を理解できる。
第10回	担当教員	渡部 幸子 精神保健活動② 精神保健の健康課題と支援
	内容	公衆衛生看護活動における精神保健の健康課題と支援について、事例を通して理解できる
第11回	担当教員	渡部 幸子 障害児・障害者保健活動①：障害者保健医療福祉の動向
	内容	公衆衛生看護学における障害児・障害者保健活動の概要を理解できる。また、現在の医療・保健・福祉の動向を理解し、活動の法的根拠を理解できる。
第12回	担当教員	渡部 幸子 障害児・障害者保健活動② 障害者の健康課題と支援
	内容	公衆衛生看護活動における障害児・障害者保健の健康課題と支援について、事例を通して理解できる

第13回	担当 教員	大澤 豊子 難病の保健活動 難病保健医療福祉の動向と難病患者の健康課題と支援
	内容	公衆衛生看護学における難病保健活動の現在の医療・保健・福祉の動向を理解し、活動の法的根拠を理解できる。また、事例を通して実際について理解できる。
第14回	担当 教員	河野 好美 感染症の保健活動：感染症対策の動向と疾病管理及び支援
	内容	感染症の理解とともに、感染症の行政の対策と地域での疾病管理、支援について理解できる
第15回	担当 教員	河野 好美 歯科保健活動、地域包括ケア、まとめ
	内容	公衆衛生看護活動における歯科保健活動の必要性と地域における支援について理解できる。また、地域ケアシステムについて理解し、地域のネットワークや連携、協働の重要性を理解できる。

評価方法

定期試験100点（100%）で評価し、60点以上を合格とする。

教科書

テキスト 対象別公衆衛生看護活動 医学書院 3400円＋税

参考書

国民衛生の動向（厚生労働統計協会） 2, 450円＋税

オフィスアワー

金曜日 2限

実務経験の有無

担当教員実務経験の有無；有

その他

- 1) シラバスを確認し、事前学習をして授業に臨むこと。
- 2) 毎回の講義は事前に提示した課題に基づいて行う。準備を怠らないこと。

講義コード	7203901
講義名	公衆衛生看護管理論
(副題)	(健康危機管理を含む)
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	4
必修/選択	選択

担当教員

氏名
大澤 豊子
河野 好美
渡部 幸子

総合学習目標

公衆衛生看護管理の目的・構造・機能や地域ケアの質保証、保健活動における専門的自律について学習する。地域アセスメント<地域診断>に基づく健康課題と保健医療福祉対策との連動や地区活動計画・事業計画作成をとおして地域保健活動の展開を学習する。また、健康危機管理として感染症や災害の保健活動について学習する。

【看護学科DP1 ①② DP2 ① DP3 ①②③ DP4①②③に該当する。】

個別学習目標

- 1) 公衆衛生看護管理の目的・構造・機能について実践例をとおして説明できる
- 2) 地域アセスメント<地域診断>から地区活動へのプロセスを説明できる
- 3) 公衆衛生看護管理(情報・組織・事業・人事・予算など)について説明できる
- 4) 健康危機管理として、感染症・災害の保健活動について説明できる
- 5) 地域ケアの質保証、評価、公衆衛生看護活動の専門的自律を説明できる

準備学修

公衆衛生学・健康生活支援論I、健康生活支援論II、保健医療福祉行政論など公衆衛生関連科目を復習し授業に臨むこと。

授業計画

第1回	担当教員	大澤 豊子 地区管理のための地域診断(講義)
	内容	① コミュニティアズパートナーモデルの理論を理解できる ② 演習オリエンテーション
第2回	担当教員	大澤 豊子 河野 好美 渡部 幸子 地域アセスメント<地域診断> ① 地域診断の実際(講義・演習) A L : B
	内容	① グループで地域診断シートに情報の収集ができる ② 整理した情報から、全国・千葉県・浦安市のデータや情報を比較し、特徴を見つけることができる。
	担当	大澤 豊子 河野 好美

第3回	教員	渡部 幸子 地域診断② 地域の情報収集（演習） A L : B
	内容	情報の整理。統合、疾病構造の分析を図り地域全体の健康のアセスメントができる
第4回	担当教員	大澤 豊子 河野 好美 渡部 幸子 地域アセスメント③ 地域の情報収集（演習） A L : B
	内容	長期展望をもって健康課題をとらえる。主要なデータを経年的に分析する
第5回	担当教員	大澤 豊子 河野 好美 渡部 幸子 地域アセスメント④ 健康課題の分析（演習） A L : B
	内容	健康課題を抽出し、健康課題の優先順位をつけることができる
第6回	担当教員	大澤 豊子 河野 好美 渡部 幸子 地域アセスメント⑤ 健康課題の分析（演習） A L : B
	内容	健康課題の対策を立案できる
第7回	担当教員	大澤 豊子 渡部 幸子 地域アセスメント⑥地区活動の計画と実際（発表準備） A L : B
	内容	各グループの発表を通して、学びの共有を行うための発表準備ができる
第8回	担当教員	大澤 豊子 河野 好美 渡部 幸子 地域アセスメント⑦地区活動の実際と課題（発表） A L : C
	内容	各グループの発表を通して、学びの共有を行い、学習を深めることができる
第9回	担当教員	大澤 豊子 河野 好美 渡部 幸子 保健医療福祉における事業・施策化の過程と保健師の役割（講義・演習） A L : B
	内容	実習地域の保健活動に必要な事業・施策を考え、計画立案し、保健師の役割を考えることができる
第10回	担当教員	渡部 幸子 健康危機管理 感染症集団発生時の保健活動、感染症対策 AL:B
	内容	感染症の集団発生事例を検討し、感染症対策と保健師の役割を考えることができる
第11回	担当教員	渡部 幸子 健康危機管理 災害時保健活動の法律、支援体制、保健活動
	内容	災害時保健活動の法律、支援体制、保健活動について理解する。
第12回	担当教員	大澤 豊子 公衆衛生看護管理① 事例、業務、予算、情報管理
	内容	公衆衛生看護管理（事例、業務、予算、情報管理）の目的、内容について学び、保健師の役割について理解する。
第13回	担当教員	大澤 豊子 公衆衛生看護管理 人事、組織管理、地域ケアの質保障
	内容	公衆衛生看護管理②（人事、組織管理、地域ケアの質保障）の目的・内容について学び保健師の役割を理解する。

第14回	担当 教員	大澤 豊子 公衆衛生看護管理 専門的自律と人材育成
	内容	保健師の専門的自律と人材育成について理解する。
第15回	担当 教員	大澤 豊子 まとめ・質疑応答
	内容	公衆衛生看護管理で学んだ内容を確認し、学びを深めることができる。

評価方法

講義内で提示する課題・レポート40%、定期テスト60%、60点以上を合格とする。

課題・レポートは提出期限を厳守し、期限後の提出は認めない。

教科書

2024年版 保健師国家試験問題集（医学書院）
公衆衛生看護学概論 医学書院 3,200円+税

参考書

国民衛生の動向（厚生労働統計協会） 2,450円+税
新版保健師業務要覧 第4版（日本看護協会出版会） 4,200円+税
公衆衛生看護学（中央法規） 3,600円+税

オフィスアワー

火曜日 3限
水曜日 4限

実務経験の有無

担当教員実務経験の有無，有

その他

- 1) 事前学習による準備を前提として講義を進める。必ず準備して講義に臨むこと。
- 2) 関連科目と統合して自己学習を深めること。特に公衆衛生看護学実習においては、当該科目の内容をふまえて意識的に取り組むこと。
- 3) 地域アセスメント<地域診断>は、公衆衛生看護学実習と連動して実施する。

講義コード	7204001
講義名	公衆衛生看護学実習I
(副題)	(地域看護の実際)
講義開講時期	通年
講義区分	実習
基準単位数	2
時間	90.00
対象学年	4
必修/選択	選択

担当教員

氏名
大澤 豊子
河野 好美
渡部 幸子

総合学習目標

地域社会で生活する対象者への健康保持増進、疾病の回復および予防活動を通して、組織的に展開する行政分野における看護活動の実際と基本的原則およびその意義を理解する。

臨地に行けない場合は、遠隔授業等を通して学習する。

【看護学科DP1 ①② DP2 ① DP3 ①②③ DP4①②③に該当する。】

個別学習目標

- 1) 地域特性と対象者の健康問題とその活動体系を把握することができる
- 2) 地域において健康状態やQOL向上に向けて展開される活動を通して、保健師活動の方法と意義を理解する
- 3) 健康の保持増進、疾病の回復と予防を目的とする保健医療福祉活動において、保健師が果たす役割・機能を理解する

※なお、当該実習は養護教諭2種免許状および第1種衛生管理者の資格取得要件の内容に準ずる

準備学修

講義・演習で習ってきた科目について復習して臨むこと。

授業計画

担当教員	大澤 豊子 河野 好美 渡部 幸子
	<ol style="list-style-type: none"> 1) 実習期間：2021年4月～12月の期間のうち2週間 2) 実習方法：1グループ2～4名とし、臨地実習と学内でのグループ学習を組み合わせ実習を展開する。 3) 実習内容：保健所（県型）、市町において、その地域の健康課題に応じた保健活動に参加し、実習目標に沿って実習を展開する。 <p>なお公衆衛生看護学実習Iと公衆衛生看護学実習IIは実習施設の活動状況に応じて</p>

<p>第1回</p> <p>内容</p>	<p>一体的に展開する。</p> <p>4) 実習施設：千葉県内の保健所（県型）および千葉県内の市町保健センター</p> <p>5) 隣地実習へ行けない場合：</p> <p>市町村実習は、実習地域の情報をもとに地域診断を行い、健康課題を明らかにする。その健康課題をもとに、健康教育や家庭訪問など実際に計画し、模擬健康教育等を実施する。また、実施した評価を行う。それを通して市町村保健師の役割について考察する。</p> <p>保健所実習については、千葉県保健所のしおりを参考に保健所についての概要をまとめ発表する。さらに、COVID-19（新型コロナウイルス感染症）等について調べ、保健所保健師の役割について考察する。</p>
------------------------------------	--

評価方法

出席状況、実習態度（カンファレンス等への参加度も含む）、実習記録、レポートをもとに実習評価項目に沿って評価し、60点以上を合格とする。なお、出席時間が実習時間数の4/5に満たないものは、評価対象としない。

教科書

テキスト 保健師養成課程に関係する科目で提示した教科書を活用すること

参考書

国民衛生の動向（厚生労働統計協会） 2, 450円＋税
 国民の福祉と介護の動向（厚生労働統計協会） 2, 037円＋税
 新版保健師業務要覧第4版（日本看護協会出版会） 4, 400円＋税

※その他、実習内容に応じて適宜紹介する

実務経験の有無

担当教員実務経験の有無，有

その他

実習前に事前学習課題を提示する。臨地実習を有意義に展開するために、各自あるいはグループで十分な準備を行い、実習に臨むことを期待する。

各実習期間の初日オリエンテーションの場で、事前学習内容を発表し実習指導者より実習を深めていくための助言をいただいたうえで様々な保健活動に参加する。

隣地実習に行けない場合は、教員より指導を受ける。

講義コード	7204101
講義名	公衆衛生看護学実習II
(副題)	(学校保健・産業保健実習)
講義開講時期	通年
講義区分	実習
基準単位数	2
時間	90.00
対象学年	4
必修/選択	選択

担当教員

氏名
大澤 豊子
河野 好美
渡部 幸子

総合学習目標

地域社会（学校や産業現場）で生活する対象者への健康保持増進、疾病の回復および予防活動を通して、組織的に展開する学校および産業分野における看護活動の実際と基本的原則およびその意義を理解する。

臨地実習に行けない場合は、遠隔授業等を通して学習する。

看護学科DP1 ①② DP2 ① DP3 ①②③ DP4①②③に該当する。

個別学習目標

1) 学校保健実習

- ①学校保健の仕組みについて理解できる。
- ②児童・生徒の発達課題および健康増進や疾病予防、健康問題の発見・解決のための活動の実際を知る。
- ③保健室の役割、機能と運営について理解する。
- ④養護教諭の役割について理解する。

2) 産業保健実習

- ①成人期の発達課題と健康問題を理解する。
- ②作業環境に合わせた健康課題について理解することができる。
- ③産業保健における看護職の役割が理解できる。

※なお当該実習は養護教諭2種免許状および第1種衛生管理者の資格取得要件の内容に準ずる

準備学修

講義や演習で学習した内容をよく復習して臨むこと。

授業計画

担当	大澤 豊子
-----------	-------

第1回	教員	河野 好美 渡部 幸子
	内容	<p>1) 実習期間：2021年4月～12月まで期間のうち2週間 (※実習施設の都合で、後期に実施する場合があります。)</p> <p>2) 実習方法：1グループ3～4名とし、臨地実習（学校2日、産業3日）、学内でのグループ学習に取り組む。</p> <p>3) 実習内容：学校（小・中学校）や企業、健康保険組合、労働衛生機関等の各実習施設で重点的に取り組んでいる保健活動に参加しながら、実習目標に沿って実習を展開する。</p> <p>なお、公衆衛生看護学実習Iと公衆衛生看護学実習IIは、実習施設の状況に応じて一体的に展開する。</p> <p>4) 実習施設 学校：浦安市内の小中学校 産業：千葉県内、東京都内の企業、健康保険組合、労働衛生機関、研究機関など</p> <p>5) 隣地実習に行けない場合 学校：実習先の学校のホームページやその他、学校保健活動の情報を収集し、学校保健活動の意義と養護教諭の役割について考える。 産業：実習先の企業、事業所のホームページや、千葉産業保健総合支援センター等のホームページから情報を収集し、産業保健活動の意義と保健師の役割について考える。</p>

評価方法

出席状況、実習態度（カンファレンス等への参加度も含む）、実習記録、レポートをもとに実習評価項目に沿って評価し、60点以上を合格とする。なお、出席時間が実習時間数の4/5に満たないものは、評価対象としない。

教科書

1. 私たちの健康保険
2. 保健師養成課程に関係する科目で提示した教科書を活用すること

※その他、実習内容に応じて適宜紹介する

参考書

- 国民衛生の動向（厚生労働統計協会） 2, 450円＋税
 国民の福祉と介護の動向（厚生労働統計協会） 2, 037円＋税
 新版保健師業務要覧第4版（日本看護協会出版会） 4, 400円＋税

※その他、実習内容に応じて適宜紹介する

オフィスアワー

金曜日 2限

実務経験の有無

担当教員実務経験の有無, 有

その他

- 1) 実習前に事前学習課題を提示する。臨地実習を有意義に展開するために、各自あるいはグループで十分な準備を行い、実習に臨む。
- 2) 各実習期間の初日オリエンテーションの場で、事前学習内容を発表し実習指導者より実習を深めていくための助言をいただいたうえで様々な保健活動に参加する。
- 3) 隣地実習に行けない場合は、教員から指導を受ける。

講義コード	7204201
講義名	看護技術III（診療の補助技術）
(副題)	[看A]
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	45.00
対象学年	2
必修/選択	必修

担当教員

氏名
藤森 京子
大橋 純江

総合学習目標

科学的根拠に基づいて安全で正確な診療過程支援技術を修得する。また、侵襲性の高い技術を実施する際に看護師に求められる責務を思考し、実践する。

DP1-①、DP3-① ②に該当する。

個別学習目標

- 1) 診療過程支援技術を実施するために必要な基礎知識（技術の概要・目的・方法）が説明できる。
- 2) 技術習得レベルを自己評価し、技術習得に向けた反復練習を実施することができる。
- 3) 看護職としてふさわしい態度で、科学的根拠に基づいて安全で正確な診療過程支援技術を実施することができる。
- 4) 侵襲性の高い技術を実施する際の看護師の求められる責務を表現することができる。
- 5) 看護で求められるコミュニケーション能力を現状より向上できる。

準備学修

解剖生理学、人体の構造と機能、基礎看護学実習I・II、フィジカルアセスメント講義・演習の予習として課題を提示する場合がある。

（後半でグループワークを実施・発表）
実施した看護技術演習内容の学習を深めるためにグループワークを実施し発表を予定。

（実技試験）
実施した看護技術演習内容は、実技試験によって修得できているかを確認するので、授業時間外の空時間を利用して、繰り返し練習をしておく必要がある。

授業計画

第1回	担当教員	藤森 京子 大橋 純江 【講義】 <イントロダクション> <与薬の技術>
	内容	・本学科の概要と授業の進め方 ・与薬の基礎知識・看護師の役割・援助の実際
		藤森 京子

第2回	担当教員	大橋 純江 【演習】 与薬の技術の実際
	内容	□経口与薬 □口腔内与薬 □点眼・点鼻 □経皮的与薬 □直腸内与薬
第3回	担当教員	藤森 京子 大橋 純江 【講義】 ＜注射（皮内・皮下・筋肉）＞
	内容	・注射方法の概要、基礎知識、看護師の役割、援助の実際
第4回	担当教員	藤森 京子 大橋 純江 【演習】 ＜注射（皮内・皮下・筋肉）＞の実際
	内容	□皮下注射（インスリン） □筋肉注射（三角筋・中殿筋）
第5回	担当教員	藤森 京子 大橋 純江 【講義】 ＜注射（静脈内注射）＞ ＜点滴静脈内注射＞
	内容	・静脈内・点滴静脈内注射の概要、目的、看護師の役割、援助の実際
第6回	担当教員	藤森 京子 大橋 純江 【演習】 ＜注射（静脈内注射）＞＜点滴静脈内注射＞の実際
	内容	□点滴静脈内注射（翼状針・留置針）を使用した方法 □滴下数の計算と滴下合わせ
第7回	担当教員	藤森 京子 大橋 純江 【講義】 ＜中心静脈カテーテル＞
	内容	・中心静脈カテーテルの概要、基礎知識、目的、看護師の役割、援助の実際
第8回	担当教員	藤森 京子 大橋 純江 【演習】 ＜中心静脈カテーテル＞
	内容	□中心静脈カテーテルの挿入（部位と固定位置） □中心静脈カテーテルのセット方法（薬液のセット）
第9回	担当教員	藤森 京子 大橋 純江 【講義】 ＜輸血＞
	内容	・輸血の概要、基礎知識、目的、看護師の役割、援助の実際
第10回	担当教員	藤森 京子 大橋 純江 【演習】 ＜輸血＞
	内容	□輸血の実際 製剤の確認、指示確認（血液型確認）、セット方法、実施時前・中・後の確認 終了後の後始末

第11回	担当教員	藤森 京子 大橋 純江 【講義】 ＜非経口的栄養摂取の技術＞
	内容	・経管栄養法の概要、基礎知識、目的、看護師の役割、援助の実際
第12回	担当教員	藤森 京子 大橋 純江 【演習】 ＜非経口的栄養摂取の技術＞
	内容	□経鼻胃管挿入 □胃管の固定法と栄養セットの準備 □栄養物の注入（経鼻胃管栄養法） □経管栄養におけるコネクタ
第13回	担当教員	藤森 京子 大橋 純江 【講義】 ＜血液検査＞
	内容	・血液検査の概要、目的、看護師の役割、援助の実際
第14回	担当教員	藤森 京子 大橋 純江 【演習】 ＜血液検査＞
	内容	□真空採血管の採血 特殊採血管（冷却・保温等）の採血方法 □動脈血採血
第15回	担当教員	藤森 京子 大橋 純江 【講義】 ＜創傷管理技術＞
	内容	・創傷管理の基礎知識、創傷処置、褥瘡予防、看護師の役割、援助の実際
第16回	担当教員	藤森 京子 大橋 純江 【演習】 ＜創傷管理技術＞
	内容	□術後縫合創とドレーン創の処置 □褥瘡処置と予防法 □包帯法
第17回	担当教員	藤森 京子 大橋 純江 【講義】 ＜吸入・吸引＞ ※吸入と薬含む
	内容	・吸入・吸引の実際、目的、看護師の役割、援助の実際
第18回	担当教員	藤森 京子 大橋 純江 【演習】 ＜吸入・吸引＞
	内容	□酸素吸入 □酸素ボンベの取り扱い □超音波ネブライザー □一時的吸引（鼻腔・口腔）
第19回	担当教員	藤森 京子 大橋 純江 【講義】 ＜診察・検査・処置における技術＞
	内容	・検査の種類と実施時の注意点 ・検査場面における、看護師の役割

第20回	担当教員	藤森 京子 大橋 純江 【演習】 ＜診察・検査・処置における技術＞
	内容	□上部消化管造影検査 □CT・MRI □内視鏡検査 □核医学検査 □各種穿刺（腰椎・腹腔・胸腔・骨髄等）
第21回	担当教員	藤森 京子 大橋 純江 【講義】 まとめ
	内容	・診療の補助技術のまとめ
第22回	担当教員	藤森 京子 大橋 純江 【講義】 ＜診療の補助技術＞ 事例の検討
	内容	・小テスト ・グループワーク
第23回	担当教員	藤森 京子 大橋 純江 【実技試験】
	内容	実技試験 Aクラス、Bクラスで分かれて実施

評価方法

定期試験50点（50%）
小テスト・演習提出物20点（20%）
実技試験30点（30%）
合計100点（100%）で評価する。

教科書

1) 茂野香おる編：系統看護学講座 専門分野I 基礎看護学技術I・II、医学書院

参考書

1) 秋山智弥編：根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術、医学書院
2) 香春知永編：基礎看護技術 看護過程のなかで技術を理解する、南江堂

オフィスアワー

オフィスアワー案内を参照してください。

実務経験の有無

本科目に関する実務経験あり

その他

学内実習はA・Bクラスに分かれて実施します。

講義コード	7204202
講義名	看護技術III（診療の補助技術）
(副題)	[看B]
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	45.00
対象学年	2
必修/選択	必修

担当教員

氏名
藤森 京子
大橋 純江

総合学習目標

科学的根拠に基づいて安全で正確な診療過程支援技術を修得する。また、侵襲性の高い技術を実施する際に看護師に求められる責務を思考し、実践する。

DP1-①、DP3-① ②に該当する。

個別学習目標

- 1) 診療過程支援技術を実施するために必要な基礎知識（技術の概要・目的・方法）が説明できる。
- 2) 技術習得レベルを自己評価し、技術習得に向けた反復練習を実施することができる。
- 3) 看護職としてふさわしい態度で、科学的根拠に基づいて安全で正確な診療過程支援技術を実施することができる。
- 4) 侵襲性の高い技術を実施する際の看護師の求められる責務を表現することができる。
- 5) 看護で求められるコミュニケーション能力を現状より向上できる。

準備学修

解剖生理学、人体の構造と機能、基礎看護学実習I・II、フィジカルアセスメント講義・演習の予習として課題を提示する場合がある。

（後半でグループワークを実施・発表）
実施した看護技術演習内容の学習を深めるためにグループワークを実施し発表を予定。

（実技試験）
実施した看護技術演習内容は、実技試験によって修得できているかを確認するので、授業時間外の空時間を利用して、繰り返し練習をしておく必要がある。

授業計画

第1回	担当教員	藤森 京子 大橋 純江 【講義】 <イントロダクション> <与薬の技術>
	内容	・本学科の概要と授業の進め方 ・与薬の基礎知識・看護師の役割・援助の実際
		藤森 京子

第2回	担当教員	大橋 純江 【演習】 与薬の技術の実際
	内容	□経口与薬 □口腔内与薬 □点眼・点鼻 □経皮的与薬 □直腸内与薬
第3回	担当教員	藤森 京子 大橋 純江 【講義】 ＜注射（皮内・皮下・筋肉）＞
	内容	・注射方法の概要、基礎知識、看護師の役割、援助の実際
第4回	担当教員	藤森 京子 大橋 純江 【演習】 ＜注射（皮内・皮下・筋肉）＞の実際
	内容	□皮下注射（インスリン） □筋肉注射（三角筋・中殿筋）
第5回	担当教員	藤森 京子 大橋 純江 【講義】 ＜注射（静脈内注射）＞ ＜点滴静脈内注射＞
	内容	・静脈内・点滴静脈内注射の概要、目的、看護師の役割、援助の実際
第6回	担当教員	藤森 京子 大橋 純江 【演習】 ＜注射（静脈内注射）＞＜点滴静脈内注射＞の実際
	内容	□点滴静脈内注射（翼状針・留置針）を使用した方法 □滴下数の計算と滴下合わせ
第7回	担当教員	藤森 京子 大橋 純江 【講義】 ＜中心静脈カテーテル＞
	内容	・中心静脈カテーテルの概要、基礎知識、目的、看護師の役割、援助の実際
第8回	担当教員	藤森 京子 大橋 純江 【演習】 ＜中心静脈カテーテル＞
	内容	□中心静脈カテーテルの挿入（部位と固定位置） □中心静脈カテーテルのセット方法（薬液のセット）
第9回	担当教員	藤森 京子 大橋 純江 【講義】 ＜輸血＞
	内容	・輸血の概要、基礎知識、目的、看護師の役割、援助の実際
第10回	担当教員	藤森 京子 大橋 純江 【演習】 ＜輸血＞
	内容	□輸血の実際 製剤の確認、指示確認（血液型確認）、セット方法、実施時前・中・後の確認 終了後の後始末

第11回	担当教員	藤森 京子 大橋 純江 【講義】 ＜非経口的栄養摂取の技術＞
	内容	・経管栄養法の概要、基礎知識、目的、看護師の役割、援助の実際
第12回	担当教員	藤森 京子 大橋 純江 【演習】 ＜非経口的栄養摂取の技術＞
	内容	□経鼻胃管挿入 □胃管の固定法と栄養セットの準備 □栄養物の注入（経鼻胃管栄養法） □経管栄養におけるコネクタ
第13回	担当教員	藤森 京子 大橋 純江 【講義】 ＜血液検査＞
	内容	・血液検査の概要、目的、看護師の役割、援助の実際
第14回	担当教員	藤森 京子 大橋 純江 【演習】 ＜血液検査＞
	内容	□真空採血管の採血 特殊採血管（冷却・保温等）の採血方法 □動脈血採血
第15回	担当教員	藤森 京子 大橋 純江 【講義】 ＜創傷管理技術＞
	内容	・創傷管理の基礎知識、創傷処置、褥瘡予防、看護師の役割、援助の実際
第16回	担当教員	藤森 京子 大橋 純江 【演習】 ＜創傷管理技術＞
	内容	□術後縫合創とドレーン創の処置 □褥瘡処置と予防法 □包帯法
第17回	担当教員	藤森 京子 大橋 純江 【講義】 ＜吸入・吸引＞ ※吸入と薬含む
	内容	・吸入・吸引の実際、目的、看護師の役割、援助の実際
第18回	担当教員	藤森 京子 大橋 純江 【演習】 ＜吸入・吸引＞
	内容	□酸素吸入 □酸素ボンベの取り扱い □超音波ネブライザー □一時的吸引（鼻腔・口腔）
第19回	担当教員	藤森 京子 大橋 純江 【講義】 ＜診察・検査・処置における技術＞
	内容	・検査の種類と実施時の注意点 ・検査場面における、看護師の役割

第20回	担当教員	藤森 京子 大橋 純江 【演習】 <診察・検査・処置における技術>
	内容	□上部消化管造影検査 □CT・MRI □内視鏡検査 □核医学検査 □各種穿刺（腰椎・腹腔・胸腔・骨髄等）
第21回	担当教員	藤森 京子 大橋 純江 【講義】 まとめ
	内容	・診療の補助技術のまとめ
第22回	担当教員	藤森 京子 大橋 純江 【講義】 <診療の補助技術> 事例の検討
	内容	・小テスト ・グループワーク
第23回	担当教員	藤森 京子 大橋 純江 【実技試験】
	内容	実技試験 Aクラス、Bクラスで分かれて実施

評価方法

定期試験50点（50%）
小テスト・演習提出物20点（20%）
実技試験30点（30%）
合計100点（100%）で評価する。

教科書

1) 茂野香おる編：系統看護学講座 専門分野I 基礎看護学技術I・II、医学書院

参考書

1) 秋山智弥編：根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術、医学書院
2) 香春知永編：基礎看護技術 看護過程のなかで技術を理解する、南江堂

オフィスアワー

オフィスアワー案内を参照してください。

実務経験の有無

本科目に関する実務経験あり

その他

学内実習はA・Bクラスに分かれて実施します。

講義コード	7204301
講義名	フィジカルアセスメント [看A]
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	2
必修/選択	必修

担当教員

氏名

大橋 純江

飯田 裕美

天野 勢子

総合学習目標

本科目では、科学的根拠に基づいて個別的な看護を実践するために、対象の情報収集に必要な技術として対象者の健康状態を身体的・心理社会的側面から総合的にアセスメントできる能力を養う。また、身体面のアセスメントに必要なフィジカルアセスメントの基本を習得し、系統的に情報収集して得られた情報をどのように判断し、次の援助にどう生かしていくのか考えながら、健康状態への影響や生活への影響を判断できる能力を養う。

DP2-①、DP3-①②に該当する。

個別学習目標

- 1) フィジカルアセスメントの意義と目的が説明できる。
- 2) 心理・社会的アセスメントを説明できる。
- 3) フィジカルアセスメントの基本技術（問診・視診・触診・打診・聴診）を習得できる。
- 4) シミュレーション演習を通して、対象者に応じた系統的アセスメントの方法を理解できる。
- 5) 得られた情報（主観的データ・客観的データ）から、対象者の健康状態および生活への影響を判断できる。
- 6) フィジカルアセスメントを実施するにふさわしい態度を身につけることができる。

* 講義・演習では主体的に考える個人の学習が基本です。内容によっては、グループ学習によって協力し合い学びの効果を高めることもあります。提示された課題、事前学習は必ず指示された日時までに行ってください。この授業は、全出席が前提となります。

準備学修

各援助技術の学習に際し、事前課題の実施、授業後の振り返り（リフレクション）を行い学習内容の修得に努めてください。特にフィジカルアセスメントでは基礎看護学援助論で修得した技術が必要となります。技術については繰り返し練習するために実習室を開放する予定です。事前に教員に相談し、自己学習を積み重ねてください。演習時には事前に課題を提示しますので、演習前まで目を通し演習に臨んでください。また、演習後には提出してください。コメントを記載して返却します。

授業計画

第1回	担当教員 大橋 純江 天野 勢子 飯田 裕美 <イントロダクション> □本学科の概要と進め方看護におけるフィジカルアセスメント（講義）
-----	--

	内容	科目の概要・目標・学習方法 フィジカルアセスメントとヘルスアセスメント
第2回	担当 教員	大橋 純江 天野 勢子 飯田 裕美 フィジカルアセスメントに必要な基本技術
	内容	□フィジカルアセスメントに必要な技術 (問診・視診・触診・聴診・打診) □全身状態・全体印象の把握 □バイタルサインの観察とアセスメント □計測
第3回	担当 教員	大橋 純江 天野 勢子 飯田 裕美 入院時のフィジカルアセスメント (演習)
	内容	□フィジカルアセスメントに荷つような基本技術を説明できる。 □フィジカルアセスメントの基本技術 (問診・視診・触診・打診) が確実に実施できる。 □診察機器の使用方法が習得できる。
第4回	担当 教員	大橋 純江 天野 勢子 飯田 裕美 【系統別フィジカルアセスメント】 呼吸器系のフィジカルアセスメント (講義)
	内容	□呼吸器系の解剖生理を概観しフィジカルアセスメントの技法を学ぶ
第5回	担当 教員	大橋 純江 天野 勢子 飯田 裕美 【系統別フィジカルアセスメント】 循環器系のフィジカルアセスメント (講義)
	内容	□循環器系の解剖生理を概観しフィジカルアセスメントの技法を学ぶ
第6回	担当 教員	大橋 純江 天野 勢子 飯田 裕美 【系統別フィジカルアセスメント】 呼吸器系のフィジカルアセスメント (演習)
	内容	□呼吸のみかた、呼吸測定、呼吸器のフィジカルイグザミネーション □事例を用いた呼吸器のフィジカルアセスメント ※シミュレーターを用いた演習
第7回	担当 教員	大橋 純江 天野 勢子 飯田 裕美 【系統別フィジカルアセスメント】 循環器系のフィジカルアセスメント (演習)
	内容	□循環器系のフィジカルイグザミネーション □事例を用いた循環器系のフィジカルアセスメント ※シミュレーターを用いた演習 ※心電計を使用した演習
		大橋 純江 天野 勢子

第8回	担当 教員	飯田 裕美 【系統別フィジカルアセスメント】 消化器系のフィジカルアセスメント（講義）
	内容	□消化器系の解剖生理を概観しフィジカルアセスメントの技法を学ぶ
第9回	担当 教員	大橋 純江 天野 勢子 飯田 裕美 【系統別フィジカルアセスメント】 筋・骨格系のフィジカルアセスメント（講義）
	内容	□筋・骨格系の解剖生理を概観しフィジカルアセスメントの技法を学ぶ
第10回	担当 教員	大橋 純江 天野 勢子 飯田 裕美 【系統別フィジカルアセスメント】 消化器系のフィジカルアセスメント（演習）
	内容	□消化器系のフィジカルイグザミネーション □事例を用いた消化器系のフィジカルアセスメント ※シミュレーターを使用した演習
第11回	担当 教員	大橋 純江 天野 勢子 飯田 裕美 【系統別フィジカルアセスメント】 筋・骨格系のフィジカルアセスメントの技法を学ぶ（演習）
	内容	□筋・骨格系のフィジカルイグザミネーション □事例を用いた筋・骨格系のフィジカルアセスメント ※骨模型を使用した演習
第12回	担当 教員	大橋 純江 天野 勢子 飯田 裕美 【系統別フィジカルアセスメント】 神経系、頸頭部と感覚器（眼・耳・鼻・口）、外皮系（皮膚・爪）
	内容	□神経系、頸頭部と感覚器（眼・耳・鼻・口）、外皮系（皮膚・爪）の解剖生理を概観しフィジカルアセスメントの技法を学ぶ *小テスト
第13回	担当 教員	大橋 純江 天野 勢子 飯田 裕美 心理・社会状態のアセスメント（講義）
	内容	□心理的側面のアセスメント □社会的側面のアセスメント
第14回	担当 教員	大橋 純江 天野 勢子 飯田 裕美 神経系、頸頭部と感覚器（眼・耳・鼻・口）、外皮系（皮膚・爪）のフィジカルアセスメント（演習）
	内容	□神経系、頸頭部と感覚器（眼・耳・鼻・口）、外皮系（皮膚・爪）のフィジカルイグザミネーション □事例を用いた神経系、頸頭部と感覚器（眼・耳・鼻・口）、外皮系（皮膚・爪）のフィジカルアセスメント
	担当 教員	大橋 純江 天野 勢子 飯田 裕美

第15回		【まとめ】（講義）
	内容	<input type="checkbox"/> 健康歴とセルフケア能力のアセスメント <input type="checkbox"/> 全体の外観 <input type="checkbox"/> 系統別フィジカルアセスメントの振り返り <input type="checkbox"/> 心理・社会状態のアセスメント <input type="checkbox"/> 事例を用いたまとめ 事例を通してヘルスアセスメントに必要な知識・技術・態度を振り返る

評価方法

- 1) 定期試験 60点
- 2) 小テスト 20点
- 3) 演習振り返り（リフレクションシート） 20点

合計100点満点

教科書

テキスト

1. 有田清子 他 系統看護学講座 専門分野I 基礎看護技術I 基礎看護学② 医学書院
2600円+税

参考書

熊谷たまき他：看護がみえるVol.3 フィジカルアセスメント、メディックメディア。
 山内豊明：見る・聴く・触るを極める！ 山内先生のフィジカルアセスメント 技術編、ナース専科BOOKS。
 山内豊明：患者さんのサインを読み取る！ 山内先生のフィジカルアセスメント 症状編、ナース専科BOOKS。

オフィスアワー

オフィスアワー案内を参照してください。

実務経験の有無

有

その他

- 1) 講義や演習の予習、復習を必ず行い授業にのぞむこと。
- 2) 実習室の使用にあたっては、「使用の基準」を守り、適切なユニホーム・身だしなみで入室すること。
- 3) 演習時の使用物品の準備と後片付けは学生が行い、整理・整頓すること。
- 4) やむを得ず欠席する場合には、可能な限り迅速に担当教員に連絡・相談し、自己学習を行うこと。
- 5) 自己学習はルールを守って、事前（1週間前）に申請し、計画的に進めること。

講義コード	7204302
講義名	フィジカルアセスメント [看B]
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	2
必修/選択	必修

担当教員

氏名

大橋 純江

飯田 裕美

総合学習目標

本科目では、科学的根拠に基づいて個別的な看護を実践するために、対象の情報収集に必要な技術として対象者の健康状態を身体的・心理社会的側面から総合的にアセスメントできる能力を養う。また、身体面のアセスメントに必要なフィジカルアセスメントの基本を習得し、系統的に情報収集して得られた情報をどのように判断し、次の援助にどう生かしていくのか考えながら、健康状態への影響や生活への影響を判断できる能力を養う。

看護学科DP1-②、DP3-①②に該当する。

個別学習目標

- 1) フィジカルアセスメントの意義と目的が説明できる。
 - 2) 心理・社会的アセスメントを説明できる。
 - 3) フィジカルアセスメントの基本技術（問診・視診・触診・打診・聴診）を習得できる。
 - 4) シミュレーション演習を通して、対象者に応じた系統的アセスメントの方法を理解できる。
 - 5) 得られた情報（主観的データ・客観的データ）から、対象者の健康状態および生活への影響を判断できる。
 - 6) フィジカルアセスメントを実施するにふさわしい態度を身につけることができる。
- * 講義・演習では主体的に考える個人の学習が基本です。内容によっては、グループ学習によって協力し合い学びの効果を高めることもあります。提示された課題、事前学習は必ず指示された日時までに行ってください。この授業は、全出席が前提となります。

準備学修

各援助技術の学習に際し、事前課題の実施、授業後の振り返り（リフレクション）を行い学習内容の修得に努めてください。特にフィジカルアセスメントでは基礎看護学援助論で修得した技術が必要となります。技術については繰り返し練習するために実習室を開放する予定です。事前に教員に相談し、自己学習を積み重ねてください。演習時には事前に課題を提示しますので、演習前まで目を通し演習に臨んでください。また、演習後には提出してください。コメントを記載して返却します。

授業計画

第1回	担当教員	大橋 純江 飯田 裕美 <イントロダクション> □本学科の概要と進め方看護におけるフィジカルアセスメント（講義）
	内容	科目の概要・目標・学習方法

		フィジカルアセスメントとヘルスアセスメント
第2回	担当 教員	大橋 純江 飯田 裕美 フィジカルアセスメントに必要な基本技術
	内容	□フィジカルアセスメントに必要な技術 (問診・視診・触診・聴診・打診) □全身状態・全体印象の把握 □バイタルサインの観察とアセスメント □計測
第3回	担当 教員	大橋 純江 飯田 裕美 入院時のフィジカルアセスメント (演習)
	内容	□フィジカルアセスメントに荷つような基本技術を説明できる。 □フィジカルアセスメントの基本技術 (問診・視診・触診・打診) が確実に実施できる。 □診察機器の使用方法が習得できる。
第4回	担当 教員	大橋 純江 飯田 裕美 【系統別フィジカルアセスメント】 呼吸器系のフィジカルアセスメント (講義)
	内容	□呼吸器系の解剖生理を概観しフィジカルアセスメントの技法を学ぶ
第5回	担当 教員	大橋 純江 飯田 裕美 【系統別フィジカルアセスメント】 循環器系のフィジカルアセスメント (講義)
	内容	□循環器系の解剖生理を概観しフィジカルアセスメントの技法を学ぶ
第6回	担当 教員	大橋 純江 飯田 裕美 【系統別フィジカルアセスメント】 呼吸器系のフィジカルアセスメント (演習)
	内容	□呼吸のみかた、呼吸測定、呼吸器のフィジカルイグザミネーション □事例を用いた呼吸器のフィジカルアセスメント ※シミュレーターを用いた演習
第7回	担当 教員	大橋 純江 飯田 裕美 【系統別フィジカルアセスメント】 循環器系のフィジカルアセスメント (演習)
	内容	□循環器系のフィジカルイグザミネーション □事例を用いた循環器系のフィジカルアセスメント ※シミュレーターを用いた演習 ※心電計を使用した演習
第8回	担当 教員	大橋 純江 飯田 裕美 【系統別フィジカルアセスメント】 消化器系のフィジカルアセスメント (講義)
	内容	□消化器系の解剖生理を概観しフィジカルアセスメントの技法を学ぶ
第9回	担当 教員	大橋 純江 飯田 裕美 【系統別フィジカルアセスメント】 筋・骨格系のフィジカルアセスメント (講義)

	内容	□筋・骨格系の解剖生理を概観しフィジカルアセスメントの技法を学ぶ
第10回	担当 教員	大橋 純江 飯田 裕美 【系統別フィジカルアセスメント】 消化器系のフィジカルアセスメント（演習）
	内容	□消化器系のフィジカルイグザミネーション □事例を用いた消化器系のフィジカルアセスメント ※シミュレーターを使用した演習
第11回	担当 教員	大橋 純江 飯田 裕美 【系統別フィジカルアセスメント】 筋・骨格系のフィジカルアセスメントの技法を学ぶ（演習）
	内容	□筋・骨格系のフィジカルイグザミネーション □事例を用いた筋・骨格系のフィジカルアセスメント ※骨模型を使用した演習
第12回	担当 教員	大橋 純江 飯田 裕美 【系統別フィジカルアセスメント】 神経系、頸頭部と感覚器（眼・耳・鼻・口）、外皮系（皮膚・爪）
	内容	□神経系、頸頭部と感覚器（眼・耳・鼻・口）、外皮系（皮膚・爪）の解剖生理を概観しフィジカルアセスメントの技法を学ぶ *小テスト
第13回	担当 教員	大橋 純江 飯田 裕美 心理・社会状態のアセスメント（講義）
	内容	□心理的側面のアセスメント □社会的側面のアセスメント
第14回	担当 教員	大橋 純江 飯田 裕美 神経系、頸頭部と感覚器（眼・耳・鼻・口）、外皮系（皮膚・爪）のフィジカルアセスメント（演習）
	内容	□神経系、頸頭部と感覚器（眼・耳・鼻・口）、外皮系（皮膚・爪）のフィジカルイグザミネーション □事例を用いた神経系、頸頭部と感覚器（眼・耳・鼻・口）、外皮系（皮膚・爪）のフィジカルアセスメント
第15回	担当 教員	大橋 純江 飯田 裕美 【まとめ】（講義）
	内容	□健康歴とセルフケア能力のアセスメント □全体の外観 □系統別フィジカルアセスメントの振り返り □心理・社会状態のアセスメント □事例を用いたまとめ 事例を通してヘルスアセスメントに必要な知識・技術・態度を振り返る

評価方法

- 1) 定期試験 60点
- 2) 小テスト 20点
- 3) 演習振り返り（リフレクションシート） 20点

合計100点満点

教科書
テキスト
1. 有田清子 他 系統看護学講座 専門分野I 基礎看護技術I 基礎看護学② 医学書院 2600円+税
参考書
熊谷たまき他：看護がみえるVol.3 フィジカルアセスメント、メディックメディア。 山内豊明：見る・聴く・触るを極める！ 山内先生のフィジカルアセスメント 技術編、ナース専科BOOKS。 山内豊明：患者さんのサインを読み取る！ 山内先生のフィジカルアセスメント 症状編、ナース専科BOOKS。
オフィスアワー
オフィスアワー案内を参照してください。
実務経験の有無
有
その他
1) 講義や演習の予習、復習を必ず行い授業にのぞむこと。 2) 実習室の使用にあたっては、「使用の基準」を守り、適切なユニホーム・身だしなみで入室すること。 3) 演習時の使用物品の準備と後片付けは学生が行い、整理・整頓すること。 4) やむを得ず欠席する場合には、可能な限り迅速に担当教員に連絡・相談し、自己学習を行うこと。 5) 自己学習はルールを守って、事前（1週間前）に申請し、計画的に進めること。

講義コード	7204401
講義名	地域・在宅看護学概論
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名
入江 多津子
松浦 真理子

総合学習目標

地域・在宅看護の動向と社会的背景に基づき、地域・在宅看護の概念や対象および特徴を理解する。地域・在宅看護の対象を支援する法制度を理解し、地域・在宅における生活者の理解と支援、訪問看護利用の仕組みや訪問看護師の役割、多職種および多機関との連携について理解を深める。

DP1-②、DP2-①、DP3-②、DP3-③、DP4-①、DP4-②、DP4-③

個別学習目標

1. 地域・在宅看護の動向と社会的背景の変遷について説明できる。
2. 地域・在宅看護の対象の特徴について、利用法制度・年齢構成・疾患および障がいの視点から説明できる。
3. 地域・在宅の生活者への健康支援の特徴について説明できる。
4. 地域・在宅の生活者とその家族に対する看護の特徴について説明できる。
5. 訪問看護の目的・役割・機能・仕組みについて説明できる。
6. 在宅生活を支える地域包括ケアシステム、多職種・多機関との連携について説明できる。
7. 在宅看護過程の特徴について説明できる。

準備学修

指定された教科書の授業の該当部分の読み、授業に参加してください。
授業期間中、5回の小テストの範囲と日時は提示します。欠席しないようにしてください。

授業計画

第1回	担当教員	入江 多津子 授業ガイダンス、地域・在宅看護の位置づけ、在宅看護の歴史および社会的背景の変遷
	内容	地域看護、在宅看護、訪問看護、公衆衛生看護、社会的背景、歴史的変遷等について理解することができる。
第2回	担当教員	入江 多津子 地域・在宅看護の対象と特性
	内容	地域・在宅看護の対象、対象の特徴、利用制度、療養者の多様性等について理解することができる。

第3回	担当教員	松浦 真理子 地域・在宅療養を支える家族への看護
	内容	家族のアセスメント、家族への援助、レスパイトケア、多様な価値観等について理解することができる。
第4回	担当教員	松浦 真理子 訪問看護の目的・役割・機能、訪問看護ステーションに関する規程、訪問看護利用の仕組み
	内容	訪問看護、訪問看護師、訪問看護ステーション、目的・役割・機能、訪問看護ステーションの指定基準、訪問看護指示書、訪問看護計画書、訪問看護報告書等について理解することができる。
第5回	担当教員	入江 多津子 地域・在宅看護にかかわる法制度①介護保険制度と医療保険制度の実際
	内容	介護保険法、介護保険制度（浦安市における介護保険の実状）、健康保険法、医療保険制度、被保険者、利用サービス、厚生労働大臣の定める疾病等について理解することができる。
第6回	担当教員	入江 多津子 地域・在宅看護にかかわる法制度②障害者総合支援法と難病法
	内容	障害者総合支援法、難病法、身体障がい、知的障がい、精神障がい、発達障がい、難病、難病対策、特定疾患治療研究事業などについて理解することができる。
第7回	担当教員	入江 多津子 退院調整・退院支援の実際
	内容	意思決定支援、退院支援、退院支援の流れ、退院計画、退院調整部門、退院調整看護師、入退院支援、入院支援等について理解することができる。
第8回	担当教員	松浦 真理子 地域・在宅看護での多職種連携と協働
	内容	多職種、他職種、他機関、地域包括ケアシステム、連携、調整、継続看護、ケアマネジメント等について理解することができる。
第9回	担当教員	入江 多津子 地域・在宅療養者とその家族に対する看護の特徴①認知症療養者への看護
	内容	認知症、認知症療養者、認知症療養者支援、若年性認知症、若年性認知症療養者、若年性認知症療養者支援、認知症コーディネーター、認知症コーディネーター等について理解することができる。
第10回	担当教員	松浦 真理子 地域・在宅療養者とその家族に対する看護の特徴②難病療養者への看護
	内容	難病、難病療養者、難病療養者への看護、ALS、パーキンソン病、パーキンソン

	容	ン症候群、インフォームド・チョイス等について理解することができる。
第11回	担当 教員	入江 多津子 在宅療養者とその家族に対する看護の特徴③精神障がい者への看護【繁田法史】
	内容	精神障がい、精神障がい者、精神障害者保健福祉手帳、自立支援、生活支援等について理解することができる。
第12回	担当 教員	入江 多津子 地域・在宅療養者とその家族に対する看護の特徴④小児療養者への看護
	内容	小児在宅看護、在宅療養児、重症心身障がい児、核家族（化）、特別支援学級（学校）、養護学校、訪問学級、養護教諭等について理解することができる。
第13回	担当 教員	松浦 真理子 地域・在宅療養者とその家族に対する看護の特徴⑤ターミナル期にある療養者への看護
	内容	終末期、ターミナル期、在宅看取り、グリーフケア等について理解することができる。
第14回	担当 教員	入江 多津子 地域・在宅看護過程の特徴【諏訪免典子】
	内容	療養者の意向、家族の意向、社会資源（の活用）、ニーズ、ディマンズ等について理解することができる。
第15回	担当 教員	入江 多津子 地域・在宅看護のまとめ
	内容	地域・在宅看護とは、自助、共助、公助、訪問看護、多様性とはについて理解することができる。 15回のまとめを行う。

評価方法

授業期間中の5回の小テスト（30%）及び定期試験（70%）、合計100%で評価を行う。

教科書

テキスト

- ①地域・在宅看護論 [2] 地域・在宅看護の基盤 第6版』) (著) 河原加代子 医学書院 3,300円 (税込)
- ②地域・在宅看護論 [2] 地域・在宅看護の実践 第6版』) (著) 河原加代子 医学書院 2,750円 (税込)
- ③ナーシンググラフィカ 健康支援と社会保障③ 社会福祉と社会保障 2021年改定版 メディカ出版 (3,300円税込)

ト

参考書

授業中、適宜紹介する。

オフィスアワー
別途提示する。
実務経験の有無
担当教員実務経験の有無, 有
その他
自分の日常生活の中で、今後ますます需要が高まる地域・在宅看護の重要性を認識できるよう、地域を理解する。、

講義コード	7204501
講義名	地域包括ケア論
(副題)	
講義開講時期	前期後半
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	15.00
対象学年	2年 前期
必修/選択	必修

担当教員

氏名
越智 美智子

総合学習目標

社会の多様化、個別化を背景に、様々な発達段階の対象者に対し、住み慣れた地域で日常生活を継続するために、幅広い知識と視野を持って提供される包括的ケアを理解し、看護者として豊かな人間性と倫理観を持ち、その役割と責任を果たすことが出来る。また、地域全体の暮らしを見据え、関わる多職種の専門性を理解し協働できる視野を持つことが出来る。

DP1-①、DP1-②、DP2-①、DP3-②、DP3-③、DP4-①、DP4-②、DP4-③

個別学習目標

1. 地域包括ケアの概念について理解する。
2. 医療、福祉の改革と地域包括ケアについて理解する。
3. 地域包括ケアと地域連携について理解する。
4. 地域生活を支える社会資源や支援の枠組みについて理解する。
5. 地域包括ケアにおける看護者としての役割と責任について理解する。
6. 地域包括ケア関わる看護者としての豊かな人間性と倫理観の必要性を理解する。
7. 地域包括ケアに関わる多職種の役割と連携について理解する。

準備学修

各世代の人々が、住み慣れた地域で安心して、人生の最期まで自分らしい暮らしを続けることができるような社会について、多世代間の交流や支援も包括した環境づくりについて調べておきましょう。

授業計画

第1回	担当教員	越智 美智子 地域包括ケアの仕組み
	内容	地域連携の基礎理論を中心として、地域包括ケアについての概念や本質について理解する。 事前学習：「地域におけるケア」と「包括的なケア」について多世代の視点で学習する。 事後学習：高齢者対象の地域包括ケアシステムおよび地域包括支援センターについて整理する。
第2回	担当教員	越智 美智子 地域包括ケアと保健医療福祉改革
	内容	少子超高齢社会による地域社会の変容における、患者と保健医療福祉のかかわりの変化について理解する。

	容	事前学習：医療および福祉における改革の変遷について調べる。 事後学習：全世代・全対象型地域包括支援体制についてまとめる。
第3回	担当 教員	越智 美智子 地域包括ケアと地域連携
	内容	地域住民の予防から見取りまで、切れ目のない医療と看護および介護との連携について考える。また、地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例から、在宅医療連携の具体的な現状を理解する。 事前学習：在宅医療推進について調べる。 事後学習：モデルの地域連携体制をまとめる
第4回	担当 教員	越智 美智子 地域包括ケアにおける看護師の役割 - 1
	内容	看護のかかわりについて理解する。 妊娠出産育児支援／健康教育・維持・増進／療養／認知症／終末期／災害 事前学習：在宅医療推進について調べる。 事後学習：モデルの地域連携体制についてまとめる
第5回	担当 教員	越智 美智子 地域包括ケアにおける看護師の役割 - 2
	内容	病診連携・看看連携における退院支援・退院調整看護師の役割について理解する。 事前学習：地域包括ケア病棟の機能について整理しておく。 事後学習：入院から退院までの看護師のかかわりについて復習する。
第6回	担当 教員	越智 美智子 地域包括ケアと社会資源の重要性を理解する
	内容	地域包括ケアと多様な地域生活を支える支援の枠組みや社会資源の重要性を理解する。 事前学習：多世代の暮らしと健康課題について整理しておく。 事後学習：支援の枠組みをまとめる。
第7回	担当 教員	越智 美智子 スマートシティ構想における包括ケア機能
	内容	スマートシティにおける地域包括ケアシステムへの適切なサポート体制について理解する。 事前学習：国土交通省および具体的な各自治体・企業の取り組みについて調べる。 事後学習：スマートシティが地域包括ケアシステムに与えるメリットをまとめる。
第8回	担当 教員	越智 美智子 地域包括ケアシステムの深化
	内容	多世代の地域包括ケアシステムの構築に向けた仕組みづくりと協同体制としての大学の在り方について考察する。 <GW> 地域住民への支援体制 事前学習：「自助」「互助」「共助」「公助」の役割分担と支援の枠組みについてアイデアをまとめておく。

		事後学習：地域住民への地域包括ケアシステム構築概念図の作成。 後日ポスター発表。
第9回	担当 教員	越智 美智子 地域包括ケアシステムの取り組み
	内容	講演：地域包括ケアシステムにおける有料老人ホームの役割

評価方法

定期試験 80点（100%）ポスター発表 20点（20%）で評価する。

教科書

授業中提示する。

参考書

授業中提示する。

オフィスアワー

火曜日 4 限目

実務経験の有無

「有」

講義コード	7204601
講義名	地域・在宅看護学方法論I (療養者の理解)
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	2
必修/選択	必修

担当教員

氏名
諏訪免 典子
入江 多津子
松浦 真理子
繁田 法史

総合学習目標

地域・在宅看護の対象となる人々の身体的・心理的・社会的特徴を理解し、在宅で必要とされる基本的な生活援助技術について、講義・演習を通して修得する。

看護学科DP1-②、DP2-① DP3-①②③、DP4-①②に該当する。

個別学習目標

- 1) 地域で生活する療養者の身体的・心理的・社会的特徴を説明できる。
- 2) 暮らしの場で看護実践をするための心構えについて説明できる。
- 3) 地域・在宅看護における時期別の看護について説明できる。
- 4) 地域における暮らしを支える看護技術について説明できる。

準備学修

- 事前学習：①地域・在宅看護学概論で学習した、地域・在宅看護の対象について、まとめておく。
- ②基礎看護学で学んだ日常生活援助について、復習をしておく。
- 事後学習：③授業の内容を振り返り、在宅療養者の暮らしを支える必要な知識についてまとめる。
- ④対象者の状況に応じた在宅看護の方法について、考察する。

授業計画

第1回	担当教員	諏訪免 典子 ガイダンス・暮らしの場における看護の心構え II50-56 講義
	内容	①科目の位置づけ、総合学習目標、到達目標について理解できる。 ②授業の進め方、教科書・参考書の活用方法について理解できる。 ③治療の場と暮らしの場の違いについて理解できる。 ④暮らしの場で看護実践を行う際の視点について理解できる。 ⑤地域・在宅看護実践に欠かせない要素について理解できる。
第2回	担当教員	入江 多津子 地域・在宅看護の対象 I58～95 講義
		①地域・在宅看護の対象者の各ライフステージの特徴とその多様性について

	内容	理解できる。 ②健康レベルから見た療養者の特徴について理解できる。 ③地域・在宅看護の対象としての家族の特徴について理解できる
第3回	担当教員	松浦 真理子 地域・在宅看護における時期別の看護① II228-241 講義
	内容	①地域・在宅看護の9つの時期と主に活動する看護師などについて理解できる。 ②健康な時期の看護について理解できる。 ③外来受診期における看護について理解できる。 ④入院時の看護について理解できる。 ⑤在宅療養準備期（退院前）の看護について理解できる。 ⑥在宅療養移行期の看護について理解できる。
第4回	担当教員	諏訪免 典子 地域・在宅看護における時期別の看護② II242-248 講義
	内容	①在宅療養安定期の看護について理解できる。 ②急性増悪期の看護について理解できる。 ③終末期の看護（グリーフケア）について理解できる。 ④在宅療養終了期の看護について理解できる。
第5回	担当教員	入江 多津子 地域・在宅療養生活を支える基本的な技術 ①セルフケアを支える対話・コミュニケーション II57～61 入江・松浦・諏訪免 講義・演習
	内容	①コミュニケーションの基本について理解できる。 ②対象者と看護師のパートナーシップについて理解できる。 ③対象者と看護師の対話・コミュニケーションについて理解できる。
第6回	担当教員	松浦 真理子 講義・演習 地域・在宅療養生活を支える基本的な技術 ②生活リハビリテーション 参考②50-53 松浦・入江・諏訪免 講義・演習
	内容	①リハビリテーションの基本的な考え方について理解できる。 ②在宅療養生活におけるリハビリテーションの目的と意義について理解できる。 ③障害や状態に応じた生活リハビリテーションについて理解できる。
第7回	担当教員	入江 多津子 地域・在宅療養生活を支える基本的な技術 ③重症心身障害者(児)の在宅ケアの基本 講義
	内容	①重症心身障害者(児)と家族について理解できる。 ②重症心身障害者(児)の社会参加の意義について理解できる。 ③重症心身障害者(児)の日常生活上の支援について理解できる。
第8回	担当教員	松浦 真理子 地域・在宅療養生活を支える基本的な技術 ④療養者の暮らしを取り巻くリスクと安全対策 II70～78 講義
		①療養者の暮らしを取り巻くリスクについて理解できる。

	内容	②看護に求められるヘルスアセスメントについて理解できる。 ③予防的ケアと危機回避について理解できる。
第9回	担当教員	諏訪免 典子 地域・在宅療養生活を支える基本的な技術 ⑤地域・在宅看護実践におけるリスクマネジメント II80～85 諏訪免 講義
	内容	①地域・在宅看護でリスクが発生しやすい要因について理解できる。 ②地域・在宅看護場面で起こりうる事故の種類と特徴について理解できる。 ③事故発生の防止、事故発生時の対応について理解できる。 ④地域・在宅看護場面での危険予知訓練（KYT）について理解できる。 ⑤地域・在宅看護における看護師への暴力・ハラスメントと防止策について理解できる。
第10回	担当教員	入江 多津子 地域における暮らしを支える看護実践 ①療養環境調整に関する地域・在宅看護 II86～93 入江・松浦・諏訪免 講義・演習
	内容	①地域・在宅看護における療養環境調整について理解できる。 ②療養環境のアセスメントについて理解できる。 ③療養環境調整の実際について理解できる。
第11回	担当教員	松浦 真理子 地域における暮らしを支える看護技術 ②食事に関する地域・在宅看護 II204-205 参考書②127-131 入江・松浦・諏訪免 講義・演習
	内容	①暮らしにおける経口摂取の意義と目的について理解できる。 ②食事・栄養のアセスメントについて理解できる。 ③在宅療養者と介護者への食事支援について学ぶ。 ④状況に応じた経口摂取の援助の実際について理解できる。
第12回	担当教員	諏訪免 典子 地域における暮らしを支える看護技術 ③排泄に関する地域・在宅看護技術 III136-157 諏訪免・入江・松浦 講義・演習
	内容	①暮らしにおける排泄とその援助の意義について理解できる。 ②排泄のアセスメントについて理解できる。 ③目的に応じた排泄援助の実際について理解できる。
第13回	担当教員	入江 多津子 訪問看護の理解 訪問看護ステーションの地域における役割と機能の調査 講義・演習
	内容	①訪問看護ステーションの地域における役割と機能について理解できる。 ②訪問看護ステーションの訪問看護師の役割を学ぶ。
第14回	担当教員	入江 多津子 地域における暮らしを支える看護技術 ④清潔・衣生活に関する地域・在宅看護 II204-205、参考書②127-131 入江・松浦・諏訪免 講義・演習

	内容	①暮らしにおける清潔・衣生活とその援助について理解できる。 ②清潔・衣生活に関するアセスメントについて理解できる。 ③在宅における清潔・衣生活の援助の実際について理解できる。
第15回	担当教員	諏訪免 典子 地域・在宅看護学方法論Iのまとめ
	内容	①地域で生活する療養者の身体的・心理的・社会的特徴 ②暮らしの場で看護実践をするための心構え ③地域・在宅看護における時期別の看護 ④地域における暮らしを支える看護技術

評価方法

定期試験60点（60%）
演習の提出物30点（提出物5回）（30%）
演習の取り組み10点（10%）
合計100点（100%）

教科書

テキスト
「系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論〔2〕 地域・在宅看護の実践」 河原加代子 医学書院 2,500円+税

参考書

参考文献
①「系統看護学講座 専門分野 在宅看護論」 河原加代子 医学書院 2,600円+税
②「ナーシング・グラフィカ 在宅看護論② 在宅療養を支える技術」 臺有桂 石田千絵 山下瑠香子 メディカ出版 2800円+税
③「系統看護学講座 専門分野 基礎看護学2 基礎看護技術I」 茂野香おる 医学書院 2,700円+税
系統看護学講座 専門分野 基礎看護学3「基礎看護技術II」 任和子 医学書院 2,900円+税

オフィスアワー

諏訪免：
入江：
松浦：
繁田：

実務経験の有無

有

その他

適宜、プリント資料を配布する。
在宅看護技術演習及びグループワークは、小グループで実施する。
演習時のグループについては、演習1回目に掲示する。演習は同じ時間に異なる内容を組み合わせて実施する場合がある。

講義コード	7204801
講義名	地域包括ケア実習
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	実習
基準単位数	2
時間	90.00
対象学年	2年 前期
必修/選択	必修

担当教員

氏名

越智 美智子

大井 美樹

田辺 洋子

松浦 真理子

竹村 禎子

藤森 京子

正藤 倫音

上野 典子

諏訪免 典子

水田 進

田中 陽子

多賀谷 浩子

繁田 法史

総合学習目標

医療・介護・予防・住まい・生活支援・多職種連携の6つの柱からなる地域包括ケアを担う医療・介護・福祉施設及び行政での実習を、通して、地域包括ケアの現状を理解するとともに、地域住民の予防、健康回復・維持や在宅医療(看護)に必要な知識、技術、態度を修得する。さらに地域包括ケアに従事する多職種の役割と職種間の連携の必要性について習得する。

DP1-①、DP1-②、DP2-①、DP3-②、DP3-③、DP4-①、DP4-②、DP4-③

個別学習目標

- 1.様々な発達段階にある人々の暮らしを理解するとともに、暮らしが健康に与える影響を理解する。
- 2.対象者の生活を支える様々な保障制度、社会資源の活用について理解する。
- 3.病院から地域医療まで、切れ目のない看護の実際を理解する。
- 4.看護が提供される多様な場を通して看護の役割について理解する。
- 5.地域包括ケアに従事する多職種の役割と職種間の連携の必要性について理解する。
- 6.地域医療におけるチーム医療の現状及び課題について考えることができる。
- 7.各医療・介護施設のスタッフや患者、利用者、家族に対して、専門職業人としての看護師になる者としてのふさわしい身だしなみや態度、そして適切な言葉遣いで接することができる。

準備学修

『看護学実習共通要項』を熟読のこと。
 地域包括ケアの講義資料熟読。
 実習先の特徴を調べる。

授業計画

第1回	担当 教員	実習オリエンテーション 1. 地域包括ケア実習全体オリエンテーション 2. 実習施設場所ごとのオリエンテーション
	内容	<午前> 1. 全体オリエンテーション 1) 実習要項 2) 実習方法 (1) 班と構成 ①I班(50名)とII班(50名)に分かれる ②1グループ4～5名とする ③実習場所は、原則として「医療系」・「福祉系」の2か所で実施する ④各領域臨地実習は3日間×2クール=6日間、学内2日間×2クール=4日間 (2) 実習時間 ①臨地実習：8：00～16：00(但し、実習施設の実習時間に準じる) ②学内実習：9：00～16：00 <午後> 2. 実習施設オリエンテーション 1) 班場所 (1) I班 ①地域・在宅看護領域(教室・実習室) ②成人看護領域(教室・実習室) (2) II班 ①高齢者看護領域(教室・実習室) ②精神看護領域(教室・実習室) ③小児看護領域(教室・実習室) ④母性看護領域(教室・実習室) (越智 美智子,大井 美樹,田辺 洋子,松浦 真理子,竹村 禎子,藤森 京子,正藤 倫音,上野 典子,諏訪免 典子,水田 進,田中 陽子,多賀谷 浩子,繁田 法史)
第2回	担当 教員	臨地実習(各領域実習場所)第一日目
	内容	<午前> 1. 実習施設オリエンテーション 2. 実習配置場所オリエンテーション 3. 実習配置場所の業務見学 ・ケア見学、一部介助 4. 地域包括ケアに関わる会議及び専門カンファレンスへの参加 <午後> 1. 実習目標に基づいた実践 2. テーマカンファレンス 「療養者の視点から見た実習施設で感じたこと」 (越智 美智子,大井 美樹,田辺 洋子,松浦 真理子,竹村 禎子,藤森 京子,正藤 倫音,上野 典子,諏訪免 典子,水田 進,田中 陽子,多賀谷 浩子,繁田 法史)
第3回	担当 教員	臨地実習(各領域実習場所)第二日目
	内容	<午前> 1. 実習施設オリエンテーション 2. 実習配置場所オリエンテーション 3. 実習配置場所の業務見学 ・ケア見学、一部介助 4. 地域包括ケアに関わる会議及び専門カンファレンスへの参加 <午後> 1. 実習目標に基づいた実践

		<p>2. テーマカンファレンス 「多職種連携と看護の役割」</p> <p>(越智 美智子,大井 美樹,田辺 洋子,松浦 真理子,竹村 禎子,藤森 京子,正藤 倫音,上野 典子,諏訪免 典子,水田 進,田中 陽子,多賀谷 浩子,繁田 法史)</p>
第4回	担当 教員	臨地実習（各領域実習場所）第三日目
	内容	<p><午前></p> <p>1. 実習施設オリエンテーション</p> <p>2. 実習配置場所オリエンテーション</p> <p>3. 実習配置場所の業務見学 ・ケア見学、一部介助</p> <p>4. 地域包括ケアに関わる会議及び専門カンファレンスへの参加</p> <p><午後></p> <p>1. 実習目標に基づいた実践</p> <p>2. テーマカンファレンス 「これから期待される地域医療について」</p> <p>(越智 美智子,大井 美樹,田辺 洋子,松浦 真理子,竹村 禎子,藤森 京子,正藤 倫音,上野 典子,諏訪免 典子,水田 進,田中 陽子,多賀谷 浩子,繁田 法史)</p>
第5回	担当 教員	学内実習
	内容	<p><午前></p> <p>1. グループカンファレンス</p> <p>1) 各施設の学びの共有</p> <p>(1) 実習施設の概要</p> <p>(2) 実習施設における看護師の役割・多職種連携</p> <p>(3) 実習の学びと今後の課題</p> <p><午後></p> <p>2. グループ発表および全体カンファレンス</p> <p>(1) 各施設の紹介と学びの発表</p> <p>①各グループにてカンファレンスの結果をもとに、グループ発表用のPPを作成する</p> <p>②コピーを一部提出する（教員用）</p> <p>③PP発表</p> <p>(2) 全体討議</p> <p>(3) 担当教員による個別指導</p> <p>(4) 一週間のまとめ</p> <p>(越智 美智子,大井 美樹,田辺 洋子,松浦 真理子,竹村 禎子,藤森 京子,正藤 倫音,上野 典子,諏訪免 典子,水田 進,田中 陽子,多賀谷 浩子,繁田 法史)</p>
第6回	担当 教員	<p>実習オリエンテーション</p> <p>1. 地域包括ケア実習全体オリエンテーション</p> <p>2. 実習施設場所ごとのオリエンテーション</p>
	内容	<p><午前></p> <p>1. 全体オリエンテーション</p> <p>1) 実習要項</p> <p>2) 実習方法</p> <p>(1) 班と構成</p> <p>①I班（50名）とII班（50名）に分かれる</p> <p>②1グループ4～5名とする</p> <p>③実習場所は、原則として「医療系」・「福祉系」の2か所で実施する</p> <p>④各領域臨地実習は3日間×2クール=6日間、学内2日間×2クール=4日間</p> <p>(2) 実習時間</p> <p>①臨地実習：8：00～16：00（但し、実習施設の実習時間に準じる）</p> <p>②学内実習：9：00～16：00</p>

	内容	<p><午後> 2. 実習施設オリエンテーション 1) 班場所 (1) I班 ①地域・在宅看護領域 (教室・実習室) ②成人看護領域 (教室・実習室) (2) II班 ①高齢者看護領域 (教室・実習室) ②精神看護領域 (教室・実習室) ③小児看護領域 (教室・実習室) ④母性看護領域 (教室・実習室)</p> <p>(越智 美智子,大井 美樹,田辺 洋子,松浦 真理子,竹村 禎子,藤森 京子,正藤 倫音,上野 典子,諏訪免 典子,水田 進,田中 陽子,多賀谷 浩子,繁田 法史)</p>
第7回	担当教員	臨地実習 (各領域実習場所) 第一日目
	内容	<p><午前> 1. 実習施設オリエンテーション 2. 実習配置場所オリエンテーション 3. 実習配置場所の業務見学 ・ケア見学、一部介助 4. 地域包括ケアに関わる会議及び専門カンファレンスへの参加</p> <p><午後> 1. 実習目標に基づいた実践 2. テーマカンファレンス 「療養者の視点から見た実習施設で感じたこと」</p> <p>(越智 美智子,大井 美樹,田辺 洋子,松浦 真理子,竹村 禎子,藤森 京子,正藤 倫音,上野 典子,諏訪免 典子,水田 進,田中 陽子,多賀谷 浩子,繁田 法史)</p>
第8回	担当教員	臨地実習 (各領域実習場所) 第二日目
	内容	<p><午前> 1. 実習施設オリエンテーション 2. 実習配置場所オリエンテーション 3. 実習配置場所の業務見学 ・ケア見学、一部介助 4. 地域包括ケアに関わる会議及び専門カンファレンスへの参加</p> <p><午後> 1. 実習目標に基づいた実践 2. テーマカンファレンス 「多職種連携と看護の役割」</p> <p>(越智 美智子,大井 美樹,田辺 洋子,松浦 真理子,竹村 禎子,藤森 京子,正藤 倫音,上野 典子,諏訪免 典子,水田 進,田中 陽子,多賀谷 浩子,繁田 法史)</p>
第9回	担当教員	臨地実習 (各領域実習場所) 第三日目
	内容	<p><午前> 1. 実習施設オリエンテーション 2. 実習配置場所オリエンテーション 3. 実習配置場所の業務見学 ・ケア見学、一部介助 4. 地域包括ケアに関わる会議及び専門カンファレンスへの参加</p> <p><午後> 1. 実習目標に基づいた実践 2. テーマカンファレンス 「これから期待される地域医療について」</p>

		(越智 美智子,大井 美樹,田辺 洋子,松浦 真理子,竹村 禎子,藤森 京子,正藤 倫音,上野 典子,諏訪免 典子,水田 進,田中 陽子,多賀谷 浩子,繁田 法史)
第10回	担当 教員	学内実習
	内容	<p><午前></p> <p>1. グループカンファレンス</p> <p>1) 各施設の学びの共有</p> <p>(1) 実習施設の概要</p> <p>(2) 実習施設における看護師の役割・多職種連携</p> <p>(3) 実習の学びと今後の課題</p> <p><午後></p> <p>2. グループ発表および全体カンファレンス</p> <p>(1) 各施設の紹介と学びの発表</p> <p>①各グループにてカンファレンスの結果をもとに、グループ発表用のPPを作成する</p> <p>②コピーを一部提出する(教員用)</p> <p>③PP発表</p> <p>(2) 全体討議</p> <p>(3) 担当教員による個別指導</p> <p>(4) 二週間のまとめ</p> <p>(越智 美智子,大井 美樹,田辺 洋子,松浦 真理子,竹村 禎子,藤森 京子,正藤 倫音,上野 典子,諏訪免 典子,水田 進,田中 陽子,多賀谷 浩子,繁田 法史)</p>

評価方法

実習日数の4/5以上の出席をもって、評価対象とする。
目標達成度、課題レポート、実習態度、成果発表報告会などにより評価する。

実務経験の有無

「有」

講義コード	7205001
講義名	成人看護学方法論III（慢性期）
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	2
必修/選択	必修

担当教員

氏名
正藤 倫音
竹村 禎子
水田 進
田中 陽子
多賀谷 浩子

総合学習目標

慢性的な健康障害をもつ人とその家族の特徴、看護援助の基本となる理論および諸概念を理解し、慢性疾患患者とその家族に必要な看護実践のための基礎的能力を修得する。
【ディプロマ・ポリシーとの関連：DP1-①②・DP2-①・DP4-①③】

個別学習目標

- 1) 慢性期にある患者の特徴と看護について理解できる。
- 2) 慢性疾患患者の疾患や治療が身体・心理・社会的側面に及ぼす影響が理解できる。
- 3) 慢性疾患患者に対するセルフマネジメント、生活の再構築のための看護援助について理解できる。
- 4) 糖尿病患者（紙上事例）の看護過程が展開できる。

準備学修

事前学習：教科書は事前に読み、予習して臨む。
事後学習：授業の内容を復習および、課題等提示されたら速やかに実施する。

授業計画

第1回	担当教員	正藤 倫音 慢性期看護の定義、及び慢性疾患を有する人とその家族の理解
	内容	慢性期看護とは何か、慢性疾患を有する人とその家族について学習する。
第2回	担当教員	正藤 倫音 慢性疾患を有する人とその家族への援助・支援の基本
	内容	慢性疾患を有する人とその家族への援助・支援の基本について学習する。
第3回	担当教員	水田 進 循環器系の障害を有する人とその家族への援助I
	内容	高血圧のある患者の看護について学習する。
第4回	担当教員	多賀谷 浩子 循環器系の障害を有する人とその家族への援助II
	内容	不整脈・慢性心不全のある患者の看護について学習する。 ペースメーカーを装着している患者の援助について学習する。
第5回	担当教員	田中 陽子 消化器系の障害を有する人とその家族への援助I

	内容	慢性肝炎・肝硬変のある患者の看護について学習する。
第6回	担当教員	田中 陽子 消化器系の障害を有する人とその家族への援助II
	内容	潰瘍性大腸炎・クローン病のある患者の看護について学習する。
第7回	担当教員	田中 陽子 血液系の障害を有する人とその家族への援助
	内容	再生不良性貧血・白血病・悪性リンパ腫のある患者の看護について学習する。 化学療法・造血幹細胞移植を受ける患者の援助について学習する。
第8回	担当教員	竹村 禎子 代謝・内分泌系の障害を有する人とその家族への援助I
	内容	糖尿病のある患者の看護について学習する。 インスリン療法を受ける患者の援助について学習する。
第9回	担当教員	竹村 禎子 代謝・内分泌系の障害を有する人とその家族への援助II
	内容	糖尿病患者（事例）の看護過程を展開する。
第10回	担当教員	竹村 禎子 代謝・内分泌系の障害を有する人とその家族への援助III
	内容	糖尿病患者（事例）の看護過程を展開する。
第11回	担当教員	水田 進 代謝・内分泌系の障害を有する人とその家族への援助IV
	内容	脂質異常症のある患者の看護について学習する。
第12回	担当教員	多賀谷 浩子 代謝・内分泌系の障害を有する人とその家族への援助V
	内容	副腎疾患（クッシング・アジソン病）のある患者の看護について学習する。
第13回	担当教員	水田 進 腎臓系の障害を有する人とその家族への援助
	内容	慢性腎不全のある患者の看護について学習する。 人工透析を受ける患者の援助について学習する。
第14回	担当教員	多賀谷 浩子 感覚器系の障害を有する人とその家族への援助
	内容	感覚器障害（視覚、突発性難聴、メニエール病）のある患者の看護について学習する。
第15回	担当教員	正藤 倫音 免疫系の障害を有する人とその家族への援助
	内容	全身性エリテマトーデスのある患者の看護について学習する。 ステロイド療法を受ける患者の援助（免疫抑制剤含む）について学習する。

評価方法

定期試験100点で評価する。

教科書

鈴木久美, 旗持知恵子, 佐藤直美: 看護学テキストNICE, 成人看護学, 慢性期看護, 南江堂. 3,300円+税

参考書

- 1) 吉田俊子: 系統看護学講座専門分野II, 成人看護学3, 循環器, 医学書院. 2,400円+税
- 2) 飯野京子: 系統看護学講座専門分野II, 成人看護学4, 血液・造血器, 医学書院. 1,600円+税
- 3) 南川雅子: 系統看護学講座専門分野II, 成人看護学5, 消化器, 医学書院. 2,700円+税
- 4) 吉岡成人: 系統看護学講座専門分野II, 成人看護学6, 内分泌・代謝, 医学書院. 2,100円+税
- 5) 大東貴志: 系統看護学講座専門分野II, 成人看護学8, 腎・泌尿器, 医学書院. 2,300円+税
- 6) 岩田健太郎: 系統看護学講座専門分野II, 成人看護学11, アレルギー・膠原病・感染症, 医学書院. 2,200円+税

オフィスアワー

授業担当教員は授業日4限まで。
必要時メールで予約してから対応可能。

実務経験の有無

有

その他

テキストを持参して授業に臨む。適宜、資料配布する。
クラスルームを介して事前、事後の学修課題等を提示する。

クラスルーム

<https://classroom.google.com/c/NTg1NDQ2OTc4MDg3?hl=ja&cjc=3bb6rcs>

講義コード	7205101
講義名	成人看護学方法論IV（リハビリ期・終末期）
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	2
必修/選択	必修

担当教員

氏名
竹村 禎子
正藤 倫音
水田 進
田中 陽子
多賀谷 浩子

総合学習目標

1. リハビリテーションの定義にもとづき、障害のある人の潜在能力を最大限に引き出すための看護の役割と機能を理解し、リハビリテーション看護における基礎的能力を習得する。
 2. 終末期（エンドオブライフ）に求められる医療及び看護の特徴を知り、看護援助の基本となる理論および諸概念を理解し、終末期にある人とその家族に必要な看護の基礎的能力を修得する。
- 【ディプロマ・ポリシーとの関連：DP1-①②・DP2-①・DP4-①③】

個別学習目標

- 1)リハビリテーション看護の概念を知り、看護の役割や機能が理解できる。
- 2)リハビリテーション看護の障害レベルと回復過程における対象及びその家族に与える影響から求められる看護が理解できる。
- 3)リハビリテーション看護における倫理的諸問題と今後の課題について理解できる。
- 4)死を理解し、終末期の定義とその医療・看護について理解できる。
- 5)終末期にある患者・家族の特徴と終末期医療の抱える問題について理解できる。
- 6)緩和ケアの定義を理解し、全人的苦痛について理解できる。
- 7)臨死期の看護が理解できる。

準備学修

事前学習：教科書は事前に読み、予習して臨む。
 事後学習：授業の内容を復習および、課題等提示されたら速やかに実施する。

授業計画

第1回	担当教員	竹村 禎子 リハビリテーション看護とは
	内容	リハビリテーション看護の理念、歴史、及びチームアプローチにおける看護の役割や機能を学習する。
第2回	担当教員	竹村 禎子 生活機能障害をもつ人とその家族の理解
	内容	リハビリテーション看護の障害レベル（生命、生活、人生）が対象及びその家族に与える影響から求められる看護を学習する。
	担当教員	竹村 禎子 リハビリテーション看護の展開に必要な概念と理論と倫理的諸問題

第3回	内容	リハビリテーション看護に必要な概念と理論を学習する。 リハビリテーション看護における倫理的諸問題を学習する。
第4回	担当 教員	多賀谷 浩子 リハビリテーション看護I 高次機能障害・言語障害を有する人への看護
	内容	高次機能障害・言語障害を有する人への看護について、脳梗塞患者をとして学習する。
第5回	担当 教員	多賀谷 浩子 リハビリテーション看護II 麻痺・摂食嚥下障害を有する人のへの看護
	内容	麻痺・摂食嚥下障害を有する人のへの看護について、脳出血のある患者を通して学習する。
第6回	担当 教員	水田 進 リハビリテーション看護III 循環機能障害を有する人への看護1
	内容	循環機能障害を有する人への看護について、虚血性心疾患（狭心症）のある患者を通して学習する。
第7回	担当 教員	水田 進 リハビリテーション看護IV 循環機能障害を有する人への看護2
	内容	循環機能障害を有する人への看護について、虚血性心疾患（心筋梗塞）のある患者を通して学習する。
第8回	担当 教員	田中 陽子 リハビリテーション看護V 呼吸機能障害を有する人への看護1
	内容	呼吸機能障害を有する人への看護について、気管支喘息のある患者を通して学習する。
第9回	担当 教員	田中 陽子 リハビリテーション看護VI 呼吸機能障害を有する人への看護2
	内容	呼吸機能障害を有する人への看護について、慢性呼吸不全（COPD）のある患者を通して学習する。
第10回	担当 教員	竹村 禎子 リハビリテーション看護VII 運動機能障害を有する人への看護
	内容	運動機能障害を有する人への看護について、関節リウマチのある患者を通して学習する。
第11回	担当 教員	竹村 禎子 リハビリテーション看護のシステム化と課題について
	内容	リハビリテーション看護の現状と今後の課題について学習する。
第12回	担当 教員	正藤 倫音 終末期看護概論I・II
	内容	終末期を理解し、終末期にある患者・家族について学習する。 終末期における患者とのコミュニケーションについて学習する。 終末期医療と看護を理解し、終末期医療の抱える問題（倫理的課題含む）について学習する。
第13回	担当 教員	正藤 倫音 終末期にある患者・家族への看護
	内容	終末期における日常生活支援について学習する。
第14回	担当 教員	正藤 倫音 緩和ケア

	内容	緩和ケアの定義を理解し、全人的苦痛について学習する。
第15回	担当 教員	正藤 倫音 臨死期の看護
	内容	臨死期の看護について学習する。

評価方法

定期試験100点で評価する。

教科書

- 1)鈴木久美,籓持知恵子,佐藤直美:看護学テキストNICE,成人看護学,慢性期看護,南江堂. 3,300円+税
- 2)酒井郁子,金城利雄:看護学テキストNICE,成人看護学,リハビリテーション看護,南江堂. 2,700円+税
- 3)田村恵子:経過別成人看護学4,終末期看護:エンド・オブ・ライフ・ケア,メチカルフレンド社. 3,000円+税

参考書

- 1)奥宮暁子,金城利雄,石川ふみよ:ナーシング・グラフィカ成人看護学5,リハビリテーション看護,メディカ出版. 3600円+税
- 2)谷本真理子,増島麻里子:看護学テキストNICE 成人看護学,エンドオブライフケア,南江堂 2600円+税
- 3)川村雅文:系統看護学講座専門分野II,成人看護学2,呼吸器,医学書院. 2400円+税
- 4)井出隆文:系統看護学講座専門分野II,成人看護学7,脳・神経,医学書院. 2400円+税
- 5)岩田健太郎:系統看護学講座専門分野II,成人看護学11,アレルギー・膠原病・感染症,医学書院. 2,200円+税

オフィスアワー

授業担当教員は授業日4限まで。
必要時メールで予約してから対応可能。

実務経験の有無

有

その他

テキストを持参して授業に臨む。
適宜、資料配布する。
クラスルームを介して事前、事後の学修課題を提示する。

クラスルーム

<https://classroom.google.com/c/NTg0NzIwOTIwNDM4?hl=ja&cjc=varczlk>

講義コード	7300101
講義名	がん看護
(副題)	
講義開講時期	後期前半
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	15.00
対象学年	4
必修/選択	選択

担当教員

氏名
伊東 都
鈴木 容子

総合学習目標

がんをとりまく政策と個別的ケアとの関連性を理解し、がん看護に向けられた社会的ニーズと具体的な看護活動の実際を知る。

DP1

個別学習目標

- 1) がんに関する社会システムの概要を知る
- 2) がん看護の特徴を知る
- 3) 異なる療養の場における看護の特徴、具体的な活動を知る
- 4) がんにおける緩和ケアについて考察する

授業計画

第1回	担当教員	伊東 都 がんを取り巻く現状 1
	内容	がん対策基本法に基づくケア がん医療における地域包括ケア キャンサーボード
第2回	担当教員	伊東 都 がん患者の場と看護 1
	内容	がん看護の重要性とチームの中での役割 ・セルフケアの重要性 ・がん看護のリソース
第3回	担当教員	伊東 都 がん患者の場と看護 2
	内容	・様々な治療法における看護の役割（周手術期） ・意思決定支援

		・アドバンスケアプランニング
第4回	担当教員	鈴木 容子 がん患者の場と看護 3
	内容	外来におけるがん看護(外来看護師の役割) ・ 診断時の看護 ・ 化学療法中の看護
第5回	担当教員	鈴木 容子 緩和ケア 1
	内容	緩和ケアとは 症状マネジメント
第6回	担当教員	鈴木 容子 緩和ケア 2
	内容	看取りケア ご遺体の変化 遺族ケア (悲嘆など)
第7回	担当教員	伊東 都 鈴木 容子 緩和ケア 3
	内容	コミュニケーションスキル
第8回	担当教員	伊東 都 鈴木 容子 緩和ケア 4
	内容	コミュニケーションスキル 看護師のメンタルセルフケア

評価方法

授業毎のショートレポート 50%

授業終了後課題 50%

教科書

テキスト なし

参考文献 なし

参考書

テキスト なし

参考文献 なし

その他

毎回の授業で学んだことをショートレポートで十分表現すること

社会的なニーズを踏まえた課題レポートを提出すること

セコメディック病院 伊東 都（緩和ケア認定看護師）（第1回、2回、4回、7回、8回）

セコメディック病院 鈴木容子（緩和ケア認定看護師）（第3回、5回、6回、7回、8回）

担当教員実務経験の有無，有

講義コード	7300201
講義名	災害看護論
(副題)	(救急法を含む)
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	3
必修/選択	必修

担当教員

氏名
尾山 木綿子
恵 秀彦

総合学習目標

災害看護の概要を学ぶとともに、災害に対する看護の基本的な知識・技術・役割について理解する。また、災害の発生に備えた実践的対応力が必要となることから、災害サイクルにおける様々な対象者に看護を実践するための基礎的知識と技術を身につける。DP1-①②DP3-②③DP4-①②

個別学習目標

1. 災害看護の概要と災害時の看護の役割を理解できる
2. 災害に備えた実践的な対応について理解できる
3. 地域と密着した災害発生時の対応について理解できる
4. 国内・外における救急医療制度の仕組みとバイ・スタンダー（そばに居合わせた人）としての初期対応、連携の重要性が理解できる。
5. BLS(Basic Life Support):一次救命処置の具体的な手順が説明でき、実技が行える。
6. 災害時のトリアージ及び被災者の傷病に応じた安全な移動・搬送が行える。

授業計画

第1回	担当教員	尾山 木綿子 ①災害看護の概要 ②災害サイクルに応じた看護：災害直後・急性期
	内容	・災害看護の特徴及びグローバルな視点を含めた看護師の役割 ・これまで起こった災害及び災害直後の看護の実際と課題
第2回	担当教員	尾山 木綿子 ③被災者理解（1）心理的・社会的側面 ④被災者理解（2）身体的側面
	内容	・被災者及び救援者や医療者を含めた災害時のこころのケア ・避難所や仮設住宅における看護の役割 ・被災者ケアで見落としとしてはならない重要な身体的特徴とアセスメント
第3回	担当教員	尾山 木綿子 ⑤災害時トリアージの実際と課題 ⑥災害サイクルに応じた看護：静穏期・準備期

	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・一次トリアージ（START方式）の実際と課題 ・静穏期に必要な災害予防のポイントと具体的方法
第4回	担当 教員	尾山 木綿子 ⑦身近な日常的危機管理
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・災害を含めた身近な危機には何があるか：実際と具体的対応法 <p>*テスト（60分）第1回～4回までの授業内容</p>
第5回	担当 教員	尾山 木綿子 ⑧災害看護対策と課題（1） 災害看護への関心・理解を深める
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各自の日常的危機管理について調査・まとめ・発表などの役割設定：グループワーク ・災害看護授業ワーキング
第6回	担当 教員	尾山 木綿子 ⑧災害看護対策と課題（1） 災害看護への関心・理解を深める
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各自の日常的危機管理について調査・まとめ・発表などの役割設定：グループワーク ・災害看護授業ワーキング
第7回	担当 教員	尾山 木綿子 ⑧災害看護対策と課題（2） 災害看護への関心・理解を深める
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各自の日常的危機管理について調査・まとめ・発表などの役割設定：グループワーク ・災害看護授業グループ発表
第8回	担当 教員	尾山 木綿子 ⑧災害看護対策と課題（2） 災害看護への関心・理解を深める
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各自の日常的危機管理について調査・まとめ・発表などの役割設定：グループワーク ・災害看護授業グループ発表
第9回	担当 教員	梶 秀彦 救急医療制度の基礎知識
	内容	<ol style="list-style-type: none"> 1.国内・外における救急医療制度の仕組みと連携システムが理解できる。 2.平時と異なる災害時における救急医療の課題が述べられる。 3.一次救命処置の理論と根拠について説明できる。
第10回	担当 教員	梶 秀彦 一次救命処置（実技演習）班A
	内容	<p>一次救命処置 1 - 1（実技演習）感染防御を踏まえた心肺蘇生、気道異物除去、AED操作等個別スキルの実習が習得できる。</p> <p>一次救命処置 1 - 2（実技演習）</p> <p>一次救命処置がフロー通りに円滑に行える</p>
第11回	担当 教員	梶 秀彦 一次救命処置（実技演習）班B
	内容	<p>一次救命処置 1 - 1（実技演習）</p> <p>第10回と同じ</p>

		一次救命処置 1 - 2 (実技演習) 第9回と同じ
第12回	担当 教員	憲 秀彦 一次救命処置 2 - 1 (実技評価テスト) 班A 2コマ連続授業
	内容	個別スキルの自己確認と一次救命処置が正しく行える。
第13回	担当 教員	憲 秀彦 一次救命処置 2 - 2 (実技評価テスト) 班B 2コマ連続授業
	内容	第12回と同じ
第14回	担当 教員	憲 秀彦 災害時のトリアージと移動・搬送 1 - 1 (実技演習) 班A
	内容	災害時のトリアージと移動・搬送を正しく、安全に行える。E (シミュレーション)
第15回	担当 教員	憲 秀彦 災害時のトリアージと移動・搬送 1 - 2 (実技演習) 班B
	内容	第14回と同じ

評価方法

小テスト20%、課題レポート20%、授業内試験40%、実技演習20%、

合計100%で評価します。

教科書

テキスト

「系統看護学講座 統合分野 看護の統合と実践 [3] 災害看護学・国際看護学」浦田喜久子他著、医学書院 定価2,300円+税

「赤十字救急法基礎教本」編集 日本赤十字社 発行所 (株) 日赤サービス 315円 (税込)

「赤十字救急法講習教本」編集 日本赤十字社 発行所 (株) 日赤サービス 524円 (税込)

参考文献

「ナーシング・グラフィカ 看護の統合と実践 (3) : 災害看護」酒井明子編、MCメディカ出版 定価2,800円+税

参考書

テキスト

「系統看護学講座 統合分野 看護の統合と実践 [3] 災害看護学・国際看護学」浦田喜久子他著、医学書院 定価2,300円+税

「赤十字救急法基礎教本」編集 日本赤十字社 発行所 (株) 日赤サービス 315円 (税込)

「赤十字救急法講習教本」編集 日本赤十字社 発行所 (株) 日赤サービス 524円 (税込)

参考文献

「ナーシング・グラフィカ 看護の統合と実践 (3) : 災害看護」酒井明子編、MCメディカ出版 定価2,800円+税

実務経験の有無

担当教員実務経験の有無, 有

講義コード	7300302
講義名	医療安全支援論
(副題)	
講義開講時期	前期後半
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	15.00
対象学年	3
必修/選択	必修

担当教員

氏名
大橋 純江
飯田 裕美

総合学習目標

安全で質の高い医療・看護を実践するために、医療安全の基礎知識を修得する。また医療における安全管理の理論を理解するとともに、臨床現場での取り組みの実際を学び、医療チームの一員として判断し実行できる基礎力を養う。

DP1-②、DP2-①、DP3-①②に該当する。

個別学習目標

1. 看護における医療安全の意義と重要性について説明できる。
2. 事故発生のメカニズムとリスクマネジメントについて説明できる。
3. チーム医療と医療安全について説明できる。
4. 看護に関連する事故と安全対策について説明できる。
5. 医療従事者の安全を脅かすリスクと対策について説明できる。
6. チーム医療の一員として患者の安全を守るための看護学生の役割について説明できる。

準備学修

1. 医療事故について、事前配布資料や文献検索、インターネット検索でリサーチする。
2. 日本における医療安全の歴史を、文献検索、インターネット検索でリサーチする。
3. 病院組織における医療安全対策について、文献検索、インターネット検索でリサーチする。
4. 医療訴訟について、文献検索、インターネット検索でリサーチする。

授業計画

第1回	担当教員	大橋 純江 飯田 裕美 医療安全の歴史と医療
	内容	1 医療安全の鍵となる考え方 1) 医療安全の歴史と医療、看護を取り巻く状況 2) 医療安全の概念の導入 3) 医療安全に関する最近の動向・考え方 4) ミスを防ぐための対策
第2回	担当教員	大橋 純江 飯田 裕美 医療安全のマネジメント
	内容	1. 医療安全の鍵となる考え方 5) 医療安全のマネジメント 6) 事故後の対応
		大橋 純江

第3回	担当教員	飯田 裕美 実習における医療安全とは
	内容	2. 実習を乗り越えるために必要な技術を学ぶ 1) 実習における医療安全とは 2) 体位・姿勢の保持・移動 3) 療養環境の整備 4) 保清・整容 5) 医療関連感染（HAI）予防 6) 食事・水分摂取（食事介助）
第4回	担当教員	大橋 純江 飯田 裕美 実習における医療安全とは
	内容	2. 実習を乗り越えるために必要な技術を学ぶ 7) 個人情報の取り扱い 8) 身体拘束 9) 患者からのセクシャルハラスメント・暴力 10) インシデント・アクシデント発生後の学生へのフィードバックと対応
第5回	担当教員	大橋 純江 飯田 裕美 看護の現場で起こりうる医療事故を学ぶ
	内容	3. 看護の現場で起こりうる医療事故を学ぶ 1) 臨床現場における医療安全とは 2) 事例でとらえるチーム医療から見る医療事故① 4. 在宅看護における医療事故と安全対策
第6回	担当教員	大橋 純江 飯田 裕美 危険予知トレーニング
	内容	5. 危険予知トレーニング（KYTとは） 1) DVD視聴「看護における危険予知トレーニング」 2) 学内の危険チェック（グループ：発表）
第7回	担当教員	大橋 純江 飯田 裕美 チームステップス
	内容	5. チームステップス 1) チームステップスとは何か（その意味と概念） 2) 「SBAR（エスバー）」、「CHECK BACK（チェックバック）」、「CALL OUT（コールアウト）」 「2 CHALLENGE RULE（2チャレンジルール）」、「HAND OFF（ハンドオフ）」 ●確認テスト（小テスト）
第8回	担当教員	大橋 純江 飯田 裕美 医療の質評価と医療安全文化の醸成
	内容	7. 医療の質評価と医療安全文化の醸成 1) 医療事故の被害者（患者）・家族の思いに寄り添ったケア 2) 医療における第三者評価 3) まとめ

評価方法

- ・筆記試験 50%
- ・課題レポート 30%
- ・事例等によるグループディスカッションと発表 20%

合計（100％）で評価する。

- ・担当教員実務経験の有無，有

教科書

<テキスト>

看護の統合と実践（2）：医療安全 第3版 メディカ出版 3,000円＋税

参考書

<参考文献>

医療安全ワークブック 第4版 医学書院

チームステップス[日本版] 医療安全-チームで取り組むヒューマンエラー対策 メジカルビュー社
TeamSTEPPS®を活用したヒューマンエラー防止策—SBARを中心とした医療安全のコミュニケーションツール日本看護協会出版会

オフィスアワー

オフィスアワーは、オフィスアワー案内を参照してください。

実務経験の有無

実務経験あり

その他

- ・事例によるグループワークを取り入れた学習をします。
- ・準備学習を実施して授業に臨んでください。
- ・クラスルームを介して事前事後の学習課題を出します。予習復習をして授業に臨んでください。

講義コード	7300401
講義名	国際看護論
(副題)	
講義開講時期	後期後半
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	15.00
対象学年	4
必修/選択	選択

担当教員

氏名
尾山 木綿子

総合学習目標

グローバルヘルスの現状と課題、課題解決のための国際看護活動の実際を理解する。また、国際社会における多文化共生と協力の現状から看護の役割について考えることができる。DP1-①②DP3-②③DP4-①②

個別学習目標

- 1) グローバルヘルスの現状と課題を理解する
- 2) 世界の健康課題と継続可能な開発目標（SDGs）から看護の役割を考える
- 3) 在日外国人が抱える健康課題とその背景を理解して、健康支援策の実施方法を考える
- 4) 国際協力のしくみと国際看護活動の現状を理解する

授業計画

第1回	担当教員	尾山 木綿子 国際看護とは？なぜ国際看護を学ぶのか？
	内容	国際看護の変遷と国際看護活動の仕組みを理解する
第2回	担当教員	尾山 木綿子 グローバルヘルスの現状と課題
	内容	世界の健康問題の現状を人口、社会経済指標、保健指標から概観し、その背景を理解する 課題①：途上国の保健指標を収集しアセスメントする（GW）
第3回	担当教員	尾山 木綿子 途上国における保健医療の課題とSDG s
	内容	国際保健の現状（母子保健・人口栄養問題・感染症問題etc）
第4回	担当教員	尾山 木綿子 日本における多文化理解と国際看護活動
	内容	在日外国人の動向と社会背景、健康問題を理解する 課題②：異なる文化・宗教・言語を有する人々への看護を考える（GW）
第5回	担当教員	尾山 木綿子 国際看護活動の実際
	内容	国際協力ボランティア事業の概要と活動報告

第6回	担当教員	尾山 木綿子 開発途上国における国際看護の展開
	内容	国際看護活動における情報収集とアセスメント方法を理解することができる 課題③：途上国の健康課題とその対策（GW）
第7回	担当教員	尾山 木綿子 国際看護学の発展
	内容	これからの国際協力の課題を理解する 課題④：これからの国際協力における課題（発表）
第8回	担当教員	尾山 木綿子 まとめ
	内容	総括と解説

評価方法

定期試験(40%)、課題レポート、グループワークの内容と参加態度（60%）

その他・クラス分け等

- 1) スケジュールは講義の状況に応じて順序・内容の変更がありうる
- 2) 関連する公衆衛生看護学、小児看護学など復習しておくこと

教科書

テキスト

系統看護学講座 統合分野 看護の統合と実践③ 災害看護学・国際看護学（第3版）

医学書院 2, 484円（3年前期災害看護論で使用）

参考文献

改訂版 国際看護学 看護の統合と実践 開発途上国への看護実践を踏まえて 柳澤理子 PILAR PRESS 2, 800円

参考書

テキスト

系統看護学講座 統合分野 看護の統合と実践③ 災害看護学・国際看護学（第3版）

医学書院 2, 484円（3年前期災害看護論で使用）

参考文献

改訂版 国際看護学 看護の統合と実践 開発途上国への看護実践を踏まえて 柳澤理子 PILAR PRESS 2, 800円

実務経験の有無

担当教員実務経験の有無，有

その他

グループワークは、小人数（3~5名）で行います

講義コード	7300501
講義名	看護情報学
(副題)	
講義開講時期	前期前半
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	15.00
対象学年	4
必修/選択	選択

担当教員

氏名
大山 美和子

総合学習目標

医療は情報と密接な関係にある。また昨今、ICTの普及により医療の現場においても電子カルテの利用が主流となってきた。またスマートフォンやタブレットの普及により人々も常時情報を得ることが可能な社会となった。そこで医療看護と情報管理そしてICTについて理解をし、今後看護の現場においてどのようなことに注意し、どのように活用すべきかについて講義を行う。理解力を高めるためにより現場に近い情報を提供し、実践につなげていけるようにしていく。またグループワークを取り入れ、想像力、議論力、説明力を高め、学びの共有につなげる。(学科別ディプロマポリシー一覧 看護学科 DP1-①、DP2-①、DP 3-①②、DP4-①)

個別学習目標

- ①情報の基本的な知識や看護情報学の必要性について理解する。
- ②保健医療における情報の活用や、情報発信、情報セキュリティー、医療とICT,AIの関係について理解する。
- ③情報における倫理的視点や法律、個人情報管理について理解する。
- ④看護における情報や医療安全に関する情報とその活用について理解する。
- ⑤高齢化社会における倫理的課題や意思決定支援について理解する。

授業計画

第1回	担当教員	大山 美和子 情報の定義と特徴
	内容	情報の定義と特徴、看護情報学の必要性、看護師に求められる看護情報学の知識能力、情報伝達とコミュニケーション、情報と社会 (ICT、AI、SNS、情報セキュリティー)
第2回	担当教員	大山 美和子 保健医療と情報
	内容	医療における情報、医療者間消費者間のコミュニケーション、医療情報の電子化、情報の管理、セキュリティー、電子カルテ、マイナンバーカード、マイナポータル、エビデンス、情報に基づいた保健医療
第3回	担当教員	大山 美和子 看護と情報、医療における情報システム

	内容	看護の標準化、看護用語の標準化、看護の質、情報社会と看護、医療における情報の記録、看護師が接するデータ・情報、情報の活用と記録、看護過程、看護記録、病院情報システムと記録、電子カルテの活用
第4回	担当教員	大山 美和子 情報倫理と医療 患者の権利と情報 アクティブラーニング B
	内容	情報倫理、研究倫理、プライバシーの尊重、情報の公正な提示、個人情報における法律、個人情報の管理、個人情報管理に関するグループワーク
第5回	担当教員	大山 美和子 医療安全と情報
	内容	システムエラー事例、ヒューマンエラー事例、センサーICTの活用、ヒヤリハット報告
第6回	担当教員	大山 美和子 医療安全と情報 アクティブラーニング B
	内容	「KYT」 グループワーク及び発表
第7回	担当教員	大山 美和子 地域医療福祉のネットワークと情報システム
	内容	医療・介護・健康分野のネットワーク化の推進、地域医療福祉を支える要素、地域におけるICTの活用
第8回	担当教員	大山 美和子 患者の権利と情報 アクティブラーニング B
	内容	患者の権利と自己決定への支援、診療情報の開示、医療訴訟 「意思決定支援について、事例から看護師としてどのように対応するか」グループワーク及び発表

評価方法

総合的な課題の提出（レポート）にて100点で評価する。

教科書

テキスト指定なし 配布資料を用いる

参考文献：系統看護学講座 看護情報学 医学書院，2500円

参考書

テキスト指定なし 配布資料を用いる

参考文献：系統看護学講座 看護情報学 医学書院，2500円

その他

講義のトピックスに基づいて、ディスカッションを行う。

講義コード	7300601
講義名	看護教育学
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	15.00
対象学年	4
必修/選択	選択

担当教員

氏名
根本 友子

総合学習目標

1. 教育の本質を理解するとともに、看護教育の理念や目的を達成するための教育内容・教育方法の視点から、看護基礎教育の現状と課題について理解できる。
2. 看護師のキャリア形成について学び、継続教育の意義と必要性を理解した上で、自己のキャリアについて考えることができる。

DPとの関連：DP1—①， DP4—③

個別学習目標

1. 看護教育の理念と目的について理解できる
2. 看護教育制度の歴史的変遷について理解できる
3. カリキュラム変遷と改正カリキュラムについて理解できる
4. 看護教育方法と教育評価について理解できる
5. 看護教師と看護師の資質・能力（コンピテンシー）と役割について理解できる
6. 看護職のキャリア形成と継続教育について理解できる

準備学修

1. 主体的・楽しく学べたと感じている授業を振り返りまとめておいてください。
2. 臨地実習での「健康教育」あるいは「患者教育」について、工夫したことや考えたこと、戸惑ったことについてまとめておいてください。

授業計画

第1回	担当教員	根本 友子 ガイダンス 看護専門職と教育
	内	看護教育の理念と目的を3つのポリシー（DP・CP・AP）に関連づけて理解でき

	容	る。
第2回	担当 教員	根本 友子 看護教育制度の歴史的変遷
	内容	看護教育の歴史的変遷を関連する法律とともに学び、看護教育検討委員会報告書等から現在の看護教育の現状と課題を理解できる。
第3回	担当 教員	根本 友子 カリキュラムの構築
	内容	社会情勢を踏まえた改正カリキュラムの趣旨およびポイントについて理解できる。
第4回	担当 教員	根本 友子 「主体的・対話的な深い学び」につなげる教育方法
	内容	「主体的・対話的な深い学び」について、授業を想起しながらグループ内で意見交換できる。AL-B
第5回	担当 教員	根本 友子 看護教育方法
	内容	「主体的・対話的な深い学び」について、成人学習理論を学びグループ内で意見をまとめプレゼンテーションできる。AL-C
第6回	担当 教員	根本 友子 看護教育評価
	内容	臨地実習での体験を基に、とまどったことや成功体験を自己省察できる。
第7回	担当 教員	根本 友子 看護教師の資質と役割
	内容	看護教師に求められる資質・能力（コンピテンシー）と望ましい看護教師像について考えることができる。
第8回	担当 教員	根本 友子 看護師のキャリア形成と継続教育
	内容	看護師の資質・能力（コンピテンシー）とキャリア形成の制度（認定看護師・専門看護師・特定看護師等）について学び、自己のキャリアについて考えることができる。

評価方法

授業終了後の課題レポート 100点（100%）

教科書

テキスト

授業に必要な資料は、適宜配布する。

参考文献

- (1) 看護教育へようこそ 第2版 池西静江/石束佳子 医学書院、2021
- (2) 杉森みど里/舟島なをみ：看護教育学、医学書院、2021
- (3) 看護教育における授業設計第4版 佐藤みつ子他 医学書院、2009

参考書

テキスト

授業に必要な資料は、適宜配布する。

参考文献

- (1) 看護教育へようこそ 第2版 池西静江/石束佳子 医学書院、2021
- (2) 杉森みど里/舟島なをみ：看護教育学、医学書院、2021
- (3) 看護教育における授業設計第4版 佐藤みつ子他 医学書院、2009

オフィスアワー

履修登録者が5名以下の場合は、開講しません。

オフィスアワー：各授業終了後、1時間を予定しています。

実務経験の有無

担当教員の実務経験有

その他

準備学習：実習において実践してきた「健康教育」あるいは「患者教育」についてまとめ、特に、患者教育にあたって工夫したことや考えたこと、とまどったことについて考えておく。

履修登録者が5名以下の場合は、開講しない。

講義コード	7300701
講義名	看護倫理学
(副題)	
講義開講時期	前期前半
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	0.00
対象学年	3
必修/選択	必修

担当教員

氏名
河端 恵美子

総合学習目標

看護倫理の基礎的知識を習得し、医療・看護の実践の場における倫理的問題について知り、取り組むための姿勢と考え方を修得する。

看護学科 DP4-①に該当する。

個別学習目標

- 1) 倫理とは何か、看護職者が倫理を学ぶ重要性と必要性について説明できる。
- 2) 医療・看護における倫理の歴史的背景を知り、倫理に関する概念や用語、倫理原則や代表的な規定・綱領などについて説明できる。
- 3) 医療・看護の実践の場における倫理的問題やジレンマを挙げるができる。
- 4) 倫理的問題について、倫理規定や倫理原則、理論、モデルなどを用いて情報を整理し、考えることができる。
- 5) 身近に起こる倫理に関することに興味を持つことができる。

授業計画

第1回	担当教員	河端 恵美子 看護倫理についての基礎知識
	内容	授業の進め方 倫理を学ぶ重要性と必要性について理解する 1 倫理の基礎 2 看護倫理の基礎 3 看護倫理の歴史的推移
第2回	担当教員	河端 恵美子 看護倫理のアプローチ
	内容	三つの看護倫理のアプローチについて理解する 1 徳の倫理 2 原則の倫理 3 ケアの倫理
	担当教員	河端 恵美子 看護倫理に関する重要な言葉の意味について理解する (1)
		1 和

第3回	内容	2 共同体、家、親孝行、礼、面子、和—東アジアの文化と倫理 3 コンパッション—思いやりの心 4 共感 5 道徳的感受性と道徳的レジリエンス 6 専門職
第4回	担当教員	河端 恵美子 看護倫理に関する重要な言葉の意味を理解する (2)
	内容	下記の言葉に反映されている看護上の価値について考える 1 対象者中心とした看護 2 患者の尊厳 3 看護アドボカシー 4 協力と協働 5 パターナリズム 6 個人の権利
第5回	担当教員	河端 恵美子 看護倫理に関する重要な言葉について理解する (3)
	内容	看護倫理の重要な言葉における看護上の価値、倫理と文化のつながりについて考える 1 看護職の責任—倫理的責任と法的責任 2 インフォームド・コンセント 3 情報プライバシーと守秘義務 4 災害におけるトリアージ
第6回	担当教員	河端 恵美子 論理的意思決定のステップと事例検討
	内容	看護師が体験する倫理的問題について理解する。また、問題解決の手順を学ぶ 1 看護師の立場と倫理的な気がかり 2 看護師のつらい体験や問題状況を表す言葉 3 意思決定のための4ステップモデル 4 演習 5 事例検討の意義と注意
第7回	担当教員	河端 恵美子 さまざまな看護活動と倫理
	内容	さまざまな看護活動における特徴的な倫理的課題について理解する 1 人生の最後を生きる人々への看護と倫理 2 地域看護と倫理 3 小児看護と倫理 4 精神看護と倫理 5 性と生殖、遺伝看護と倫理 6 異文化間の看護と倫理 7 社会的要配慮者の看護と倫理
第8回	担当教員	河端 恵美子 その他の看護活動と倫理
	内容	日常の看護実践の枠をこえた看護活動における倫理について理解する 1 看護管理者の役割と倫理 2 看護倫理委員会 3 看護研究における倫理

評価方法

筆記試験60% 講義内 (小テストおよび課題40%) 総合して評価します。

課題などの提出遅れは認めません。

教科書

テキスト

『看護学テキストNiCE看護倫理』 編集 小西恵美子 出版社 南江堂 最新版 定価 2,300円+税

参考書

参考文献

『系統看護学講座 別巻 看護倫理』 編集 宮坂道夫 出版社 医学書院 定価 1, 800円+税

『看護学概論 基礎看護学（1）』 茂野 香おる 医学書院 2, 400円+税

『よくわかる看護職の倫理綱領』 第3版 編著 峰村淳子・石塚睦子 照林社 定価800円+税

『看護実践の倫理』 著者 Sara T.Fry他 訳者 片田範子他 出版社 日本看護教育出版会 定価 2, 200+税

『看護倫理』 日本看護協会 <https://www.nurse.or.jp/nursing/practice/rinri/>

オフィスアワー

金曜日 3・4限 研究室524

その他

- 1 必要時印刷資料を配布します。
- 2 テキスト持参すること。

倫理を身近に感じてみましょう。

* これまでの学生生活や医療機関を受診した出来事から、腑に落ちなかったことがあれば、どのような出来事だったかを振り返る。

* 新聞・ラジオ・テレビなどのニュース、インターネットなどで取り上げられる、医療や看護に関する情報に関心をもち、問題と感ずることがあったらそのことに対する自分の考えを整理する。

本授業に関連する実務経験 有

講義コード	7300801
講義名	看護管理学
(副題)	
講義開講時期	前期前半
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	15.00
対象学年	4
必修/選択	選択

担当教員

氏名
島尻 美恵

総合学習目標

看護管理の基礎を理解すると共に、看護実践における看護管理の役割を具体例を通して学習する。また、質の高い看護サービスを円滑に提供するための看護管理に関する諸理論に触れ、看護管理の必要性や基本的な考え方について理解する。看護学科DP1-①②に該当する。

個別学習目標

- ・看護管理に必要な知識と技術を学習することができる。
- ・看護管理の役割について具体例を通じて学習することができる。
- ・看護管理の諸理論を学び、組織の中の一員として自らが果たすべき役割について考察することができる。
- ・病院における継続教育システムについて学び、自己のキャリア開発について考察することができる。

授業計画

第1回	担当教員	島尻 美恵 看護とマネジメント
	内容	1) 看護におけるマネジメントとは... 2) マネジメントプロセス 3) マネジメントサイクル 4) 看護のマネジメントが行われる場
第2回	担当教員	島尻 美恵 看護を取り巻く諸制度
	内容	1) 看護の定義 2) 看護職の定義・法的責任 3) 医療法・保健師助産師看護師法・看護師等の人材確保の促進に関する法律 4) 診療報酬の体系 5) 重症度、医療・看護必要度
第3回	担当教員	島尻 美恵 看護ケアのマネジメント①
	内容	1) 看護者の倫理綱領

		2) 患者の権利の尊重
第4回	担当教員	島尻 美恵 看護ケアのマネジメント②
	内容	1) 医療現場における安全管理推進のための取り組み 2) 医療現場における感染管理推進のための取り組み
第5回	担当教員	島尻 美恵 リーダーシップ
	内容	1) リーダーシップを発揮するために必要な基本的能力 2) PM理論・リーダーシップスタイル 3) 動機づけ理論
第6回	担当教員	島尻 美恵 看護職の教育制度
	内容	1) 継続教育とは... 2) キャリア形成 3) 新人看護職員研修の概要 4) 新人看護職員を支える教育体制
第7回	担当教員	島尻 美恵 看護サービスのマネジメント①
	内容	1) チーム医療とは... 2) チーム医療における看護師の役割 3) 組織構造・組織図 4) 目標管理
第8回	担当教員	島尻 美恵 看護サービスのマネジメント②
	内容	1) 看護サービスとは... 2) 看護の質を構成する要素 3) 看護サービス提供の仕組み

評価方法

講義内で提示する課題・演習レポート40点（40%）、講義終了後に提示する課題レポート60点（60%）で評価し、60点以上を合格とする。

参考書

参考文献 看護管理 上泉和子著 医学書院 2500円＋税

その他

1) 授業の進め方や評価方法などについては、初回授業時に説明します。

担当教員実務経験の有無，有

講義コード	7300901
講義名	看護政策論
(副題)	
講義開講時期	後期前半
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	15.00
対象学年	4
必修/選択	選択

担当教員

氏名
森田 桂子

総合学習目標

国民のニーズに応じた質の高い看護の提供を実現化するための法律や制度、政策の概要を理解する。看護に関する諸制度を踏まえて、過去から現在に至る政策・制度の変遷と医療・看護にかかわる諸課題や看護職が政策に参画することの意義と役割、政策決定過程について学習する。

看護学科 DP1-①② DP2-① DP3-③ DP4-②③に該当する。

個別学習目標

- 1) 看護を規定する保健・医療・福祉の主要な法律と制度について理解できる。
- 2) 我が国の看護の歴史的背景と政策・制度の関係性を理解する。
- 3) 医療や看護政策・制度と看護実践の関連について考えることができる。
- 4) 政策過程及び関係する団体・組織について理解できる。
- 5) 看護職が政策過程に関わる目的と役割について理解し、看護のよりよい未来を考えることができる。

準備学修

事前学習：各界の内容を確認し、配布資料、参考文献等を用いて自分の意見を発言できるように準備してください。(各回60分)

事後学習：配布資料や参考文献を基に、各回の授業で取り上げたテーマを考察する。レポート課題とすることもあります。(各回30分)

授業計画

第1回	担当教員	森田 桂子 看護政策及び行政機構、法体系
	内容	科目のガイダンス 保健師助産師看護師法の変遷、医療法の改正、看護職員確保や看護体制について理解できる。
	担当教	森田 桂子 看護制度に関する歴史的返還

第2回	員	
	内容	看護を取り巻く保健・医療・福祉制度の変遷を理解し、現在の看護が置かれた社会的状況とそこから生じる問題や課題について考察できる
第3回	担当教員	森田 桂子 看護職の就業構造と人材確保
	内容	医療関係者の現況、看護職員の現況と課題を理解し、看護体制の強化等課題に対して考察できる。
第4回	担当教員	森田 桂子 看護教育に関する政策
	内容	看護教育制度、教育課程に関する政策の推移、卒後臨床研修の制度化などについて理解し、日本の看護教育について、望ましい在り方を考察できる。
第5回	担当教員	森田 桂子 政策に影響を与える諸団体の活動
	内容	専門職能団体の役割や活動を理解し、今後の展望を考えることができる。
第6回	担当教員	森田 桂子 医療経済における看護の将来ビジョン
	内容	看護制度と政策・予算を考察できる
第7回	担当教員	森田 桂子 看護をめぐる課題①
	内容	演習：看護をめぐる課題を取り上げ、問題の焦点化及び問題解決の方策を検討し、政策案を作成することができる。
第8回	担当教員	森田 桂子 看護をめぐる課題②
	内容	演習：看護をめぐる課題についての政策案を発表できる。他学生の発表内容を理解し、意見交換を行い、看護政策へ関与することの意義を考察することができる。

評価方法

レポート課題70%、演習や討議への参加状況（プレゼンテーション内容、討議）30%で評価し、60点以上を合格とする。

教科書

テキスト 指定なし。配付資料を用いる。

参考書

参考文献

- ①井部俊子・中西睦子監修 看護制度・政策論（看護管理学学習テキスト7）日本看護協会出版会 2, 300円+税
- ②日本看護協会・編 日本看護協会の政策提言活動 看護協会出版会 2, 000円+税
- ③見藤隆子他編 看護職者のための政策過程入門 看護協会出版会 1, 900円+税
- ④野村陽子著 看護制度と政策 法政大学出版局 5, 300円+税
- ⑤厚生労働統計協会編 国民衛生の動向 2, 450円+税

オフィスアワー

火曜日・4限・532研究室

実務経験の有無

有

その他

各回の授業項目に関連したテーマに基づいて、ディスカッションする講義形態とする。
適宜プリント資料を配付する。

講義コード	7301001
講義名	看護研究概論
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	4
必修/選択	必修

担当教員

氏名
佐藤 みつ子
越智 美智子
大井 美樹
田野 将尊

総合学習目標

看護における研究の意義と必要性を理解し、研究方法および研究のプロセスから論文作成までの一連の基礎的知識を修得する。

【DP1-①②、DP 2 -①、DP 3 -②、DP 4 -②③】

個別学習目標

1. 研究とは何か、なぜ研究を学ぶのか理解できる。
2. 「研究疑問(リサーチクエスチョン)とは何か」を考え、テーマを絞り込むプロセスを理解できる。
3. 看護研究における文献の意義と重要性を理解し、データベースを活用し、文献検索ができる。
4. 研究計画書の必要性とその概要を学ぶ。
5. 研究論文をクリティークすることができる。
6. 看護研究における倫理について理解できる。
7. 看護領域における具体的な研究方法を理解できる（質的研究、量的研究、事例研究、文献研究等）

授業計画

第1回	担当教員	佐藤 みつ子 大井 美樹 看護研究とは、看護研究のプロセス
	内容	看護研究を学ぶ前におさえておきたいことを確認し、「看護研究とは何か」、「なぜ看護研究を学ぶのか」ということについて理解できる。
第2回	担当教員	佐藤 みつ子 大井 美樹 研究テーマの絞り方
	内容	研究疑問(リサーチクエスチョン)とは何か、研究疑問(リサーチクエスチョン)決定までのプロセスを理解できる。
	担	

第3回	当 教 員	佐藤 みつ子 大井 美樹 研究方法（文献研究と事例研究）と研究計画書作成
	内 容	文献研究と事例研究の進め方について学び、自分の課題研究において研究方法を選択することに活かすことができる。研究計画書の書式と書き方を学び、実際に作成する。
第4回	担 当 教 員	佐藤 みつ子 文献検索の方法および活用の仕方
	内 容	文献検索とは何か、文献検索データベースについて、文献検索の方法や必要な文献の選択について理解できる。 ゲスト：木村裕子（図書館員）
第5回	担 当 教 員	佐藤 みつ子 文献検索の演習 / 文献研究と事例研究の実例 AL-E
	内 容	自分の課題研究に関連したキーワードを用いて実際に文献検索を行い、必要な文献の選択、絞り込みができる。文献研究と事例研究の論文を読んで、それぞれの研究プロセスについて理解できる。 ゲスト：木村裕子・日高明美（図書館員）
第6回	担 当 教 員	佐藤 みつ子 大井 美樹 文献検索の演習 / 文献研究と事例研究の実例 AL-E
	内 容	自分の課題研究に関連したキーワードを用いて実際に文献検索を行い、必要な文献の選択、絞り込みができる。文献研究と事例研究の論文を読んで、それぞれの研究プロセスについて理解できる。
第7回	担 当 教 員	越智 美智子 文献レビューとクリティーク、文献の整理
	内 容	文献レビューとは何か、その目的について学び、文献の読み方（クリティーク）や文献整理について学び、自分の課題研究に関連した文献のクリティークに活かすことができる。
第8回	担 当 教 員	越智 美智子 文献のクリティーク① 演習 AL-B
	内 容	共通の文献を個人ワークでクリティークを行い、グループ内でクリティーク内容について意見交換を行い、クリティークについての理解を深めることができる。
第9回	担 当 教 員	越智 美智子 文献のクリティーク② 演習 AL-E
	内 容	自分のテーマに関連した文献を1つ選び、個人ワークでクリティークを行い、質問への個別対応を通して、各自の課題研究に関する論文のクリティークに活かすことができる。
	担 当 教	越智 美智子 看護における研究デザインの多様性

第10回	員	
	内容	研究疑問(リサーチクエスチョン)に答えるための研究デザイン、選択について学び、質的研究と量的研究の違いを理解できる。
第11回	担当教員	越智 美智子 質的研究のデザイン 質的研究の論文を読む
	内容	質的研究の特徴や主な研究方法を学び、質的研究の論文を通して研究の進め方を理解できる。
第12回	担当教員	田野 将尊 看護統計学入門 記述統計と推測統計
	内容	基本用語とデータ分類について学び、記述統計と推測統計の違いについて理解できる。
第13回	担当教員	田野 将尊 量的研究デザインとデータの分析について
	内容	主な量的研究のデザインについて学び、検定法の種類と主に2つの変数の関連を検定する場合の検定法の選択について理解できる。
第14回	担当教員	田野 将尊 量的研究のデザイン 量的研究の論文を読む
	内容	第12・13回の講義内容をもとに量的研究について整理し、量的研究の論文を通して研究の進め方を理解できる。
第15回	担当教員	佐藤 みつ子 大井 美樹 発表(プレゼンテーション)の仕方
	内容	発表の意義や方法、発表全体の内容と構成について理解できる。

評価方法

課題レポートおよび提出物により100点満点で評価する。

教科書

系統看護学講座 別巻 看護研究 坂下玲子 宮芝智子 小野博史 2022 医学書院

参考書

看護における研究第2版 南裕子・野嶋佐由美 2021 日本看護協会出版会

オフィスアワー

佐藤：木曜日 2限～4限

大井：水曜日3限 木曜日 4 限
越智：水曜日3限
質問等は授業の前後で受け付ける。

実務経験の有無

有

講義コード	7301101
講義名	看護研究
(副題)	(課題研究)
講義開講時期	通年
講義区分	演習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	4
必修/選択	必修

担当教員

氏名
大井 美樹
佐藤 みつ子
石塚 睦子
入江 多津子
河野 好美
大橋 純江
藤森 京子
根本 友子
田中 陽子

総合学習目標

看護学実習（領域別実習）での体験をもとに自己の研究疑問に取り組み、看護研究に必要な基本的知識をもとに研究プロセスを修得し、論文としてまとめることができる。
 これまでの講義、演習、臨地実習等で得られた知識の関連付けを強化し知識の定着を図る。

【看護学科 DP1-② DP2 DP3-① DP4-①③】

個別学習目標

1. 看護学実習（領域別実習）での体験をもとに研究疑問（リサーチクエスチョン）を明らかにすることができる。
2. データベースを活用し、研究疑問に関連する文献検索ができる。
3. 研究課題に合った研究方法を決定することができる。
4. 研究計画書を立案できる。
5. 論文の基本的な構成を学び、論文の作成方法について理解できる。
6. 提示された論文構成に則り、論文を作成することができる。
7. 4年次前期までに学んだ知識を活用、応用することにより基礎的能力を養うことができる。

授業計画

第1回	担当教員	大井 美樹 佐藤 みつ子 科目オリエンテーション、専門看護学実習のふり返り
	内	本学で取り組む「卒業研究」について理解できる。

	容	看護護学実習（領域別実習）における看護をふり返ることができる。
第2回	担当教員	大井 美樹 佐藤 みつ子 実習での気づきや疑問の整理と具体化 AL-A
	内容	実習を通して感じた気づきや疑問を整理することができる。 整理した気づきや疑問をグループ間で意見交換し、研究疑問（リサーチクエスチョン）を具体化することができる。
第3回	担当教員	大井 美樹 佐藤 みつ子 研究疑問の明確化 キーワードの選び方と明確化
	内容	具体化した研究疑問（リサーチクエスチョン）を明らかにするための文献検索に向けキーワードの選び方の講義を通して、具体化した自分の研究疑問のキーワードを選定する
第4回	担当教員	大井 美樹 佐藤 みつ子 研究方法・テーマの選定（仮）および看護研究計画書の作成
	内容	研究疑問（リサーチクエスチョン）を明らかにするための研究方法（文献研究、事例研究）を選定できる。 テーマ（仮）の選定を行い、看護研究概論の講義内容をもとに看護研究計画書の作成ができる。
第5回	担当教員	大井 美樹 佐藤 みつ子 論文の基本的構成と作成方法について
	内容	論文作成の基本的なルールを学び、本学の課題研究での論文作成方法における留意点を理解できる。
第6回	担当教員	大井 美樹 佐藤 みつ子 研究テーマ（仮）と研究する領域の選択 研究方法の決定
	内容	研究計画書をもとに指導担当教員に自己の研究疑問および研究スケジュールを説明できる。 指導をもとに研究計画書の追加・修正を行うことができる。
第7回	担当教員	大井 美樹 佐藤 みつ子 担当指導教員の決定と指導教員への研究計画書の説明 【看護学科教員】
	内容	担当指導教員が決定したのを受けて、指導教員から研究計画書確認および指導を受ける。
第8回	担当教員	大井 美樹 佐藤 みつ子 研究指導【看護学科教員】
	内容	担当教員の指導を受けながら、自己の研究疑問（リサーチクエスチョン）を明らかにするために研究プロセスに則り進めていくことができる。
	担	大井 美樹

第9回	当 教 員	佐藤 みつ子 研究指導【看護学科教員】
	内 容	担当教員の指導を受けながら、自己の研究疑問（リサーチクエスチョン）を明らかにするために研究プロセスに則り進めていくことができる。
第10回	担 当 教 員	大井 美樹 佐藤 みつ子 研究指導【看護学科教員】
	内 容	担当教員の指導を受けながら、自己の研究疑問（リサーチクエスチョン）を明らかにするために研究プロセスに則り進めていくことができる。
第11回	担 当 教 員	大井 美樹 佐藤 みつ子 研究指導【看護学科教員】
	内 容	担当教員の指導を受けながら、自己の研究疑問（リサーチクエスチョン）を明らかにするために研究プロセスに則り進めていくことができる。
第12回	担 当 教 員	入江 多津子 石塚 睦子 河野 好美 大橋 純江 藤森 京子 根本 友子 田中 陽子 総合1
	内 容	人体の構造と機能、疾病の回復に至る過程、疾病の要因と生体反応等の知識を活用しながら基礎的能力を養うことができる。
第13回	担 当 教 員	入江 多津子 石塚 睦子 河野 好美 大橋 純江 藤森 京子 根本 友子 田中 陽子 総合2
	内 容	法や施策、公衆衛生の基本や健康増進等の知識を活用しながら基礎的能力を養うことができる。
第14回	担 当 教 員	入江 多津子 石塚 睦子 河野 好美 大橋 純江 藤森 京子 根本 友子 田中 陽子 総合3
	内 容	全専門看護学領域の基本的知識、看護マネジメント、災害看護等の知識を確認し、基礎的能力を養うことができる。
第15回	担 当 教 員	入江 多津子 石塚 睦子 河野 好美 大橋 純江 藤森 京子 根本 友子 田中 陽子

	総合4
内容	全専門看護学領域の状況設定に基づく臨床判断能力を養うことができる。
評価方法	
論文提出においては期限厳守のこと。期限後の提出は認めない。 論文提出を以って、総合1～4の受験資格とする。	
教科書	
看護研究概論のテキスト使用 別巻 看護研究 2022 医学書院	
参考書	
<ul style="list-style-type: none"> ・かんたん看護研究 さがす・つくる・仕上げる 改訂第2版 編集：桂敏樹 星野明子 南江堂 2020 ・看護研究こころえ帳 研究の基本からプレゼンテーションまで 李 節子 医歯薬出版株式会社 2022 ・はじめて学ぶケーススタディ 第2版－書き方のキホンから発表のコツまで－ 國澤尚子 総合医学社 2020 ・はじめて学ぶ文献レビュー 若村智子 西村舞琴 総合医学社 2020 	
オフィスアワー	
大井：水曜日3限 木曜日4限 佐藤：火曜日2限～4限 各自、担当指導教員に確認のこと	
実務経験の有無	
有	
その他	
各自の研究テーマに沿って、担当指導教員を決定する。	

講義コード	7301201
講義名	統合実習
(副題)	基礎、成人、高齢、精神、小児、母性、在宅
講義開講時期	前期
講義区分	実習
基準単位数	2
時間	90.00
対象学年	4
必修/選択	必修

担当教員

氏名
石塚 睦子
竹村 禎子
藤森 京子
正藤 倫音
根本 友子
上野 典子
諏訪免 典子
齋藤 了
塩田 みどり
水田 進
田中 陽子
飯田 裕美
多賀谷 浩子
西 将希
繁田 法史
星 玲衣

総合学習目標

既習の看護に関する知識・技術・態度の統合を図り、医療チームにおける看護専門職の役割と責任を自覚するとともに複数患者の看護展開を体験し、自己の看護観を深める。

DP1-①② DP2-① DP3-①②③ DP4-①③

個別学習目標

I. 病院組織における看護部の役割、病棟看護師長やリーダー(コーディネーター)の役割を学び、看護管理の実際を理解する。

1. 病院組織における看護部の役割と業務の実際を理解する。
2. 病棟看護師長の役割と業務の実際を理解する。
3. リーダー(コーディネーター)の役割と業務の実際を理解する。

II. 複数の患者に対する看護実践のシャドウイング・一部実施を通して、多重課題時のケアの優先順位や時間配分の判断・工夫について学ぶ。

1. 複数患者に関して、各患者のケア・処置の内容、スケジュールをふまえた1日の行動計画立案や実践を看護師について学ぶ。
2. 複数患者に関して、患者の病状やニーズを考慮し調整することを看護師について学ぶ。
3. 同時に発生するケアの優先順位について考える。
4. 時間内に実施するための工夫・調整について学ぶ。

III. 夜間帯の看護について理解する。

1. 夜間帯の業務内容、患者へのケアについて理解する。
2. 夜間帯の役割分担と連携について理解する。
3. 夜間帯の安全・安楽に関する配慮について理解する。
4. 夜勤師長や当直医他との連携について理解する。

IV. 医療チームの一員として役割と責任を自覚し、様々な医療チームにおける連携の実際を理解する。

1. 医療チームの役割と専門性を理解する。
2. 医療チームにおける連携の実際を学び看護の役割を理解する。

V. 専門職業人になる者として問題解決型の学習や倫理的行動に努め、自己の看護観を深めて課題を見出だす。

1. 問題解決型の学習に努めている。
2. マナーを守り倫理的行動に努めている。
3. 患者の生命、人間としての尊厳・権利を尊重しようと努めている。
4. 自己の看護観を深めて課題を見出だしている。

授業計画

第1回	担当 教員	石塚 睦子
	内容	実習期間 2021年7月に2週間 実習時間 2単位90時間 実習は原則8:30～16:00 実習内容 実習要項を参照のこと AL-D 担当教員:石塚睦子(科目責任者)、竹村禎子、藤森京子、根本友子、正藤倫音、上野典子、塩田みどり、水田進、田中陽子、多賀谷浩子、飯田裕美、西将希、繁田

法史、星玲衣、板橋和子、小室早苗、曾山紀子、北村しのぶ

評価方法

1.評価を受ける資格

出席時間数が4/5以上を満たしている事

2.評価方法

統合実習評価表の項目に従い、実習目標の達成度、実習記録の内容と提出状況、態度等によって、総合的に評価する。

教科書

テキストなし 適宜必要な文献や講義資料・ノートを活用すること。

参考書

適宜必要な文献や講義資料・ノートを活用すること。

オフィスアワー

金曜日5限界 508研究室

その他

1グループ4～6名に分かれて病院で実習する。

これまでは、1名の患者を受け持って、対象の発達段階や健康状態をとらえ一連の看護過程の展開をする実習が中心であったが、この実習では、複数患者の看護展開、多重課題時の理解、1日の勤務時間を想定した看護師の役割、多職種連携について学ぶ実習となる。

担当教員:石塚睦子(科目責任者)、根本友子、正藤倫音、上野典子、山口真理、塩田みどり、菊池真弓、田辺洋子、鳥海 真希、田中陽子、水田 進、多賀谷 浩子、飯田裕美、松本幸枝、板橋和子、竹村禎子

講義コード	7301601
講義名	看護と芸術I (造形の感性と創造)
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	4
必修/選択	選択

担当教員

氏名
佐藤 みつ子
金森 昭憲

総合学習目標

「芸術表現I」および「芸術療法実技I」で学んだ知識や技能を活用し、看護と芸術の関わり方について追究する。また、医療や社会福祉施設における芸術の役割と可能性について、映像や作品制作、文献学習を通じて学んでいく。養われた豊かな感性と創造力が看護の実践に活用できることを目標にする。
DPとの関連：DP4-①

個別学習目標

1. 作品制作を通して、感性と創造力を養うことができる。
2. 楽しみながら制作することで、心が癒されることを実感できる。
3. 鑑賞を通して「みる力」「きく力」を養うことができる。
4. アートを通じたコミュニケーションを体感することができる。
5. 医療現場におけるホスピタルアートについて理解できる。
6. 高齢者・児に対する芸術技法について体験し実感できる。
7. 人間の「視」「聴」「嗅」「触」「味」の五感覚を通して脳を刺激し、癒しをもたらす芸術について、実際の看護に活用できる方向性を考察できる。

準備学修

事前に説明された課題については次の授業までに準備してくること。

授業計画

第1回	担当教員	佐藤 みつ子 授業ガイダンス
	内容	・看護と芸術のつながり ・ミクストメディアとは ・みる力・きく力を養う
第2回	担当教員	金森 昭憲 癒しと芸術I
	内容	認知症患者に対する芸術技法について考える。コラージュについて学ぶ。
第3回	担当教員	金森 昭憲 ミクストメディアI
	内容	個人でコラージュブックの素材の選定をして制作の計画をする。
第4回	担当教員	金森 昭憲 ミクストメディアII

	内容	コラージュブックの構成と着彩を行う。
第5回	担当教員	金森 昭憲 ミクストメディアⅢ
	内容	コラージュブックの完成・発表
第6回	担当教員	金森 昭憲 創作と健康Ⅰ
	内容	健康な高齢者に適した作品制作を実践する。
第7回	担当教員	佐藤 みつ子 創作と健康Ⅱ
	内容	障害者に対する芸術技法の様々なケースについて学ぶ。
第8回	担当教員	佐藤 みつ子 創作と健康Ⅲ
	内容	DVD鑑賞を通じて、障害者に対する芸術技法について考える。
第9回	担当教員	金森 昭憲 癒しと芸術Ⅱ
	内容	暮らしの中の芸術（花を描く）モチーフの選定と下書き
第10回	担当教員	金森 昭憲 癒しと芸術Ⅲ
	内容	暮らしの中の芸術（花を描く）描写と着彩
第11回	担当教員	金森 昭憲 癒しと芸術Ⅳ
	内容	障害者に対する芸術技法について考える。
第12回	担当教員	金森 昭憲 癒しと芸術Ⅴ
	内容	障害者に対する芸術技法について、映像を中心に学ぶ。
第13回	担当教員	金森 昭憲 医療と芸術Ⅰ
	内容	高齢化社会と芸術について考える。
第14回	担当教員	金森 昭憲 医療と芸術Ⅱ
	内容	医療と芸術について様々な資料をもとに学ぶ。
第15回	担当教員	佐藤 みつ子 医療と芸術Ⅲ
	内容	「芸術を医療現場で活用する」をテーマにプレゼンテーションを行う。

評価方法

提出課題(レポート含む)100% [金森]

提出課題 (レポート含む) 70% 発表30% [佐藤]

教科書

指定なし。配布資料を用いる。

参考書

指定なし。配布資料を用いる。

オフィスアワー

質問等は授業の前後で受け付ける。

実務経験の有無

「有」

その他

適宜プリント資料を配布する。

講義コード	7301603
講義名	看護と芸術I (造形の感性と創造)
(副題)	(2022年度入学生用)
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	2年生
必修/選択	必修

担当教員

氏名
佐藤 みつ子
金森 昭憲

総合学習目標

「芸術表現I」および「芸術療法実技I」で学んだ知識や技能を活用し、看護と芸術の関わり方について追究する。また、医療や社会福祉施設における芸術の役割と可能性について、映像や作品制作、文献学習を通じて学んでいく。養われた豊かな感性と創造力が看護の実践に活用できることを目標にする。

DPとの関連：DP4-①

個別学習目標

1. 作品制作を通して、感性と創造力を養うことができる。
2. 楽しみながら制作することで、心が癒されることを実感できる。
3. 鑑賞を通して「みる力」「きく力」を養うことができる。
4. アートを通じたコミュニケーションを体感することができる。
5. 医療現場におけるホスピタルアートについて理解できる。
6. 高齢者・児に対する芸術技法について体験し実感できる。
7. 人間の「視」「聴」「嗅」「触」「味」の五感覚を通して脳を刺激し、癒しをもたらす芸術について、実際の看護に活用できる方向性を考察できる。

準備学修

事前に説明された課題については次の授業までに準備してくる。

授業計画

第1回	担当教員	佐藤 みつ子 授業ガイダンス
	内容	・看護と芸術のつながり ・ミクストメディア ・みる力・きく力を養う
第2回	担当教員	金森 昭憲 癒しと芸術I
	内容	認知症患者に対する芸術技法について考える。 コラージュについて学ぶ。
第3回	担当教員	金森 昭憲 ミクストメディアI
	内容	コラージュブックの素材の選定と制作の計画。
	担当教員	金森 昭憲

第4回		ミクストメディアII
	内容	コラージュブックの構成と着彩。
第5回	担当教員	金森 昭憲 ミクストメディアIII
	内容	コラージュブック完成・発表
第6回	担当教員	金森 昭憲 創作と健康I
	内容	健康な高齢者に適した作品制作を実践する。
第7回	担当教員	金森 昭憲 創作と健康II
	内容	病と健康について、資料をもとに検証する。
第8回	担当教員	金森 昭憲 創作と健康III
	内容	病と健康について、映像を中心に学ぶ。
第9回	担当教員	金森 昭憲 癒しと芸術II
	内容	暮らしの中の芸術（花を描く） モチーフの選定と下書き
第10回	担当教員	金森 昭憲 癒しと芸術III
	内容	暮らしの中の芸術（花を描く） 描写と着彩
第11回	担当教員	金森 昭憲 癒しと芸術IV
	内容	障害者に対する芸術技法について考える。
第12回	担当教員	金森 昭憲 癒しと芸術V
	内容	障害者に対する芸術技法について、映像を中心に学ぶ。
第13回	担当教員	金森 昭憲 医療と芸術I
	内容	高齢化社会と芸術について考える。
第14回	担当教員	金森 昭憲 医療と芸術II
	内容	医療と芸術について様々な資料をもとに学ぶ。
第15回	担当教員	佐藤 みつ子 医療と芸術III
	内容	「芸術を医療現場で活用する」をテーマにプレゼンテーションを行う。

評価方法

提出課題（レポート含む）100% [金森]

教科書

指定なし。配布資料を用いる。

参考書

指定なし。配布資料を用いる。

オフィスアワー

質問等は授業の前後で受け付ける。

実務経験の有無

「有」

その他

- ※この講座は「芸術療法実技I」を履修している学生のみ対象。
- ※適宜プリント資料を配布する。

講義コード	7301701
講義名	看護と芸術II（書の感性と創造）
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	4
必修/選択	選択

担当教員

氏名
入江 多津子
伏屋 友賀
鈴木 蓉春

総合学習目標

芸術表現I及び芸術療法実技I（書道）で”書”の表現と鑑賞を学修・習得した技術を活用した看護と芸術（書）の融合を追究する。日本人の心の書を学ぶことにより、日本の書の特徴から日本固有の美や和の精神から人に寄り添う”看護の心”へ新たな価値を創造することによる芸術の発展と豊かで安定した心象を実感する。DP1-①

個別学習目標

1. 看護と書のコンセプトにより自己の内面を磨く。
2. 繰り返す作業から集中力を培い自己の成長へと高める。
3. 多くの書体から看護の視点で読み解く感性を磨く。
4. 自身の表現ツールとしての書を導き出すこと。
5. 看護の対象に合わせた書を通じて看護アートを創造する。

準備学修

シラバスに記載された内容を理解し、授業に臨んでください。

- 1～7回では筆ペンを使用します。
8～15回では書道の筆を持参してください。

授業計画

第1回	担当教員	入江 多津子 ガイダンス さまざまな俳句の模写
	内容	看護と書道を芸術として融合するには【入江】
第2回	担当教員	入江 多津子 さまざまな俳句の模写
	内容	医療現場で生かされている“書”の活用【入江】
第3回	担当教員	入江 多津子 清少納言をなぞる。
	内容	医療現場で生かされている“書”の活用【入江】
		入江 多津子

第4回	担当教員	清少納言をなぞる。
	内容	書から伝わる看護の心, 看護の心からの書【入江】
第5回	担当教員	入江 多津子 写経を実際に行う
	内容	写経を通し、看護を考える。【入江】
第6回	担当教員	入江 多津子 写経を実際に行う
	内容	写経を通し、看護を考える。【入江】
第7回	担当教員	入江 多津子 自分の好きな言葉を探す
	内容	書道を通して独自の看護を考える。 座右の銘を書く【入江】
第8回	担当教員	鈴木 蓉春 伏屋 友賀 作品制作
	内容	筆使いによる書き分け（露鋒・蔵鋒とは）【鈴木】 墨象について学ぶ【伏屋】
第9回	担当教員	鈴木 蓉春 伏屋 友賀 作品提出
	内容	古代の文字を通して古代人の心に触れる【鈴木】 墨象における心の表現について【伏屋】
第10回	担当教員	鈴木 蓉春 伏屋 友賀 作品制作
	内容	書からアートへ（甲骨文・金文）【鈴木】 墨象による作品制作【伏屋】
第11回	担当教員	鈴木 蓉春 伏屋 友賀 作品提出
	内容	心に響く書の表現法【鈴木】 作品鑑賞【伏屋】
第12回	担当教員	伏屋 友賀 鈴木 蓉春 作品制作
	内容	墨象について学ぶ【伏屋】 筆使いによる書き分け（露鋒・蔵鋒とは）【鈴木】
第13回	担当教員	伏屋 友賀 鈴木 蓉春 作品提出
	内容	墨象における心の表現について【伏屋】 古代の文字を通して古代人の心に触れる【鈴木】
第14回	担当教員	伏屋 友賀 鈴木 蓉春 作品制作
	内容	墨象による作品制作【伏屋】 書からアートへ（甲骨文・金文）【鈴木】
		伏屋 友賀

第15回	担当教員	鈴木 蓉春 作品提出
	内容	作品鑑賞【伏屋】 心に響く書の表現法【鈴木】

評価方法

定期試験は実施しない。
入江：課題レポート（20点）及び作品提出（20点）
伏屋・鈴木：作品提出（50点）

教科書

テキスト
授業時提示する

参考書

参考文献
授業時提示する

オフィスアワー

別途提示する。

その他

事前学習準備として、看護専門分野の知識と臨地実習で体験した看護場面を統合することにより得られた看護観を整理して臨むこと。

1回目の授業の際に筆の購入について説明します。

担当教員実務経験の有無，有

<キャリア教育科目>

講義コード	7301704
講義名	看護と芸術II（書の感性と創造）
(副題)	(2022年度入学生用)
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	2
必修/選択	必修

担当教員

氏名
入江 多津子
伏屋 友賀
鈴木 蓉春

総合学習目標

芸術表現I及び芸術療法実技I（書道）で”書”の表現と鑑賞を学修・習得した技術を活用した看護と芸術（書）の融合を追求する。日本人の心の書を学ぶことにより、日本の書の特徴から日本固有の美や和の精神から人に寄り添う”看護の心”へ新たな価値を創造することによる芸術の発展と豊かで安定した心象を実感する。DP1-①

個別学習目標

1. 看護と書のコンセプトにより自己の内面を磨く。
2. 繰り返す作業から集中力を培い自己の成長へと高める。
3. 多くの書体から看護の視点で読み解く感性を磨く。
4. 自身の表現ツールとしての書を導き出すこと。
5. 看護の対象に合わせた書を通じて看護アートを創造する。

準備学修

シラバスに記載された内容を理解し、授業に臨んでください。

- 1～7回では筆ペンを使用します。
8～15回では書道の筆を持参してください。

授業計画

第1回	担当教員	入江 多津子 ガイダンス さまざまな俳句の模写
	内容	看護と書道を芸術として融合するには【入江】
第2回	担当教員	入江 多津子 さまざまな俳句の模写
	内容	医療現場で生かされている“書”の活用【入江】
第3回	担当教員	入江 多津子 清少納言をなぞる。
	内容	医療現場で生かされている“書”の活用【入江】
		入江 多津子

第4回	担当教員	清少納言をなぞる。
	内容	書から伝わる看護の心, 看護の心からの書【入江】
第5回	担当教員	入江 多津子 写経を実際に行う
	内容	写経を通し、看護を考える。【入江】
第6回	担当教員	入江 多津子 写経を実際に行う
	内容	写経を通し、看護を考える。【入江】
第7回	担当教員	入江 多津子 自分の好きな言葉を探す
	内容	書道を通して独自の看護を考える。 座右の銘を書く【入江】
第8回	担当教員	鈴木 蓉春 伏屋 友賀 作品制作
	内容	筆使いによる書き分け（露鋒・蔵鋒とは）【鈴木】 墨象について学ぶ【伏屋】
第9回	担当教員	鈴木 蓉春 伏屋 友賀 作品提出
	内容	古代の文字を通して古代人の心に触れる【鈴木】 墨象における心の表現について【伏屋】
第10回	担当教員	鈴木 蓉春 伏屋 友賀 作品制作
	内容	書からアートへ（甲骨文・金文）【鈴木】 墨象による作品制作【伏屋】
第11回	担当教員	鈴木 蓉春 伏屋 友賀 作品提出
	内容	心に響く書の表現法【鈴木】 作品鑑賞【伏屋】
第12回	担当教員	伏屋 友賀 鈴木 蓉春 作品制作
	内容	墨象について学ぶ【伏屋】 筆使いによる書き分け（露鋒・蔵鋒とは）【鈴木】
第13回	担当教員	伏屋 友賀 鈴木 蓉春 作品提出
	内容	墨象における心の表現について【伏屋】 古代の文字を通して古代人の心に触れる【鈴木】
第14回	担当教員	伏屋 友賀 鈴木 蓉春 作品制作
	内容	墨象による作品制作【伏屋】 書からアートへ（甲骨文・金文）【鈴木】
		伏屋 友賀

第15回	担当教員	鈴木 蓉春 作品提出
	内容	作品鑑賞【伏屋】 心に響く書の表現法【鈴木】

評価方法

定期試験は実施しない。
入江：課題レポート（20点）及び作品提出（80点）
伏屋・鈴木：作品提出（100点）

教科書

テキスト
授業時提示する

参考書

参考文献
授業時提示する

オフィスアワー

別途提示する。

その他

事前学習準備として、看護専門分野の知識と臨地実習で体験した看護場面を統合することにより得られた看護観を整理して臨むこと。

1回目の授業の際に筆の購入について説明します。

担当教員実務経験の有無，有

<キャリア教育科目>

講義コード	7303010
講義名	看護技術I〔看A〕
(副題)	(共通基本技術)
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名
天野 勢子
飯田 裕美

総合学習目標

看護実践能力の基盤となる共通基本技術（コミュニケーション技術、感染防止の技術、安全確保の技術）の基礎を修得する。また、看護者に求められるふさわしい態度について思考し、実践する。

【看護学科 DP1-②、DP3-①②】

個別学習目標

1. コミュニケーション技術、感染防止の技術、安全確保の技術、環境調整技術の技術を実践するため
に必要な知識と方法を説明することができる。
2. 科学的根拠に基づいて共通基本技術を実施できる。
3. 看護技術の受け手である人々をさまざま側面（身体的・心理的・社会的状況）から理解することの
重要性が表現できる。
4. 看護者としてふさわしい態度について思考し、実践できる。

準備学修

事前学習、事後学習

① <各回共通の事前学習>：シラバスに記載されている学習内容と教科書に該当する部分をよく読み、自分の考えや疑問をまとめておくこと（30分程度）

② <各回共通の事後学習>：授業内容を振り返り、提示された課題に取り組み、自分の考えをまとめておくこと（60分程度）

授業計画

第1回	担当教員	天野 勢子 飯田 裕美 授業ガイダンス 看護技術の概念 生活者としての患者理解
	内容	授業ガイダンス 看護技術とは 人間にとっての安全・安楽・自立
第2回	担当教員	天野 勢子 飯田 裕美 実習室の使い方、身だしなみについて：演習

	内容	実習室の使い方、看護学生としての身だしなみについて、実習室内のオリエンテーション 基礎看護学実習室での学習の手引き
第3回	担当教員	天野 勢子 飯田 裕美 感染防止の技術：講義、演習
	内容	感染から自分を守る技術 感染とその予防に基礎知識 スタンダードプリコーションについて 演習：衛生学的手洗い、PPE(個人用防護具)の取り扱い
第4回	担当教員	天野 勢子 飯田 裕美 活動と休息の援助①：講義
	内容	良い姿勢 ボディメカニクス 体位 睡眠・休息についての基礎知識 睡眠・休息への援助
第5回	担当教員	天野 勢子 飯田 裕美 活動と休息の援助②：演習
	内容	良い姿勢について 体位 移動動作（仰臥位、側臥位、フーラー位、長座位、端座位、立位、各体位への変換）歩行の援助
第6回	担当教員	天野 勢子 飯田 裕美 活動と休息の援助技術③：講義
	内容	車いす・ストレッチャーの基礎知識、点検、移動、移乗について
第7回	担当教員	天野 勢子 飯田 裕美 活動と休息（演習）
	内容	体位変換 車いす移乗 ストレッチャーによる移送 歩行の援助
第8回	担当教員	天野 勢子 飯田 裕美 人間にとっての環境
	内容	人間にとっての環境とは 病床環境
第9回	担当教員	天野 勢子 飯田 裕美 人間にとっての環境（演習）
	内容	病床を整える技術 環境整備 リネンのたたみ方
第10回	担当教員	天野 勢子 飯田 裕美 人間にとっての環境（演習）
	内容	ベッドメイキング
第11回	担当教員	天野 勢子 飯田 裕美 病床を整える技術（演習）
	内容	臥床患者のシーツ交換
第12回	担当教員	天野 勢子 飯田 裕美 コミュニケーション①
	内容	コミュニケーションの意義 目的 構成要素
第13回	担当教員	天野 勢子 飯田 裕美 コミュニケーション②

	内容	コミュニケーション技法コミュニケーションの成立過程 看護場面におけるコミュニケーション
第14回	担当 教員	天野 勢子 飯田 裕美 コミュニケーション③
	内容	ロールプレイ
第15回	担当 教員	天野 勢子 飯田 裕美 実技試験
	内容	学習状況に応じて試験項目を決定し実施する。

評価方法

「定期試験40点（40%）、レポート40点（40%）、実技試験20点（20%）合計100点（100%）で評価する。」

教科書

テキスト

阿曾洋子 他：基礎看護技術 第8版 医学書院.2019

参考書

1. 香春 知永, 他：基礎看護技術 看護過程のなかで技術を理解する, 南江堂, 2020
2. 任 和子 (編)：根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術, 医学書院, 2017
3. 参考文献

適宜授業内で紹介する

実務経験の有無

有

その他

1. 演習は基本的にAクラスBクラスに分けて行います。
2. 積極的な質問、演習、グループワークへの取り組みなど、皆さんの大いなる参加を期待します。また、確実に実施できるように繰り返し自己練習を行ってください。

講義コード	7303011
講義名	看護技術I〔看B〕
(副題)	(共通基本技術)
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名
天野 勢子
飯田 裕美

総合学習目標

看護実践能力の基盤となる共通基本技術（コミュニケーション技術、感染防止の技術、安全確保の技術）の基礎を修得する。また、看護者に求められるふさわしい態度について思考し、実践する。

【看護学科 DP1-②、DP3-①②】

個別学習目標

1. コミュニケーション技術、感染防止の技術、安全確保の技術、環境調整技術の技術を実践するため
に必要な知識と方法を説明することができる。
2. 科学的根拠に基づいて共通基本技術を実施できる。
3. 看護技術の受け手である人々をさまざま側面（身体的・心理的・社会的状況）から理解することの
重要性が表現できる。
4. 看護者としてふさわしい態度について思考し、実践できる。

準備学修

事前学習、事後学習

- ① <各回共通の事前学習>：シラバスに記載されている学習内容と教科書に該当する部分をよく読み、自分の考えや疑問をまとめておくこと（30分程度）
- ② <各回共通の事後学習>：授業内容を振り返り、提示された課題に取り組み、自分の考えをまとめておくこと（60分程度）

授業計画

第1回	担当教員	天野 勢子 飯田 裕美 授業ガイダンス 看護技術の概念 コミュニケーション 生活者の視点
	内容	授業ガイダンス 看護技術の概念 コミュニケーションの意義と目的 生活者としての患者理解
第2回	担当教員	天野 勢子 飯田 裕美 実習室オリエンテーリング：演習D

	内容	実習室・リネン室オリエンテーリング
第3回	担当 教員	天野 勢子 飯田 裕美 感染防止の技術①：講義
	内容	感染防止技術の概要 標準予防策の基礎知識と実際 感染経路予防策の基礎知識
第4回	担当 教員	天野 勢子 飯田 裕美 標準予防策 手指衛生：演習D
	内容	日常的手洗い 衛生的手洗い
第5回	担当 教員	天野 勢子 飯田 裕美 職業感染対策
	内容	感染性廃棄物の処理 抗体検査とワクチン接種
第6回	担当 教員	天野 勢子 飯田 裕美 標準予防策 個人防護具：演習D
	内容	ガウン・マスク・手袋の着脱方法
第7回	担当 教員	天野 勢子 飯田 裕美 環境を整える技術 安全確保の技術
	内容	療養生活の環境 安全確保の基礎知識 転倒・転落防止の基礎知識
第8回	担当 教員	天野 勢子 飯田 裕美 環境整備（感染防止・安全確保の技術）：演習D
	内容	ベッド周囲の環境整備 日常清掃
第9回	担当 教員	天野 勢子 飯田 裕美 環境を整える技術
	内容	病室の環境のアセスメントと調整
第10回	担当 教員	天野 勢子 飯田 裕美 ベッドメイキング：演習D
	内容	リネン交換
第11回	担当 教員	天野 勢子 飯田 裕美 感染防止の技術②
	内容	洗浄・消毒・滅菌の基礎知識 無菌操作の基礎知識
第12回	担当 教員	天野 勢子 飯田 裕美 感染防止の技術（無菌操作）：演習D
	内容	滅菌手袋の装着 滅菌物の取り出し方
第13回	担当 教員	天野 勢子 飯田 裕美 看護技術の受け手である対象者の理解・看護技術の提供者である看護者の態度：演習B
	内容	既習知識を活用し、看護技術の受け手である対象者の理解や看護技術の提供者である看護者の望ましい態度についてグループでまとめる
第14回	担当 教員	天野 勢子 飯田 裕美 実技試験①：演習D
	内容	学習状況に応じて試験項目を決定し実施する。

第15回	担当 教員	天野 勢子 飯田 裕美 実技試験②：演習D
	内容	学習状況に応じて試験項目を決定する。

評価方法

「定期試験40点（40%）、レポート40点（40%）、実技試験20点（20%）合計100点（100%）で評価する。」

教科書

テキスト
阿曾洋子 他：基礎看護技術 第8版 医学書院.2019

参考書

1. 香春 知永, 他：基礎看護技術 看護過程のなかで技術を理解する, 南江堂, 2020
 2. 任 和子（編）：根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術, 医学書院, 2017
 3. 参考文献
- 適宜授業内で紹介する

実務経験の有無

有

その他

1. 演習は基本的にAクラスBクラスに分けて行います。
2. 積極的な質問、演習、グループワークへの取り組みなど、皆さんの大いなる参加を期待します。また、確実に実施できるように繰り返し自己練習を行ってください。

講義コード	8000101
講義名	エステティック概論
(副題)	
講義開講時期	前期後半
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	15.00
対象学年	1
必修/選択	自由

担当教員

氏名
後藤 由美子

総合学習目標

「エステティック」と「ソシオエステティック」に関する基礎的な知識を習得し、エステシャンとしての社会的な役割と基本的な心構えを理解することができる。
看護DP1-①

個別学習目標

現代のストレス社会での「エステティック」と「ソシオエステティック」の必要性を理解し、その基本である「ホスピタリティマインド」を実践できる。

授業計画

第1回	担当教員	後藤 由美子 エステティックの概念について
	内容	下記項目について学習します。 ①エステティックの概要と役割と責任について ・望ましいエステティック感やプロ意識を学ぶ ②「ソワンエステティック」と「ホスピタリティ」 ・エステティック領域と目的効果を学ぶ ③エステティックの「スキンタッチ」と「五感美容」 ・五感の快適刺激と安らぎの関係性などについて ④健康美とエステティックの接点とアンチエイジング ・高齢化社会のウエルネス思考とエステティックの接点
第2回	担当教員	後藤 由美子 エステテシャンとしての心構え
		下記項目について学習します。 ①エステテシャン資質について ・人間性と専門性の構成要素、サロンが求める人材を学ぶ

	内容	<p>②ホスピタリティマインドについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・真のエステティシャンに大切なことは何かを学ぶ <p>③将来あるべき姿像（目標）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セルフイメージの確立について学ぶ
第3回	担当教員	後藤 由美子 世界のエステティック
	内容	<p>下記項目について学習します。</p> <p>①エステティック情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いま知っているエステティックに何がありますか？ <p>②日本のエステティックと課題について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時代背景と日本のエステティック市場を学ぶ <p>③世界のエステティックと資格制度について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各国の主なエステティックの種類と環境などを学ぶ <p>④世界のエステティック技術について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本で展開される世界のエステティック
第4回	担当教員	後藤 由美子 ソシオエステティック基礎概論Ⅰ
	内容	<p>下記項目について学習します。</p> <p>①ソシオエステティック（ビデオ）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フランスのソシオエステティックを学ぶ <p>②ソシオエステティックの十戒について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソシオエステティックの心得を学ぶ <p>③ソシオエステティックの目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者や活動領域について <p>④ソシオエステティックの活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に行われているケアなどについて
第5回	担当教員	後藤 由美子 ソシオエステティック基礎概論Ⅱ
	内容	<p>下記項目について学習します。</p> <p>①多様性について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個性や自分と違うものを受け入れる大切さを学ぶ <p>②ソシオエステティックの活動</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・各施設のソシオエステティックについて <p>③化粧療法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・化粧行為による心身機能やQOLの維持向上を学ぶ
第6回	担当教員	後藤 由美子 ソシオエステティック基礎概論Ⅲ
	内容	下記項目について学習します。 <ul style="list-style-type: none"> ①高齢社会について <ul style="list-style-type: none"> ・高齢社会とソシオエステティックの関わりを学ぶ ②高齢者の特徴 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者に多いトラブルについて学ぶ ③コミュニケーションについて <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の心理変化と対応を学ぶ ④ソシオエステティックの活動 <ul style="list-style-type: none"> ・美容アプローチ、スキンタッチ、心配りについて
第7回	担当教員	後藤 由美子 未来のエステティック
	内容	下記項目について学習します。 <ul style="list-style-type: none"> ①今後のエステティックについて <ul style="list-style-type: none"> ・エステティックの動向を学ぶ 下記について、ディスカッションを行います。 <ul style="list-style-type: none"> ①エステティックとソシオエステティックの違い ②ソシオエステティックの可能性（将来性） ③自分の目指す姿像
第8回	担当教員	後藤 由美子 エステティック概論まとめ
	内容	下記項目について確認します。 <ul style="list-style-type: none"> ①エステティックの全体像の確認 ②一般社団法人日本エステティック試験センターが実施する「認定エステティック」の「エステティック概論」に関わる筆記試験問題に沿い、その解説をします。 ③「日本のソシオエステティックの将来」をレポートにまとめる

8回の講義を踏まえて「日本のソシオエステティックの将来」について、
自分の考えをまとめる。論文40点・筆記60点（計100点で評価する）

教科書

新エステティック学基礎編Ⅲ

参考書

参考：ソシオエステティック

参考文献：ソシオエステティック

その他

エステティック理論過程

講義コード	8000201
講義名	皮膚科学
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	自由

担当教員

氏名

青木 松美

総合学習目標

皮膚は私たちの身体を守るバリアとして、体表面全体を覆う最大の臓器であり、紫外線や乾燥などの影響を防ぎ、身体内部のホメオスタシスに大きな役割を果たしていることを理解する。この皮膚の働きとしくみを理解し、美しく健康に保つためのスキンケアの方法を学ぶ。

看護学科 DP1-②に該当する。

個別学習目標

皮膚科学で学ぶ知識を自身の日常のスキンケアに対比させて考えることができ、皮膚の働きとしくみに合わせて、より美しく健康に保つためのスキンケアに対応させることができる。また、学んだ知識をもとに身近な家族や友人へのアドバイスができる。

授業計画

第1回	担当教員	青木 松美 皮膚の基本知識 1. 生体における皮膚の役割
	内容	皮膚の4つの役割 (1) 保護膜、(2) 熱交換器、(3) センサー、(4) 鏡 について理解させる。
第2回	担当教員	青木 松美 皮膚の基本知識 2. 皮膚の構造と働き
	内容	皮膚は人体で最大の臓器であることを理解させる。皮膚表面の基本的な構造と皮膚の厚み、毛細血管の位置などを大まかに理解することで、皮膚の観察、施術の際の力加減のイメージをつかみやすくする。
第3回	担当教員	青木 松美 皮膚の基本知識 2. 皮膚の構造と働き
	内容	表皮、表皮付属器官 (皮脂膜、汗腺)、真皮、皮下組織の基本的な構造と働きを理解させる。
	担当教員	青木 松美 美容上大切な皮膚の6つの働き 1. 皮脂膜 2. 角質層バリア

第4回	<p>内容</p> <p>1. 皮脂膜：皮脂膜の役割を理解させる。その上で過剰な皮脂は毛孔の目立ちなど6つのデメリットが生じやすくなることを理解させる。エステティック過程→毛孔を清潔にし、余分な皮脂や角質を取り除く。</p> <p>2. 角質層バリア：全身の表面を覆う角質層には外からの異物の侵入を防ぎ、体内からの水分の喪失を防ぐという2つのバリアの働きがあることを理解させる。角質層はNMFと角質細胞間脂質のダブル保湿構造であり保湿の主体であること、また、角質層バリアとキメの整い方には関係があり、角質層バリアが弱まると、キメが乱れたり、不明瞭になる。エステティック過程→角質層の保湿を維持し、キメの整ったうるおいのある状態を作る。</p>
第5回	<p>担当 教員</p> <p>青木 松美 美容上大切な皮膚の6つの働き 3. 表皮ターンオーバー</p>
第5回	<p>内容</p> <p>3. 表皮ターンオーバー：基底層の細胞が約2週間のサイクルで分裂し、その細胞は有棘層、顆粒層、角質層と姿を変え、やがて剥がれ落ちていく。この表皮が約1か月のリズムで常に新しい細胞に置き換わっていくことを表皮のターンオーバーという。ただし、このリズムは様々な条件で変化し、日焼けや炎症により速まり、寒さや老化によって遅くなることを理解させる。エステティック過程→その状況により、炎症を鎮めたり、血行を良好にして、常に適正スピードに戻す。</p>
第6回	<p>担当 教員</p> <p>青木 松美 美容上大切な皮膚の6つの働き 4. メラノサイトの働き 5. 毛細血管の働き</p>
第6回	<p>内容</p> <p>4. メラノサイトの働き：メラノサイトは表皮の基底層のところどころにあり、その役割が、自然な肌の色を維持し、紫外線から肌を守るためメラニン顆粒を作り、周辺の表皮細胞に供給しているメカニズムを押しさえる。 紫外線を浴びたときの皮膚内部での変化のプロセス炎症⇒黒化⇒乾燥・皮むけ)とメラニン生成の活発化について理解させる。日焼け以外にもメラニン生成を活発化する要因があることも理解させる。エステティック過程⇒炎症を鎮め、保湿し、メラニンの生成を抑える。</p> <p>5. 毛細血管の働き：皮膚においては真皮の乳頭層にある毛細血管が主に表皮細胞に栄養と酸素を供給し、細胞から排出された二酸化炭素や老廃物を回収していることを押しさえる。 寒さや老化により毛細血管の血行が悪くなり、細胞は栄養不足を起こして代謝が衰える。 また、体温の恒常性を維持するために、皮膚の血行は環境の温度に左右され、環境温が高いと高くなり、低いと低くなることから、皮膚の血行もそれに伴って多くなったり少なくなったりすることを理解させる。エステティック過程⇒寒さや老化に対し、血行を促進し、組織の代謝をスムーズにする。</p>
第7回	<p>担当 教員</p> <p>青木 松美 美容上大切な皮膚の6つの働き 6. 線維芽細胞 7. 皮膚の働きのバランス</p>
第7回	<p>内容</p> <p>6. 線維芽細胞：線維芽細胞は真皮に存在し、真皮のコラーゲン、エラスチン、ヒアルロン酸（ムコ多糖）などを作ると同時にこれらの物質を分解する酵素も作っており、真皮を常にリフレッシュしていることを理解させる。 老化により線維芽細胞の働きが悪くなると、真皮はリフレッシュされにくくなり、保水力が低下して萎むため皮膚表面にたるみやシワができることを理解させる。（ただし、たるみやシワには筋肉の伸縮性の衰えも関係している）エステティック過程⇒線維芽細胞の衰えを防ぐ。</p> <p>7. 皮膚の働きのバランス：皮膚の働きは互いに関連してバランスが保たれる必要があることを理解させる。 例えば、良い状態の角質層の作るには、表皮のターンオーバーが順調でなくてはならず、そのためには毛細血管からの栄養補給が潤沢である必要があり、また、保水力のある真皮組織が毛細血管や表皮組織を支えている必要がある。</p>

第8回	担当 教員	青木 松美 肌の美しさを損ねる要因 1. 紫外線 2. 寒気（身体の冷え）
第9回	担当 教員	青木 松美 肌の美しさを損ねる要因 3. 乾燥（温度の低下、暖房の影響） 4. 加齢（エイジング） 5. 女性のリズム（月経、妊娠、更年期）
第10回	担当 教員	青木 松美 肌の美しさを損ねる要因 6. 精神的ストレス 7. 胃腸の不調 8. 生活習慣
第11回	担当 教員	青木 松美 さまざまな肌状態 1. 肌意識（悩み）の年代変化 2. 美しい肌
第12回	担当 教員	青木 松美 さまざまな肌状態 3. 衰えた肌 4. 色素沈着を起こした肌

1. 紫外線：紫外線により日焼け、シミ、シワ、たるみなどの光加齢が起こることを理解させる。紫外線は太陽光の一部であり、波長と人体への作用により、UVA・UVB・UVCの3つに分類されるが、波長の短い紫外線はオゾン層でカットされ地上には届かないことを理解させる。また、紫外線の年間における強度についても理解させる。

2. 寒気（身体の冷え）：毛細血管の収縮による血行不足により、代謝の低下や乾燥を招くことを理解させる。とくに年代が高くなると、寒さに対して血行が悪くなりやすい。

3. 乾燥（湿度の低下、暖房の影響）：角質層の水分不足を招き、肌荒れ、小ジワ、くすみなどを生じることを理解させる。

4. 加齢（エイジング）：遺伝子に刻まれた老化プログラムとさまざまな生活環境因子による老化の促進により、ほとんど全ての肌悩みが引き起こされることを理解させる。

5. 女性のリズム（月経、妊娠、更年期）：女性の身体はエストロゲン（卵胞ホルモン）とプロゲステロン（黄体ホルモン）の影響で月経、妊娠、更年期にそれぞれ特有の肌症状が起こることを理解させる。

6. 精神的ストレス：一般適応症候群と称されるさまざまな影響が肌状態、体調、精神面、食欲、睡眠などに悪影響を及ぼし、肌についてはほとんどすべての状態が表れることを理解する。

7. 胃腸の不調：消化不良や便秘の影響が肌に表れることを押さえる。

8. 生活習慣：偏食、嗜好品、運動不足、睡眠不足、お手入れ不足などはそれぞれ肌に悪影響を及ぼすことを理解させる。

1. 肌意識（悩み）の年代変化：ニキビを除く肌悩みの多くは、年代とともに増加する傾向にあることを理解させる。

2. 美しい肌：美肌の条件について話し合い、「透明感があること」、「キメが整っていること」、「潤いがあること」、「滑らかであること」、「しなやかであること」などに集約されることを押さえる。

皮脂と水分のバランスで4つの肌タイプに分類できることを理解させる。

美肌を損なう要因に対して、「お手入れの4つのポイント」で肌をサポートするのが化粧品・スキンケアを駆使したエステティックトリートメントやホームケアの役割であることを理解させる。

そのためにはお客様の肌を総合的に分析判断し、施術の組み立てとホームケアアドバイスを行う必要があることを理解させる。

3. 衰えた肌：年代別の肌状態やシワとたるみの種類、肌の色の年代変化について理解を深める。状態、要因、ケアのポイントを押さえる。

	内容	4. 色素沈着を起こした肌：日焼け後の時間経過と肌状態の変化に合わせた、効果的なケアを理解させる。状態、要因、総合的な美白ケアのポイントを押さえる。紫外線防止効果数値表示の理解、SPFの算出式、お客様へのアドバイスとして数値の目安を確認する（生活紫外線、レジャー紫外線）。
第13回	担当 教員	青木 松美 さまざまな肌状態 5. ニキビ 6. 肌荒れと敏感
	内容	5. ニキビ：ニキビの発生過程と4つの状態を理解させる。ニキビができる要因、ケアのポイントを押さえる。アクネ菌、ニキビダニについて理解を深める。 6. 乾燥が進み角質層バリアに破綻が起こり、刺激に対して弱い状態を「肌荒れ」、さらに症状が進んで炎症を起こしやすくなった状態を「敏感」ととらえる。状態、要因、ケアのポイント、日常生活の留意点を押さえる。アトピー性皮膚炎について理解させる。
第14回	担当 教員	青木 松美 肌分析 1. 目的 2. 肌分析を行ううえで考慮すべきポイント 3. 肌質チェック項目
	内容	1. 目的：その方の肌状態やトラブルに合った適切なコースの組み立てと、トラブルの要因から改善するために日々の生活アドバイスを行うために分析を行うことを理解する。 2. 肌分析を行ううえで考慮すべきポイント：肌状態を分析する上で、年齢、季節、生活・スキンケア習慣、体質・心身の不調、体調・疾患に留意する必要があることを理解させる。 3. 肌質チェック項目：基本となる「皮脂分泌量」「水分量」「敏感の程度とアレルギーの有無」「UV感受性と光加齢の程度」のほかに色素沈着、ニキビや炎症部位、シワ・たるみ等のトラブルを確認する。
第15回	担当 教員	青木 松美 肌分析 4. 肌タイプ
	内容	4. 肌タイプ：皮脂量と水分量から普通肌、乾燥肌、脂性肌、混合肌の4つの肌タイプに分類できることを理解させる。それぞれの肌タイプでTゾーンとUゾーンの分布域の違い、皮脂量と角質層の水分状態、キメの状態や毛穴の目立ち度などを比較し、違いを理解させる。特に混合肌は部位により皮脂や水分量の状態が異なる肌であることを理解させる。

評価方法

到達目標に対応させて、定期試験 70%、小テスト 20%、レポート 10% 合計100%で評価する。

教科書

テキスト：一般社団法人日本エステティック協会 新エステティック学理論編I

参考文献：美容の解体新書 中央書院

参考書

テキスト：一般社団法人日本エステティック協会 新エステティック学理論編I

参考文献：美容の解体新書 中央書院

その他

①準備学習について

自身の肌悩みについて、原因、対処法をレポートとして1500文字程度にまとめておくこと。

②担当教員実務経験の有無について

「有」

③オフィスアワーについて

「質問等は授業の前後で受け付ける」

講義コード	8000301
講義名	エステティック総論
(副題)	
講義開講時期	後期後半
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	15.00
対象学年	2
必修/選択	自由

担当教員

氏名
後藤 由美子

総合学習目標

エステシャンに必要な「生命活動とホメオスタシス」「運動生理学」「栄養学」「関連法規」の知識を学び、カウンセラーの役割を理解し、カウンセリングの流れと手順に沿って実践することで、エステティックカウンセリングができる。
看護DP1-①

個別学習目標

知識で学んだことをクライアントに理解できるように、分かりやすく具体的に説明ができる、またビフォーカウンセリングとアフターカウンセリングに生かすことができる。

授業計画

第1回	担当教員	後藤 由美子 生命活動とホメオスタシス
	内容	下記項目について学習します。 ①エステティック効果とホメオスタシスについて ・ホメオスタシスを制御する脳と3つの配線を学ぶ ②ホメオスタシスとゆらぎ ・時間的性質を生かしたエステティックの可能性 ③一般社団法人日本エステティック試験センターが実施する 「認定エステシャン」の「生命活動とホメオスタシス」 筆記試験問題に沿って、その解説をします。
第2回	担当教員	後藤 由美子 運動生理学
	内容	下記項目について学習します。 ①運動とアンチエイジングについて ・代謝的、ストレスと運動を学ぶ ②カウンセリングで必要な運動プログラム ・継続性と水分補給などアドバイスを学ぶ ③エステシャンの姿勢について ・技術時の姿勢維持の大切さを学ぶ

		③一般社団法人日本エステティック試験センターが実施する「認定エステシャン」の「運動生理学」の筆記試験問題に沿い、その解説をします。
第3回	担当教員	後藤 由美子 栄養学
	内容	下記項目について学習します。 ①健康と栄養について ・体型バランスと肥満を学ぶ ②美容と栄養について ・カウンセリングに必要な皮膚と栄養を学ぶ ③一般社団法人日本エステティック試験センターが実施する「認定エステシャン」の「栄養学」の筆記試験問題に沿い、その解説をします。
第4回	担当教員	後藤 由美子 関連法規
	内容	下記項目について学習します。 ①法の基礎知識について ・一般的な社会規範を確認する ②エステティックと法律 ・関わりの深い法律を学ぶ ③消費者保護について(エステティックトラブル) ・消費者トラブル例からの対応の心得を学ぶ ④職業関連の法律について ・人体に触れる職業の法律を学ぶ ⑤経済行為の法律について ・サロン開設、営業に関わる法律を学ぶ ⑥業界統一自主基準について ・目的、定義、倫理綱領を学ぶ ⑦法令遵守について = ディスカッション
第5回	担当教員	後藤 由美子 カウンセラーの役割
	内容	下記項目について学習し、実践します。 ①エステティックカウンセラーの役割 ・エステティックカウンセリングとは何かを学ぶ ②カウンセリングとコンサルティング ・的確な使い分けとその必要性を学ぶ ③心のメカニズム(顧客心理) ・お客様の心理のポイントを捉えることについて ④聴き上手、話し上手について ・聴くことの大切さとコミュニケーションの必要性を学ぶ ⑤聞き上手、話し上手 = ロールプレイ実践 ・会話のトレーニング
第6回	担当教員	後藤 由美子 カウンセリングの流れと手順 ¹
	内容	下記項目について学習します。 ①カウンセリングの流れ ・お迎えの心構えを学ぶ ②情報収集について(ビフォーカウンセリング) ・あらゆる面の情報収集の重要性を理解する ③施術中のカウンセリング ・トリートメント中の確認を学ぶ ④アフターカウンセリング ・お客様の満足度を知り、ホームケアの大切さを学ぶ ⑤カウンセリング手順 ・サロン内環境から必要な手順を学ぶ

		⑥コンサルテーションシート記入について ・コミュニケーションと項目の記載について学ぶ ⑦フェイシャル記入について ・フェイシャルカウンセリングに必要な項目を学ぶ ⑧ボディ記入について ・ボディカウンセリングに必要な項目を学ぶ
第7回	担当教員	後藤 由美子 カウンセリングの流れと手順II
	内容	下記項目について実践します。 ①フェイシャルカウンセリング（一人20分） ・コンサルテーションシートを作成実践する ②ボディカウンセリング（一人20分） ・コンサルテーションシートを作成実践する
第8回	担当教員	後藤 由美子 エステティック総論まとめ
	内容	下記項目について学習します。 ①ボディ分析について ・ボディカウンセリングの姿勢、体型分析、セルライトを学ぶ ②一般社団法人日本エステティック試験センターが実施する 「認定エステシャン」の「関連法規」「エステティックカウンセリング」 の筆記試験問題に沿い、その解説をします。 ③「エステティックとカウンセリング」をレポートにまとめる

評価方法

8回の講義を踏まえ「エステティックとカウンセリング」に関し、自分の考えをレポートにまとめる。論文40点・筆記60点（合計100点で評価する）

教科書

新エステティック学 基礎編I・II・III

参考書

配布資料を用いる。

参考文献

その他

適宜プリントを配布する。

講義コード	8000401
講義名	化粧品学
(副題)	
講義開講時期	後期後半
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	15.00
対象学年	2
必修/選択	自由

担当教員

氏名
青木 松美

総合学習目標

化粧品概論、フェイシャル・ボディ化粧品を中心に理解を深め、使用目的や各個人の状態やトラブル、目的等に合わせて化粧品の選択ができる。お客様に情報提供やアドバイスを行うことができる。

看護学科DP1-①に該当する

個別学習目標

化粧品に関するコンサルテーションができるようになる。使用目的に合わせた最適な成分が配合された化粧品を選択し、購入することができる。

授業計画

第1回	担当教員	青木 松美 化粧品概論 1. 化粧品・医薬部外品と薬機法 2. 化粧品の分類 3. 化粧品の品質と品質保証 4. 化粧品の取り扱い上の留意点
	内容	1. 化粧品・医薬部外品と薬機法：化粧品と医薬部外品の違いを、薬機法から理解させる。 2. 化粧品の分類：化粧品の分類と効能の範囲を理解させる。 3. 化粧品の品質と品質保証：化粧品は使用性、有用性、安全性、安定性面から保証されていることを理解させる。 4. 化粧品の取り扱い上の留意点：①化粧品を取り扱ううえで、使用期限、保管法、使用量の目安を理解させる。②パッチテストや全成分表示の理解を深めさせる。
第2回	担当教員	青木 松美 フェイシャル化粧品 1. フェイシャル化粧品の目的と働き 2. 洗顔化粧品 3. 整肌化粧品 4. 賦活化粧品
	内容	1. フェイシャル化粧品の目的と働き：フェイシャル化粧品の目的、機能と働き（恒常性維持）を理解させる。 2. 洗顔化粧品：肌質とメイクアップ料と洗顔料の関係を理解させ、エステティックの実践で応用できるようにする。 3. 整肌化粧品 4. 賦活化粧品：①整肌、賦活化粧品の目的と機能を理解させる。②エステティック施術で応用できるように理解させる。③化粧品のPHや乳化のタイプについて理解させる。

第3回	担当教員	青木 松美 ボディ化粧品 1. ボディ化粧品の目的と働き 2. 洗浄料 3. シェイプアップ料 4. サンケア料 5. 制汗・防臭料 6. 浴用料 7. 脱毛料
	内容	1. ボディ化粧品の目的と働き：ボディ化粧品の目的と働きについて理解させる。 2. 洗浄料：洗浄料を構成する成分と特徴を理解させる。 3. シェイプアップ料：ボディラインを整えるものとしてエステティックの実践で応用できるように理解させる。 4. サンケア料 5. 制汗・防臭料 6. 浴用料 7. 脱毛料：①季節性があるものや日常よく用いられる化粧品の知識として習得させる。②SPF, PA値、UVA、UVBを理解させる。
第4回	担当教員	青木 松美 メイクアップ化粧品、ネイル化粧品
	内容	1. メイクアップ化粧品の目的と働き：メイクアップ化粧品の目的と働きを理解させる。 2. ベースメイクアップ料：剤型や使用方法等を理解させる。 3. ポイントメイクアップ料：剤型や使用方法等を理解させる。 4. ネイル化粧品の目的と働き：ネイル化粧品の目的と働きを理解させる。 5. ネイルポリッシュ、ポリッシュリムーバー：剤型や使用方法等を理解させる。
第5回	担当教員	青木 松美 ヘアケア化粧品、フレグランス
	内容	1. ヘアケア化粧品の目的と働き：ヘアケア化粧品の目的と働きを理解させる。 2. 洗髪料、育毛料、ヘアケアスタイリング料、トリートメント料、パーマネントウェーブ料、染毛料、ヘアブリーチ：各項目の剤型、使用目的、効果について理解させる。
第6回	担当教員	青木 松美 化粧品原料 1. 化粧品の使用目的と剤型タイプの特徴 2. 水性原料 3. 保湿剤 4. 油性原料
	内容	1. 化粧品の使用目的と剤型タイプの特徴：使用目的と剤型について代表的なものを知識として習得させる。 2. 水性原料：水、エタノールなど 3. 保湿剤：グリセリン、ヒアルロン酸Na等 4. 油性原料：スクワラン、ミネラルオイル、セタノール、パルミチン酸、オリーブ油、マカデミアナッツ油等 2～4について配合目的、機能について理解させる。
第7回	担当教員	青木 松美 化粧品原料 5. 界面活性剤 6. 高分子化合物 7. 着色料 8. 香料
	内容	5. 界面活性剤：界面活性剤の機能と種類を理解させる。 6. 高分子化合物：キサンタンガム、カルボマー等 7. 着色剤：色剤の分類と代表的なものを知識として習得させる。 8. 香料：香料の素材について知識として習得させる。 5～8について配合目的、機能について理解させる。
第8回	担当教員	青木 松美 化粧品に用いられる薬剤とその働き 1. 紫外線カット剤 2. 酸化防止剤 3. 防腐防カビ剤 4. 美白剤 5. 肌荒れ防止剤など 6. ニキビ用薬剤 7. 制汗・防臭剤

内容	1～7の化粧品に用いられる代表的なものや、その起源（植物、合成、石油など）を習得させる。
-----------	--

評価方法

到達目標に対応させて、定期試験70%、小テスト20%、レポート10%、合計100%で評価する。

教科書

テキスト：一般社団法人日本エステティック協会 新エステティック学理論編I

参考文献：化粧品成分ガイド フレグランスジャーナル

日本化粧品検定2級・3級対策テキスト

日本化粧品検定1級対策テキスト

参考書

テキスト：一般社団法人日本エステティック協会 新エステティック学理論編I

参考文献：化粧品成分ガイド フレグランスジャーナル

日本化粧品検定2級・3級対策テキスト

日本化粧品検定1級対策テキスト

その他

①準備学習について

自分の使用している化粧品に配合されている成分5種について、目的・効果・特徴をレポートに1500文字程度にまとめる。

②担当教員実務経験の有無について 「有」

③オフィスアワーについて

「質問等は授業の前後で受け付ける」

講義コード	8000501
講義名	エステティック機器学
(副題)	
講義開講時期	後期後半
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	15.00
対象学年	2
必修/選択	自由

担当教員

氏名
青木 松美

総合学習目標

電気の基礎を身近な日常生活と照らし合わせて理解し、エステティック機器の作用、使用目的、美容効果、使用上の注意点、禁忌事項などを理解する。

看護学科DP1-①に該当する。

個別学習目標

エステティシャンをサポートするフェイシャルとボディの主な機器と用具の正しい理解と安全かつ効果的な活用ができるように、電気学の基礎をきちんと学び施術の禁忌事項と結び付けて理解する。

授業計画

第1回	担当教員	青木 松美 電気学の基礎 1. 原子、イオンと電気 2. 化学結合の種類 3. 一般電気学
	内容	1. 原子、イオンと電気：物体の構成、原子の構成、イオン化 2. 化学結合の種類：イオン結合、金属結合、共有結合 3. 一般電気学：電流の三大作用（発熱作用、磁気作用、化学作用）、電圧・電流・抵抗、電気の種類（静電気と動電気、直流電流、交流電流、電磁場）、電気の安全装置
第2回	担当教員	青木 松美 生体内の電気 1. 生体内の電気 2. 電気が生体に及ぼす影響
	内容	1. 生体内の電気：人体は導体、活動電位 2. 電気が生体に及ぼす影響：電流の生体作用、イオンの生体作用
第3回	担当教員	青木 松美 エステティック機器の種類と原理 1. エステティック機器の種類 2. カウンセリング機器の種類と原理
	内容	1. エステティック機器の種類：エステティック施術と化粧品、機器による相乗効果 2. カウンセリング機器の種類と原理：施術前カウンセリングをより効果的に行うためのカウンセリング機器の使用目的、特徴、機能、種類、機器名を理解す

		る。
第4回	担当教員	青木 松美 エステティック機器の種類と原理 3. 低周波機器と原理
	内容	1. 低周波機器と原理：低周波と筋肉の収縮、低周波機器の使用目的と作用、低周波機器の使用上の注意
第5回	担当教員	青木 松美 エステティック機器の種類と原理 4. イオン導入器と原理
	内容	4. イオン導入器と原理：イオン導入とは？、イオン導入機器の使用目的と作用、イオン導入機器の使用上の注意、エレクトロクレンジングとエレクトロピーリング
第6回	担当教員	青木 松美 エステティック機器の種類と原理 5. 高周波機器と原理
	内容	5. 高周波機器と原理：高周波による生体への作用、高周波機器の使用目的と作用、高周波機器の使用上の注意
第7回	担当教員	青木 松美 エステティック機器の種類と原理 6. 超音波機器と原理
	内容	6. 超音波機器と原理：超音波とは？、超音波機器の使用目的と作用、超音波機器の使用上の注意
第8回	担当教員	青木 松美 エステティック機器の種類と原理 7. 光線機器と原理
	内容	7. 光線機器と原理：可視光線と赤外線・紫外線、レーザー光線とは？、光線応用機器の使用目的と作用

評価方法

到達目標に対応させて、定期試験70%、小テスト20%、レポート10%で評価する。

教科書

テキスト：一般社団法人日本エステティック協会 新エステティック学理論編II

参考文献：

参考書

テキスト：一般社団法人日本エステティック協会 新エステティック学理論編II

参考文献：

その他

①準備学修について

新エステティック学理論編Ⅱエステティック機器学を読み、電気学の基礎知識の復習を行う。また、現在のエステティックサロンで人気のある電気機器と、その機器の使用電流の種類を調べて1000文字程度のレポートにまとめる。

②担当教員実務経験の有無について 「有」

③オフィスアワーについて

「質問等は授業の前後で受け付ける」

講義コード	8000601
講義名	サロン経営学
(副題)	
講義開講時期	後期後半
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	15.00
対象学年	2
必修/選択	自由

担当教員

氏名
後藤 由美子

総合学習目標

サロンワークで大切な「接客マナー」と「ホスピタリティーマインド」を学び、お客様に十分な満足をご提供できることがサロン反映に結びつくことを理解し、「サロン経営」の目標意識を持つことができる。
 看護DP1-①、DP3-②

個別学習目標

接客の基本から実践までを身につけ、サロンワークの中で「ホスピタリティーマインド」の言動が自然に振る舞えることにより、お客様から信頼を得て顧客となっていていただき、サロンが反映することを理解し、実践できる。

授業計画

第1回	担当教員	後藤 由美子 接客マナー
	内容	<p>下記項目について学習し、実践します。</p> <p>①接客の基本（笑顔・挨拶）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美しい笑顔、表情との一体化を実践し学ぶ <p>②身だしなみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々のチェックの大切さを学ぶ <p>③言葉遣い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・接客用語、尊敬語、敬語、謙譲語を学ぶ <p>④間違いやすい尊敬語</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体例により日頃の言葉の間違いを確認する
	担当教員	後藤 由美子 接客基本動作
		<p>下記項目について学習し、実践します。</p> <p>①態度、振る舞いについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本姿勢を実践し学ぶ

第2回	内容	<p>②電話応対について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受付の電話応対を実践し学ぶ <p>④基本動作について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立ち居振る舞いなど基本動作を実践し学ぶ <p>⑥表情トレーニング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表情について実践し学ぶ
第3回	担当教員	後藤 由美子 お客様への心遣い
	内容	<p>下記項目について学習し、実践します。</p> <p>①お客様への心遣い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お客様の心の動きを知ることの大切さを学ぶ <p>②クレーム処理について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トラブルの対応法について学ぶ <p>③具体的なトラブル例の解決法を見出す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対応法についてディスカッションで学ぶ <p>④サロンワークについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サロンワーク実践 <p>⑤サロンワークについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイング実践
第4回	担当教員	後藤 由美子 接客マナーまとめ
	内容	<p>下記項目について学習します。</p> <p>①お客様の信頼を得るための接客</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ディスカッションで学ぶ <p>②一般社団法人日本エステティック試験センターが実施する「認定エステシャン」の「接客マナー」の筆記試験問題に沿い、その解説をします。</p>
第5回	担当教員	後藤 由美子 エステティックサロン開設シミュレーション
	内容	<p>下記項目について学習します。</p> <p>①サロンマーケティング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サロン開設のマーケティングを学ぶ <p>②サロンコンセプト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サロンコンセプトと経営理念を学ぶ <p>③サロン開設について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開設に必要な項目を学ぶ
第6回	担当教員	後藤 由美子 サロン運営と管理
	内容	<p>下記の項目について学習します。</p> <p>①就業規則</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要性とその役割について <p>②資産管理（売上・販売価格設定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サロン開設に必要な要素について <p>③メニュー設定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要項目と価格設定を学ぶ <p>④マネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタッフと顧客のマネジメントについて <p>⑤サロン繁栄について</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・経営者の心得について学ぶ ⑥サロン経営について ・経営について必要なことをディスカッションで学ぶ
第7回	担当教員	後藤 由美子 サロン開設計画
	内容	<p>下記項目について学習し、計画立案まで行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①サロン計画概要について <ul style="list-style-type: none"> ・サロン開設に必要なことを確認 ②サロン開設について <ul style="list-style-type: none"> ・状来自分が開設したいサロンを立案する
第8回	担当教員	後藤 由美子 サロン経営学まとめ
	内容	<p>下記項目について学習します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①サロンの反映のために <ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンス、マネジメントの重要性を確認する ②一般社団法人日本エステティック試験センターが実施する「認定エステシャン」の「サロン経営学」の筆記試験問題に沿い、その解説をします。 ③「サロン経営と接客」をレポートにまとめる

評価方法

8回の講義を踏まえ「サロン経営と接客」についての、自分の考え方をレポートにまとめる。論文40点・筆記60点（計100点で評価する）

教科書

新エステティック学理論編Ⅲ

参考文献

参考書

配布資料を用いる。

参考文献

その他

適宜プリント資料を配布する。

講義コード	8000701
講義名	フェイシャルエステティック理論
(副題)	
講義開講時期	前期後半
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	15.00
対象学年	3
必修/選択	自由

担当教員

氏名

後藤 由美子

青木 松美

総合学習目標

フェイシャルエステティック技術の基本的な工程やその一つひとつの目的、手法、効果、施術ポイントを理解し、健やかな美肌作りを目指す。

看護DP1-①

個別学習目標

フェイシャルエステティック技術の理解を深め、カウンセリングにより、一人ひとりのお客様の肌や悩み、目的に合わせたトリートメント行程を理解する。

授業計画

第1回	担当教員	後藤 由美子 フェイシャルエステティックの目的と手法、効果と施術の基本姿勢について学ぶ
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・フェイシャルエステティックの目的、効果について理解する ・フェイシャルエステティックの流れを理解する (1) 事前準備 (2) ビフォーカウンセリング (3) フェイシャルトリートメント (4) アフターカウンセリング ・お客様をお迎えする準備で大切なことを理解する (1) 信頼される身だしなみについて (2) 心地よいサロン環境を整える
第2回	担当教員	後藤 由美子 フェイシャルエステティックの目的と手法、効果と施術の基本姿勢について学ぶ
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・クレンジングの目的と手法、効果について理解する ・スチームタオルの加温、加湿状態による肌への状態、手法を理解する ・クレンジング～スチーム終了後に皮膚状態を見極める。 ・素肌を診て触れて確認後に、トリートメント内容や使用化粧品を決定する必要性を理解する ・仕上げ（化粧水・乳液・美容液・クリーム）の目的、種類及び塗布方法を理解する ・施術時の基本動作で大切なことを知る
	担当教員	後藤 由美子 フェイシャルエステティックの目的と手法、効果及び施術の基本姿勢について学ぶ

第3回	員	
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ディープクレンジングの目的、種類、肌別使用法、手法について理解する ・マスクの目的、種類、肌別使用法、手法について理解する ・クレンジング～ディープクレンジング～マスクの実習により、肌の実感による違いを理解する
第4回	担当教員	後藤 由美子 フェイシャルエステティックの目的と手法、効果及び施術の基本姿勢について学ぶ
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・フェイシャルマッサージの目的、効果について理解する ・フェイシャルマッサージの基本手技【軽擦法】【強擦法】【揉捻法（揉捏法）】【打法】【振動法】【圧迫法】について、 ①手法②効果・作用③施術ポイントを理解する ・使用する手の部位、正しい姿勢と効果について理解する
第5回	担当教員	後藤 由美子 フェイシャルエステティックの目的と手法、効果及び基本姿勢について学ぶ
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・カウンセリングにより決定したトリートメントに必要な化粧品と備品の準備とフェイシャルエステティックの工程を再確認する ・事前準備～カウンセリング～クレンジング（肌確認及びトリートメント内容の再確認）～マッサージ～マスク～仕上げ迄の工程を理解する ・常にお客様の状況を把握し、お客様の立場で行うことの大切さを理解する
第6回	担当教員	青木 松美 フェイシャルエステティック機器の目的、使用方法、注意事項について学ぶ
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・フェイシャルエステティック機器を使用する目的、お手入れの留意点を理解する ・フェイシャルエステティック機器を使用したスキンチェックについて理解する ・ディープクレンジング（スチーマー・ブラシクレンジング・吸引・エレクトロクレンジング）の目的、手順、注意事項、禁忌事項を理解する ・肌タイプや悩みに合わせたディープクレンジングの選択について理解する ・機器の準備と片付けについて理解する
第7回	担当教員	青木 松美 フェイシャルエステティック機器の目的、使用方法、注意事項について学ぶ
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・パター、超音波、バイブレーション、高周波、イオン導入の目的、手順、注意事項、禁忌事項について理解する ・肌タイプや悩みに合わせた電気機器の選択について理解する ・機器の準備と片付けについて理解する
第8回	担当教員	青木 松美 フェイシャルエステティック機器の目的、使用方法、注意事項について学ぶ
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・カウンセリングとフェイシャルエステティックの工程を理解し、ディープクレンジングと電気機器の選択法について理解する ・フェイシャルエステティック機器の禁忌事項について再確認し、お客様に適切な選択かを理解する ・ハンドトリートメントと組み合わせた機器の使用による肌の違いを理解する ・フェイシャルエステティック理論まとめ

評価方法
筆記100点満点で評価する。
教科書
新エステティック学技術編 ^I
参考書
新エステティック学理論編II（化粧品学） 配布資料を用いる。
その他
適宜プリント資料を配布する

講義コード	8000801
講義名	ボディエステティック理論
(副題)	
講義開講時期	前期後半
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	15.00
対象学年	3
必修/選択	自由

担当教員

氏名	
青木 松美	

総合学習目標

ボディトリートメントを行う上でそれぞれのトリートメントの基本手技、目的、効果、注意事項、禁忌事項を理解する。
 ボディケアの基本手技、機器の選択の知識を持ち、お客様の状態やトラブルに合わせて最適なアプローチ（効果と安全性の確保）でのボディケアの組み立てと実施が出来るようになる。
 施術効果を持続させるためのホームケアアドバイスが出来るようになる。
 看護学科DP1-①に該当する

授業計画

第1回	担当教員	青木 松美 ボディエステティックの目的と効果
	内容	ボディエステティックの目的：ボディエステティックの目的がスキンケア系、プロポーションメイキング系、リラクゼーション系に分かれることを理解する。 ボディエステティックの効果：スキンケア系、プロポーションメイキング系、リラクゼーション系のそれぞれのボディケアについて理解する。
第2回	担当教員	青木 松美 ボディエステティックの流れ
	内容	ボディエステティックのそれぞれの工程の目的と効果について確認し、トリートメントの目的によってそれぞれの組み合わせが変わることを理解する。
第3回	担当教員	青木 松美 ボディエステティックの事前準備とカウンセリング（コンサルテーション）
	内容	事前準備：事前準備としてお客様に好感と信頼感を持っていただくためのエステティシャンとしての身だしなみと心地よく過ごしていただくためのサロン内の環境について理解する。 ビフォーカウンセリング：ビフォーカウンセリングの目的と効果について理解し、トリートメントを決定するための大切な工程であることを理解する。 カウンセリング後のトリートメント準備：カウンセリングによって決定したトリートメントに必要な化粧品、器具、備品、エステティシャン自身の消毒も含めその必要性について理解する。
	担当	青木 松美

第4回	当 教 員	ボディトリートメント工程について 1. ボディの観察、コンサルテーション
	内 容	観察とコンサルテーション：ボディトリートメント前の確認として、お客様のボディを診たり、触れたり採寸したりして体重や体脂肪等を測ることでトリートメントの内容や使用する化粧品を決定することの必要性和相関性を理解する。
第5回	担 当 教 員	青木 松美 ボディトリートメントの工程 2 温浴 3 ディープクレンジング 4 電気機器
	内 容	温浴：シャワーやバス、サウナなどの温浴トリートメントの目的・効果について理解する。 ディープクレンジング：ディープクレンジングの目的、手法、注意事項、禁忌事項について理解する。 電気機器：トリートメント目的やハンドケアとの組み合わせで選択する電気機器の目的・効果、禁忌事項について理解する。
第6回	担 当 教 員	青木 松美 ボディトリートメントの工程 5 マッサージ 6 ボディラップ、マスク 7 仕上げ 8 アフターカウンセリング
	内 容	マッサージ：ボディマッサージの目的、手法について理解する ボディラップ：ボディラップ、マスクの種類や目的・効果について理解する 仕上げ：ボディエステティックの仕上げ（整肌）について、目的や効果を理解する アフターカウンセリング：ボディトリートメント終了後のカウンセリングやホームケアアドバイスの目的と必要性について理解する
第7回	担 当 教 員	青木 松美 電気機器 1 低周波 2 ボディマッサージ 3 吸引（サクション） 4 ボディガルバニック
	内 容	ボディエステティックの機器について代表的なものを取り上げ、①機器の使用目的と効果、②注意事項、③禁忌事項を理解し正しく（効果と安全性）使用できるようにする
第8回	担 当 教 員	青木 松美 ボディマッサージ（スエーディッシュマッサージ）の基本手技について理解する
	内 容	ボディマッサージにおける基本手技1 軽擦法、2 強擦法、3 揉捻法、4 打法、5 振動法、6 圧迫法、7 運動法について①手法、②効果・作用、③注意点とポイントについて理解する

評価方法

到達目標に対応させて、定期試験 70%、小テスト 20%、レポート 10% 合計100%で評価する。

教科書

テキスト：一般社団法人日本エステティック協会 新エステティック学技術編¹、選択科目編¹

講義コード	8000901
講義名	ワックス脱毛理論
(副題)	
講義開講時期	前期後半
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	15.00
対象学年	3
必修/選択	自由

担当教員

氏名
青木 松美

総合学習目標

ワックス脱毛における基本的な毛髪理論と技術に関する基礎的な知識を習得する
サロンにおいてお客様に具体的なアドバイスが出来るような、毛髪の成長とトラブルについての幅広い知識を習得する
看護学科DP1-①に該当する

授業計画

第1回	担当教員	青木 松美 毛髪学概論
	内容	①体毛の役割を理解する ②毛の構造についての基本理論を理解する ③毛周期（ヘアサイクル）についての基礎知識を理解する ④体毛の種類について ⑤ムダ毛の処理方法の種類について ⑥体毛とホルモンの関わりについて
第2回	担当教員	青木 松美 ワックス脱毛の目的と効果
	内容	一時的脱毛と永久脱毛の違いについて ワックス脱毛の種類について：ソフトワックス、ハードワックス、シュガーリング
第3回	担当教員	青木 松美 ワックス脱毛の流れと工程
	内容	①ワックス脱毛の施術の流れ ②禁忌事項、注意事項、アフターケアアドバイスを理解する
第4回	担当教員	青木 松美 美容脱毛学概論
	内容	美容脱毛の歴史やレーザー脱毛等、現在のトレンドまでの幅広く基礎的な知識を習得する

第5回	担当教員	青木 松美 美容脱毛技術者として知っておきたい病気
	内容	①血液感染症の病気 ②体質への配慮：かぶれやすい方、アレルギー体質、ケロイド体質等について
第6回	担当教員	青木 松美 美容脱毛における衛生管理
	内容	美容脱毛施術と衛生管理：①衛生管理の基本となる考え方（手指の洗浄、使い捨てグローブの使用法）②ワックス脱毛における備品等の衛生管理について
第7回	担当教員	青木 松美 ワックス脱毛剤の種類について
	内容	化粧品の成分と特徴・効果 ①ソフトワックス ②ハードワックス ③シュガーワックス
第8回	担当教員	青木 松美 レーザー脱毛と光脱毛
	内容	光のメカニズムと波長について

評価方法

到達目標に対応させて、定期試験 70%、小テスト 20%、レポート 10% 合計 100%で評価する。

教科書

テキスト：一般社団法人日本エステティック協会 新エステティック学技術編I、選択科目編I

講義コード	8001001
講義名	フェイシャルエステティック実習
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	実習
基準単位数	2
時間	90.00
対象学年	4
必修/選択	選択

担当教員

氏名

後藤 由美子

総合学習目標

エステティシャンとしてお客様にフェイシャルエステティック技術ができること、また（一社）日本エステティック協会認定エステティシャン過程修了を目標に開講する。

・フェイシャルエステティック理論に基づいた基礎技術を習得し、お客様の肌タイプに合わせたトリートメントを適切に行い、心身の疲れを取り去り満足感を与えることができる。

看護DP1-①、DP3-②

個別学習目標

- ①カウンセリングを行いお客様に適切な化粧品・機器を選択し、コンサルテーションシートを完成させる。
- ②コンサルテーションに基づくトリートメントの可否判断と肌タイプ別トリートメントができる。
- ③お客様のライフスタイルを把握し、美容に関わる適切なアドバイスができる。
- ④お客様の心に寄り添う接遇により心身の疲れを癒し深い満足感を与える。
- ⑤（一社）日本エステティック協会認定エステティシャンフェイシャル技術力確認試験に合格する。

準備学修

毎回の積み上げから習得することが多いことから、実習した振り返り（できたこと・できなかったこと）をまとめておき、次回に生かす様にする。

授業計画

第1回	担当 教員	後藤 由美子 フェイシャルフローを理解しクレンジングを習得する
	内容	技術の基本である事前準備を整えてクレンジングを実践する
第2回	担当 教員	後藤 由美子 フェイシャルフローを理解しクレンジングを習得する
	内容	技術の基本である事前準備を整えてクレンジングを実践する
第3回	担当 教員	後藤 由美子 正しい姿勢を理解し、クレンジング技術を習得する
	内容	クレンジングを行いスチームタオルを使用し、肌の汚れを取り去ることができる
第4回	担当 教員	後藤 由美子 正しい姿勢を理解し、クレンジング技術を習得する
	内容	クレンジングを行いスチームタオルを使用し、肌の汚れを取り去ることができる
	担当	後藤 由美子

第5回	教員	ディープクレンジングの種類を理解し、肌タイプ別の使用法を習得する
	内容	肌に合わせたディープクレンジング選択と使用方法を実践し、肌の使用後感の違いを知る
第6回	担当教員	後藤 由美子 ディープクレンジングの種類を理解し、肌タイプ別の使用法を習得する
	内容	肌に合わせたディープクレンジング選択と使用方法を実践し、肌の使用後感の違いを知る
第7回	担当教員	後藤 由美子 ディープクレンジングの種類を理解し、肌タイプ別の使用法を習得する
	内容	肌に合わせたディープクレンジング選択と使用方法を実践し、肌の使用後感の違いを知る
第8回	担当教員	後藤 由美子 マッサージ基本手技効果・禁忌事項を理解し塗布法と軽擦法を習得する
	内容	清潔な肌にオイル塗布法とリラックス効果に優れる軽擦法を実践する
第9回	担当教員	後藤 由美子 マッサージ基本手技効果・禁忌事項を理解し塗布法と軽擦法を習得する
	内容	清潔な肌にオイル塗布法とリラックス効果に優れる軽擦法を実践する
第10回	担当教員	後藤 由美子 マッサージ基本手技効果・禁忌事項を理解し塗布法と軽擦法を習得する
	内容	清潔な肌にオイル塗布法とリラックス効果に優れる軽擦法を実践する
第11回	担当教員	後藤 由美子 マッサージ基本手技効果・禁忌事項を理解し塗布法と軽擦法を習得する
	内容	清潔な肌にオイル塗布法とリラックス効果に優れる軽擦法を実践する
第12回	担当教員	後藤 由美子 マッサージ基本手技効果を理解し、強擦法・揉捻法を習得する
	内容	オイルを塗布し皮膚深部を意識し筋肉を揉みほぐす強擦法・揉捻法を実践する
第13回	担当教員	後藤 由美子 マッサージ基本手技効果を理解し、強擦法・揉捻法を習得する
	内容	オイルを塗布し皮膚深部を意識し筋肉を揉みほぐす強擦法・揉捻法を実践する
第14回	担当教員	後藤 由美子 マッサージ基本手技効果を理解し打法・振動法・圧迫法・軽擦法を習得する
	内容	オイルを塗布し皮膚を軽く叩いたり振動させたり圧迫するなどの手技を実践する
第15回	担当教員	後藤 由美子 マッサージ基本手技効果を理解し打法・振動法・圧迫法・軽擦法を習得する
	内容	オイルを塗布し皮膚を軽く叩いたり振動させたり圧迫するなどの手技を実践する
第16回	担当教員	後藤 由美子 マッサージ基本手技の手順に従い、心地よい手技を習得する
	内容	オイルを塗布し手技のリズム・強弱・肌への密着などを意識し実践する
第17回	担当教員	後藤 由美子 マッサージ基本手技の手順に従い、心地よい手技を習得する
	内容	オイルを塗布し手技のリズム・強弱・肌への密着などを意識し実践する
第18回	担当教員	後藤 由美子 マッサージ基本手技手順に従い、お客様の悩みに合わせた手技を習得する
	内容	オイルを塗布しお客様の体調や肌状態に合わせ回数や力具合などを考慮し実践する
第19回	担当教員	後藤 由美子 マッサージ基本手技手順に従い、お客様の悩みに合わせた手技を習得する

	内容	オイルを塗布しお客様の体調や肌状態に合わせ回数や力具合などを考慮し実践する
第20回	担当 教員	後藤 由美子 カウンセリング手法を理解し、コンサルテーションシートの記載内容を習得する
	内容	お客様の体調や肌状態を確認しトリートメントプランを分かり易く工程説明ができる
第21回	担当 教員	後藤 由美子 お客様の肌タイプを把握し肌に適切なマスク選びを習得する
	内容	肌タイプに合わせたクレンジング法で汚れを除去し適切なマスク塗布を実践する
第22回	担当 教員	後藤 由美子 お客様の肌タイプを把握し肌に適切な機器選びを習得する
	内容	肌タイプに合わせたクレンジング法で汚れを除去し適切な機器使用を実践する
第23回	担当 教員	後藤 由美子 肌タイプを把握し肌に適切な機器選びを習得する
	内容	肌タイプに合わせたクレンジング法で汚れを除去し適切な機器を使い実践する
第24回	担当 教員	後藤 由美子 お客様の肌タイプを把握しマッサージ・マスク・整肌を習得する
	内容	お客様の肌タイプに合わせた化粧品を選択しマッサージ・マスク・整肌を適切に実践する
第25回	担当 教員	後藤 由美子 お客様の肌タイプを把握しマッサージ・マスク・整肌を習得する
	内容	お客様の肌タイプに合わせた化粧品を選択しマッサージ・マスク・整肌を適切に実践する
第26回	担当 教員	後藤 由美子 お客様に適切な施術を行いアフターカウンセリング迄の一連の流れを習得する
	内容	工程説明を行いクレンジング・マッサージ・マスク・整肌を実践し美容アドバイスをを行う
第27回	担当 教員	後藤 由美子 お客様に適切な施術を行いアフターカウンセリング迄の一連の流れを習得する
	内容	工程説明を行いクレンジング・マッサージ・マスク・整肌を実践後に美容アドバイスをを行う
第28回	担当 教員	後藤 由美子 お客様に適切な施術を行いアフターカウンセリング迄の一連の流れを習得する
	内容	工程説明を行いクレンジング・機器・マッサージ・マスク・整肌を実践後に美容アドバイスをを行う
第29回	担当 教員	後藤 由美子 お客様に適切な施術を行いアフターカウンセリング迄の一連の流れを習得する
	内容	工程説明を行いクレンジング・機器・マッサージ・マスク・整肌を実践後に美容アドバイスをを行う
第30回	担当 教員	後藤 由美子 お客様に適切な施術を行いアフターカウンセリング迄の一連の流れを習得する
	内容	工程説明を行いクレンジング・機器・マッサージ・マスク・整肌を実践後に美容アドバイスをを行う
第31回	担当 教員	後藤 由美子 お客様に適切な施術を行いアフターカウンセリング迄の一連の流れを習得する
	内容	工程説明を行いクレンジング・機器・マッサージ・マスク・整肌を実践後に美容アドバイスをを行う
	担当	後藤 由美子

第32回	教員	カウンセリングに基づき施術を行いアフターカウンセリング迄の一連の流れを習得する
	内容	カウンセリング・工程説明・クレンジング・機器・マッサージ・マスク・整肌を実践後に美容アドバイスを行う
第33回	担当教員	後藤 由美子 カウンセリングに基づき施術を行いアフターカウンセリング迄の一連の流れを習得する
	内容	カウンセリング・工程説明・クレンジング・機器・マッサージ・マスク・整肌を実践後に美容アドバイスを行う
第34回	担当教員	後藤 由美子 カウンセリングに基づき施術を行いアフターカウンセリング迄の一連の流れを習得する
	内容	カウンセリング・工程説明・クレンジング・機器・マッサージ・マスク・整肌を実践後に美容アドバイスを行う
第35回	担当教員	後藤 由美子 カウンセリングに基づき施術を行いアフターカウンセリング迄の一連の流れを習得する
	内容	カウンセリング・工程説明・クレンジング・機器・マッサージ・マスク・整肌を実践後に美容アドバイスを行う
第36回	担当教員	後藤 由美子 カウンセリングに基づいた施術を行いお客様が心地よいと感じる接遇を習得する
	内容	全体の通して常にお客様が心地よく過ごせる様な配慮・心配りを意識し実践する
第37回	担当教員	後藤 由美子 カウンセリングに基づいた施術を行いお客様が心地よいと感じる接遇を習得する
	内容	全体の通して常にお客様が心地よく過ごせる様な配慮・心配りを意識し実践する
第38回	担当教員	後藤 由美子 肌の違いを理解し適切なトリートメントを実践した健やかな肌について習得する
	内容	多様な肌に触れることで肌感触や皮膚温の違いなどを知り適切なトリートメントを実践する
第39回	担当教員	後藤 由美子 肌の違いを理解し適切なトリートメントを実践した健やかな肌について習得する
	内容	多様な肌に触れることで肌感触や皮膚温の違いなどを知り適切なトリートメントを実践する
第40回	担当教員	後藤 由美子 肌の違いを理解し適切なトリートメントを実践した健やかな肌について習得する
	内容	多様な肌に触れることで肌感触や皮膚温の違いなどを知り適切なトリートメントを実践する
第41回	担当教員	後藤 由美子 肌の違いを理解し適切なトリートメントを実践した健やかな肌について習得する
	内容	多様な肌に触れることで肌感触や皮膚温の違いなどを知り適切なトリートメントを実践する
42	担当教員	後藤 由美子 肌の違いを理解し適切なトリートメントを実践した健やかな肌について習得する

第 回	内容	多様な肌に触れることで肌感触や皮膚温の違いなどを知り適切なトリートメントを実践する
第43回	担当 教員	後藤 由美子 技術確認試験の流れを理解し口頭試問を習得する
	内容	フェイシャルエステティック技術を実践しながら試験官の口頭試問に答えることができる
第44回	担当 教員	後藤 由美子 技術確認試験の流れを理解し口頭試問を習得する
	内容	フェイシャルエステティック技術を実践しながら試験官の口頭試問に答えることができる
第45回	担当 教員	後藤 由美子 フェイシャルエステティック技術確認試験
	内容	カウンセリング～技術～アフターカウンセリングまでを試験官の指示に従い実践する。途中試験官は口頭試問するが受験者は手を止めずに回答する。

評価方法

技術力確認試験計100点で評価する。評価項目内容については、模擬試験にて詳細を案内する。
(一般社団法人日本エステティック協会合格⁷⁰点)

教科書

新エステティック学 技術編^I・理論編^I・II・III

参考書

配布資料を用いる。

その他

適宜プリント資料を配布する。

※実践の進捗状況により変更・追加の可能性あり、その場合には事前連絡を行う。

講義コード	8001101
講義名	ボディエステティック実習
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	実習
基準単位数	2
時間	90.00
対象学年	4
必修/選択	自由

担当教員

氏名

青木 松美

総合学習目標

ボディマッサージの基礎となるスエーディッシュマッサージの習得をベースとして、さらに高度なハンドテクニックと機器操作を学ぶ。また、注意事項や禁忌事項も理解しトータルエステティックの施術が提供できるようになる。

顧客の状態に合わせて、基剤の選択・手技の選択が出来、各々の顧客に最適なマッサージ技術やトリートメント工程の組み合わせを選択し実施できる。

看護学科DP1-①に該当する

授業計画

第1回	担当教員	青木 松美 ボディマッサージの準備とセッティング ボディマッサージ基本手技の習得
	内容	1. 準備品について 2. ベッドセッティングについて 3. タオルドレーピングについて 4. 立ち位置と体重移動について 5. 下肢後面の相モデル実習
第2回	担当教員	青木 松美 ボディマッサージの準備とセッティング ボディマッサージ基本手技の習得
	内容	1. 準備品について 2. ベッドセッティングについて 3. タオルドレーピングについて 4. 立ち位置と体重移動について 5. 下肢後面の相モデル実習
第3回	担当教員	青木 松美 ボディマッサージの準備とセッティング ボディマッサージ基本手技の習得
	内容	1. 準備品について 2. ベッドセッティングについて 3. タオルドレーピングについて 4. 立ち位置と体重移動について 5. 下肢後面の相モデル実習
	担当教員	青木 松美 ボディマッサージ・基本手技の習得

第4回	内容	1. ワゴンセッティング 2. ベッドセッティング 3. 下肢後面のマッサージの相モデルトレーニング 軽擦、強擦、揉捻、圧迫、叩打、振動、運動法の習得 4. 拭き取り（スチームタオル） 5. 後片付け、消毒
第5回	担当教員	青木 松美 ボディマッサージ・基本手技の習得
	内容	1. ワゴンセッティング 2. ベッドセッティング 3. 下肢後面のマッサージの相モデルトレーニング 軽擦、強擦、揉捻、圧迫、叩打、振動、運動法の習得 4. 拭き取り（スチームタオル） 5. 後片付け、消毒
第6回	担当教員	青木 松美 ボディマッサージ・基本手技の習得
	内容	1. ワゴンセッティング 2. ベッドセッティング 3. 下肢後面のマッサージの相モデルトレーニング 軽擦、強擦、揉捻、圧迫、叩打、振動、運動法の習得 4. 拭き取り（スチームタオル） 5. 後片付け、消毒
第7回	担当教員	青木 松美 腰背部ボディマッサージの習得
	内容	腰背部ボディマッサージの相モデルトレーニング 1. 立ち位置と体重移動 2. タオルドレーピング 3. 軽擦、強擦、揉捻、圧迫、叩打、振動法の習得
第8回	担当教員	青木 松美 腰背部ボディマッサージの習得
	内容	腰背部ボディマッサージの相モデルトレーニング 1. 立ち位置と体重移動 2. タオルドレーピング 3. 軽擦、強擦、揉捻、圧迫、叩打、振動法の習得
第9回	担当教員	青木 松美 腰背部ボディマッサージの習得
	内容	腰背部ボディマッサージの相モデルトレーニング 1. 立ち位置と体重移動 2. タオルドレーピング 3. 軽擦、強擦、揉捻、圧迫、叩打、振動法の習得
第10回	担当教員	青木 松美 下肢後面と腰背部マッサージの習得
	内容	下肢後面と腰背部マッサージの相モデルトレーニング 1. 下肢後面、腰背部のマッサージの手順習得と連続した手技 2. スチームタオルの使用法について 3. 顧客の体型に合わせた手技の強弱について
第11回	担当教員	青木 松美 下肢後面と腰背部マッサージの習得
	内容	下肢後面と腰背部マッサージの相モデルトレーニング 1. 下肢後面、腰背部のマッサージの手順習得と連続した手技 2. スチームタオルの使用法について 3. 顧客の体型に合わせた手技の強弱について
	担当教員	青木 松美

第12回	員	下肢後面と腰背部マッサージの習得
	内容	下肢後面と腰背部マッサージの相モデルトレーニング 1. 下肢後面、腰背部のマッサージの手順習得と連続した手技 2. スチームタオルの使用方法について 3. 顧客の体型に合わせた手技の強弱について
第13回	担当教員	青木 松美 下肢前面のマッサージの習得
	内容	下肢前面のマッサージの相モデルトレーニング 1. 立ち位置、体重移動、タオルドレーピング 2. 軽擦、強擦、揉捻、圧迫、叩打、振動法の習得
第14回	担当教員	青木 松美 下肢前面のマッサージの習得
	内容	下肢前面のマッサージの相モデルトレーニング 1. 立ち位置、体重移動、タオルドレーピング 2. 軽擦、強擦、揉捻、圧迫、叩打、振動法の習得
第15回	担当教員	青木 松美 下肢前面のマッサージの習得
	内容	下肢前面のマッサージの相モデルトレーニング 1. 立ち位置、体重移動、タオルドレーピング 2. 軽擦、強擦、揉捻、圧迫、叩打、振動法の習得
第16回	担当教員	青木 松美 腹部マッサージの習得
	内容	腹部マッサージの相モデルトレーニング 1. 立ち位置、体重移動、タオルドレーピング 2. 軽擦、強擦、揉捻、圧迫、叩打、振動法の習得
第17回	担当教員	青木 松美 腹部マッサージの習得
	内容	腹部マッサージの相モデルトレーニング 1. 立ち位置、体重移動、タオルドレーピング 2. 軽擦、強擦、揉捻、圧迫、叩打、振動法の習得
第18回	担当教員	青木 松美 腹部マッサージの習得
	内容	腹部マッサージの相モデルトレーニング 1. 立ち位置、体重移動、タオルドレーピング 2. 軽擦、強擦、揉捻、圧迫、叩打、振動法の習得
第19回	担当教員	青木 松美 上肢・デコルテマッサージの習得
	内容	上肢・デコルテマッサージの相モデルトレーニング 1. 立ち位置、体重移動、タオルドレーピング 2. 軽擦、強擦、揉捻、圧迫、叩打、振動法の習得
第20回	担当教員	青木 松美 上肢・デコルテマッサージの習得
	内容	上肢・デコルテマッサージの相モデルトレーニング 1. 立ち位置、体重移動、タオルドレーピング 2. 軽擦、強擦、揉捻、圧迫、叩打、振動法の習得
第21回	担当教員	青木 松美 上肢・デコルテマッサージの習得
	内容	上肢・デコルテマッサージの相モデルトレーニング 1. 立ち位置、体重移動、タオルドレーピング 2. 軽擦、強擦、揉捻、圧迫、叩打、振動法の習得
	担当教員	青木 松美 前面のボディマッサージの習得

第22回	内容	<p>下肢前面、腹部、上肢、デコルテマッサージの相モデルトレーニング</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 下肢前面、腹部、上肢、デコルテマッサージの手順の習得 2. 顧客の体型に合わせた手技の強弱の習得 3. 連続した手技の習得
第23回	担当教員	<p>青木 松美 前面のボディマッサージの習得</p>
	内容	<p>下肢前面、腹部、上肢、デコルテマッサージの相モデルトレーニング</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 下肢前面、腹部、上肢、デコルテマッサージの手順の習得 2. 顧客の体型に合わせた手技の強弱の習得 3. 連続した手技の習得
第24回	担当教員	<p>青木 松美 前面のボディマッサージの習得</p>
	内容	<p>下肢前面、腹部、上肢、デコルテマッサージの相モデルトレーニング</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 下肢前面、腹部、上肢、デコルテマッサージの手順の習得 2. 顧客の体型に合わせた手技の強弱の習得 3. 連続した手技の習得
第25回	担当教員	<p>青木 松美 ボディマッサージ（前面、後面）の習得</p>
	内容	<p>ボディマッサージ（前面、後面）の相モデルトレーニング</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 下肢後面、腰背部、下肢前面、腹部、上肢、デコルテの相モデルトレーニング 2. 手順と連続した手技の習得 3. ホスピタリティーマインドを意識したタオルドレーピングや手技の力加減等の習得
第26回	担当教員	<p>青木 松美 ボディマッサージ（前面、後面）の習得</p>
	内容	<p>ボディマッサージ（前面、後面）の相モデルトレーニング</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 下肢後面、腰背部、下肢前面、腹部、上肢、デコルテの相モデルトレーニング 2. 手順と連続した手技の習得 3. ホスピタリティーマインドを意識したタオルドレーピングや手技の力加減等の習得
第27回	担当教員	<p>青木 松美 ボディマッサージ（前面、後面）の習得</p>
	内容	<p>ボディマッサージ（前面、後面）の相モデルトレーニング</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 下肢後面、腰背部、下肢前面、腹部、上肢、デコルテの相モデルトレーニング 2. 手順と連続した手技の習得 3. ホスピタリティーマインドを意識したタオルドレーピングや手技の力加減等の習得
第28回	担当教員	<p>青木 松美 ボディマッサージ（前面、後面）の習得 （反復練習）</p>
	内容	<p>ボディマッサージ（前面、後面）の相モデルトレーニング</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 下肢後面、腰背部、下肢前面、腹部、上肢、デコルテの相モデルトレーニング 2. 手順と連続した手技の習得 3. ホスピタリティーマインドを意識したタオルドレーピングや手技の力加減等の習得
	担当教員	<p>青木 松美 ボディマッサージ（前面、後面）の習得 （反復練習）</p>
		<p>ボディマッサージ（前面、後面）の相モデルトレーニング</p>

第29回	内容	1. 下肢後面、腰背部、下肢前面、腹部、上肢、デコルテの相モデルトレーニング 2. 手順と連続した手技の習得 3. ホスピタリティーマインドを意識したタオールドレーピングや手技の力加減等の習得
第30回	担当教員	青木 松美 ボディマッサージ（前面、後面）の習得 （反復練習）
	内容	ボディマッサージ（前面、後面）の相モデルトレーニング 1. 下肢後面、腰背部、下肢前面、腹部、上肢、デコルテの相モデルトレーニング 2. 手順と連続した手技の習得 3. ホスピタリティーマインドを意識したタオールドレーピングや手技の力加減等の習得
第31回	担当教員	青木 松美 ボディコンサルテーションの実施 ボディマッサージ（前面、後面）の習得 （反復練習）
	内容	ボディマッサージ（前面、後面）の相モデルトレーニング 1. 下肢後面、腰背部、下肢前面、腹部、上肢、デコルテの相モデルトレーニング 2. 手順と連続した手技の習得 3. ホスピタリティーマインドを意識したタオールドレーピングや手技の力加減等の習得
第32回	担当教員	青木 松美 ボディコンサルテーションの実施 ボディマッサージ（前面、後面）の習得 （反復練習）
	内容	ボディマッサージ（前面、後面）の相モデルトレーニング 1. 下肢後面、腰背部、下肢前面、腹部、上肢、デコルテの相モデルトレーニング 2. 手順と連続した手技の習得 3. ホスピタリティーマインドを意識したタオールドレーピングや手技の力加減等の習得
第33回	担当教員	青木 松美 ボディコンサルテーションの実施 ボディマッサージ（前面、後面）の習得 （反復練習）
	内容	ボディマッサージ（前面、後面）の相モデルトレーニング 1. 下肢後面、腰背部、下肢前面、腹部、上肢、デコルテの相モデルトレーニング 2. 手順と連続した手技の習得 3. ホスピタリティーマインドを意識したタオールドレーピングや手技の力加減等の習得
第34回	担当教員	青木 松美 低周波機器トリートメントの習得
	内容	低周波機器の相モデルトレーニング 1. 下肢後面 2. 腰背部トリートメント
第35回	担当教員	青木 松美 低周波機器トリートメントの習得
	内容	低周波機器の相モデルトレーニング 1. 下肢後面 2. 腰背部トリートメント

第36回	担当教員	青木 松美 低周波機器トリートメントの習得
	内容	低周波機器の相モデルトレーニング 1. 下肢後面 2. 腰背部トリートメント
第37回	担当教員	青木 松美 低周波機器トリートメントの習得
	内容	低周波機器トリートメントの相モデルトレーニング 1. 下肢前面の相モデルトレーニング 2. 腹部の相モデルトレーニング
第38回	担当教員	青木 松美 低周波機器トリートメントの習得
	内容	低周波機器トリートメントの相モデルトレーニング 1. 下肢前面の相モデルトレーニング 2. 腹部の相モデルトレーニング
第39回	担当教員	青木 松美 低周波機器トリートメントの習得
	内容	低周波機器トリートメントの相モデルトレーニング 1. 下肢前面の相モデルトレーニング 2. 腹部の相モデルトレーニング
第40回	担当教員	青木 松美 超音波トリートメントとボディマッサージの習得
	内容	超音波トリートメントとボディマッサージの相モデルトレーニング 1. 下肢前面、下肢後面、腹部の超音波トリートメントの相モデルトレーニング 2. ボディマッサージ（選択した部位）の相モデルトレーニング
第41回	担当教員	青木 松美 超音波トリートメントとボディマッサージの習得
	内容	超音波トリートメントとボディマッサージの相モデルトレーニング 1. 下肢前面、下肢後面、腹部の超音波トリートメントの相モデルトレーニング 2. ボディマッサージ（選択した部位）の相モデルトレーニング
第42回	担当教員	青木 松美 超音波トリートメントとボディマッサージの習得
	内容	超音波トリートメントとボディマッサージの相モデルトレーニング 1. 下肢前面、下肢後面、腹部の超音波トリートメントの相モデルトレーニング 2. ボディマッサージ（選択した部位）の相モデルトレーニング
第43回	担当教員	青木 松美 コンサルテーション、トリートメント目的設定、工程の組み立て、選択した部位のマッサージ
	内容	1. ボディコンサルテーションの実施 2. トリートメント目的を設定する 3. 目的に合わせて工程の組み立て ディープクレンジングの選択 ボディ機器の選択 マッサージ部位の選択 1、2、3の相モデルトレーニング
	担当教員	青木 松美 コンサルテーション、トリートメント目的設定、工程の組み立て、選択した部位のマッサージ
		1. ボディコンサルテーションの実施

第44回	内容	2. トリートメント目的を設定する 3. 目的に合わせて工程の組み立て ディープクレンジングの選択 ボディ機器の選択 マッサージ部位の選択 1、2、3の相モデルトレーニング
第45回	担当教員	青木 松美 コンサルテーション、トリートメント目的設定、工程の組み立て、選択した部位のマッサージ
	内容	1. ボディコンサルテーションの実施 2. トリートメント目的を設定する 3. 目的に合わせて工程の組み立て ディープクレンジングの選択 ボディ機器の選択 マッサージ部位の選択 1、2、3の相モデルトレーニング

評価方法

到達目標に対応させて、定期試験 70%、小テスト 20%、レポート 10% 合計100%で評価する。

教科書

テキスト：一般社団法人日本エステティック協会 新エステティック学技術編I

参考書

テキスト：一般社団法人日本エステティック協会 新エステティック学技術編I

講義コード	8001201
講義名	ワックス脱毛実習
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	実習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	4
必修/選択	自由

担当教員

氏名

青木 松美

総合学習目標

ワックス脱毛（一時的脱毛法）の習得

1. ソフトワックス脱毛法の技術習得
2. 下肢前面、後面
3. 上肢
4. 背部
5. 腋窩部
6. Vライン

看護学科DP1-①に該当する

授業計画

第1回	担当教員	青木 松美 ソフトワックス脱毛の準備とセッティング ソフトワックス脱毛の技術習得
	内容	1. 準備とセッティング ワゴンセッティング、ベッドセッティング、ワックスの溶解 2. 注意事項と禁忌事項の確認 3. 下肢前面の相モデルトレーニング 消毒、毛流れの確認、施術、アフターケア、ツイーピング 4. ホームケアアドバイスの実施 5. 後片付けと消毒
第2回	担当教員	青木 松美 ソフトワックス脱毛の準備とセッティング ソフトワックス脱毛の技術習得
	内容	1. 準備とセッティング ワゴンセッティング、ベッドセッティング、ワックスの溶解 2. 注意事項と禁忌事項の確認 3. 下肢前面の相モデルトレーニング 消毒、毛流れの確認、施術、アフターケア、ツイーピング 4. ホームケアアドバイスの実施 5. 後片付けと消毒
3	担当教員	青木 松美 ソフトワックス脱毛の準備とセッティング ソフトワックス脱毛の技術習得
		1. 準備とセッティング ワゴンセッティング、ベッドセッティング、ワックスの溶解

第 回	内容	2. 注意事項と禁忌事項の確認 3. 下肢前面の相モデルトレーニング 消毒、毛流れの確認、施術、アフターケア、ツイーディング 4. ホームケアアドバイスの実施 5. 後片付けと消毒
第4回	担当教員	青木 松美 ソフトワックス脱毛技術習得（下肢後面）
	内容	ソフトワックス脱毛技術（下肢後面）の相モデルトレーニング 1. 準備とセッティング ワゴンセッティング、ベッドセッティング、ワックスの溶解 2. 注意事項と禁忌事項の確認 3. 下肢後面の相モデルトレーニング 消毒、毛流れの確認、施術、アフターケア、ツイーディング 4. ホームケアアドバイスの実施 5. 後片付けと消毒
第5回	担当教員	青木 松美 ソフトワックス脱毛技術習得（下肢後面）
	内容	ソフトワックス脱毛技術（下肢後面）の相モデルトレーニング 1. 準備とセッティング ワゴンセッティング、ベッドセッティング、ワックスの溶解 2. 注意事項と禁忌事項の確認 3. 下肢後面の相モデルトレーニング 消毒、毛流れの確認、施術、アフターケア、ツイーディング 4. ホームケアアドバイスの実施 5. 後片付けと消毒
第6回	担当教員	青木 松美 ソフトワックス脱毛技術習得（下肢後面）
	内容	ソフトワックス脱毛技術（下肢後面）の相モデルトレーニング 1. 準備とセッティング ワゴンセッティング、ベッドセッティング、ワックスの溶解 2. 注意事項と禁忌事項の確認 3. 下肢後面の相モデルトレーニング 消毒、毛流れの確認、施術、アフターケア、ツイーディング 4. ホームケアアドバイスの実施 5. 後片付けと消毒
第7回	担当教員	青木 松美 ソフトワックス脱毛（上肢）技術の習得
	内容	ソフトワックス脱毛（上肢）技術の相モデルトレーニング 1. 準備とセッティング ワゴンセッティング、ベッドセッティング、ワックスの溶解 2. 注意事項と禁忌事項の確認 3. 上肢の相モデルトレーニング 消毒、毛流れの確認、施術、アフターケア、ツイーディング 4. ホームケアアドバイスの実施 5. 後片付けと消毒
第8回	担当教員	青木 松美 ソフトワックス脱毛（上肢）技術の習得
	内容	ソフトワックス脱毛（上肢）技術の相モデルトレーニング 1. 準備とセッティング ワゴンセッティング、ベッドセッティング、ワックスの溶解 2. 注意事項と禁忌事項の確認 3. 上肢の相モデルトレーニング 消毒、毛流れの確認、施術、アフターケア、ツイーディング 4. ホームケアアドバイスの実施

		5. 後片付けと消毒
第9回	担当教員	青木 松美 ソフトワックス脱毛（上肢）技術の習得
	内容	ソフトワックス脱毛（上肢）技術の相モデルトレーニング 1. 準備とセッティング ワゴンセッティング、ベッドセッティング、ワックスの溶解 2. 注意事項と禁忌事項の確認 3. 上肢の相モデルトレーニング 消毒、毛流れの確認、施術、アフターケア、ツイーピング 4. ホームケアアドバイスの実施 5. 後片付けと消毒
第10回	担当教員	青木 松美 ソフトワックス脱毛（背部）の技術習得
	内容	ソフトワックス脱毛（背部）の相モデルトレーニング 1. 準備とセッティング ワゴンセッティング、ベッドセッティング、ワックスの溶解 2. 注意事項と禁忌事項の確認 3. 背部の相モデルトレーニング 消毒、毛流れの確認、施術、アフターケア（鎮静） 4. ホームケアアドバイスの実施 5. 後片付けと消毒
第11回	担当教員	青木 松美 ソフトワックス脱毛（背部）の技術習得
	内容	ソフトワックス脱毛（背部）の相モデルトレーニング 1. 準備とセッティング ワゴンセッティング、ベッドセッティング、ワックスの溶解 2. 注意事項と禁忌事項の確認 3. 背部の相モデルトレーニング 消毒、毛流れの確認、施術、アフターケア（鎮静） 4. ホームケアアドバイスの実施 5. 後片付けと消毒
第12回	担当教員	青木 松美 ソフトワックス脱毛（背部）の技術習得
	内容	ソフトワックス脱毛（背部）の相モデルトレーニング 1. 準備とセッティング ワゴンセッティング、ベッドセッティング、ワックスの溶解 2. 注意事項と禁忌事項の確認 3. 背部の相モデルトレーニング 消毒、毛流れの確認、施術、アフターケア（鎮静） 4. ホームケアアドバイスの実施 5. 後片付けと消毒
第13回	担当教員	青木 松美 ソフトワックス脱毛（腋窩部、Vライン）の技術習得
	内容	ソフトワックス脱毛（腋窩部、Vライン）の相モデルトレーニング 1. 準備とセッティング ワゴンセッティング、ベッドセッティング、ワックスの溶解 2. 注意事項と禁忌事項の確認 3. 腋窩部脱毛相モデルトレーニング 消毒、毛流れの確認、施術、アフターケア（鎮静） 4. Vライン脱毛の相モデルトレーニング 消毒、毛流れの確認、施術、アフターケア（鎮静） 5. ホームケアアドバイスの実施 6. 後片付と消毒
	担当教員	青木 松美

第14回	内容	<p>ソフトワックス脱毛（腋窩部、Vライン）の技術習得</p> <p>ソフトワックス脱毛（腋窩部、Vライン）の相モデルトレーニング</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 準備とセッティング ワゴンセッティング、ベッドセッティング、ワックスの溶解 2. 注意事項と禁忌事項の確認 3. 腋窩部脱毛相モデルトレーニング 消毒、毛流れの確認、施術、アフターケア（鎮静） 4. Vライン脱毛の相モデルトレーニング 消毒、毛流れの確認、施術、アフターケア（鎮静） 5. ホームケアアドバイスの実施 6. 後片付と消毒
	担当教員	<p>青木 松美</p> <p>ソフトワックス脱毛（腋窩部、Vライン）の技術習得</p>
第15回	内容	<p>ソフトワックス脱毛（腋窩部、Vライン）の相モデルトレーニング</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 準備とセッティング ワゴンセッティング、ベッドセッティング、ワックスの溶解 2. 注意事項と禁忌事項の確認 3. 腋窩部脱毛相モデルトレーニング 消毒、毛流れの確認、施術、アフターケア（鎮静） 4. Vライン脱毛の相モデルトレーニング 消毒、毛流れの確認、施術、アフターケア（鎮静） 5. ホームケアアドバイスの実施 6. 後片付と消毒
	担当教員	<p>ソフトワックス脱毛（腋窩部、Vライン）の技術習得</p>

評価方法

到達目標に対応させて、定期試験 70%、小テスト 20%、レポート 10% 合計100%で評価する。

教科書

テキスト：一般社団法人日本エステティック協会 新エステティック学技術編^I

参考書

テキスト：一般社団法人日本エステティック協会 新エステティック学技術編^I